科目名（英）	マナープロトコール（3級） Manner Protocol (3rd level)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	加藤　亜紀
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日3時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。多くの大学、専門学校等で非常勤講師として講義を行っている講師が、長年の指導経験を活かし分かりやすく、興味を持ってもらえるように講義を行います。講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく身につけることを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容にしています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。

執務経験：NPO法人日本マナー・プロトコール協会の認定講師。専門学校や大学で非常勤講師として活躍。

【到達目標】

「マナー・プロトコール検定3級」合格を目指します。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることができます。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることができます。

授業計画・内容	
第1回	講師自己紹介、講義内容についての説明（オリエンテーション）。マナーとは何か、「マナー」「エチケット」「プロトコール」の違いを理解し、好印象を与えるコミュニケーション（第一印象の重要性、挨拶、お辞儀、所作）をとることができる。
第2回	マナーの歴史と意味、西洋のマナー、アジアのマナーの成立ち、特徴、国際人としてのプロトコールの原則、具体的な席次例について学ぶことができる。
第3回	社交の場でのコミュニケーション、パーティーの種類とマナー、挨拶と紹介、外国人への贈り物について学ぶことができる。
第4回	国旗の扱い、異文化コミュニケーションについて学ぶことができる。服装や身だしなみ、立ち振る舞いの基本を学ぶことができる。立ち振る舞いの基本の実践指導を行う。ポイントを理解し、美しい所作を身につけることができる。
第5回	敬語、聴き方、話し方を学ぶ。尊敬語、謙譲語、丁寧語の置き換え例、クッション言葉について理解し、実生活にも活かすことができる。
第6回	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って中間テストに臨むことができる。
第7回	中間テスト（ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う）
第8回	礼装の基準（スライド視聴）、洋装・和装の礼装、パーティーでの服装を学ぶことができる。問題集を解き、復習を行うことで理解を深めることができる。
第9回	喜ばれる贈答品、贈り物のルールを理解し、場面に合わせた祝儀袋、不祝儀袋が選べ、表書きが書けるようになる。
第10回	手紙のマナー、手紙の基本構成を学び手紙を書いてみることで、自信を持って手紙を書くことができるようになる。お世話になった人に手紙を書いてみる。
第11回	ビジネスシーンのマナー、名刺の渡し方、電話応対、来客応対、ご案内、出迎えと見送りのマナーのロールプレイングを行い、実践して身につけることができる。
第12回	ビジネス文書の構成を学ぶ、ビジネス文書を作成してみる。電子メール・ファックスのマナーを学ぶことができる。
第13回	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って期末テストに臨むことができる。
第14回	期末テスト
第15回	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	予習シートを使用し、予習を行い授業に臨む。進んだところまで問題集を使用し復習する、復習ワークシートを行う。
評価方法	①模擬テスト、中間テスト、期末テストの点数 ②授業態度 ③提出物を期日までにきちんと提出する。
受講生への メッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール（国際儀礼）について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで、就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。目標はマナー・プロトコール検定3級合格です。文部科学省後援の資格を取得出来るよう一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会発行

科目名（英）	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	安永　宣雅
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日２時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

身だしなみや挨拶の大切さを理解しホスピタリティ業界で活躍でいる立ち居振る舞いができるようになる
神社や寺院などの見学や歴史を知ることで日本の文化を学び接客に活かせる知識を身に付ける。

※実務経験
当校キャリアセンターとして就職指導の実績を持つ。前職はホテルマンとしてマネジメント業務を行なう。

【到達目標】

身だしなみや挨拶など社会人としてのマナーを身に付けることができる。
福岡の歴史ある神社や寺院などの知識をみにつけることができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、自己紹介
第2回	挨拶の大切さを学ぶ
第3回	第一印象の大切さや身だしなみ（スーツの着こなしや清潔感ある人になる）
第4回	立ち方や座り方、歩き方を学ぶ
第5回	報告・連絡・相談の大切さを学ぶ
第6回	時間のマナーの大切さを学ぶ
第7回	前半のまとめ
第8回	櫛田神社の歴史など学ぶ
第9回	櫛田神社見学
第10回	承天寺の歴史を学ぶ
第11回	承天寺見学
第12回	博多祇園山笠について学ぶ
第13回	東長寺の歴史を学ぶ
第14回	東長寺見学
第15回	授業のレポート（まとめ）
準備学習 時間外学習	スーツ着用
評価方法	レポート提出60点、出席率40点で評価
受講生へのメッセージ	誰からも好印象を持てる人になるように頑張りましょう。 福岡にある歴史など楽しく学びましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

パソコン

科目名（英）	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	東　淳子
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。

実務経験：茶道裏千家も師範として茶道教室を開講

【到達目標】

和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。

授業計画・内容	
第1回	簡単なお茶の歴史を知ることが出来る。茶席での身だしなみ（服装・靴の脱ぎ方等）を知ることが出来る。
第2回	襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方を知ることが出来る。
第3回	道具の名称（漢字で覚える）帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。
第4回	道具の扱い方を知ることが出来る。①
第5回	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
第6回	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆中の道具の扱い方①
第7回	中間テスト
第8回	盆中の道具の扱い方②
第9回	薄茶を飲むときのお茶碗の扱い方・飲み方・懐紙を使ってのお菓子の取り方を知ることが出来る。（干菓子）
第10回	薄茶の立て方を知る（実際に自分で点ててみる①）
第11回	薄茶の立て方の復習（実際に自分で点ててみる②）
第12回	薄茶を点てる人（亭主）頂く人（お客）に分かれて体験することが出来る。
第13回	今までの総復習を行い、自身の成長を感じることが出来る。（生菓子）
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト返却・質疑応答・清掃
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト（50%）期末テスト（50%）
受講生へのメッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承していってほしいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	アソシエイトホスピタリティコーディネータ Asspciate Hospitality Coordinator	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。
また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。

実施内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。

※実務経験：2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。
②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ（AHC）」の資格を取得することができる。
③学んだことを活かし、日常生活においてもホスピタリティマインドをもって行動することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、講義の説明、アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータについて
第2回	第1章　日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性
第3回	第2章　ホスピタリティの歴史と文化
第4回	第3章　サービスとホスピタリティの語源
第5回	第4章　ホスピタリティの定義
第6回	第5章　ホスピタリティの5領域
第7回	第6章　組織と顧客のホスピタリティ
第8回	第7章　組織と社員（従業員）のホスピタリティ
第9回	第8章　ホスピタリティの実践
第10回	第9章　各産業におけるホスピタリティの実践
第11回	課題提出について
第12回	課題作成
第13回	課題作成
第14回	レポート提出
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身に着けるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つこと」を意識することが重要です。 また、様々な感動体験や自身の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポート作成にあたって、作成方法については細かいルールがありますので、講義の中で説明をします。理解したうえで作成すること。
受講生への メッセージ	ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動活かしていきましょう。また、クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有することも大切だと思います。自分が経験した感動体験を次は実践できるように一緒に取り組んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本／日本ホスピタリティ推進協会
その他内容に応じてプリント等配布。

科目名（英）	ベーシックスタイリング Basic Styling	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	中尾 茉奈
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	月曜日2時限

【授業内容】
ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい立ち居振る舞いを学びます。自身の体型や骨格に合わせてコーディネートを考えられるようになる授業を実施します。

※実務経験
教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。
都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。

【到達目標】
自分自身の体型の特徴を理解することができる。
歩き方や所作などを見直し、ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい姿となることで自己肯定感と業界への意識を高めることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の内容・進め方・到達目標について理解することができる。他者に与える自身の「印象」について考えることができる。
第2回	骨格診断セルフチェック：骨格3タイプを知り、自身の骨格を分類することができる。
第3回	実例を元に「オフィスカジュアル」を知ることができる。骨格に合う服装を知ることができる。（普段着・オフィスカジュアル・ドレス・スーツ）
第4回	骨格が乱れることで与える影響について知り、自分でできる骨格の整え方を体験する。 ※動きやすい服装持参
第5回	自身の体の状態を知ったうえで、正しい姿勢で立つこと・座ることについて体験し知ることが出来る。 正しい姿勢の状態で歩くことを体験する。
第6回	正しい姿勢での歩き方を練習し、身に着けることができるようになる。 ※汗をかいても良い服装・各自制服に合わせたい靴・水分補給できるものを持参。
第7回	今までの復習・中間テスト対策
第8回	中間テスト：筆記試験＋実技試験
第9回	「美しい所作」とは何かを考える：個人ワーク＋グループワークを行い、自身と他者の価値観を知ることができる。
第10回	前週で上がった「美しい所作」を実践し、動きを洗練させることができるようになる。
第11回	実践：正しい姿勢で立つ・歩く・座る・所作に気を遣う 実際の接客シーンをロールプレイングする。※進み具合等により変更の可能性あり
第12回	初歩的な行動心理学に触れ、自身の行動に反映させる具体的な方法について考えることができる。
第13回	今までの復習・期末テスト対策
第14回	期末テスト：筆記試験＋実技試験
第15回	試験の答案返却及び授業の振り返り
準備学習 時間外学習	この授業時間以外でも、普段から姿勢や所作を意識した生活を送ってください。
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生への メッセージ	少しの所作や姿勢の変化、言動で「印象」は変えられます。皆さんがそれぞれに目指す業種に合わせた印象に近づくことができるよう講義を行ってまいります。

【使用教科書・教材・参考書】

授業計画に記載の通り、動きやすい服装や水分補給用の飲み物の準備をお願いする授業があります。前週にアナウンスいたしますが、各自シラバスを確認して準備をしてください。

科目名（英）	コミュニケーション Communication	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会人として必要なコミュニケーション力を身に着け、実際に学生生活、就職活動、社会生活で実践できるようにします。
またコミュニケーションスキルアップ検定全員合格を目指して学んでいきます。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・コミュニケーションスキルを身に着け、実践できるようになる。
・コミュニケーションスキルアップ検定に合格することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション（自己紹介）
第2回	第1章　コミュニケーションとは（コミュニケーションの定義、3領域、種類）
第3回	第2章　基本的対話スキル（話す）
第4回	第2章　基本的対話スキル（聴く）
第5回	第2章　基本的対話スキル（グループでの会話）
第6回	第1章・第2章のまとめ、ロールプレイング
第7回	第3章　自己表現スキル（挨拶、自己紹介）
第8回	第3章　自己表現スキル（言葉のかけ方、上手な頼み方、上手な断り方、自己主張）
第9回	第3章　自己表現スキル（報連相、会議、ミーティング）
第10回	第3章　自己表現スキル（アンガーマネジメント）
第11回	第4章　社会的スキル（基本的な社会スキル）
第12回	第4章　社会的スキル（対人行動、文書作成）
第13回	第3章・第4章のまとめ、検定対策
第14回	コミュニケーションスキルアップ検定　実施
第15回	検定振り返り・授業のまとめ
準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を実際の生活の中で実践する。
評価方法	検定試験　100%
受講生へのメッセージ	コミュニケーションスキルは学生生活の中でも、社会においても必要です。一つ一つの内容を理解して、実際に実践しながら学んでいきましょう。 そして社会に出たときに最高のおもてなしができるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定テキスト（JESC）

科目名（英）	マナープロトコール（3級） Manner Protocol(3rd level)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【学習内容】
講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく"身につける"ことを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容としています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。
※実務経験
NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。ニチイ学館委託講師20年、接遇マナー研修担当。平成21年起業　講師業Cherry代表、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリア」の講義等を担当。また企業、学校等でのマナー研修も行う。

【到達目標】
マナープロトコール検定3級合格を目指すことが出来る。
学んだことを活かし、自身のマナーのレベルを上げ、社会人意識を高めることが出来る。
資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることが出来る。
マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることが出来る。

授業計画・内容	
第1回	和食のマナー：DVD視聴で和食のいただき方を学ぶことが出来る。美しい箸使い、忌み箸について学ぶことで日常生活でも箸使いを意識できるようになる。お椀とお箸を実際に使い実践練習することで、正しい箸使いを理解することが出来る。
第2回	洋食のマナー：DVD視聴で洋食のいただき方を学ぶことが出来る。洋食をいただく場面でも自信を持って臨めるようになる。実際のカトラリー、ナプキン等を使い指導することで、正しい使い方を理解することが出来る。中国料理、各国料理のマナーについても知識を広げることが出来る。
第3回	和室での作法：和室にて座礼、襖の開け閉め、座布団の扱い、和室でお茶の入れ方、出し方、いただき方を学ぶことで和室での作法を実践できるようになる。第5章まとめテストを行う。
第4回	「冠」のしきたり：スライドを使って人生の節目となる通過儀礼の成立ち、意味、種類を学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第7章まとめテストを行う。
第5回	「婚」のしきたり：スライドを使って婚姻の形態、しきたりを学び、結婚式での服装、会場でのマナー等、近い将来必要になる社会人としての知識を身に付けることができる。第8章まとめテストを行う。
第6回	復習：ここまでの内容の問題集の問題を解き、振り返りの学習を行うことで理解不足の部分を確認するこが出来る。問題を解く力をつけて、中間テストテストに臨むことが出来る。
第7回	中間テスト、解説、振り返り
第8回	「葬」のしきたり：スライドでを使って葬儀の変遷、葬送儀礼のしきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第9章まとめテストを行う。
第9回	「祭」のしきたり：スライドを使って日本の年中行事の種類、習わし、しきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第10章まとめテストを行う。
第10回	試験対策①：3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第11回	試験対策②：3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第12回	試験対策③：3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第13回	期末テスト
第14回	期末テスト振り返り
第15回	マナー・プロトコール3級検定試験
準備学習 時間外学習	行ったところまで問題集を使用し復習する。
評価方法	期末試験　100%
受講生へのメッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール（国際儀礼）について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。後半は、模擬問題を解くことで検定試験に対応できる力をつけていきます。「マナー・プロトコール検定3級」合格を指して一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会

科目名（英）	キャリアプログラム Career program	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増　千秋
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・学生生活を送るうえで、スケジュールや健康管理を自分自身で行うことができ、気持ちよく学生生活を送ることができる。
・クラスメイトとともに、業界や問題解決について情報交換をすることでチームワークを育むことができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション（学校生活について・クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など）
第2回	生活習慣改善教育①、Hand-Book of Life（日常生活編）、学生便覧再確認
第3回	生活習慣改善教育②、Hand-Book of Life（日常生活編）、GW前インフォメーション
第4回	生活習慣改善教育③、Hand-Book of Life（日常生活編）、GWの振り返り
第5回	生活習慣改善教育④、Hand-Book of Life（学校生活編）
第6回	生活習慣改善教育⑤、Hand-Book of Life（学校生活編）
第7回	マネー教育
第8回	学園祭について（次年度自分たちが行う立場を意識して）
第9回	学園祭振り返り（個人ワーク・グループワーク）
第10回	校外学習
第11回	校外学習
第12回	業界学習
第13回	業界学習、夏季休暇前インフォメーション（夏季休暇の過ごし方・課題・補講など）
第14回	夏季休暇振り返り、今後のスケジュールについて（補講・特別講義など）
第15回	前期振り返り
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出　100%
受講生への メッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができように本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 まずは学校内外で円滑にコミュニケーションが取れるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布
Hand-Book of Life

科目名（英）	キャリアプログラム career program	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増　千秋
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスメイトと協力をしながらイベントや業界について学び取り組んでいきます。また業界についての知識も身に着けて自分の将来についてよりイメージできるようにします。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・体調やスケジュールの自己管理を行い、学校生活を送ることができる。
・クラス全員が話し合いに参加して、イベントやグループワークで発言をすることができる。
・自分が目指す業界について基礎知識を身に着けることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション（後期のスケジュール、クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など）
第2回	Hand-Book of Life（社会生活編）、グループワーク
第3回	Hand-Book of Life（日常生活編）、イベントに向けて
第4回	イベントに向けて
第5回	イベントに向けて
第6回	イベントに向けて
第7回	校外学習
第8回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第9回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第10回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第11回	業界学習
第12回	冬季休暇前インフォメーション（冬季休暇の過ごし方・課題・補講など）
第13回	冬季休暇振り返り、今後のスケジュールについて
第14回	後期の振り返り、グループワーク
第15回	今年度の振り返り、2年生に向けて
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出　100%
受講生へのメッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができように本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 様々なイベントを通してより楽しい学校生活をともに送りましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布
Hand-Book of Life

科目名（英）	コンピューター演習 Practice of Computer	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	宗田　浩輔
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日4時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ソフトウェア販売、医薬品メーカー営業、WEBデザイナーを経て現在、ナレーション収録のスタジオを経営。
経営に係る業務の傍ら、経理業務・デザイン制作を兼務。
講義では実務に必要な基本的なスキルとトピックについて解説していこうと思います。

【到達目標】

Wordによるレポートや送付状や案内状の作成、Excelで関数を使った表を作成出来る。また、ショートカットなどを習得して操作を効率的に行うことが出来る。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：学習をすすめる上で必要な準備や知識を理解
第2回	パソコン全般の基本的な知識、タイピング、ショートカットについて習得
第3回	Word基礎　起動と文字入力、ファイルの保存について
第4回	Word基礎　用紙の設定、文字の修飾
第5回	Word基礎　図形やイラストを利用した文章の作成
第6回	Word基礎　実践：送り状作成
第7回	Word基礎　レポートや企画書などの作成
第8回	Excel基礎　起動と文字入力、基本構造の理解
第9回	Excel基礎　文字の修飾、表のデザインについての技術習得
第10回	Excel基礎　セルの分割・結合
第11回	Excel基礎　代表的な関数の実践
第12回	Excel基礎　実践：関数を利用した表の作成
第13回	前期振り返り　+ テスト対策
第14回	評価週　筆記試験　+　Wordを使用したレポートの提出
第15回	まとめ・追試/再試試験　問題解説と後期導入部分の解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験　+　Wordを使用したレポートの提出
受講生へのメッセージ	入学おめでとうございます。 パソコンを始めとしするデバイスは目的を達成するために多種多様な解決方法を提供してくれます。そして正解はひとつではなく、常に新しくより良いものが生み出されています。 技術の習得は大事ですが、解決方法にたどり着くための考え方や感覚などを一緒に考えながら培っていきましょう。 パソコンの習熟度はみなさんそれぞれ違うと思いますが、助け合いながら頑張っていきましょう（人に教える、といったアウトプットも大事な習得方法です！）

【使用教科書・教材・参考書】

PDFにて資料配布予定。ネットワーク共有フォルダよりコピーして使用。

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。 オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容 （対面）
Unit 1 個人的な情報	個人的な情報について尋ねる、また述べることができる。 個人的な経歴等のプロフィールを読む、また書くことができる。	1	1.1	be 動詞(am, are)の肯定形、否定形を学ぶ 出身地を尋ねる表現を学ぶ	1	1.1	be 動詞(am, are)を使って自己紹介（国籍や出身）する、または出身地を尋ねる会話を練習する
		2	1.2	[What is(What's)]、[It is(It's)]の使い方を学ぶ	2	1.2	疑問代名詞[What]を使って、 自分の個人情報を相手に伝え、また相手の情報を聞く
		3	1.3	接客する側（clerk)、される側(guest)の表現を学ぶ	3	1.3	ホテルにチェックインする際の会話を練習する
		4	1.4	大文字、ピリオドの使い方を学ぶ 個人的な経歴等のプロフィールを書く際に必要な表現を学ぶ	4	1.4	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティで新しい人に出会う」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 家族	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとることができる。	5	2.1	主語が三人称 [he, she, they]の時の、be動詞[is, are]の肯定文と疑問文の使い方を学ぶ	6	2.1	be動詞を使って、家族構成について話す
		6	2.2	主語が三人称の時の、be動詞の否定文を学ぶ	7	2.2	be動詞の否定文を使って、 友達や家族について説明する
		7	2.3	日付の言い方、発音を学ぶ 年齢、誕生日に関する表現を学ぶ	8	2.3	年齢や誕生日について聞く、話す
		8	2.4	位置を表す前置詞、接続詞[and]の使い方を学ぶ 短縮形の音（発音）について学ぶ	9	2.4	写真に写っている友達のことについて話す 友達についての紹介文を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「友達や家族についての情報を比較する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 住居	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書くことができる。	9	3.1	人称代名詞の所有格について学ぶ 名詞の所有を表す['s] と[s']の使い方を学ぶ	11	3.1	名詞の所有を表す['s] と[s']を使って、 自分の家について話す
		10	3.2	家具を表す単語を学ぶ 代名詞[it]の肯定文、否定文、疑問文を学ぶ	12	3.2	[it is]を使って、家具について話す
		11	3.3	物を提供する時の言い方、その返答方法を学ぶ /c/の発音ルールを学ぶ	13	3.3	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する 分からない単語について質問する
		12	3.4	疑問詞＋be動詞の使い方を学ぶ Eメールの基本ルールを学ぶ	14	3.4	ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「新居の家具を選ぶ」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 好み	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	16	4.1	主語が[I, You, We]の時の、 一般動詞の「現在形」の否定文を学ぶ	16	4.1	一般動詞「現在形」を使って、 お気に入りの物について話す
		17	4.2	主語が[I, You, We]の時の、 一般動詞の「現在形」の疑問文を学ぶ	17	4.2	一般動詞の「現在形」の疑問文を使って、 どのようにテクノロジーを使用しているのかを話す
		18	4.3	新しい話題の振り方、相手に情報を求める際の聞き方を学ぶ 強勢、ストレス（発音）について学ぶ	18	4.3	コミニケーション手段について話す 相手の話を聞いていることを示す
		19	4.4	冠詞[a]、[an]を学ぶ 語尾の上げ方、下げ方（発音）について学ぶ	19	4.4	商品のレビューを読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「好きな音楽について」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 生活習慣	平日、週末のアクティビティについて話すことができる。 日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。	20	5.1	主語が三人称 [he, she, they]の時の、 一般動詞「現在形（肯定文、否定文）」を学ぶ	21	5.1	「現在形」肯定文、否定文を使って、 平日、週末の行動について話す
		21	5.2	時間を表す単語を学ぶ 一般動詞「現在形」疑問文を学ぶ	22	5.2	「現在形」疑問文を使って、 時間・自分のルーティン（日課）について話す
		22	5.3	相手の意見に賛成する時の言い方、共通していることを伝える時の言い方を学ぶ 音節（発音）について学ぶ	23	5.3	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する
		23	5.4	レポートの書き方を学ぶ	24	5.4	自分の行動についてのレポートを読む、書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「異なる週の活動について比較する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 道順	道順について尋ねる、また教えることができる。 場所についての特徴について読み、書くことができる。	24	6.1	町中にある場所を表す単語を学ぶ [There (is, are), (a lot, some, no)]の使い方を学ぶ	26	6.1	[There (is, are), (a lot, some, no)]を使って、町にある場所について話す
		25	6.2	「可算（数えられる）名詞・不可算（数えられない）名詞」を学ぶ	27	6.2	「可算名詞・不可算名詞」を使って、 住んでいる地域の自然について話す
		26	6.3	情報を確認する時の言い方を学ぶ フォニックス「いー」の音、[ere]の発音２通りについて学ぶ	28	6.3	道順を聞く、または教える会話を練習する
		27	6.4	英語の強弱のリズム（発音）について学ぶ ファクトシートの読み方、書き方を学ぶ	29	6.4	自然の中の場所についてのファクトシートについて読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容 （対面）
Unit 7 自宅での生活	自宅の生活について話すことができる。 ブログ記事を読み、書くことができる。	1	7.1	家事、家の中での行動に関する単語を学ぶ 「現在進行形」の肯定文を学ぶ	1	7.1	「現在進行形」肯定文を使って、 家事や自宅での行動について話す
		2	7.2	交通手段、旅行に関わる動作を表す単語を学ぶ 「現在進行形」の疑問文を学ぶ	2	7.2	「現在進行形」疑問文を使って、 旅行について質問する、または答える
		3	7.3	電話であいさつをする時の表現を学ぶ /ng/の発音を学ぶ	3	7.3	電話で情報を共有する会話を練習する
		4	7.4	ブログを読む [also]、[too]の使い方を学ぶ	4	7.4	今起こっていることについてのブログを読む、書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「最近の生活について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 スキル・能力	自身のスキルや能力について話すことができる。 自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。	5	8.1	助動詞 [Can / Can't]（能力）を学ぶ goodの副詞：[well]の使い方を学ぶ	6	8.1	[Can / Can't]（能力）を使って、 自分の能力や才能について話す
		6	8.2	仕事に関する単語、フレーズを学ぶ 助動詞 [Can / Can't]（可能性）を学ぶ	7	8.2	[Can / Can't]（可能性）を使って、 職場や学校でできること、できないことについて話す
		7	8.3	相手に意見を聞く時の聞き方、また自分の意見を伝え方を学ぶ 英文をまとまりで区切り、一呼吸置いて話す方法について学ぶ	8	8.3	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する
		8	8.4	[can]と[can't]の聞き分け方（発音）を学ぶ 誰かの言葉を引用する際に使用するクォーテーションマークの使い方を学ぶ	9	8.4	インターネット上で自分の考えをコメントする
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 休暇・旅行	旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。 旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。	9	9.1	旅行に関する単語を学ぶ 指示形容詞 [this] と [these]の使い方を学ぶ	11	9.1	[this] と [these]を使って、 休暇、旅行について話す
		10	9.2	旅行の手配に関するフレーズを学ぶ to不定詞の名詞の用法を学ぶ [like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ	12	9.2	[like to, want to, need to, have to]を使って、 旅行計画を立てる
		11	9.3	情報を聞く時に使う表現、また質問への答え方を学ぶ 値段の言い方、聞き間違いやすい数字の発音を学ぶ	13	9.3	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する
		12	9.4	場所についての説明の表現を学ぶ 動詞の命令形（命令、助言）を学ぶ	14	9.4	場所についての説明を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 週末の計画	週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。 オンラインでの招待状を読む、書くことができる。	16	10.1	出かける時に使うフレーズを学ぶ 近い未来のことを話す時に使う[be going to]の使い方を学ぶ	16	10.1	[be going to]を使って、 週末のアウトドア（野外）プランについて話す
		17	10.2	季節、洋服の種類を表す単語を学ぶ [be going to]（疑問文）の使い方を学ぶ	17	10.2	[be going to]（疑問文）を使って、 異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う
		18	10.3	相手を誘う時の表現、誘いを受ける時、断る時の表現を学ぶ /s/の発音を学ぶ	18	10.3	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する
		19	10.4	going toの短縮形[gonna]の発音を学ぶ ライティングにおける短縮形の使い方を学ぶ	19	10.4	オンラインでの招待状を読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 過去の出来事	過去についての場所や出来事、過去の人について述べることができる。 思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。	20	11.1	人、場所、物を修飾する形容詞を学ぶ be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を学ぶ	21	11.1	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す
		21	11.2	色を表す単語を学ぶ be動詞の過去形[was / were]の疑問文を学ぶ	22	11.2	be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、 記憶にある色について話す
		22	11.3	母音[o]の発音を学ぶ、/ou/と/a:/の音の違いを学ぶ 答えを出す前、少し時間が必要な時に使う表現を学ぶ	23	11.3	自分の記憶を表現し、 映画、俳優について話す
		23	11.4	機内誌を読む、代名詞の使い方を学ぶ 文章を書く時のパラグラフ、トピックセンテンスを学ぶ	24	11.4	過去の思い出として保管している物についてEメールを書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「子どもの頃から見ているTV番組について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 レストラン	食べた食事について話すことができる。 レストランのレビューを読む、また書くことができる。	24	12.1	軽食や少量の食事などを表す単語を学ぶ 一般動詞の「過去形」肯定文と否定文について学ぶ	26	12.1	一般動詞の「過去形」を使って、 間食や軽食について話す
		25	12.2	食事、飲み物、デザートを表す単語を学ぶ 一般動詞「過去形」の疑問文を学ぶ	27	12.2	一般動詞の「過去形」の疑問文を使って、 レストランの食事について話す
		26	12.3	食べ物や飲み物を提供する、またお願いする時に使う表現、それらに対する答え方を学ぶ /h/と/r/の発音を学ぶ	28	12.3	食べ物・飲み物を提供する、お願いする、また答える時の会話を練習する
		27	12.4	[do you]と[want to]の発音の仕方を学ぶ ライティングにおける接続語[and]について学ぶ	29	12.4	レストランのレビューを読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルCに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルC

教科書	EVOLVE　2
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	ッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 知人について	知人・家族について話すことができる。 職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	身近な人を表す言葉を学ぶ be動詞の使い方、代名詞の所有格を学ぶ	1	1.1	be動詞、代名詞の所有格を使って、 知人・家族について話す
		2	1.2	「～のもの」を表す使い方を学ぶ 「誰のものですか」の聞き方を学ぶ	2	1.2	「～のもの」を表す表現を使って、 所有物について話す
		3	1.3	挨拶や会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ /l/の発音を学ぶ	3	1.3	挨拶をして会話を始める練習をする 興味や驚きを表す表現を練習する
		4	1.4	Eメールの基本ルールを学ぶ 丁寧な書き方を学ぶ	4	1.4	自己紹介をする 職場でのフォーマルなEメールを読む、書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「人と共通していることについて」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 仕事と勉強	毎日していることについて話すことができる。 ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。	5	2.1	一般動詞（現在形）の基本的な使い方を学ぶ 一般動詞の疑問文、否定文、頻度を尋ねる文を学ぶ	6	2.1	[Wh-question]を練習する 一般動詞の疑問文、否定文を使って、 習慣・ルーティンについて質問する、返答する
		6	2.2	デスク上にある「物」についての単語を学ぶ 名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ	7	2.2	指示代名詞を使って、 仕事や勉強をする空間について話す・質問する
		7	2.3	トラブルが起こった時、繰り返しを求める表現を学ぶ /h/の発音を学ぶ	8	2.3	意思疎通に問題があったことを説明する 繰り返しを求める表現を練習する
		8	2.4	日常のトピックについての語彙を学ぶ 相手の意見を聞く、またそれに対し意見を述べる表現を学ぶ	9	2.4	ポッドキャストについての意見を読む、書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「仕事や勉強のためのアプリについて」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 スポーツと運動	今していることについて話すことができる。 サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。	9	3.1	「現在進行形」を学ぶ・復習する 今まさに起こっていることを表現する	11	3.1	「現在進行形」を使って、 今まさに起こっていることについて話す
		10	3.2	動きを表す表現を学ぶ 現在形や現在進行形の違いを学ぶ	12	3.2	「現在進行形」「現在形」を練習する スポーツ、運動について話す
		11	3.3	情報を得るため、必要な表現を学ぶ 聞き返す、もう一度言ってほしい時の表現を学ぶ /ou/と/ɔ/の発音を学ぶ	13	3.3	知らない情報を人に尋ねたり、情報を読み取ったりできるよう、会話を練習する
		12	3.4	意見を表す表現を学ぶ 公共サービスに関する意見聞き、内容を理解する	14	3.4	サービスや会社に対するコメントを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「フィットネスプログラムを作る」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 招待	招待する、またそれに応えることができる。 イベントへの招待を読む、また書くことができる。	16	4.1	be動詞＋～ingを使った未来の表現を学ぶ	16	4.1	「現在進行形」を使って、 これから予定している計画について話す
		17	4.2	贈り物を人に渡したり、もらったりする際の表現を学ぶ 目的格代名詞の適切な使い方を学ぶ	17	4.2	目的格代名詞を使って、 人に物をプレゼントする会話を練習する
		18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の表現を学ぶ /v/の発音を学ぶ	18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の会話を練習する 誘いを断る理由を説明する
		19	4.4	未来のイベント案内の表現を学ぶ 発音(Reduction）を学ぶ	19	4.4	未来のイベント案内を読む、書く イベントを企画してアナウンスメントする
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「プレゼントを選ぶ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 過去のイベント	人生の中での過去のイベントについて話すことができる。 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。	20	5.1	過去の思い出や出来事について話す際の表現を学ぶ	21	5.1	過去の出来事について話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝わる
		21	5.2	一般動詞の過去形の疑問文、否定文を学ぶ 様々なライフイベントの表現を学ぶ	22	5.2	過去の出来事について質問する 過去形の疑問文、否定文を練習する
		22	5.3	誰かを祝ったり慰めたりする時の表現を学ぶ 相手の言ったこと確認する時の表現を学ぶ シラブル（音節）とストレス（発音）を学ぶ	23	5.3	適切な英語表現を用いて、相手を祝ったり、慰めたりする会話を練習する 自分の認識が正しいかどうかを確認する
		23	5.4	外国での体験談を読んで理解を深める 短い投稿に対して、同意・反対の表現を学ぶ	24	5.4	投稿に対して、賛成・反対のコメントを書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の有名な出来事をまとめる」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 買い物	店内で欲しいものについて述べることができる。 新しい商品の説明を読む、またVlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書くことができる。	24	6.1	買い物に関連した単語や熟語を学ぶ [be going to＋動詞の原形]を復習する	26	6.1	[be going to]を使って、 買い物に行くことについて会話する
		25	6.2	買い物時のフレーズを学ぶ 「限定詞」の使い方を学ぶ 数えられる名詞、数えられない名詞の数量の表し方を学ぶ	27	6.2	特定・不特定の物や人の数量を表し、 買い物習慣について話す
		26	6.3	欲しいものを伝える表現を学ぶ 名称がわからない物の聞き方を学ぶ 会話内の単語レベルのストレス（発音）についてを学ぶ	28	6.3	お店で買いたい物、探している物を伝える会話を練習する 物事の言い方を英語で聞く
		27	6.4	お金にまつわるストーリーを聞く、読む 代名詞に注意しながら文を読む	29	6.4	新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルC

教科書	EVOLVE　2
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	ッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 食べる・飲む	レストランで頼みたいものについて説明することができる。 ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。	1	7.1	食べ物を表す単語を学ぶ 「数量詞」（加算名詞・不可算名詞）を学ぶ	1	7.1	数量詞を使って、 一番好きな食べ物について話す
		2	7.2	食品や味の調理方法の英単語を学ぶ 「動名詞」と「to不定詞」を学ぶ	2	7.2	食品の味や調理方法について話す 動名詞とto不定詞を使った会話を練習する
		3	7.3	料理を注文する際の表現を学ぶ 言いたいことを明確に伝える表現を学ぶ /g/の発音を学ぶ	3	7.3	[I mean]を使って、会話を練習する 飲食店で料理を注文する会話を練習する
		4	7.4	オンライン上の記事を読み、コメントを投稿する 意見を述べる表現 [I think], [I don't think] を学ぶ	4	7.4	オンライン記事の内容を読み、自分の意見をコメントをする
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティを計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 旅行（短期）	提案をする、また提案をうけることができる。 海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。	5	8.1	旅行に関わる単語を学ぶ 接続詞[if / when]の使い方を学ぶ	6	8.1	自分の町で何をするのかについて話す
		6	8.2	移動に伴う様々な動きを表す表現を学ぶ [to/for]の使い方を学ぶ	7	8.2	[to / for]を使って、理由を説明する 過去に行った旅行について話す
		7	8.3	アドバイスや提案する際の表現、その反応の表現を学ぶ 母音の発音パターンを学ぶ	8	8.3	適切なアドバイスや提案する会話を練習する アドバイスに対しての反応を練習する
		8	8.4	旅行に関する適切なアドバイスを述べる表現を学ぶ 語尾の上げ下げ（発音）について学ぶ	9	8.4	海外旅行・生活についてのアドバイスを読む、書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「短期旅行のプランを立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 見た目	意見を尋ねる、また述べることができる。 広告を読む、また写真の説明を書くことができる。	9	9.1	アクセサリーに関する英単語を学ぶ 「形容詞の比較級」を学ぶ	11	9.1	いろいろな物を比較する会話を練習する
		10	9.2	顔や髪などの特徴に関する英単語を学ぶ 「形容詞の最上級」を学ぶ	12	9.2	[形容詞の最上級」を使って、 写真に写った人について話す
		11	9.3	アドバイスをしたり、受けたりする際の表現を学ぶ /ʒ/の発音を学ぶ	13	9.3	[I guess]を使って、アドバイスを相手に求める、またはアドバイスをする会話を練習する
		12	9.4	写真についての説明に使う表現を学ぶ	14	9.4	写真についての説明を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告を作り、発表する」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 職業	将来の予想を立てることができる。 アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。	16	10.1	職業に関する単語を学ぶ [have to]の使い方を学ぶ	16	10.1	仕事でどのように危険を避けるかを話し合う
		17	10.2	怪我や病気の表現を学ぶ 未来に起こるかもしれないことを予測する表現を学ぶ	17	10.2	これから先のことについて、適切に表現できるよう、練習する
		18	10.3	相手の体調を尋ねる、症状を述べる際の表現を学ぶ 語末の子音の発音を学ぶ	18	10.3	[It feels like (it's like)]を使って、 体調不良や怪我の症状などについて話す
		19	10.4	[be afraid of]などの表現を学ぶ	19	10.4	将来の自分に向けたメッセージを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「リアリティ番組を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 ソーシャル メディア	したことがあること、ないことについて話すことができる。 インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書くことができる。	20	11.1	インターネット上で使用するフレーズを学ぶ 「現在完了形（経験）」を学ぶ	21	11.1	今までに経験したことや経験したことのないことについて話し合う
		21	11.2	ソーシャルメディアで用いる単語やフレーズを学ぶ 「現在完了形」と「過去形」の違いを学ぶ	22	11.2	ソーシャルメディアについての内容を読む、話す、質問する
		22	11.3	お願い（頼み事）をする、許可を得る際の表現を学ぶ /n/と/m/の発音を学ぶ	23	11.3	誰かに頼み事をしたり、許可を得ることができるよう、練習する または、その反応をする表現を練習する
		23	11.4	情報画像、インフォグラフィック（図、表など）を用いたブログを読む [I always thought…/I think it's interesting that…/Who cares?]などの表現を学ぶ	24	11.4	インフォグラフィックを読む、コメントを書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ビデオ、またVlogを作る」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 アウトドア	天気について話すことができる。 場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。	24	12.1	天気に関する単語を学ぶ [be like]の疑問文での使い方を学ぶ	26	12.1	[be like]を使って、天気について話す
		25	12.2	風景や都市の景観を表す英単語を学ぶ 「関係代名詞(who, which, that)」の使い方を学ぶ	27	12.2	関係代名詞を使って、 場所、人、物事を説明する
		26	12.3	道を尋ねる、また道を教える際の表現を学ぶ 単語の始めの/w/の発音を学ぶ	28	12.3	道を尋ねる、また道を聞かれた時に答える会話を練習する
		27	12.4	手順を説明する際に使用する順序を表す単語を学ぶ /t/の音が/d/寄りになる時の発音について学ぶ	29	12.4	簡単な指示文を書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルBに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容 （対面）
Unit 1 知り合いになる	相手に質問をする、また質問に答えることができる。 自己紹介をし、知り合いになることができる。 親戚へのメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	性格を表す単語を学ぶ [WH-question]を使った表現を学ぶ	1	1.1	[WH-question]を使って相手の性格について尋ねる会話を練習する
		2	1.2	個人の情報（ライフステージ）に関する表現を学ぶ 間接疑問文を学ぶ	2	1.2	「間接疑問文」を使って、人に質問をする、 また質問に答える練習をする
		3	1.3	新しい情報を伝える時の文中のストレス（発音）を学ぶ 自己紹介、他己紹介の表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介と他己紹介に関する会話を練習する
		4	1.4	段落を意識したメールの読み方、書き方を学ぶ	4	1.4	誰かと知り合いになるためのメールを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「良いリーダーになるために必要なこと」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 持ち物	自分の持ち物について述べることができる。 ネット広告を読む、また書くことができる。	5	2.1	持ち物や持ち物に関連する表現を学ぶ [ever/never/for/since]を用いた現在完了形を学ぶ	6	2.1	現在進行形を使って持ち物について話す
		6	2.2	スマホやPCの機能に関する表現を学ぶ [already/yet]を用いた現在完了形を学ぶ	7	2.2	現在完了形を使って持ち物や その機能などについて話す
		7	2.3	語頭の/t/の発音を学ぶ 話題を変える際の表現を学ぶ 簡単な聞き返し（興味を示す）の表現を学ぶ	8	2.3	聞き返しの表現や話題を変える際の表現を使って ディスカッションをする
		8	2.4	ネット広告の読み方、書き方を学ぶ 代名詞としてのoneの使い方を学ぶ	9	2.4	欲しいものについての広告を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「出かける時の持ち物について」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 街の場所/道順	助動詞を用いて、自分の町について話すことができる。 ビル内の道順を尋ねる、また教えることができる。 求職申し込みを読み、申込書を書くことができる。	9	3.1	街中の橋や建物などの特徴に関する単語を学ぶ 冠詞について学ぶ	11	3.1	冠詞に注意しながら、自分の町について 尋ねる、また質問に答える練習をする
		10	3.2	公共交通機関に関する単語を学ぶ 助動詞［would/could/should］を使った提案の表現を学ぶ	12	3.2	［would/could/should］を使って、 他の場所への生き方について話す
		11	3.3	語頭の子音連結（発音）を学ぶ 道順を尋ねる、また教える際の表現を学ぶ 理解を示すための繰り返し（言い直し）の表現を学ぶ	13	3.3	建物内の道案内の場面での会話を練習する
		12	3.4	求人広告を読み、志望動機の書き方を学ぶ 大文字やピリオドなど、基本的なルールを学ぶ	14	3.4	求人に対して志望動機を書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 計画を立てる	個人的な意見を述べ、計画を立てることができる。 安心させる、またそれに答えることができる。 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、また書くことができる。	16	4.1	意見や反応を示す単語を学習する [be going to/will]を使った未来についての表現を学ぶ	16	4.1	［be going to/will］を使って、週末の予定について話す
		17	4.2	計画を立てる際の表現を学習する [will]をを用いた突然の決定、予定に関する表現を学ぶ	17	4.2	［be going to/will］を使って、旅行の計画について話す
		18	4.3	語頭の/p/の発音を学ぶ 安心させる言葉、またその反応を学ぶ [at least]を用いた表現を学ぶ	18	4.3	心配や不安になる状況での会話を練習する
		19	4.4	イベントの内容、スケジュールについての英文メールの読み方、書き方を学ぶ 順序に関する表現を学ぶ	19	4.4	イベント内容やスケジュールについての情報を伝えるメールを書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「さまざまな人に異なるアクティビティをアサインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 ストーリーを話す	驚いたできごと（ものを失くす、見つける、助ける、助けを求める）について話すことができる。 簡単な物語を読む、また書くことができる。	20	5.1	ものを失くす、見つける際の表現を学ぶ 単純過去形の使い方を学ぶ	21	5.1	単純過去形を使って、失くしたものや、見つけたものについて話す
		21	5.2	助けを求める、助ける際の表現を学ぶ 単純過去形と過去進行形について学ぶ、復習する	22	5.2	単純過去形、過去進行形を使って、 助けが必要になる場面での会話を練習する
		22	5.3	驚きを表す際の発音（ストレス）を学ぶ 驚いたことを示す、リアクションに関する表現を学ぶ	23	5.3	驚いたできごとについて話す
		23	5.4	短い物語を読み理解し、書き方を学ぶ	24	5.4	短い物語を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「おもしろい、驚くストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 問題と解決	都会の問題と解決策について話すことができる。 様々な状況での心配、また安心を表現することができる。 価値観についてのネット投稿を読む、また書くことができる。	24	6.1	都会の問題に関する表現を学ぶ 数量詞について学ぶ	26	6.1	数量詞を使って、都会の問題について話す
		25	6.2	マナーに関する副詞を学ぶ [If/When]を用いた現在・未来の条件節を学ぶ	27	6.2	現在・未来の条件節を使って、問題と解決策について話す
		26	6.3	語末のyの発音を学ぶ 様々な状況での心配、また安心を示す際の表現を学ぶ [though]を使った反対意見の述べ方を学ぶ	28	6.3	[though]を使って反対意見を述べる練習をする 心配や安心を表す表現を使った会話を練習する
		27	6.4	価値観についてのネット投稿を読み、書き方を学ぶ ライティングにおける質問文の書き方を学ぶ	29	6.4	価値観についてのネット投稿に対し、自分のコメント（考え）を書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容 （対面）
Unit 7 エンターテイメント	音楽、TV番組、映画について話すことができる。 誘いを断る、またそれに答えることができる。 映画のレビューを読む、また書くことができる。	1	7.1	音楽の種類に関する単語を学ぶ [used to]を用いた過去の習慣に関する表現を学ぶ	1	7.1	[used to]を使って音楽についての好みの変化について話す
		2	7.2	TV番組や映画に関連する表現を学ぶ [(not) as…as]を用いた比較の表現を学ぶ	2	7.2	比較の表現を使って、TV番組や映画について話す
		3	7.3	[I'm]の/m/の発音を学ぶ 誘いを断る、またそれに答える表現を学ぶ [kind of]を用いた、言い方を和らげる表現を学ぶ	3	7.3	誘いを断る必要がある場面での会話を練習する
		4	7.4	映画のレビューを読み、書き方を学ぶ 映画に関する意見を述べる表現を学ぶ	4	7.4	映画のレビューを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「メディアやエンターテイメントにおける好みの違い」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 最近の出来事	最近していること、他人のニュースについて話すことができる。 タイムマネジメントについての投稿を読む、また書くことができる。	5	8.1	経験を表す単語を学ぶ 現在完了進行形について学ぶ	6	8.1	現在完了進行形を使って、最近していることについて話す
		6	8.2	進捗を表す表現を学ぶ 現在完了形と現在完了進行形について学ぶ	7	8.2	現在完了形や現在完了進行形を使って、 物事の進捗について話す
		7	8.3	/ɑ/,/æ/の発音を学ぶ 久しぶりにあった際の挨拶、近況を尋ねる表現を学ぶ [that would be]を用いた自分の意見（コメント）の述べ方を学ぶ	8	8.3	他人のニュースについて、自分の意見を離す
		8	8.4	タイムマネジメントについての投稿を読む 物事が起こった際の時間を表す表現を学ぶ	9	8.4	タイムマネジメントについての投稿を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「時間を有効に使う方法」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 学校と仕事	学校や職場でのルール、勉強方法について話すことができる。 自信の有無について表現できる。 履歴書を読み要点を理解し、またおおまかな履歴書を書くことができる。	9	9.1	大学での科目に関する表現を学ぶ 助詞［have to, need to, must］を学ぶ	11	9.1	助詞［have to, need to, must］を使って、大学や学校で学ぶ科目について話す
		10	9.2	雇用、仕事に関する表現を学ぶ 助詞［can't, must not］を使った許可・禁止の表現を学ぶ	12	9.2	助詞［can't, must not］を使って、在宅勤務・自宅学習のルールんいついてディスカッションをする
		11	9.3	文中の区切り（発音）を学ぶ 自信の有無を表す表現を学ぶ [the thing is]を用いた理由を述べる表現を学ぶ	13	9.3	心配していること（自身がないこと）、自身があることについて話す
		12	9.4	履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ	14	9.4	自分の履歴書について、要点を書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分に合った完璧な仕事をデザインする」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 商品と選択	商品の詳細について、商品を選ぶ理由について説明することができる。 他人が選んだものについて質問する、商品に関するレビューを読む、また書くことができる。	16	10.1	材質に関する単語を学ぶ 単純現在形の受動態について学ぶ	16	10.1	商品の素材や材料について話す
		17	10.2	商品や輸送に関する単語を学ぶ 単純過去形の受動態について学ぶ	17	10.2	商品の生産地について話す
		18	10.3	/u/,/ʊ/,/aʊ/の発音を学ぶ 他人の選択に関して質問する際の表現を学ぶ [Now that I think..]などを用いた考えを変える際の表現を学ぶ	18	10.3	買いたいものについて話す、理由を尋ねる練習をする
		19	10.4	商品に関するレビューの読み方、書き方を学ぶ [However/Although]を用いた逆説の表現を学ぶ	19	10.4	商品に関するレビューを書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「商品のCMを作成する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 成功の秘訣	想像上のチャレンジについて、また成功の秘訣について話すことができる。 意見を述べ、賛成を求めることができる。 自分を奮い立たせる方法についてのネット記事を読み、それに関するストーリーを書くことができる。	20	11.1	句動詞［work out, set up, など］の表現を学ぶ	21	11.1	句動詞［work out, set up, など］を使って、成功の秘訣について話す
		21	11.2	機会や危険に関する単語を学ぶ 現在・未来の条件節について学ぶ	22	11.2	現在・未来の条件文を使って、想像上のチャレンジについて話す
		22	11.3	/ʃ/,/ʤ/の発音を学ぶ 了承を得る、了承を求める際の表現を学ぶ 言葉を和らげる表現[I guess/I feel like]を学ぶ	23	11.3	意見を述べる、了承を求める練習をする
		23	11.4	自身の身に起きた出来事についての書き方を学ぶ ［On the one hand, … and on the other hand,］を用いた比較の表現を学ぶ	24	11.4	自身の身に起きた出来事について書く。
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「憧れの人について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 事故と感情	事故について、またその時の気持ちを表現できる。 人生の教訓についての逸話を読む、また書くことができる。	24	12.1	事故に関する表現を学ぶ 不定代名詞について学ぶ	26	12.1	事故について話す
		25	12.2	過激なことに関連する表現を学ぶ 直接話法と間接話法について学ぶ	27	12.2	体験した極端な出来事について話す
		26	12.3	語末のedの発音を学ぶ 自分の感情を述べる、相手の感情を尋ねる表現を学ぶ ［in the end" / "after all that"］の使い方を学ぶ	28	12.3	ある出来事に関する、自身の感情、気持ちを話す
		27	12.4	人生の教訓についての逸話を読み、書く方法を学ぶ 同じ意味をもつことばやフレーズの異なる表現方法を学ぶ	29	12.4	教訓となった出来事と学んだことについて書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルB+に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 成果、業績	個人の業績について話す、また人を紹介された時の受け答えができる。 ブロック投稿についてのコメントを読む、また書くことができる。	1	1.1	業績に関する表現を学ぶ 「単純時制」「進行時制」を学ぶ、復習する	1	1.1	単純時制や進行時制を使って、 個人の業績について話す
		2	1.2	資質などを表す表現について、 形容詞・名詞での表現を学ぶ 動作動詞・状態動詞の違いを学ぶ	2	1.2	雇用者が求める人材について話す、 個人や他人の業績を説明する
		3	1.3	yの発音を学ぶ 人を紹介する時の表現、また人を紹介された時の受け答えの表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介、他己紹介をする場面での会話を練習する
		4	1.4	賛成・反対・より多くの情報を求める際の表現を学ぶ	4	1.4	ブログの投稿を読む、投稿にコメントを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「面接のロールプレイ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 流行の食べ物	食べ物の流行について、また料理の準備（調理）について話すことができる。 社交の場で申し出をする、またそれを受けることができる。 調査についての結果を読む、また報告書を書くことができる。	5	2.1	流行に関する表現を学ぶ 条件節（If節）について学ぶ	6	2.1	流行に関する表現を使って、 トレンドについて話す
		6	2.2	食材や調理法についての表現を学ぶ 接続詞（after,until,whenなど）を用いた表現を学ぶ	7	2.2	接続詞を使って、料理の手順について話す
		7	2.3	/al/,/i/,/el/の発音を学ぶ 提案をする、また提案を受ける・断る際の表現を学ぶ 提案を相手が受け入れた際の受領の表現を学ぶ	8	2.3	提案をする際の表現を使って、 社交の場や料理を注文する場面での会話を練習する
		8	2.4	消失する/t/の発音について学ぶ 調査報告に用いられる表現を学ぶ	9	2.4	調査についての結果を読む、また報告書を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「レストランの改善策を計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 お金と時間	時間とお金の相対的な重要性について話すことができる。 謝罪をする、また謝罪を受けることができる。 商品のレビューを読む、また書くことができる。	9	3.1	時間とお金に関連する表現を学ぶ [too, enough] について学ぶ	11	3.1	[too/enough]を使い、物事の「程度」について話す 時間とお金の相対的な重要性について話す
		10	3.2	価格と価値に関連する表現を学ぶ 形容詞の比較級について学ぶ、復習する	12	3.2	比較級の表現を使って、物事の価値や 価値を判断する基準について話す
		11	3.3	/s/で始まる語の発音を学ぶ 謝罪をする、謝罪を受ける際の表現を学ぶ	13	3.3	謝罪が必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	商品レビューに関するポジティブ、ネガティブな表現を学ぶ	14	3.4	商品のレビューを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「批判的な商品レビューへの対応についてディスカッション」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 広告と注目されるストーリー	ネット等で注目されているストーリーについて話すことができる。 意見を交換し、ディスカッションができる。 ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、また書くことができる。	16	4.1	広告に関する表現を学ぶ [might, must, can't]（推測）の使い方を学ぶ	16	4.1	推測の表現を用いて、 絵や写真の描写をする
		17	4.2	メディア関連の人を表す表現を学ぶ 関係代名詞の主格、目的格について学ぶ	17	4.2	関係代名詞を使って、 ネット等で注目されている人、ストーリーについて話す
		18	4.3	/ɔ/,/ɑ/の発音について学ぶ 意見交換・ディスカッションする際の表現を学ぶ allを用いた強調表現を学ぶ	18	4.3	[all]を使い、強調したい内容を述べる練習をする 意見を交換し、ディスカッションをする
		19	4.4	[because,so]を用いて理由や結果を述べる表現を学ぶ	19	4.4	ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告をデザインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 本当の出来事	様々な種類のストーリーについて話すことができる。 過去の計画について、またその変更について話すことができる。 会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、謝罪の手紙を書くことができる。	20	5.1	ストーリーの種類を表す表現を学ぶ [had/would]（過去完了形）の使い方を学ぶ	21	5.1	過去完了を使って、 様々な種類のストーリーについて話す
		21	5.2	計画を立てる・破る際の表現を学ぶ [was/were going to, was/were supposed to]の使い方を学ぶ	22	5.2	[was/were going to, was/were supposed to]を使って、計画の変更について話す
		22	5.3	語末の子音の発音について学ぶ 問題への対応、解決策の提示・受領の表現を学ぶ 失望を表す表現を学ぶ	23	5.3	失望を表す表現を使って、 残念なニュースへのリアクションをする
		23	5.4	謝罪の気持ちを表す様々な表現を学ぶ	24	5.4	会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、 謝罪の手紙を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「偶然の出会いについてのストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 コミュニティ活動	チャリティやボランティア活動について話すことができる。 助けを求める、また断ることができる。 コミュニティ計画についてのレポートを読む、また書くことができる。	24	6.1	善い行いに関する表現を学ぶ 「受動態（現在形、過去形）」を学ぶ、復習する	26	6.1	チャリティやボランティア活動について話す
		25	6.2	良い行いを表す動詞・名詞・形容詞の形を学ぶ 「受動態助詞][must, might, can, will]の使い方を学ぶ	27	6.2	近所の人の親切な行為について話す
		26	6.3	/b/,/v/の発音について学ぶ 助けを求める、また断る際の表現を学ぶ	28	6.3	様々な助けが必要な場面での会話を練習する
		27	6.4	語中の/j/の発音について学ぶ レポートの中での意見を述べる表現を学ぶ	29	6.4	コミュニティ計画についてのレポートを読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 コミュニケーション	話す・書くコミュニケーションについてディスカッションをする。 会話やニュース、記事について詳しく話すことができる。 フォーマル/インフォーマルな手紙を読む、また書くことができる。	1	7.1	コミュニケーションに関する表現を学ぶ 「間接話法」について学ぶ	1	7.1	メッセージアプリの重要性について話す
		2	7.2	オンラインでのコミュニケーションに関する表現を学ぶ 疑問文の間接話法について学ぶ	2	7.2	話す・書くコミュニケーションについて ディスカッションをする
		3	7.3	語末の/s/,/z/の発音を学ぶ 話（ストーリー）を語る際の表現を学ぶ	3	7.3	会話やニュース、記事について詳しく話す
		4	7.4	Eメール中でのフォーマル／インフォーマルな表現を学ぶ	4	7.4	フォーマル／インフォーマルなEメールを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニケーションに関する調査」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ライフスタイル	異なるワークライフについて話すことができる。 最終決定までの選択肢について話すことができる。 ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書くことができる。	5	8.1	様々な仕事を表す表現を学ぶ 仮定法（現在）について学ぶ	6	8.1	仮定法の表現を使って、 異なるライフスタイルについて話す
		6	8.2	ワーク・ライフバランスに関する表現を学ぶ I wish（仮定法）について学ぶ	7	8.2	I wishを用いて願望や後悔について話す
		7	8.3	母音/3/,/u/の発音を学ぶ 選択を迫られた時の表現、その際の提案や警告に関する表現を学ぶ	8	8.3	様々な選択肢がある状況での会話を練習する
		8	8.4	文中の強調表現（発音）について学ぶ 他人の文言や意見を参照する際の表現を学ぶ	9	8.4	ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「デジタル・デトックスの計画を立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 ルールと制限	ルールと制限について話すことができる。 一般的な基準を定めることができる。 ビジネスにおける批判を読む、また書くことができる。	9	9.1	様々な場所を表す表現を学ぶ 禁止・許可・義務（現在）を表す表現を学ぶ	11	9.1	禁止・許可などの表現を使って、 日常のルールや制限について話す
		10	9.2	ルールに関する表現を学ぶ 禁止・許可・義務（過去）を表す表現を学ぶ	12	9.2	禁止・許可などの表現を使って、 過去にあったルールや制限について話す
		11	9.3	語頭の/d/の発音を学ぶ 一般的な基準を定める際に使う表現を学ぶ	13	9.3	社会ルール／文化の比較についてディスカッションをする
		12	9.4	批判を読む・書く際の表現を学ぶ 態度を示す副詞について学ぶ	14	9.4	ビジネスにおける批判を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の改善点について」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 発見と発明	過去の出来事について思索することができる。 代用品と可能性について話すことができる。 なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、また書くことができる。	16	10.1	発見や研究に関する表現を学ぶ 仮定法（過去）について学ぶ	16	10.1	過去の出来事について思索し、話す
		17	10.2	正しいこと／間違っていることに関する表現を学ぶ [should have, could have, might have]を用いた過去の可能性の表現を学ぶ	17	10.2	可能性の表現を用いて、代用品と可能性について話す
		18	10.3	母音の発音（長短）について学ぶ 相手の関心を惹く際、関心を示す際の表現を学ぶ	18	10.3	話し相手の関心を維持しながらディスカッションをする
		19	10.4	文中での強弱（発音）を学ぶ 同様のもの、対照的なものを表す表現を学ぶ	19	10.4	なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 対照的なもの	科学的な事実について話すことができる。 代わりになるものについてディスカッションし、提案をすることができる。 テクノロジーの進化についての意見を読み、反応を書くことができる。	20	11.1	大学教育に関する表現を学ぶ [forget, remember, stop]の後のto不定詞、動名詞について学ぶ	21	11.1	to不定詞、動名詞の表現を使って、 大学の生活について話す
		21	11.2	科学に関する表現を学ぶ 使役動詞[help, let, make]の使い方を学ぶ	22	11.2	科学的な事実についてディスカッションをする
		22	11.3	音節のストレス（発音）について学ぶ 代替品を勧める、他の選択肢について尋ねる、デメリットについて述べる際の表現を学ぶ	23	11.3	代わりになるものについてディスカッションをする
		23	11.4	議論を始める・追加する、結論を述べる際の表現を学ぶ	24	11.4	議論を含むコメントを読む、書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「問題解決についての提案」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 過去を振り返る	特別な写真について、またその背景のストーリーを述べることができる。 過去の経験を振返り、共有することができる。 ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、また書くことができる。	24	12.1	知覚（においや音、触感など）に関する表現を学ぶ 強調表現を学ぶ	26	12.1	特別な写真について、またその背景のストーリーについて話す
		25	12.2	記憶、想い出に関する表現を学ぶ [one]（代入）、[it/this]（参照）の使い方を学ぶ	27	12.2	子どもの頃の思い出について話す
		26	12.3	子音連結（発音）について学ぶ 返答を促す、記憶を思い起こす際の表現を学ぶ	28	12.3	過去の経験を振返り、話す
		27	12.4	文と文の連結する際の表現の発音（ストレス）を学ぶ メリット、デメリットを述べる際の表現を学ぶ	29	12.4	ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルAに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 1 一歩前進する	変化への対応方法についや現在・過去の習慣について話すことができる。 問題についてディスカッションをし、強く賛成することができる。 意見についてのエッセイを読む、また書くことができる。	1	1.1	困難に直面した時の表現方法を学ぶ 現在の習慣についての表現を学ぶ	1	1.1	困難なことの対処方法について話す
		2	1.2	困ったことを表す表現を学ぶ 過去にあった習慣、困難なことについての表現を学ぶ	2	1.2	過去にあった困難なことについて話す
		3	1.3	強調表現、/tʃ/の発音を学ぶ 様々なコミュニケーションの種類について学ぶ 問題についてディスカッションをする、また強く賛成する際の表現を学ぶ	3	1.3	過去と現在にあったものを比較し、ディスカッションをする
		4	1.4	エッセイの組み立て方を学ぶ	4	1.4	意見を述べるエッセイを読む、書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の懐かしい思い出」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 自然の限界	発見と研究について、異なる環境下での生活について話すことができる。 重要な情報を交換することができる。 自然の中での暮らしについてのインタビュー記事を読むことができる。 場所に関する説明文を書くことができる。	5	2.1	宇宙、海洋探査に関する表現を学ぶ 比較を用いた表現を学ぶ	6	2.1	比較を用いた表現を使って、 探究や研究について話す
		6	2.2	自然界に関する単語を学ぶ 最上級を用いた表現を学ぶ	7	2.2	最上級を用いた表現を使って、 異なる環境下での生物について話す
		7	2.3	アクセントの強弱、リズムについて学ぶ /w/,/v/の発音を学ぶ 情報を求める、また提供する際の表現を学ぶ	8	2.3	重要な情報の交換、自由時間の行動についてアドバイスする
		8	2.4	数に関する表現を学ぶ 遠く離れた場所での生活についての記事を読む	9	2.4	場所についての説明文を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「アウトドア計画を立てる」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 私のあり方	性格のタイプについて、好き・嫌いについて話すことができる。 リクエストをする、また答えることができる。 採用に関する投稿を読む、志望動機を書くことができる。	9	3.1	性格のタイプに関する表現を学ぶ 関係詞を使った表現を学ぶ	11	3.1	様々な性格のタイプについて話す
		10	3.2	強い感情を表す単語を学ぶ 現在分詞を用いた表現を学ぶ	12	3.2	現在分詞を使って、 好きなもの・嫌いなものについて話す
		11	3.3	語末の/t/の発音を学ぶ 礼儀正しいイントネーション（発音）を学ぶ リクエストをする、また答える際の表現を学ぶ	13	3.3	リクエストや助けが必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	動物園の求人広告を読む パーソナルステイトメントの書き方を学ぶ	14	3.4	パーソナルステイトメントを書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「就職面接」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 協力	サポートチームについて話すことができる。 有利な点、不利な点についてディスカッションをすることができる。 サマリーを読む、また書くことができる。	16	4.1	仕事上の関係に関する表現を学ぶ [so..that][such..that][even][only]を用いた表現を学ぶ	16	4.1	生活の中でのサポートチームについて話す
		17	4.2	アイディアの評価に関連する表現を学ぶ 再帰代名詞[self][selves]、[other][another]を用いた代名詞について学ぶ	17	4.2	再帰代名詞を使って、 何かを決定するために必要な評価について話す
		18	4.3	子音-母音のリンキング（発音）について学ぶ 2語（フレーズ）でのストレス（発音）について学ぶ 有利な点、不利な点について話す	18	4.3	有利な点／不利な点などの観点から ジョブシェアリングについて話す
		19	4.4	チームワークについての記事を読む サマリーの書き方を学ぶ	19	4.4	記事のサマリーを書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「資金調達のためのイベントを計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 ヒューマンファクター	新しい技術が人に与える影響、また未来のコミュニケーションについて話すことができる。 案を検討する、比較することができる。 オンライン記事を読む、また例と共に記事を書くことができる。	20	5.1	感情のコントロールに関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	21	5.1	仮定法の表現を使って、 新しい技術が人に与える影響について話す
		21	5.2	やりたい事、気が進まない事に関する表現を学ぶ 「if」以外の仮定法の表現を学ぶ	22	5.2	未来のコミュニケーションについてディスカッションをする
		22	5.3	/I/,/e/,/æ/の発音について学ぶ 文中でのストレス（発音）を学ぶ 確かなもの、不確かなものを述べる際の表現を学ぶ	23	5.3	ビデオゲームについてディスカッションをする 確かなもの・不確かなものについて話す
		23	5.4	翻訳アプリに関する記事を読む 自分の意見をサポートする例を述べる表現を学ぶ	24	5.4	オンライン記事に対するコメントを、例を交えて書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニティ改善計画」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 予期できないものを予期する	予期できない状況について話すことができる。 憶測を立てることができる。 興味深いストーリーを読む、また書くことが出来る。	26	6.1	名声に関する表現を学ぶ 過去形・過去進行形・過去完了形・過去完了進行形を用いた表現を学ぶ	24	6.1	時制を用いた表現を使って、 予期せぬ名声について話す
		27	6.2	「主張する」などの伝達動詞の表現を学ぶ [can]などの助動詞を用いた間接話法を学ぶ	25	6.2	間接話法を使って、 予期できない状況について話す
		28	6.3	複合動詞の発音について学ぶ 母音の長短（発音）について学ぶ 憶測を立てる、また他人の憶測に反応する際の表現を学ぶ	26	6.3	予期せぬ状況の中での会話を練習する
		29	6.4	恥ずかしい失敗についての投稿を読む 長文や短文を用いた面白いストーリーの書き方を学ぶ	27	6.4	面白いストーリーを書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 7 優先順位	価値のある経験について、また買い物について話すことができる。 賛成と反対についてのエッセイを読む、書くことができる。	1	7.1	ポジティブな経験に関する表現を学ぶ 形容詞や名詞の後の不動名詞、不定詞表現を学ぶ	1	7.1	価値のある経験について話す
		2	7.2	買い物、購入に関する表現を学ぶ 動詞のあとの不定詞表現（目的語あり、なし）を学ぶ	2	7.2	自分が買ったものについて話す
		3	7.3	母音のリンキング（発音）について学ぶ /ŋ/の発音について学ぶ 価格を交渉する際の表現を学ぶ	3	7.3	バーゲン時（価格を交渉する場面）の会話を練習する
		4	7.4	価値のある経験についてのエッセイを読む エッセイを書く上での表現、パラグラフの組立を学ぶ	4	7.4	賛成と反対についてのエッセイを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ボート旅行の交渉をする」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ささいな問題	サイドプロジェクトについて話すことができる。 他人のアイディアに対し反応することができる。 クレームの手紙を読む、また書くことができる。	6	8.1	整頓しているもの、また乱雑なものについての表現を学ぶ [be…to＋動詞]を用いた、義務等を表す文法表現を学ぶ	5	8.1	整頓しているもの、乱雑なものについて話す
		7	8.2	進捗に関する表現を学ぶ 未来形の表現を学ぶ	6	8.2	未来形の表現を使って、 サイドプロジェクトについて話す
		8	8.3	強調（発音）について学ぶ 何かを対比する際のストレス（発音）を学ぶ 他人のアイディアに対して意見を述べる際の表現を学ぶ	7	8.3	イベントを計画しながら、他人のアイディアに意見を述べる練習をする
		9	8.4	効果的なクレームを伝える方法についての文章を読む クレームを伝える際の表現、クレームに関するレターの構成を学ぶ	8	8.4	会社や店に対してクレームのレターを書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ストレスを減らす方法」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 物事が起こる	人生を違うものにすること、失敗について話すことができる。 人を安心させることができる。 アドバイスについて書かれた記事を読む、書くことができる。	11	9.1	運や選択に関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	9	9.1	仮定法を用いた表現を使って、 人生における変化について話す
		12	9.2	失敗や間違いに関連する表現を学ぶ [I wish]などを用いた願望、後悔に関する表現を学ぶ	10	9.2	過去の失敗について話す
		13	9.3	文中の区切り（発音）を学ぶ 条件節でのイントネーションを学ぶ	11	9.3	人が抱える問題について、安心させる表現を述べる練習をする
		14	9.4	初めて会う人とのスモールトークについての記事を読む アドバイスを与える記事の書き方（必要な要素、構成）を学ぶ	12	9.4	自分が良く知る事柄について、アドバイスについての記事を書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテ-ション 「クラス同窓会」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 人物、プロフィール	人々の性格について、習慣について話すことができる。 印象について述べることができる。 公的なプロフィールを読む、また書くことができる。	16	10.1	人々の性格の特徴についての表現を学ぶ 「前置詞＋動名詞」の表現を学ぶ	16	10.1	自分と友人の性格の違いについて話す
		17	10.2	顧客リサーチにに関する表現を学ぶ 使役動詞を用いた表現を学ぶ	17	10.2	顧客が求めているもの、提供できるものについて話す
		18	10.3	直接引用（“”）での発音を学ぶ /ei/,/ai/,/ɔi/の発音を学ぶ 自身の印象について述べる際の表現を学ぶ	18	10.3	会話の中で自分の印象を述べる練習をする
		19	10.4	公的なプロフィールを読む 公的なプロフィールを書く際のフォーマルな表現を学ぶ	19	10.4	フォーマルな表現を用いて、公的なプロフィールを書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「会社のウェブサイトの改善方法を検討する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 本当に？	偽の商品、また誤情報について話すことができる。 信じている事、信じていない事を表現することができる。 説得力のあるエッセイを読む、書くことができる。	21	11.1	一般消費者が買う商品に関連する表現を学ぶ 受身表現を学ぶ	20	11.1	商品を表す表現（形容詞）を使って、 偽の商品について話す
		22	11.2	真実の度合いを表す表現を学ぶ [should]など義務を表す助動詞＋受身の表現方法を学ぶ	21	11.2	誤情報について話す
		23	11.3	感嘆符、命令表現でのイントネーションを学ぶ /ou/,/au/の発音を学ぶ 信じていること、信じていないことについて表現を学ぶ	22	11.3	信じていること、信じていないことについてディスカッションをする
		24	11.4	偽の商品レビューの見分け方についての記事を読む 説得力のある文章を書く際の表現や構成を学ぶ	23	11.4	説得力のある文章を書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「解決策をシェアする」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 必要な資質	才能について、目標について話すことができる。 パフォーマンスに対するレビューを読む、また書くことができる。	26	12.1	スキルやパフォーマンスに関する表現を学ぶ 「副詞＋形容詞、副詞」の表現を学ぶ	24	12.1	才能について話す
		27	12.2	感情的に影響を与える際の表現を学ぶ 不可算名詞に関する表現を学ぶ	25	12.2	人生を豊かにする方法についてディスカッションをする
		28	12.3	/d/→/b/など、変化する発音について学ぶ 音節のストレス（発音）を学ぶ 野望を表す表現を学ぶ	26	12.3	自分の目標について話す
		29	12.4	コンサートの裏側担当（技術者）による個人的なストーリーを読む パフォーマンスのレビューを書く際のフォーマル、インフォーマルな表現を学ぶ	27	12.4	パフォーマンスのレビューを書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、全コース振り返り			

科目名（英）	フード＆ビバレッジⅠ Food＆Beverage Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	濵中　健一
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	月曜日4時限

【授業の学習内容】
フードからドリンクまで食の分野に関する基礎知識を学びます

※教務実務経歴：1994年～2011年まで現場でパティシエとして勤務、ホテルのシェフパティシエや商品開発も行う　資格：技能検定1級、職業訓練指導員他

【到達目標】
業界で働くにあたって必要な食に関する基礎知識を取得出来る

＜具体的な目標＞
食べ物の味覚の違いや季節間、コース料理の流れや簡単なマナーを身に付けることが出来る

授業計画・内容	
第1回	2023/4/10　味覚についての基礎知識
第2回	2023/4/17　色々な食べ物を知る（実験）
第3回	2023/4/23料理の種類（世界、日本）
第4回	2023/5/8　色々な料理の流れを知る
第5回	2023/5/15 ドリンク実習（上園先生）
第6回	2023/5/22ドリンク実習（上園先生）
第7回	2023/5/29調理（白川先生）料理についての基礎知識
第8回	2023/6/5調理（白川先生）料理についての基礎知識
第9回	2023/6/12　デザートについて
第10回	2023/6/19チョコレート　コンフィズリー
第11回	2023/6/26焼き菓子
第12回	2023/7/3調理（白川先生）料理についての基礎知識
第13回	2023/7/10コース料理
第14回	2023/8/21コース料理
第15回	2023/8/28テスト
準備学習　時間外学習	
評価方法	●出席点(25%) ●筆記試験(75%)　授業内で習った内容の確認
受講生へのメッセージ	お客様に喜んでもらうためにはまずは自分が食の楽しさを知ることが大事です。 色々なことに興味を持って取り組みましょう

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	アマデウスシステム Airline resavation system	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	平島　可奈子
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日1時限
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

即戦力となるアマデウスの初級検定合格に向けて授業を実施します。

※実務経験：日本航空のグランドスタッフとして国内線・国際線業務を担当した後、アマデウス認定インストラクターの資格取得。

【到達目標】

実学教育の一環として、実施にエアライン業界で使用されているシステムでの訓練を行い後期のアマデウス検定に向けて基礎的な知識をつけることができる。エアライン業界で使用される特徴的な言い回しや専門用語に慣れることができる。

授業計画・内容	
第1回	アイスブレイク/検定や中間期末テストについての説明/GDSとは・アマデウスとはを理解できるようになる 3レター・業界用語(基礎)について理解できるようになる/月の入力方法・ヘボン式ローマ字入力ができるようになる
第2回	コード検索・都市コード・空港コード(DAN、DAC)とその見方について理解できるようになる 国コード(DC)・州コード(DNS)・機材(DNE)・航空会社コード(DNA)検索とその見方について理解できるようになる
第3回	空席照会(基本)とその見方について理解できるようになる 空席照会オプションを使えるようになる/中間テストに向けて復習
第4回	中間テストに向けて復習 中間テスト
第5回	中間テストフィードバック 空席照会後のショートカットエントリを使えるようになる/フライト予約(1区間のみ)、1区間ずつ複数のフライト予約ができるようになる/IGについて理解で
第6回	ロングセルエントリにてフライト予約できるようになる/乗り継ぎがあるフライトの予約ができるようになる(not往復) 乗り継ぎがあるフライトをクラス違いで予約できるようになる
第7回	アクセスレベルについて理解できるようになる/ダイレクトアクセスができるようになる タイムテーブルとその見方について理解できるようになる
第8回	期末テストに向けて前期の復習 期末テスト
第9回	基本PNR作成できるようになる(OWのみ) 2区間空席照会と2区間空席照会からのフライト予約ができるようになる
第10回	PNR完了後のステータスを理解できるようになる・CNL待ちのPNRの作成ができるようになる CH、INFを含むPNRの作成ができるようになる・PNR項目の修正ができるようになる(XE)
第11回	ARNK入力ができるようになる、PNR項目の一括削除(XI)、FLTの予約変更ができるようになる(SB) 中間テスト
第12回	SSR(MEAL、モバイル、E-MAIL)の入力ができるようになる FFP、SEAT RQSTが入力できるようになる
第13回	復習①(検定過去問)筆記にて 復習②(検定過去問)オンラインにて
第14回	復習③(検定過去問)オンラインにて 期末テスト
第15回	期末テストフィードバック、検定に向けて アマデウス検定日
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト(50点)、期末テスト(50点)の合計点
受講生へのメッセージ	航空業界で使用する予約システムの授業です。専門知識で聞きなれない言葉も多くでできますので、初めは難しいと感じることもあると思います。ですがアマデウスの基礎知識を付け、さらに検定取得もできれば、即戦力として業界へのアピールポイントになります！！航空業界の実際の業務を理解しながら、検定に向けて頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

AMADEUSユーザーガイド 予約

科目名（英）	航空知識Ⅰ Study of Airlines Industory Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	平島　可奈子
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

即戦力となるアマデウスの初級検定合格に向けて授業を実施します。

※実務経験：日本航空のグランドスタッフとして国内線・国際線業務を担当した後、アマデウス認定インストラクターの資格取得。

【到達目標】

実学教育の一環として、実施にエアライン業界で使用されているシステムでの訓練を行い後期のアマデウス検定に向けて基礎的な知識をつけることができる。エアライン業界で使用される特徴的な言い回しや専門用語に慣れることができる。

授業計画・内容	
第1回	アイスブレイク/検定や中間期末テストについての説明/GDSとは・アマデウスとはを理解できるようになる 3レター・業界用語(基礎)について理解できるようになる/月の入力方法・ヘボン式ローマ字入力ができるようになる
第2回	コード検索・都市コード・空港コード(DAN、DAC)とその見方について理解できるようになる 国コード(DC)・州コード(DNS)・機材(DNE)・航空会社コード(DNA)検索とその見方について理解できるようになる
第3回	空席照会(基本)とその見方について理解できるようになる 空席照会オプションを使えるようになる/中間テストに向けて復習
第4回	中間テストに向けて復習 中間テスト
第5回	中間テストフィードバック 空席照会後のショートカットエントリを使えるようになる/フライト予約(1区間のみ)、1区間ずつ複数のフライト予約ができるようになる/IGについて理解で
第6回	ロングセルエントリにてフライト予約できるようになる/乗り継ぎがあるフライトの予約ができるようになる(not往復) 乗り継ぎがあるフライトをクラス違いで予約できるようになる
第7回	アクセスレベルについて理解できるようになる/ダイレクトアクセスができるようになる タイムテーブルとその見方について理解できるようになる
第8回	期末テストに向けて前期の復習 期末テスト
第9回	基本PNR作成できるようになる(OWのみ) 2区間空席照会と2区間空席照会からのフライト予約ができるようになる
第10回	PNR完了後のステータスを理解できるようになる・CNL待ちのPNRの作成ができるようになる CH、INFを含むPNRの作成ができるようになる・PNR項目の修正ができるようになる(XE)
第11回	ARNK入力ができるようになる、PNR項目の一括削除(XI)、FLTの予約変更ができるようになる(SB) 中間テスト
第12回	SSR(MEAL、モバイル、E-MAIL)の入力ができるようになる FFP、SEAT RQSTが入力できるようになる
第13回	復習①(検定過去問)筆記にて 復習②(検定過去問)オンラインにて
第14回	復習③(検定過去問)オンラインにて 期末テスト
第15回	期末テストフィードバック、検定に向けて アマデウス検定日
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト(50点)、期末テスト(50点)の合計点
受講生へのメッセージ	航空業界で使用する予約システムの授業です。専門知識で聞きなれない言葉も多くでできますので、初めは難しいと感じることもあると思います。ですがアマデウスの基礎知識を付け、さらに検定取得もできれば、即戦力として業界へのアピールポイントになります！！航空業界の実際の業務を理解しながら、検定に向けて頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

AMADEUSユーザーガイド 予約

科目名（英）	航空知識Ⅰ study of airlines industory Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

専任教員が経験した事例や体験談を伝える。航空業界で実際に使用されている用語や必要とされる専門的な知識を学ぶことが出来る。

※実務経験
航空業界でグランドスタッフ・客室乗務員として経験を積んだ。

【到達目標】

業界用語を学び暗記することが出来る。航空知識を身に付け就職活動に役立てることが出来るようになる。エアラインのことを知り興味をもって学ぶことが出来る。

授業計画・内容	
第1回	説明・アルファベットの読み方を理解できる。（空港コードの振り返りを行い暗記することが出来る）
第2回	ヘボン式ローマ字・MEAL・SPCLコード・日付の独特な表記のしかたを知ることが出来る。①
第3回	ヘボン式ローマ字・MEAL・SPCLコード・日付の独特な表記のしかたを知ることが出来る。②
第4回	CIQ見学
第5回	様々な航空運賃について知ることが出来る。
第6回	危険物と荷物に関して学ぶことが出来る。
第7回	危険物の種類分けが自分でできるようになる。（中間テスト）
第8回	飛行機と世界のエアラインについて知ることが出来る。
第9回	航空業界の歴史について学ぶことが出来る。1
第10回	航空業界の歴史について学ぶことが出来る。2
第11回	各アライアンスのマイレージについて知り、どの様に活用できるかを学ぶことが出来る。
第12回	JALの歴史について学ぶことが出来る。
第13回	CAの業務について学ぶことが出来る。
第14回	期末試験
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50%　期末試験50%
受講生への メッセージ	エアライン業界には皆さんがまだまだ知らないことがたくさんあります。プロからたくさんのことを学び今後に役立ててください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	フロントオペレーション Operation of Airline	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	平島　可奈子
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	水曜日3時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

地上勤務で必要な知識、社会人になるに向けて授業を実施します。
※企業様の都合等により日程が変更になることもあります

※実務経験
日本航空のグランドスタッフとして国内線・国際線業務を担当。

【到達目標】

・業界について楽しく学ぶ意識ができるようになる
・社会に出るに当たって不安を減少することができる
・自分を知ることができる
・自分のPRポイント、ウィークポイントを日々意識して生活できるようになる
・視野や考え方を広げられるようになる

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション(授業について理解することができる)、アイスブレイク(自己紹介を通し傾聴や伝え方の重要性を理解することができる)
第2回	GSの業務について知ることができる・印象や改善点を見つけ、自分ならではの方法を考えることができる
第3回	過去・現在・未来の自分について考え、知ることができる
第4回	AI化が進む現代の中、業界で生き抜くためのイメージを膨らませることができる
第5回	敬語について知り、正確に使えるようになる
第6回	タイムテーブルを正確に見ることができるようになる
第7回	中間報告(初回で設定した目標の進捗状況を把握することができる)
第8回	業界用語について知り、正確に使えるようになる
第9回	企業研究①FSCについて調べ、発表できるようにまとめることができる
第10回	企業研究②LCCについて調べ、発表できるようにまとめることができる
第11回	企業研究③プレゼンに向けて最終準備ができる
第12回	企業研究④FSC,LCCについてプレゼンができる
第13回	空港見学
第14回	空港見学
第15回	前期の報告(設定した目標の進捗状況を把握することができる)
準備学習 時間外学習	
評価方法	企業研究プレゼンテーション用パワーポイント提出
受講生へのメッセージ	社会人としてのマナーや業界について少しずつ知識を増やし、人前で堂々と発表できるようになりましょう！空港見学に出向く際も自信をもって行けるように日々意識して生活しましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

必要な際は都度お伝えします。

科目名（英）	フロントオペレーション Operation of Airline	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

「航空知識Ⅰ」等で学んだ航空関連の様々な分野の知識を活かしながら，実務スキルを実践的に学びます。
また演習を通してホスピタリティやチームワークの重要性，自己の特長等の様々な「気付き」を得て，業務へのやりがいと志望意欲を高めていきます。

※実務経験

【到達目標】

インターンシップで実際に見たグランドスタッフの動きの意味をロールプレイングを通じて，更に理解することができる。
また、様々なお客様や環境に対応できるような基本的な接客スキル（外国籍・お手伝いが必要な方・イレギュラー時など）を身に付けることができる。

授業計画・内容	
第1回	インターンシップを通して実務のポイントを学び，社会人として求められるマナーや美しい所作への意識を高め，習得することができる
第2回	● 手荷物の種類ごとの取扱いのポイント　配慮を要する手荷物と注意点
第3回	● ロビーやゲート付近での接客応対のポイント（ 傾聴と状況把握/ 言葉の選び方 / 車椅子・ベビーカーの取扱い方法 / イレギュラーの種類 ）
第4回	● 笑顔 / 挨拶 / 身だしなみ / 姿勢 / 歩き方 / 座り方 / 物の持ち方・下ろし方・受け渡し方 / 指し示し方
第5回	● 振る舞い / 言葉遣い / 敬語 / コミュニケーションスキル / 配り / 気配り / 心配り
第6回	CIQ見学を通して出入国に関する手続きと重要性を理解できる①
第7回	CIQ見学を通して出入国に関する手続きと重要性を理解できる②
第8回	インターンシップでの経験を振り返り，マナーや所作について実践的なレベルまでブラッシュアップすることができる
第9回	グランドスタッフの各種業務の実践スキルをブラッシュアップできる①　（ LS / BAG ）
第10回	グランドスタッフの各種業務の実践スキルをブラッシュアップできる②　（ CKI：BASIC ）
第11回	ANAウイングス(株)の見学に際して事前学習ができる
第12回	ANAウイングス(株)の見学を振り返り，航空会社や客室乗務職掌への理解を深めることができる
第13回	期末試験に向けて
第14回	グランドスタッフの各種業務の実践スキルをブラッシュアップできる③　（ CKI：BASIC＋α ）　/　期末試験
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	事前に配布された資料は一読して授業に臨みましょう。 また実践スキルは「習うより慣れよ」の通り，実践あるのみです。「自分のもの」にするために，日常生活の中で繰り返し練習しましょう。
評価方法	期末テスト 100%（筆記および実技試験）
受講生へのメッセージ	入学から半年間，自分で成長を実感できていますか。この授業では，これまで学んだことをブラッシュアップします。前半はインターンシップを通して「大いなる気付き」を得ましょう。現場でのみ得られることが多々あります。それらは今後の財産となります。貴重な機会を存分に活かしましょう。 後半は，航空業界の業務に必要不可欠なチームワークを意識しながら，各種業務をよりスムーズに実践できるようくり返しトレーニングします。またそれと併せて，品格のあるマナーの習得とコミュニケーションスキルの向上を目指します。「本物」の接客・接遇を習得した，内からも外からも輝く自分自身の姿を思い描いて，各回の授業に楽しく真剣に取り組みましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	旅行業法/約款Ⅰ Travel agency law / clause Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	佐藤　大幸
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日1時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ツアープランニングの基礎を学びます。また旅行会社で実践的に使えるテクニックも学びます。

※実務経験
第一観光 株式会社にて企画担当として16年勤務。

【到達目標】

自分で旅行企画ができる。また販売できるまでのクオリティーをもつ。

授業計画・内容	
第1回	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方を通して、自身のこれからの4年間の環境を知る
第2回	旅行企画とは何かを学ぶ。またそれに伴う旅行業法・約款を知る。 ①募集型企画旅行とは何か？　などを知る。
第3回	旅行企画とは何かを学ぶ。またそれに伴う旅行業法・約款を知る。 ②チラシ製作上、必要な法律は？　などを知る。
第4回	自分で旅行のテーマ（季節や集客を考えて）を決める。 ※8月販売に適切なツアーを作る。
第5回	題材を自分で探す。
第6回	コース（行程）をGoogle Mapなどを用いて引いて行程のあらすじを決める。
第7回	あらすじのコースから決定行程を作る。
第8回	行程上、必要なバス会社・食事場所・観光地・お土産屋などの手配を行うシュミレーションをする。
第9回	行程のトラブルシューティング①　（季節は正しいのか？・大型バスは進入できるのか？・駐車場はあるのか？）など検討して完成に近づける。
第10回	行程のトラブルシューティング②　旅行業法・約款上問題がないかを検討して完成させる。
第11回	自分が企画したツアーの募集パンフレットを作る①　※旅行業法上、問題がないか検討して完成させる。
第12回	自分が企画したツアーの募集パンフレットを作る②　※旅行代金を決定する。
第13回	自分が企画した旅行の魅力・売り・特徴などをプレゼンテーションする。
第14回	完成した旅行企画で評価します。　テーマ性・現実性・集客性・適正な旅行代金
第15回	ツアープランニングの総復習　～売れる企画とは？～
準備学習 時間外学習	
評価方法	課題提出　※自分で企画した最終募集チラシと行程表を提出して頂きます。
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。本講義は、旅行会社で必要な企画スキルとチラシ作りのテクニックを身につけて頂きます。旅行企画は旅行会社の花形でもありますが当たる企画を作るには、どの旅行会社も担当者は頭を悩ませ、他社との競争でしのぎを削り合っています。ぜひ、本講義で企画する楽しさ、難しさを経験して下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	旅行業法/約款Ⅰ Travel agency law / clause Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

旅行業界ならびに旅行関連業界において、旅行者との間で契約を結ぶ上で、旅行業約款および各種関連約款（航空・フェリー・貸切バス・宿泊）の知識は必須である。
この授業では、旅行業従事者として必要な約款に関する知識を習得し、国内および総合旅行業務取扱管理者試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。

※実務経験
運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事

【到達目標】

関連約款（航空・JR・フェリー・貸切バス・宿泊）の概要を説明することができる。
旅行業および関連約款の重要語句・数字等を暗記し、4肢択一や正誤判断問題を正確に解くことができる。
旅行業および運送・宿泊等旅行関連業界における約款の位置付けと重要性を説明できる。
旅行業および関連約款の重要語句・数字等を暗記し正確に解くことができる。

授業計画・内容	
第1回	旅行業約款　総則　用語の定義ついて学び理解できる
第2回	契約の成立①（契約の申し込み）契約の成立②（契約締結拒否事由）ついて学び理解できる
第3回	契約の成立③（契約の成立、書面の交付）　契約の変更①（契約内容の変更）ついて学び理解できる
第4回	契約の変更②（旅行代金の変更）旅行者の解除権ついて学び理解できる
第5回	旅行業者の解除権　（旅行開始前の解除）ついて学び理解できる
第6回	旅程管理、責任ついて学び理解できる
第7回	旅程保証①（変更補償金の支払い）　旅程保証②（変更補償金が支払われない場合）ついて学び理解できる
第8回	旅程保証③（変更補償金の支払いの要否）　特別補償①（特別補償とは）ついて学び理解できる
第9回	特別補償②（補償金等）特別補償③（損害補償金）特別補償④（特別補償と損害賠償）ついて学び理解できる
第10回	企画旅行契約・手配旅行契約　まとめついて学び理解できる
第11回	旅行相談契約について学び理解できる
第12回	関連約款について理解できる①
第13回	関連約款について理解できる②
第14回	期末試験
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。 授業で習った知識は，その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は，実践的に復習しましょう。
評価方法	期末テスト 100%　（筆記および実技試験）
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	旅行地理概論 travel geography knowledge	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【学習内容】旅行業界で必要な国内旅行・観光の知識をつけ、国内旅行の企画立案方法を学び、実践します。

※実務経験
大学卒業後、株式会社JTBへ就職。東京都内の支店に総合職として配属。法人営業に携わり、国内外の旅行の企画立案に携わる。また、国内での添乗業務経験も豊富である。

【到達目標】
①日本各地の主要観光箇所について説明できるようになる。②地域ごとの観光名所を巡るツアーをプランニングすることができる。

授業計画・内容	
第1回	【オリエンテーション】授業の目的を知る。旅行業界について理解し、説明できるようになる。
第2回	旅行会社での仕事内容と旅行の企画について学ぶ。旅行立案とプレゼンの基礎を理解し、説明できるようになる。
第3回	九州地方の観光箇所を学び、旅行立案できるようになる①
第4回	九州地方の観光箇所を学び、旅行立案できるようになる②
第5回	関西地方の観光箇所を学び、旅行立案できるようになる①
第6回	関西地方の観光箇所を学び、旅行立案できるようになる②
第7回	関東地方の観光箇所を学び、旅行立案できるようになる
第8回	【中間テスト】関東地方の観光箇所について、旅行プランのプレゼンができるようになる。
第9回	中部地方の観光箇所について、旅行プランニングのプレゼンができるようになる。
第10回	東北地方の観光箇所について、旅行プランニングのプレゼンができるようになる。
第11回	中国・四国地方の観光箇所について、旅行立案ができるようになる。
第12回	日本各地の観光地をおさらいし、お客様への具体的な旅行提案ができるようになる①
第13回	日本各地の観光地をおさらいし、お客様への具体的な旅行提案ができるようになる②
第14回	国内旅行のプラン発表を行う。
第15回	試験の振り返りとまとめ
準備学習 時間外学習	自分の好きな国内観光箇所や行ってみたいところについて考えてきてください。
評価方法	中間テスト20%、期末テスト80%
受講生への メッセージ	本講義を通じて、日本全国様々な地域に行った気持ちになって楽しみながら学習していきましょう。また、想像力を養って、お客様目線でプランニングができるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。また、調べ学習のためタブレットを持参してください。発表の際にはパソコンを使用します。

科目名（英）	エアラインメイク airline makeup	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

自分のパーソナルカラーを活かしたエアラインヘアメイクや接客における所作を身に着けられるよう講義や実習で実施する。

※実務経験
美容業界にて大手美容室勤務を経て美油脂を対象とした教育に携わり、ブライダルヘアメイクとしてご新郎新婦のヘアメイクだけではなく心に寄り添う接客を心がけ、その他ブライダルファッションショーやFACO（福岡アジアコレクション）等でヘアメイクを担当した。

【到達目標】

自分に合ったエアラインヘアメイクができる。接客における所作を身に着けることができる。自分のパーソナルカラーを知る事ができる。パーソナルカラーを使ったメイクや着こなしができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション　講師自己紹介　生徒自己紹介　用意する物等、これからの授業説明
第2回	自分のパーソナルカラーをフォーシーズンで知る事ができる
第3回	エアラインメイク　ベースメイクができる
第4回	エアラインメイク　アイブロウができる
第5回	エアラインメイク　アイブロウまでの確認～アイメイクができる
第6回	エアラインメイク　アイメイクまでの確認～チーク・リップできる
第7回	エアラインメイクができる （仕上げ）
第8回	エアラインヘアーができる （デモスト～実習）
第9回	エアラインヘアメイクができる
第10回	綺麗なスーツの着こなしができる
第11回	接客における所作が身につけることができる （身だしなみや立ち居振る舞い、話し方やどのように見られるかをディスカッション）
第12回	私服の似合わせができる
第13回	エアラインヘアメイク確認と授業の復習
第14回	定期テスト
第15回	テスノト答え合わせとまとめ
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	期末試験　100%
受講生へのメッセージ	気になる企業の傾向を踏まえ、自分に合ったヘアメイクができるように、実習しましょう。接客における所作を身に着けられるよう、解らない事を解らないままにせず、質問して下さい。メイクに慣れるよう、復習の意味も込めて、できる限り毎日メイクして下さい。授業で配布した資料は毎回必ず持って来て下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	観光概論 Tourism Introduction	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

現役添乗員が観光地を解説。生徒が知らない観光地を実感できるよう裏話も含めて解説します。国内の観光地理を学びます。
各県の観光施設、文化、歴史、特産品などを楽しみながら学び、一般教養としての知識を身に着けます。

【到達目標】

〇〇県の位置と主な観光施設、名産品が思い浮かぶようになる。

授業計画・内容	
第1回	北海道 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第2回	北海道 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第3回	東北 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第4回	東北 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第5回	関東 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第6回	関東 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第7回	中部 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第8回	中部 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第9回	近畿 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第10回	近畿 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第11回	四国 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第12回	九州 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第13回	九州 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第14回	観光地理テスト
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末試験 100%
受講生への メッセージ	写真がたくさん載った教材を利用しますので、ゲームの桃太郎電鉄のように楽しく観光地理を学びます。

【使用教科書・教材・参考書】

旅に出たくなる日本地図 帝国書院

科目名（英）	進級制作 Presentation to mark the current year's study	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1年次の集大成として、クラスメイトとともにイベント運営や企業研究を通して、チームワーク力を身につけます。

【到達目標】

・協調性を身につけ、クラスメイトとともに協力して企画～運営を行うことができる。
・相手の意見を理解し、尊重することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業の流れ
第2回	テーマ、内容決め
第3回	テーマ毎に準備、作業
第4回	テーマ毎に準備、作業
第5回	テーマ毎に準備、作業
第6回	テーマ毎に準備、作業
第7回	テーマ毎に準備、作業
第8回	テーマ毎に準備、作業
第9回	進捗状況確認、報告、共有
第10回	テーマ毎に準備、作業
第11回	テーマ毎に準備、作業
第12回	テーマ毎に準備、作業
第13回	テーマ毎に準備、作業
第14回	発表及び評価
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト　100%
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	マナープロトコール（3級） Manner Protocol (3rd level)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	加藤　亜紀
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日3時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。多くの大学、専門学校等で非常勤講師として講義を行っている講師が、長年の指導経験を活かし分かりやすく、興味を持ってもらえるように講義を行います。講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく身につけることを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容にしています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。

執務経験：NPO法人日本マナー・プロトコール協会の認定講師。専門学校や大学で非常勤講師として活躍。

【到達目標】

「マナー・プロトコール検定3級」合格を目指します。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることができます。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることができます。

授業計画・内容	
第1回	講師自己紹介、講義内容についての説明（オリエンテーション）。マナーとは何か、「マナー」「エチケット」「プロトコール」の違いを理解し、好印象を与えるコミュニケーション（第一印象の重要性、挨拶、お辞儀、所作）をとることができる。
第2回	マナーの歴史と意味、西洋のマナー、アジアのマナーの成立ち、特徴、国際人としてのプロトコールの原則、具体的な席次例について学ぶことができる。
第3回	社交の場でのコミュニケーション、パーティーの種類とマナー、挨拶と紹介、外国人への贈り物について学ぶことができる。
第4回	国旗の扱い、異文化コミュニケーションについて学ぶことができる。服装や身だしなみ、立ち振る舞いの基本を学ぶことができる。立ち振る舞いの基本の実践指導を行う。ポイントを理解し、美しい所作を身につけることができる。
第5回	敬語、聴き方、話し方を学ぶ。尊敬語、謙譲語、丁寧語の置き換え例、クッション言葉について理解し、実生活にも活かすことができる。
第6回	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って中間テストに臨むことができる。
第7回	中間テスト（ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う）
第8回	礼装の基準（スライド視聴）、洋装・和装の礼装、パーティーでの服装を学ぶことができる。問題集を解き、復習を行うことで理解を深めることができる。
第9回	喜ばれる贈答品、贈り物のルールを理解し、場面に合わせた祝儀袋、不祝儀袋が選べ、表書きが書けるようになる。
第10回	手紙のマナー、手紙の基本構成を学び手紙を書いてみることで、自信を持って手紙を書くことができるようになる。お世話になった人に手紙を書いてみる。
第11回	ビジネスシーンのマナー、名刺の渡し方、電話応対、来客応対、ご案内、出迎えと見送りのマナーのロールプレイングを行い、実践して身につけることができる。
第12回	ビジネス文書の構成を学ぶ、ビジネス文書を作成してみる。電子メール・ファックスのマナーを学ぶことができる。
第13回	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って期末テストに臨むことができる。
第14回	期末テスト
第15回	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	予習シートを使用し、予習を行い授業に臨む。進んだところまで問題集を使用し復習する、復習ワークシートを行う。
評価方法	①模擬テスト、中間テスト、期末テストの点数 ②授業態度 ③提出物を期日までにきちんと提出する。
受講生への メッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール（国際儀礼）について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで、就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。目標はマナー・プロトコール検定3級合格です。文部科学省後援の資格を取得出来るよう一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会発行

科目名（英）	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	安永　宣雅
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日２時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

身だしなみや挨拶の大切さを理解しホスピタリティ業界で活躍でいる立ち居振る舞いができるようになる
神社や寺院などの見学や歴史を知ることで日本の文化を学び接客に活かせる知識を身に付ける。

※実務経験
当校キャリアセンターとして就職指導の実績を持つ。前職はホテルマンとしてマネジメント業務を行なう。

【到達目標】

身だしなみや挨拶など社会人としてのマナーを身に付けることができる。
福岡の歴史ある神社や寺院などの知識をみにつけることができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、自己紹介
第2回	挨拶の大切さを学ぶ
第3回	第一印象の大切さや身だしなみ（スーツの着こなしや清潔感ある人になる）
第4回	立ち方や座り方、歩き方を学ぶ
第5回	報告・連絡・相談の大切さを学ぶ
第6回	時間のマナーの大切さを学ぶ
第7回	前半のまとめ
第8回	櫛田神社の歴史など学ぶ
第9回	櫛田神社見学
第10回	承天寺の歴史を学ぶ
第11回	承天寺見学
第12回	博多祇園山笠について学ぶ
第13回	東長寺の歴史を学ぶ
第14回	東長寺見学
第15回	授業のレポート（まとめ）
準備学習 時間外学習	スーツ着用
評価方法	レポート提出60点、出席率40点で評価
受講生へのメッセージ	誰からも好印象を持てる人になるように頑張りましょう。 福岡にある歴史など楽しく学びましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

パソコン

科目名（英）	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	東　淳子
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。

実務経験：茶道裏千家も師範として茶道教室を開講

【到達目標】

和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。

授業計画・内容	
第1回	簡単なお茶の歴史を知ることが出来る。茶席での身だしなみ（服装・靴の脱ぎ方等）を知ることが出来る。
第2回	襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方を知ることが出来る。
第3回	道具の名称（漢字で覚える）帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。
第4回	道具の扱い方を知ることが出来る。①
第5回	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
第6回	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆中の道具の扱い方①
第7回	中間テスト
第8回	盆中の道具の扱い方②
第9回	薄茶を飲むときのお茶碗の扱い方・飲み方・懐紙を使ってのお菓子の取り方を知ることが出来る。（干菓子）
第10回	薄茶の立て方を知る（実際に自分で点ててみる①）
第11回	薄茶の立て方の復習（実際に自分で点ててみる②）
第12回	薄茶を点てる人（亭主）頂く人（お客）に分かれて体験することが出来る。
第13回	今までの総復習を行い、自身の成長を感じることが出来る。（生菓子）
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト返却・質疑応答・清掃
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト（50%）期末テスト（50%）
受講生へのメッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承していってほしいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	アソシエイトホスピタリティコーディネータ Asspciate Hospitality Coordinator	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。
また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。

実施内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。

※実務経験：2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。
②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ（AHC）」の資格を取得することができる。
③学んだことを活かし、日常生活においてもホスピタリティマインドをもって行動することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、講義の説明、アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータについて
第2回	第1章　日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性
第3回	第2章　ホスピタリティの歴史と文化
第4回	第3章　サービスとホスピタリティの語源
第5回	第4章　ホスピタリティの定義
第6回	第5章　ホスピタリティの5領域
第7回	第6章　組織と顧客のホスピタリティ
第8回	第7章　組織と社員（従業員）のホスピタリティ
第9回	第8章　ホスピタリティの実践
第10回	第9章　各産業におけるホスピタリティの実践
第11回	課題提出について
第12回	課題作成
第13回	課題作成
第14回	レポート提出
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身に着けるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つこと」を意識することが重要です。 また、様々な感動体験や自身の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポート作成にあたって、作成方法については細かいルールがありますので、講義の中で説明をします。理解したうえで作成すること。
受講生への メッセージ	ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動活かしていきましょう。また、クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有することも大切だと思います。自分が経験した感動体験を次は実践できるように一緒に取り組んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本／日本ホスピタリティ推進協会
その他内容に応じてプリント等配布。

科目名（英）	ベーシックスタイリング Basic Styling	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	中尾 茉奈
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	月曜日2時限

【授業内容】
ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい立ち居振る舞いを学びます。自身の体型や骨格に合わせてコーディネートを考えられるようになる授業を実施します。

※実務経験
教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。
都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。

【到達目標】
自分自身の体型の特徴を理解することができる。
歩き方や所作などを見直し、ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい姿となることで自己肯定感と業界への意識を高めることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の内容・進め方・到達目標について理解することができる。他者に与える自身の「印象」について考えることができる。
第2回	骨格診断セルフチェック：骨格3タイプを知り、自身の骨格を分類することができる。
第3回	実例を元に「オフィスカジュアル」を知ることができる。骨格に合う服装を知ることができる。（普段着・オフィスカジュアル・ドレス・スーツ）
第4回	骨格が乱れることで与える影響について知り、自分でできる骨格の整え方を体験する。 ※動きやすい服装持参
第5回	自身の体の状態を知ったうえで、正しい姿勢で立つこと・座ることについて体験し知ることが出来る。 正しい姿勢の状態で歩くことを体験する。
第6回	正しい姿勢での歩き方を練習し、身に着けることができるようになる。 ※汗をかいても良い服装・各自制服に合わせたい靴・水分補給できるものを持参。
第7回	今までの復習・中間テスト対策
第8回	中間テスト：筆記試験＋実技試験
第9回	「美しい所作」とは何かを考える：個人ワーク＋グループワークを行い、自身と他者の価値観を知ることができる。
第10回	前週で上がった「美しい所作」を実践し、動きを洗練させることができるようになる。
第11回	実践：正しい姿勢で立つ・歩く・座る・所作に気を遣う 実際の接客シーンをロールプレイングする。※進み具合等により変更の可能性あり
第12回	初歩的な行動心理学に触れ、自身の行動に反映させる具体的な方法について考えることができる。
第13回	今までの復習・期末テスト対策
第14回	期末テスト：筆記試験＋実技試験
第15回	試験の答案返却及び授業の振り返り
準備学習 時間外学習	この授業時間以外でも、普段から姿勢や所作を意識した生活を送ってください。
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生への メッセージ	少しの所作や姿勢の変化、言動で「印象」は変えられます。皆さんがそれぞれに目指す業種に合わせた印象に近づくことができるよう講義を行ってまいります。

【使用教科書・教材・参考書】

授業計画に記載の通り、動きやすい服装や水分補給用の飲み物の準備をお願いする授業があります。前週にアナウンスいたしますが、各自シラバスを確認して準備をしてください。

科目名（英）	コミュニケーション Communication	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会人として必要なコミュニケーション力を身に着け、実際に学生生活、就職活動、社会生活で実践できるようにします。
またコミュニケーションスキルアップ検定全員合格を目指して学んでいきます。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・コミュニケーションスキルを身に着け、実践できるようになる。
・コミュニケーションスキルアップ検定に合格することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション（自己紹介）
第2回	第1章　コミュニケーションとは（コミュニケーションの定義、3領域、種類）
第3回	第2章　基本的対話スキル（話す）
第4回	第2章　基本的対話スキル（聴く）
第5回	第2章　基本的対話スキル（グループでの会話）
第6回	第1章・第2章のまとめ、ロールプレイング
第7回	第3章　自己表現スキル（挨拶、自己紹介）
第8回	第3章　自己表現スキル（言葉のかけ方、上手な頼み方、上手な断り方、自己主張）
第9回	第3章　自己表現スキル（報連相、会議、ミーティング）
第10回	第3章　自己表現スキル（アンガーマネジメント）
第11回	第4章　社会的スキル（基本的な社会スキル）
第12回	第4章　社会的スキル（対人行動、文書作成）
第13回	第3章・第4章のまとめ、検定対策
第14回	コミュニケーションスキルアップ検定　実施
第15回	検定振り返り・授業のまとめ
準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を実際の生活の中で実践する。
評価方法	検定試験　100%
受講生へのメッセージ	コミュニケーションスキルは学生生活の中でも、社会においても必要です。一つ一つの内容を理解して、実際に実践しながら学んでいきましょう。 そして社会に出たときに最高のおもてなしができるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定テキスト（JESC）

科目名（英）	マナープロトコール（3級） Manner Protocol(3rd level)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【学習内容】
講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく"身につける"ことを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容としています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。
※実務経験
NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。ニチイ学館委託講師20年、接遇マナー研修担当。平成21年起業　講師業Cherry代表、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリア」の講義等を担当。また企業、学校等でのマナー研修も行う。

【到達目標】
マナープロトコール検定3級合格を目指すことが出来る。
学んだことを活かし、自身のマナーのレベルを上げ、社会人意識を高めることが出来る。
資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることが出来る。
マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることが出来る。

授業計画・内容	
第1回	和食のマナー：DVD視聴で和食のいただき方を学ぶことが出来る。美しい箸使い、忌み箸について学ぶことで日常生活でも箸使いを意識できるようになる。お椀とお箸を実際に使い実践練習することで、正しい箸使いを理解することが出来る。
第2回	洋食のマナー：DVD視聴で洋食のいただき方を学ぶことが出来る。洋食をいただく場面でも自信を持って臨めるようになる。実際のカトラリー、ナプキン等を使い指導することで、正しい使い方を理解することが出来る。中国料理、各国料理のマナーについても知識を広げることが出来る。
第3回	和室での作法：和室にて座礼、襖の開け閉め、座布団の扱い、和室でお茶の入れ方、出し方、いただき方を学ぶことで和室での作法を実践できるようになる。第5章まとめテストを行う。
第4回	「冠」のしきたり：スライドを使って人生の節目となる通過儀礼の成立ち、意味、種類を学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第7章まとめテストを行う。
第5回	「婚」のしきたり：スライドを使って婚姻の形態、しきたりを学び、結婚式での服装、会場でのマナー等、近い将来必要になる社会人としての知識を身に付けることができる。第8章まとめテストを行う。
第6回	復習：ここまでの内容の問題集の問題を解き、振り返りの学習を行うことで理解不足の部分を確認するこが出来る。問題を解く力をつけて、中間テストテストに臨むことが出来る。
第7回	中間テスト、解説、振り返り
第8回	「葬」のしきたり：スライドでを使って葬儀の変遷、葬送儀礼のしきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第9章まとめテストを行う。
第9回	「祭」のしきたり：スライドを使って日本の年中行事の種類、習わし、しきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第10章まとめテストを行う。
第10回	試験対策①：3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第11回	試験対策②：3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第12回	試験対策③：3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第13回	期末テスト
第14回	期末テスト振り返り
第15回	マナー・プロトコール3級検定試験
準備学習 時間外学習	行ったところまで問題集を使用し復習する。
評価方法	期末試験　100%
受講生へのメッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール（国際儀礼）について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。後半は、模擬問題を解くことで検定試験に対応できる力をつけていきます。「マナー・プロトコール検定3級」合格を指して一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会

科目名（英）	キャリアプログラム Career program	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増　千秋
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・学生生活を送るうえで、スケジュールや健康管理を自分自身で行うことができ、気持ちよく学生生活を送ることができる。
・クラスメイトとともに、業界や問題解決について情報交換をすることでチームワークを育むことができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション（学校生活について・クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など）
第2回	生活習慣改善教育①、Hand-Book of Life（日常生活編）、学生便覧再確認
第3回	生活習慣改善教育②、Hand-Book of Life（日常生活編）、GW前インフォメーション
第4回	生活習慣改善教育③、Hand-Book of Life（日常生活編）、GWの振り返り
第5回	生活習慣改善教育④、Hand-Book of Life（学校生活編）
第6回	生活習慣改善教育⑤、Hand-Book of Life（学校生活編）
第7回	マネー教育
第8回	学園祭について（次年度自分たちが行う立場を意識して）
第9回	学園祭振り返り（個人ワーク・グループワーク）
第10回	校外学習
第11回	校外学習
第12回	業界学習
第13回	業界学習、夏季休暇前インフォメーション（夏季休暇の過ごし方・課題・補講など）
第14回	夏季休暇振り返り、今後のスケジュールについて（補講・特別講義など）
第15回	前期振り返り
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出　100%
受講生への メッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができように本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 まずは学校内外で円滑にコミュニケーションが取れるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布
Hand-Book of Life

科目名（英）	キャリアプログラム career program	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増　千秋
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスメイトと協力をしながらイベントや業界について学び取り組んでいきます。また業界についての知識も身に着けて自分の将来についてよりイメージできるようにします。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・体調やスケジュールの自己管理を行い、学校生活を送ることができる。
・クラス全員が話し合いに参加して、イベントやグループワークで発言をすることができる。
・自分が目指す業界について基礎知識を身に着けることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション（後期のスケジュール、クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など）
第2回	Hand-Book of Life（社会生活編）、グループワーク
第3回	Hand-Book of Life（日常生活編）、イベントに向けて
第4回	イベントに向けて
第5回	イベントに向けて
第6回	イベントに向けて
第7回	校外学習
第8回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第9回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第10回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第11回	業界学習
第12回	冬季休暇前インフォメーション（冬季休暇の過ごし方・課題・補講など）
第13回	冬季休暇振り返り、今後のスケジュールについて
第14回	後期の振り返り、グループワーク
第15回	今年度の振り返り、2年生に向けて
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出　100%
受講生へのメッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができように本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 様々なイベントを通してより楽しい学校生活をともに送りましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布
Hand-Book of Life

科目名（英）	コンピューター演習 Practice of Computer	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	宗田　浩輔
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日4時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ソフトウェア販売、医薬品メーカー営業、WEBデザイナーを経て現在、ナレーション収録のスタジオを経営。
経営に係る業務の傍ら、経理業務・デザイン制作を兼務。
講義では実務に必要な基本的なスキルとトピックについて解説していこうと思います。

【到達目標】

Wordによるレポートや送付状や案内状の作成、Excelで関数を使った表を作成出来る。また、ショートカットなどを習得して操作を効率的に行うことが出来る。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：学習をすすめる上で必要な準備や知識を理解
第2回	パソコン全般の基本的な知識、タイピング、ショートカットについて習得
第3回	Word基礎　起動と文字入力、ファイルの保存について
第4回	Word基礎　用紙の設定、文字の修飾
第5回	Word基礎　図形やイラストを利用した文章の作成
第6回	Word基礎　実践：送り状作成
第7回	Word基礎　レポートや企画書などの作成
第8回	Excel基礎　起動と文字入力、基本構造の理解
第9回	Excel基礎　文字の修飾、表のデザインについての技術習得
第10回	Excel基礎　セルの分割・結合
第11回	Excel基礎　代表的な関数の実践
第12回	Excel基礎　実践：関数を利用した表の作成
第13回	前期振り返り　+ テスト対策
第14回	評価週　筆記試験　+　Wordを使用したレポートの提出
第15回	まとめ・追試/再試試験　問題解説と後期導入部分の解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験　+　Wordを使用したレポートの提出
受講生へのメッセージ	入学おめでとうございます。 パソコンを始めとしするデバイスは目的を達成するために多種多様な解決方法を提供してくれます。そして正解はひとつではなく、常に新しくより良いものが生み出されています。 技術の習得は大事ですが、解決方法にたどり着くための考え方や感覚などを一緒に考えながら培っていきましょう。 パソコンの習熟度はみなさんそれぞれ違うと思いますが、助け合いながら頑張っていきましょう（人に教える、といったアウトプットも大事な習得方法です！）

【使用教科書・教材・参考書】

PDFにて資料配布予定。ネットワーク共有フォルダよりコピーして使用。

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。 オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容 （対面）
Unit 1 個人的な情報	個人的な情報について尋ねる、また述べることができる。 個人的な経歴等のプロフィールを読む、また書くことができる。	1	1.1	be 動詞(am, are)の肯定形、否定形を学ぶ 出身地を尋ねる表現を学ぶ	1	1.1	be 動詞(am, are)を使って自己紹介（国籍や出身）する、または出身地を尋ねる会話を練習する
		2	1.2	[What is(What's)]、[It is(It's)]の使い方を学ぶ	2	1.2	疑問代名詞[What]を使って、 自分の個人情報を相手に伝え、また相手の情報を聞く
		3	1.3	接客する側（clerk)、される側(guest)の表現を学ぶ	3	1.3	ホテルにチェックインする際の会話を練習する
		4	1.4	大文字、ピリオドの使い方を学ぶ 個人的な経歴等のプロフィールを書く際に必要な表現を学ぶ	4	1.4	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティで新しい人に出会う」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 家族	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとることができる。	5	2.1	主語が三人称 [he, she, they]の時の、be動詞[is, are]の肯定文と疑問文の使い方を学ぶ	6	2.1	be動詞を使って、家族構成について話す
		6	2.2	主語が三人称の時の、be動詞の否定文を学ぶ	7	2.2	be動詞の否定文を使って、 友達や家族について説明する
		7	2.3	日付の言い方、発音を学ぶ 年齢、誕生日に関する表現を学ぶ	8	2.3	年齢や誕生日について聞く、話す
		8	2.4	位置を表す前置詞、接続詞[and]の使い方を学ぶ 短縮形の音（発音）について学ぶ	9	2.4	写真に写っている友達のことについて話す 友達についての紹介文を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「友達や家族についての情報を比較する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 住居	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書くことができる。	9	3.1	人称代名詞の所有格について学ぶ 名詞の所有を表す['s] と[s']の使い方を学ぶ	11	3.1	名詞の所有を表す['s] と[s']を使って、 自分の家について話す
		10	3.2	家具を表す単語を学ぶ 代名詞[it]の肯定文、否定文、疑問文を学ぶ	12	3.2	[it is]を使って、家具について話す
		11	3.3	物を提供する時の言い方、その返答方法を学ぶ /c/の発音ルールを学ぶ	13	3.3	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する 分からない単語について質問する
		12	3.4	疑問詞＋be動詞の使い方を学ぶ Eメールの基本ルールを学ぶ	14	3.4	ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「新居の家具を選ぶ」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 好み	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	16	4.1	主語が[I, You, We]の時の、 一般動詞の「現在形」の否定文を学ぶ	16	4.1	一般動詞「現在形」を使って、 お気に入りの物について話す
		17	4.2	主語が[I, You, We]の時の、 一般動詞の「現在形」の疑問文を学ぶ	17	4.2	一般動詞の「現在形」の疑問文を使って、 どのようにテクノロジーを使用しているのかを話す
		18	4.3	新しい話題の振り方、相手に情報を求める際の聞き方を学ぶ 強勢、ストレス（発音）について学ぶ	18	4.3	コミニケーション手段について話す 相手の話を聞いていることを示す
		19	4.4	冠詞[a]、[an]を学ぶ 語尾の上げ方、下げ方（発音）について学ぶ	19	4.4	商品のレビューを読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「好きな音楽について」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 生活習慣	平日、週末のアクティビティについて話すことができる。 日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。	20	5.1	主語が三人称 [he, she, they]の時の、 一般動詞「現在形（肯定文、否定文）」を学ぶ	21	5.1	「現在形」肯定文、否定文を使って、 平日、週末の行動について話す
		21	5.2	時間を表す単語を学ぶ 一般動詞「現在形」疑問文を学ぶ	22	5.2	「現在形」疑問文を使って、 時間・自分のルーティン（日課）について話す
		22	5.3	相手の意見に賛成する時の言い方、共通していることを伝える時の言い方を学ぶ 音節（発音）について学ぶ	23	5.3	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する
		23	5.4	レポートの書き方を学ぶ	24	5.4	自分の行動についてのレポートを読む、書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「異なる週の活動について比較する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 道順	道順について尋ねる、また教えることができる。 場所についての特徴について読み、書くことができる。	24	6.1	町中にある場所を表す単語を学ぶ [There (is, are), (a lot, some, no)]の使い方を学ぶ	26	6.1	[There (is, are), (a lot, some, no)]を使って、町にある場所について話す
		25	6.2	「可算（数えられる）名詞・不可算（数えられない）名詞」を学ぶ	27	6.2	「可算名詞・不可算名詞」を使って、 住んでいる地域の自然について話す
		26	6.3	情報を確認する時の言い方を学ぶ フォニックス「いー」の音、[ere]の発音２通りについて学ぶ	28	6.3	道順を聞く、または教える会話を練習する
		27	6.4	英語の強弱のリズム（発音）について学ぶ ファクトシートの読み方、書き方を学ぶ	29	6.4	自然の中の場所についてのファクトシートについて読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容 （対面）
Unit 7 自宅での生活	自宅の生活について話すことができる。 ブログ記事を読み、書くことができる。	1	7.1	家事、家の中での行動に関する単語を学ぶ 「現在進行形」の肯定文を学ぶ	1	7.1	「現在進行形」肯定文を使って、 家事や自宅での行動について話す
		2	7.2	交通手段、旅行に関わる動作を表す単語を学ぶ 「現在進行形」の疑問文を学ぶ	2	7.2	「現在進行形」疑問文を使って、 旅行について質問する、または答える
		3	7.3	電話であいさつをする時の表現を学ぶ /ng/の発音を学ぶ	3	7.3	電話で情報を共有する会話を練習する
		4	7.4	ブログを読む [also]、[too]の使い方を学ぶ	4	7.4	今起こっていることについてのブログを読む、書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「最近の生活について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 スキル・能力	自身のスキルや能力について話すことができる。 自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。	5	8.1	助動詞 [Can / Can't]（能力）を学ぶ goodの副詞：[well]の使い方を学ぶ	6	8.1	[Can / Can't]（能力）を使って、 自分の能力や才能について話す
		6	8.2	仕事に関する単語、フレーズを学ぶ 助動詞 [Can / Can't]（可能性）を学ぶ	7	8.2	[Can / Can't]（可能性）を使って、 職場や学校でできること、できないことについて話す
		7	8.3	相手に意見を聞く時の聞き方、また自分の意見を伝え方を学ぶ 英文をまとまりで区切り、一呼吸置いて話す方法について学ぶ	8	8.3	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する
		8	8.4	[can]と[can't]の聞き分け方（発音）を学ぶ 誰かの言葉を引用する際に使用するクォーテーションマークの使い方を学ぶ	9	8.4	インターネット上で自分の考えをコメントする
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 休暇・旅行	旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。 旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。	9	9.1	旅行に関する単語を学ぶ 指示形容詞 [this] と [these]の使い方を学ぶ	11	9.1	[this] と [these]を使って、 休暇、旅行について話す
		10	9.2	旅行の手配に関するフレーズを学ぶ to不定詞の名詞の用法を学ぶ [like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ	12	9.2	[like to, want to, need to, have to]を使って、 旅行計画を立てる
		11	9.3	情報を聞く時に使う表現、また質問への答え方を学ぶ 値段の言い方、聞き間違いやすい数字の発音を学ぶ	13	9.3	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する
		12	9.4	場所についての説明の表現を学ぶ 動詞の命令形（命令、助言）を学ぶ	14	9.4	場所についての説明を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 週末の計画	週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。 オンラインでの招待状を読む、書くことができる。	16	10.1	出かける時に使うフレーズを学ぶ 近い未来のことを話す時に使う[be going to]の使い方を学ぶ	16	10.1	[be going to]を使って、 週末のアウトドア（野外）プランについて話す
		17	10.2	季節、洋服の種類を表す単語を学ぶ [be going to]（疑問文）の使い方を学ぶ	17	10.2	[be going to]（疑問文）を使って、 異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う
		18	10.3	相手を誘う時の表現、誘いを受ける時、断る時の表現を学ぶ /s/の発音を学ぶ	18	10.3	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する
		19	10.4	going toの短縮形[gonna]の発音を学ぶ ライティングにおける短縮形の使い方を学ぶ	19	10.4	オンラインでの招待状を読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 過去の出来事	過去についての場所や出来事、過去の人について述べることができる。 思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。	20	11.1	人、場所、物を修飾する形容詞を学ぶ be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を学ぶ	21	11.1	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す
		21	11.2	色を表す単語を学ぶ be動詞の過去形[was / were]の疑問文を学ぶ	22	11.2	be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、 記憶にある色について話す
		22	11.3	母音[o]の発音を学ぶ、/ou/と/a:/の音の違いを学ぶ 答えを出す前、少し時間が必要な時に使う表現を学ぶ	23	11.3	自分の記憶を表現し、 映画、俳優について話す
		23	11.4	機内誌を読む、代名詞の使い方を学ぶ 文章を書く時のパラグラフ、トピックセンテンスを学ぶ	24	11.4	過去の思い出として保管している物についてEメールを書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「子どもの頃から見ているTV番組について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 レストラン	食べた食事について話すことができる。 レストランのレビューを読む、また書くことができる。	24	12.1	軽食や少量の食事などを表す単語を学ぶ 一般動詞の「過去形」肯定文と否定文について学ぶ	26	12.1	一般動詞の「過去形」を使って、 間食や軽食について話す
		25	12.2	食事、飲み物、デザートを表す単語を学ぶ 一般動詞「過去形」の疑問文を学ぶ	27	12.2	一般動詞の「過去形」の疑問文を使って、 レストランの食事について話す
		26	12.3	食べ物や飲み物を提供する、またお願いする時に使う表現、それらに対する答え方を学ぶ /h/と/r/の発音を学ぶ	28	12.3	食べ物・飲み物を提供する、お願いする、また答える時の会話を練習する
		27	12.4	[do you]と[want to]の発音の仕方を学ぶ ライティングにおける接続語[and]について学ぶ	29	12.4	レストランのレビューを読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルCに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルC

教科書	EVOLVE　2
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	ッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 知人について	知人・家族について話すことができる。 職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	身近な人を表す言葉を学ぶ be動詞の使い方、代名詞の所有格を学ぶ	1	1.1	be動詞、代名詞の所有格を使って、 知人・家族について話す
		2	1.2	「～のもの」を表す使い方を学ぶ 「誰のものですか」の聞き方を学ぶ	2	1.2	「～のもの」を表す表現を使って、 所有物について話す
		3	1.3	挨拶や会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ /l/の発音を学ぶ	3	1.3	挨拶をして会話を始める練習をする 興味や驚きを表す表現を練習する
		4	1.4	Eメールの基本ルールを学ぶ 丁寧な書き方を学ぶ	4	1.4	自己紹介をする 職場でのフォーマルなEメールを読む、書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「人と共通していることについて」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 仕事と勉強	毎日していることについて話すことができる。 ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。	5	2.1	一般動詞（現在形）の基本的な使い方を学ぶ 一般動詞の疑問文、否定文、頻度を尋ねる文を学ぶ	6	2.1	[Wh-question]を練習する 一般動詞の疑問文、否定文を使って、 習慣・ルーティンについて質問する、返答する
		6	2.2	デスク上にある「物」についての単語を学ぶ 名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ	7	2.2	指示代名詞を使って、 仕事や勉強をする空間について話す・質問する
		7	2.3	トラブルが起こった時、繰り返しを求める表現を学ぶ /h/の発音を学ぶ	8	2.3	意思疎通に問題があったことを説明する 繰り返しを求める表現を練習する
		8	2.4	日常のトピックについての語彙を学ぶ 相手の意見を聞く、またそれに対し意見を述べる表現を学ぶ	9	2.4	ポッドキャストについての意見を読む、書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「仕事や勉強のためのアプリについて」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 スポーツと運動	今していることについて話すことができる。 サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。	9	3.1	「現在進行形」を学ぶ・復習する 今まさに起こっていることを表現する	11	3.1	「現在進行形」を使って、 今まさに起こっていることについて話す
		10	3.2	動きを表す表現を学ぶ 現在形や現在進行形の違いを学ぶ	12	3.2	「現在進行形」「現在形」を練習する スポーツ、運動について話す
		11	3.3	情報を得るため、必要な表現を学ぶ 聞き返す、もう一度言ってほしい時の表現を学ぶ /ou/と/ɔ/の発音を学ぶ	13	3.3	知らない情報を人に尋ねたり、情報を読み取ったりできるよう、会話を練習する
		12	3.4	意見を表す表現を学ぶ 公共サービスに関する意見聞き、内容を理解する	14	3.4	サービスや会社に対するコメントを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「フィットネスプログラムを作る」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 招待	招待する、またそれに応えることができる。 イベントへの招待を読む、また書くことができる。	16	4.1	be動詞＋～ingを使った未来の表現を学ぶ	16	4.1	「現在進行形」を使って、 これから予定している計画について話す
		17	4.2	贈り物を人に渡したり、もらったりする際の表現を学ぶ 目的格代名詞の適切な使い方を学ぶ	17	4.2	目的格代名詞を使って、 人に物をプレゼントする会話を練習する
		18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の表現を学ぶ /v/の発音を学ぶ	18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の会話を練習する 誘いを断る理由を説明する
		19	4.4	未来のイベント案内の表現を学ぶ 発音(Reduction）を学ぶ	19	4.4	未来のイベント案内を読む、書く イベントを企画してアナウンスメントする
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「プレゼントを選ぶ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 過去のイベント	人生の中での過去のイベントについて話すことができる。 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。	20	5.1	過去の思い出や出来事について話す際の表現を学ぶ	21	5.1	過去の出来事について話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝わる
		21	5.2	一般動詞の過去形の疑問文、否定文を学ぶ 様々なライフイベントの表現を学ぶ	22	5.2	過去の出来事について質問する 過去形の疑問文、否定文を練習する
		22	5.3	誰かを祝ったり慰めたりする時の表現を学ぶ 相手の言ったこと確認する時の表現を学ぶ シラブル（音節）とストレス（発音）を学ぶ	23	5.3	適切な英語表現を用いて、相手を祝ったり、慰めたりする会話を練習する 自分の認識が正しいかどうかを確認する
		23	5.4	外国での体験談を読んで理解を深める 短い投稿に対して、同意・反対の表現を学ぶ	24	5.4	投稿に対して、賛成・反対のコメントを書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の有名な出来事をまとめる」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 買い物	店内で欲しいものについて述べることができる。 新しい商品の説明を読む、またVlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書くことができる。	24	6.1	買い物に関連した単語や熟語を学ぶ [be going to＋動詞の原形]を復習する	26	6.1	[be going to]を使って、 買い物に行くことについて会話する
		25	6.2	買い物時のフレーズを学ぶ 「限定詞」の使い方を学ぶ 数えられる名詞、数えられない名詞の数量の表し方を学ぶ	27	6.2	特定・不特定の物や人の数量を表し、 買い物習慣について話す
		26	6.3	欲しいものを伝える表現を学ぶ 名称がわからない物の聞き方を学ぶ 会話内の単語レベルのストレス（発音）についてを学ぶ	28	6.3	お店で買いたい物、探している物を伝える会話を練習する 物事の言い方を英語で聞く
		27	6.4	お金にまつわるストーリーを聞く、読む 代名詞に注意しながら文を読む	29	6.4	新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルC

教科書	EVOLVE　2
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	ッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 食べる・飲む	レストランで頼みたいものについて説明することができる。 ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。	1	7.1	食べ物を表す単語を学ぶ 「数量詞」（加算名詞・不可算名詞）を学ぶ	1	7.1	数量詞を使って、 一番好きな食べ物について話す
		2	7.2	食品や味の調理方法の英単語を学ぶ 「動名詞」と「to不定詞」を学ぶ	2	7.2	食品の味や調理方法について話す 動名詞とto不定詞を使った会話を練習する
		3	7.3	料理を注文する際の表現を学ぶ 言いたいことを明確に伝える表現を学ぶ /g/の発音を学ぶ	3	7.3	[I mean]を使って、会話を練習する 飲食店で料理を注文する会話を練習する
		4	7.4	オンライン上の記事を読み、コメントを投稿する 意見を述べる表現 [I think], [I don't think] を学ぶ	4	7.4	オンライン記事の内容を読み、自分の意見をコメントをする
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティを計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 旅行（短期）	提案をする、また提案をうけることができる。 海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。	5	8.1	旅行に関わる単語を学ぶ 接続詞[if / when]の使い方を学ぶ	6	8.1	自分の町で何をするのかについて話す
		6	8.2	移動に伴う様々な動きを表す表現を学ぶ [to/for]の使い方を学ぶ	7	8.2	[to / for]を使って、理由を説明する 過去に行った旅行について話す
		7	8.3	アドバイスや提案する際の表現、その反応の表現を学ぶ 母音の発音パターンを学ぶ	8	8.3	適切なアドバイスや提案する会話を練習する アドバイスに対しての反応を練習する
		8	8.4	旅行に関する適切なアドバイスを述べる表現を学ぶ 語尾の上げ下げ（発音）について学ぶ	9	8.4	海外旅行・生活についてのアドバイスを読む、書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「短期旅行のプランを立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 見た目	意見を尋ねる、また述べることができる。 広告を読む、また写真の説明を書くことができる。	9	9.1	アクセサリーに関する英単語を学ぶ 「形容詞の比較級」を学ぶ	11	9.1	いろいろな物を比較する会話を練習する
		10	9.2	顔や髪などの特徴に関する英単語を学ぶ 「形容詞の最上級」を学ぶ	12	9.2	[形容詞の最上級」を使って、 写真に写った人について話す
		11	9.3	アドバイスをしたり、受けたりする際の表現を学ぶ /ʒ/の発音を学ぶ	13	9.3	[I guess]を使って、アドバイスを相手に求める、またはアドバイスをする会話を練習する
		12	9.4	写真についての説明に使う表現を学ぶ	14	9.4	写真についての説明を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告を作り、発表する」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 職業	将来の予想を立てることができる。 アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。	16	10.1	職業に関する単語を学ぶ [have to]の使い方を学ぶ	16	10.1	仕事でどのように危険を避けるかを話し合う
		17	10.2	怪我や病気の表現を学ぶ 未来に起こるかもしれないことを予測する表現を学ぶ	17	10.2	これから先のことについて、適切に表現できるよう、練習する
		18	10.3	相手の体調を尋ねる、症状を述べる際の表現を学ぶ 語末の子音の発音を学ぶ	18	10.3	[It feels like (it's like)]を使って、 体調不良や怪我の症状などについて話す
		19	10.4	[be afraid of]などの表現を学ぶ	19	10.4	将来の自分に向けたメッセージを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「リアリティ番組を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 ソーシャル メディア	したことがあること、ないことについて話すことができる。 インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書くことができる。	20	11.1	インターネット上で使用するフレーズを学ぶ 「現在完了形（経験）」を学ぶ	21	11.1	今までに経験したことや経験したことのないことについて話し合う
		21	11.2	ソーシャルメディアで用いる単語やフレーズを学ぶ 「現在完了形」と「過去形」の違いを学ぶ	22	11.2	ソーシャルメディアについての内容を読む、話す、質問する
		22	11.3	お願い（頼み事）をする、許可を得る際の表現を学ぶ /n/と/m/の発音を学ぶ	23	11.3	誰かに頼み事をしたり、許可を得ることができるよう、練習する または、その反応をする表現を練習する
		23	11.4	情報画像、インフォグラフィック（図、表など）を用いたブログを読む [I always thought…/I think it's interesting that…/Who cares?]などの表現を学ぶ	24	11.4	インフォグラフィックを読む、コメントを書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ビデオ、またVlogを作る」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 アウトドア	天気について話すことができる。 場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。	24	12.1	天気に関する単語を学ぶ [be like]の疑問文での使い方を学ぶ	26	12.1	[be like]を使って、天気について話す
		25	12.2	風景や都市の景観を表す英単語を学ぶ 「関係代名詞(who, which, that)」の使い方を学ぶ	27	12.2	関係代名詞を使って、 場所、人、物事を説明する
		26	12.3	道を尋ねる、また道を教える際の表現を学ぶ 単語の始めの/w/の発音を学ぶ	28	12.3	道を尋ねる、また道を聞かれた時に答える会話を練習する
		27	12.4	手順を説明する際に使用する順序を表す単語を学ぶ /t/の音が/d/寄りになる時の発音について学ぶ	29	12.4	簡単な指示文を書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルBに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッス	学習内容 （対面）
Unit 1 知り合いになる	相手に質問をする、また質問に答えることができる。 自己紹介をし、知り合いになることができる。 親戚へのメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	性格を表す単語を学ぶ [WH-question]を使った表現を学ぶ	1	1.1	[WH-question]を使って相手の性格について尋ねる会話を練習する
		2	1.2	個人の情報（ライフステージ）に関する表現を学ぶ 間接疑問文を学ぶ	2	1.2	「間接疑問文」を使って、人に質問をする、 また質問に答える練習をする
		3	1.3	新しい情報を伝える時の文中のストレス（発音）を学ぶ 自己紹介、他己紹介の表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介と他己紹介に関する会話を練習する
		4	1.4	段落を意識したメールの読み方、書き方を学ぶ	4	1.4	誰かと知り合いになるためのメールを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「良いリーダーになるために必要なこと」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 持ち物	自分の持ち物について述べることができる。 ネット広告を読む、また書くことができる。	5	2.1	持ち物や持ち物に関連する表現を学ぶ [ever/never/for/since]を用いた現在完了形を学ぶ	6	2.1	現在進行形を使って持ち物について話す
		6	2.2	スマホやPCの機能に関する表現を学ぶ [already/yet]を用いた現在完了形を学ぶ	7	2.2	現在完了形を使って持ち物や その機能などについて話す
		7	2.3	語頭の/t/の発音を学ぶ 話題を変える際の表現を学ぶ 簡単な聞き返し（興味を示す）の表現を学ぶ	8	2.3	聞き返しの表現や話題を変える際の表現を使って ディスカッションをする
		8	2.4	ネット広告の読み方、書き方を学ぶ 代名詞としてのoneの使い方を学ぶ	9	2.4	欲しいものについての広告を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「出かける時の持ち物について」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 街の場所/道順	助動詞を用いて、自分の町について話すことができる。 ビル内の道順を尋ねる、また教えることができる。 求職申し込みを読み、申込書を書くことができる。	9	3.1	街中の橋や建物などの特徴に関する単語を学ぶ 冠詞について学ぶ	11	3.1	冠詞に注意しながら、自分の町について 尋ねる、また質問に答える練習をする
		10	3.2	公共交通機関に関する単語を学ぶ 助動詞［would/could/should］を使った提案の表現を学ぶ	12	3.2	［would/could/should］を使って、 他の場所への生き方について話す
		11	3.3	語頭の子音連結（発音）を学ぶ 道順を尋ねる、また教える際の表現を学ぶ 理解を示すための繰り返し（言い直し）の表現を学ぶ	13	3.3	建物内の道案内の場面での会話を練習する
		12	3.4	求人広告を読み、志望動機の書き方を学ぶ 大文字やピリオドなど、基本的なルールを学ぶ	14	3.4	求人に対して志望動機を書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 計画を立てる	個人的な意見を述べ、計画を立てることができる。 安心させる、またそれに答えることができる。 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、また書くことができる。	16	4.1	意見や反応を示す単語を学習する [be going to/will]を使った未来についての表現を学ぶ	16	4.1	［be going to/will］を使って、週末の予定について話す
		17	4.2	計画を立てる際の表現を学習する [will]をを用いた突然の決定、予定に関する表現を学ぶ	17	4.2	［be going to/will］を使って、旅行の計画について話す
		18	4.3	語頭の/p/の発音を学ぶ 安心させる言葉、またその反応を学ぶ [at least]を用いた表現を学ぶ	18	4.3	心配や不安になる状況での会話を練習する
		19	4.4	イベントの内容、スケジュールについての英文メールの読み方、書き方を学ぶ 順序に関する表現を学ぶ	19	4.4	イベント内容やスケジュールについての情報を伝えるメールを書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「さまざまな人に異なるアクティビティをアサインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 ストーリーを話す	驚いたできごと（ものを失くす、見つける、助ける、助けを求める）について話すことができる。 簡単な物語を読む、また書くことができる。	20	5.1	ものを失くす、見つける際の表現を学ぶ 単純過去形の使い方を学ぶ	21	5.1	単純過去形を使って、失くしたものや、見つけたものについて話す
		21	5.2	助けを求める、助ける際の表現を学ぶ 単純過去形と過去進行形について学ぶ、復習する	22	5.2	単純過去形、過去進行形を使って、 助けが必要になる場面での会話を練習する
		22	5.3	驚きを表す際の発音（ストレス）を学ぶ 驚いたことを示す、リアクションに関する表現を学ぶ	23	5.3	驚いたできごとについて話す
		23	5.4	短い物語を読み理解し、書き方を学ぶ	24	5.4	短い物語を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「おもしろい、驚くストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 問題と解決	都会の問題と解決策について話すことができる。 様々な状況での心配、また安心を表現することができる。 価値観についてのネット投稿を読む、また書くことができる。	24	6.1	都会の問題に関する表現を学ぶ 数量詞について学ぶ	26	6.1	数量詞を使って、都会の問題について話す
		25	6.2	マナーに関する副詞を学ぶ [If/When]を用いた現在・未来の条件節を学ぶ	27	6.2	現在・未来の条件節を使って、問題と解決策について話す
		26	6.3	語末のyの発音を学ぶ 様々な状況での心配、また安心を示す際の表現を学ぶ [though]を使った反対意見の述べ方を学ぶ	28	6.3	[though]を使って反対意見を述べる練習をする 心配や安心を表す表現を使った会話を練習する
		27	6.4	価値観についてのネット投稿を読み、書き方を学ぶ ライティングにおける質問文の書き方を学ぶ	29	6.4	価値観についてのネット投稿に対し、自分のコメント（考え）を書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッス	学習内容 （対面）
Unit 7 エンターテイメント	音楽、TV番組、映画について話すことができる。 誘いを断る、またそれに答えることができる。 映画のレビューを読む、また書くことができる。	1	7.1	音楽の種類に関する単語を学ぶ [used to]を用いた過去の習慣に関する表現を学ぶ	1	7.1	[used to]を使って音楽についての好みの変化について話す
		2	7.2	TV番組や映画に関連する表現を学ぶ [(not) as…as]を用いた比較の表現を学ぶ	2	7.2	比較の表現を使って、TV番組や映画について話す
		3	7.3	[I'm]の/m/の発音を学ぶ 誘いを断る、またそれに答える表現を学ぶ [kind of]を用いた、言い方を和らげる表現を学ぶ	3	7.3	誘いを断る必要がある場面での会話を練習する
		4	7.4	映画のレビューを読み、書き方を学ぶ 映画に関する意見を述べる表現を学ぶ	4	7.4	映画のレビューを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「メディアやエンターテイメントにおける好みの違い」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 最近の出来事	最近していること、他人のニュースについて話すことができる。 タイムマネジメントについての投稿を読む、また書くことができる。	5	8.1	経験を表す単語を学ぶ 現在完了進行形について学ぶ	6	8.1	現在完了進行形を使って、最近していることについて話す
		6	8.2	進捗を表す表現を学ぶ 現在完了形と現在完了進行形について学ぶ	7	8.2	現在完了形や現在完了進行形を使って、 物事の進捗について話す
		7	8.3	/ɑ/,/æ/の発音を学ぶ 久しぶりにあった際の挨拶、近況を尋ねる表現を学ぶ [that would be]を用いた自分の意見（コメント）の述べ方を学ぶ	8	8.3	他人のニュースについて、自分の意見を離す
		8	8.4	タイムマネジメントについての投稿を読む 物事が起こった際の時間を表す表現を学ぶ	9	8.4	タイムマネジメントについての投稿を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「時間を有効に使う方法」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 学校と仕事	学校や職場でのルール、勉強方法について話すことができる。 自信の有無について表現できる。 履歴書を読み要点を理解し、またおおまかな履歴書を書くことができる。	9	9.1	大学での科目に関する表現を学ぶ 助詞［have to, need to, must］を学ぶ	11	9.1	助詞［have to, need to, must］を使って、大学や学校で学ぶ科目について話す
		10	9.2	雇用、仕事に関する表現を学ぶ 助詞［can't, must not］を使った許可・禁止の表現を学ぶ	12	9.2	助詞［can't, must not］を使って、在宅勤務・自宅学習のルールんいついてディスカッションをする
		11	9.3	文中の区切り（発音）を学ぶ 自信の有無を表す表現を学ぶ [the thing is]を用いた理由を述べる表現を学ぶ	13	9.3	心配していること（自身がないこと）、自身があることについて話す
		12	9.4	履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ	14	9.4	自分の履歴書について、要点を書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分に合った完璧な仕事をデザインする」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 商品と選択	商品の詳細について、商品を選ぶ理由について説明することができる。 他人が選んだものについて質問する、商品に関するレビューを読む、また書くことができる。	16	10.1	材質に関する単語を学ぶ 単純現在形の受動態について学ぶ	16	10.1	商品の素材や材料について話す
		17	10.2	商品や輸送に関する単語を学ぶ 単純過去形の受動態について学ぶ	17	10.2	商品の生産地について話す
		18	10.3	/u/,/ʊ/,/aʊ/の発音を学ぶ 他人の選択に関して質問する際の表現を学ぶ [Now that I think..]などを用いた考えを変える際の表現を学ぶ	18	10.3	買いたいものについて話す、理由を尋ねる練習をする
		19	10.4	商品に関するレビューの読み方、書き方を学ぶ [However/Although]を用いた逆説の表現を学ぶ	19	10.4	商品に関するレビューを書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「商品のCMを作成する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 成功の秘訣	想像上のチャレンジについて、また成功の秘訣について話すことができる。 意見を述べ、賛成を求めることができる。 自分を奮い立たせる方法についてのネット記事を読み、それに関するストーリーを書くことができる。	20	11.1	句動詞［work out, set up, など］の表現を学ぶ	21	11.1	句動詞［work out, set up, など］を使って、成功の秘訣について話す
		21	11.2	機会や危険に関する単語を学ぶ 現在・未来の条件節について学ぶ	22	11.2	現在・未来の条件文を使って、想像上のチャレンジについて話す
		22	11.3	/ʃ/,/ʤ/の発音を学ぶ 了承を得る、了承を求める際の表現を学ぶ 言葉を和らげる表現[I guess/I feel like]を学ぶ	23	11.3	意見を述べる、了承を求める練習をする
		23	11.4	自身の身に起きた出来事についての書き方を学ぶ ［On the one hand, … and on the other hand,］を用いた比較の表現を学ぶ	24	11.4	自身の身に起きた出来事について書く。
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「憧れの人について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 事故と感情	事故について、またその時の気持ちを表現できる。 人生の教訓についての逸話を読む、また書くことができる。	24	12.1	事故に関する表現を学ぶ 不定代名詞について学ぶ	26	12.1	事故について話す
		25	12.2	過激なことに関連する表現を学ぶ 直接話法と間接話法について学ぶ	27	12.2	体験した極端な出来事について話す
		26	12.3	語末のedの発音を学ぶ 自分の感情を述べる、相手の感情を尋ねる表現を学ぶ ［in the end" / "after all that"］の使い方を学ぶ	28	12.3	ある出来事に関する、自身の感情、気持ちを話す
		27	12.4	人生の教訓についての逸話を読み、書く方法を学ぶ 同じ意味をもつことばやフレーズの異なる表現方法を学ぶ	29	12.4	教訓となった出来事と学んだことについて書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルB+に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 成果、業績	個人の業績について話す、また人を紹介された時の受け答えができる。 ブロック投稿についてのコメントを読む、また書くことができる。	1	1.1	業績に関する表現を学ぶ 「単純時制」「進行時制」を学ぶ、復習する	1	1.1	単純時制や進行時制を使って、 個人の業績について話す
		2	1.2	資質などを表す表現について、 形容詞・名詞での表現を学ぶ 動作動詞・状態動詞の違いを学ぶ	2	1.2	雇用者が求める人材について話す、 個人や他人の業績を説明する
		3	1.3	yの発音を学ぶ 人を紹介する時の表現、また人を紹介された時の受け答えの表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介、他己紹介をする場面での会話を練習する
		4	1.4	賛成・反対・より多くの情報を求める際の表現を学ぶ	4	1.4	ブログの投稿を読む、投稿にコメントを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「面接のロールプレイ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 流行の食べ物	食べ物の流行について、また料理の準備（調理）について話すことができる。 社交の場で申し出をする、またそれを受けることができる。 調査についての結果を読む、また報告書を書くことができる。	5	2.1	流行に関する表現を学ぶ 条件節（If節）について学ぶ	6	2.1	流行に関する表現を使って、 トレンドについて話す
		6	2.2	食材や調理法についての表現を学ぶ 接続詞（after,until,whenなど）を用いた表現を学ぶ	7	2.2	接続詞を使って、料理の手順について話す
		7	2.3	/al/,/i/,/el/の発音を学ぶ 提案をする、また提案を受ける・断る際の表現を学ぶ 提案を相手が受け入れた際の受領の表現を学ぶ	8	2.3	提案をする際の表現を使って、 社交の場や料理を注文する場面での会話を練習する
		8	2.4	消失する/t/の発音について学ぶ 調査報告に用いられる表現を学ぶ	9	2.4	調査についての結果を読む、また報告書を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「レストランの改善策を計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 お金と時間	時間とお金の相対的な重要性について話すことができる。 謝罪をする、また謝罪を受けることができる。 商品のレビューを読む、また書くことができる。	9	3.1	時間とお金に関連する表現を学ぶ [too, enough] について学ぶ	11	3.1	[too/enough]を使い、物事の「程度」について話す 時間とお金の相対的な重要性について話す
		10	3.2	価格と価値に関連する表現を学ぶ 形容詞の比較級について学ぶ、復習する	12	3.2	比較級の表現を使って、物事の価値や 価値を判断する基準について話す
		11	3.3	/s/で始まる語の発音を学ぶ 謝罪をする、謝罪を受ける際の表現を学ぶ	13	3.3	謝罪が必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	商品レビューに関するポジティブ、ネガティブな表現を学ぶ	14	3.4	商品のレビューを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「批判的な商品レビューへの対応についてディスカッション」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 広告と注目されるストーリー	ネット等で注目されているストーリーについて話すことができる。 意見を交換し、ディスカッションができる。 ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、また書くことができる。	16	4.1	広告に関する表現を学ぶ [might, must, can't]（推測）の使い方を学ぶ	16	4.1	推測の表現を用いて、 絵や写真の描写をする
		17	4.2	メディア関連の人を表す表現を学ぶ 関係代名詞の主格、目的格について学ぶ	17	4.2	関係代名詞を使って、 ネット等で注目されている人、ストーリーについて話す
		18	4.3	/ɔ/,/ɑ/の発音について学ぶ 意見交換・ディスカッションする際の表現を学ぶ allを用いた強調表現を学ぶ	18	4.3	[all]を使い、強調したい内容を述べる練習をする 意見を交換し、ディスカッションをする
		19	4.4	[because,so]を用いて理由や結果を述べる表現を学ぶ	19	4.4	ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告をデザインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 本当の出来事	様々な種類のストーリーについて話すことができる。 過去の計画について、またその変更について話すことができる。 会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、謝罪の手紙を書くことができる。	20	5.1	ストーリーの種類を表す表現を学ぶ [had/would]（過去完了形）の使い方を学ぶ	21	5.1	過去完了を使って、 様々な種類のストーリーについて話す
		21	5.2	計画を立てる・破る際の表現を学ぶ [was/were going to, was/were supposed to]の使い方を学ぶ	22	5.2	[was/were going to, was/were supposed to]を使って、計画の変更について話す
		22	5.3	語末の子音の発音について学ぶ 問題への対応、解決策の提示・受領の表現を学ぶ 失望を表す表現を学ぶ	23	5.3	失望を表す表現を使って、 残念なニュースへのリアクションをする
		23	5.4	謝罪の気持ちを表す様々な表現を学ぶ	24	5.4	会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、 謝罪の手紙を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「偶然の出会いについてのストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 コミュニティ活動	チャリティやボランティア活動について話すことができる。 助けを求める、また断ることができる。 コミュニティ計画についてのレポートを読む、また書くことができる。	24	6.1	善い行いに関する表現を学ぶ 「受動態（現在形、過去形）」を学ぶ、復習する	26	6.1	チャリティやボランティア活動について話す
		25	6.2	良い行いを表す動詞・名詞・形容詞の形を学ぶ 「受動態助詞][must, might, can, will]の使い方を学ぶ	27	6.2	近所の人の親切な行為について話す
		26	6.3	/b/,/v/の発音について学ぶ 助けを求める、また断る際の表現を学ぶ	28	6.3	様々な助けが必要な場面での会話を練習する
		27	6.4	語中の/j/の発音について学ぶ レポートの中での意見を述べる表現を学ぶ	29	6.4	コミュニティ計画についてのレポートを読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 コミュニケーション	話す・書くコミュニケーションについてディスカッションをする。 会話やニュース、記事について詳しく話すことができる。 フォーマル/インフォーマルな手紙を読む、また書くことができる。	1	7.1	コミュニケーションに関する表現を学ぶ 「間接話法」について学ぶ	1	7.1	メッセージアプリの重要性について話す
		2	7.2	オンラインでのコミュニケーションに関する表現を学ぶ 疑問文の間接話法について学ぶ	2	7.2	話す・書くコミュニケーションについて ディスカッションをする
		3	7.3	語末の/s/,/z/の発音を学ぶ 話（ストーリー）を語る際の表現を学ぶ	3	7.3	会話やニュース、記事について詳しく話す
		4	7.4	Eメール中でのフォーマル／インフォーマルな表現を学ぶ	4	7.4	フォーマル／インフォーマルなEメールを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニケーションに関する調査」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ライフスタイル	異なるワークライフについて話すことができる。 最終決定までの選択肢について話すことができる。 ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書くことができる。	5	8.1	様々な仕事を表す表現を学ぶ 仮定法（現在）について学ぶ	6	8.1	仮定法の表現を使って、 異なるライフスタイルについて話す
		6	8.2	ワーク・ライフバランスに関する表現を学ぶ I wish（仮定法）について学ぶ	7	8.2	I wishを用いて願望や後悔について話す
		7	8.3	母音/ʒ/,/u/の発音を学ぶ 選択を迫られた時の表現、その際の提案や警告に関する表現を学ぶ	8	8.3	様々な選択肢がある状況での会話を練習する
		8	8.4	文中の強調表現（発音）について学ぶ 他人の文言や意見を参照する際の表現を学ぶ	9	8.4	ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「デジタル・デトックスの計画を立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 ルールと制限	ルールと制限について話すことができる。 一般的な基準を定めることができる。 ビジネスにおける批判を読む、また書くことができる。	9	9.1	様々な場所を表す表現を学ぶ 禁止・許可・義務（現在）を表す表現を学ぶ	11	9.1	禁止・許可などの表現を使って、 日常のルールや制限について話す
		10	9.2	ルールに関する表現を学ぶ 禁止・許可・義務（過去）を表す表現を学ぶ	12	9.2	禁止・許可などの表現を使って、 過去にあったルールや制限について話す
		11	9.3	語頭の/d/の発音を学ぶ 一般的な基準を定める際に使う表現を学ぶ	13	9.3	社会ルール／文化の比較についてディスカッションをする
		12	9.4	批判を読む・書く際の表現を学ぶ 態度を示す副詞について学ぶ	14	9.4	ビジネスにおける批判を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の改善点について」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 発見と発明	過去の出来事について思索することができる。 代用品と可能性について話すことができる。 なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、また書くことができる。	16	10.1	発見や研究に関する表現を学ぶ 仮定法（過去）について学ぶ	16	10.1	過去の出来事について思索し、話す
		17	10.2	正しいこと／間違っていることに関する表現を学ぶ [should have, could have, might have]を用いた過去の可能性の表現を学ぶ	17	10.2	可能性の表現を用いて、代用品と可能性について話す
		18	10.3	母音の発音（長短）について学ぶ 相手の関心を惹く際、関心を示す際の表現を学ぶ	18	10.3	話し相手の関心を維持しながらディスカッションをする
		19	10.4	文中での強弱（発音）を学ぶ 同様のもの、対照的なものを表す表現を学ぶ	19	10.4	なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 対照的なもの	科学的な事実について話すことができる。 代わりになるものについてディスカッションし、提案をすることができる。 テクノロジーの進化についての意見を読み、反応を書くことができる。	20	11.1	大学教育に関する表現を学ぶ [forget, remember, stop]の後のto不定詞、動名詞について学ぶ	21	11.1	to不定詞、動名詞の表現を使って、 大学の生活について話す
		21	11.2	科学に関する表現を学ぶ 使役動詞[help, let, make]の使い方を学ぶ	22	11.2	科学的な事実についてディスカッションをする
		22	11.3	音節のストレス（発音）について学ぶ 代替品を勧める、他の選択肢について尋ねる、デメリットについて述べる際の表現を学ぶ	23	11.3	代わりになるものについてディスカッションをする
		23	11.4	議論を始める・追加する、結論を述べる際の表現を学ぶ	24	11.4	議論を含むコメントを読む、書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「問題解決についての提案」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 過去を振り返る	特別な写真について、またその背景のストーリーを述べることができる。 過去の経験を振返り、共有することができる。 ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、また書くことができる。	24	12.1	知覚（においや音、触感など）に関する表現を学ぶ 強調表現を学ぶ	26	12.1	特別な写真について、またその背景のストーリーについて話す
		25	12.2	記憶、想い出に関する表現を学ぶ [one]（代入）、[it/this]（参照）の使い方を学ぶ	27	12.2	子どもの頃の思い出について話す
		26	12.3	子音連結（発音）について学ぶ 返答を促す、記憶を思い起こす際の表現を学ぶ	28	12.3	過去の経験を振返り、話す
		27	12.4	文と文の連結する際の表現の発音（ストレス）を学ぶ メリット、デメリットを述べる際の表現を学ぶ	29	12.4	ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルAに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 1 一歩前進する	変化への対応方法についや現在・過去の習慣について話すことができる。 問題についてディスカッションをし、強く賛成することができる。 意見についてのエッセイを読む、また書くことができる。	1	1.1	困難に直面した時の表現方法を学ぶ 現在の習慣についての表現を学ぶ	1	1.1	困難なことの対処方法について話す
		2	1.2	困ったことを表す表現を学ぶ 過去にあった習慣、困難なことについての表現を学ぶ	2	1.2	過去にあった困難なことについて話す
		3	1.3	強調表現、/tʃ/の発音を学ぶ 様々なコミュニケーションの種類について学ぶ 問題についてディスカッションをする、また強く賛成する際の表現を学ぶ	3	1.3	過去と現在にあったものを比較し、ディスカッションをする
		4	1.4	エッセイの組み立て方を学ぶ	4	1.4	意見を述べるエッセイを読む、書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の懐かしい思い出」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 自然の限界	発見と研究について、異なる環境下での生活について話すことができる。 重要な情報を交換することができる。 自然の中での暮らしについてのインタビュー記事を読むことができる。 場所に関する説明文を書くことができる。	5	2.1	宇宙、海洋探査に関する表現を学ぶ 比較を用いた表現を学ぶ	6	2.1	比較を用いた表現を使って、 探究や研究について話す
		6	2.2	自然界に関する単語を学ぶ 最上級を用いた表現を学ぶ	7	2.2	最上級を用いた表現を使って、 異なる環境下での生物について話す
		7	2.3	アクセントの強弱、リズムについて学ぶ /w/,/v/の発音を学ぶ 情報を求める、また提供する際の表現を学ぶ	8	2.3	重要な情報の交換、自由時間の行動についてアドバイスする
		8	2.4	数に関する表現を学ぶ 遠く離れた場所での生活についての記事を読む	9	2.4	場所についての説明文を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「アウトドア計画を立てる」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 私のあり方	性格のタイプについて、好き・嫌いについて話すことができる。 リクエストをする、また答えることができる。 採用に関する投稿を読む、志望動機を書くことができる。	9	3.1	性格のタイプに関する表現を学ぶ 関係詞を使った表現を学ぶ	11	3.1	様々な性格のタイプについて話す
		10	3.2	強い感情を表す単語を学ぶ 現在分詞を用いた表現を学ぶ	12	3.2	現在分詞を使って、 好きなもの・嫌いなものについて話す
		11	3.3	語末の/t/の発音を学ぶ 礼儀正しいイントネーション（発音）を学ぶ リクエストをする、また答える際の表現を学ぶ	13	3.3	リクエストや助けが必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	動物園の求人広告を読む パーソナルステイトメントの書き方を学ぶ	14	3.4	パーソナルステイトメントを書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「就職面接」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 協力	サポートチームについて話すことができる。 有利な点、不利な点についてディスカッションをすることができる。 サマリーを読む、また書くことができる。	16	4.1	仕事上の関係に関する表現を学ぶ [so..that][such..that][even][only]を用いた表現を学ぶ	16	4.1	生活の中でのサポートチームについて話す
		17	4.2	アイディアの評価に関連する表現を学ぶ 再帰代名詞[self][selves]、[other][another]を用いた代名詞について学ぶ	17	4.2	再帰代名詞を使って、 何かを決定するために必要な評価について話す
		18	4.3	子音-母音のリンキング（発音）について学ぶ 2語（フレーズ）でのストレス（発音）について学ぶ 有利な点、不利な点について話す	18	4.3	有利な点／不利な点などの観点から ジョブシェアリングについて話す
		19	4.4	チームワークについての記事を読む サマリーの書き方を学ぶ	19	4.4	記事のサマリーを書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「資金調達のためのイベントを計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 ヒューマンファクター	新しい技術が人に与える影響、また未来のコミュニケーションについて話すことができる。 案を検討する、比較することができる。 オンライン記事を読む、また例と共に記事を書くことができる。	20	5.1	感情のコントロールに関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	21	5.1	仮定法の表現を使って、 新しい技術が人に与える影響について話す
		21	5.2	やりたい事、気が進まない事に関する表現を学ぶ 「if」以外の仮定法の表現を学ぶ	22	5.2	未来のコミュニケーションについてディスカッションをする
		22	5.3	/I/,/e/,/æ/の発音について学ぶ 文中でのストレス（発音）を学ぶ 確かなもの、不確かなものを述べる際の表現を学ぶ	23	5.3	ビデオゲームについてディスカッションをする 確かなもの・不確かなものについて話す
		23	5.4	翻訳アプリに関する記事を読む 自分の意見をサポートする例を述べる表現を学ぶ	24	5.4	オンライン記事に対するコメントを、例を交えて書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニティ改善計画」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 予期できないものを予期する	予期できない状況について話すことができる。 憶測を立てることができる。 興味深いストーリーを読む、また書くことが出来る。	26	6.1	名声に関する表現を学ぶ 過去形・過去進行形・過去完了形・過去完了進行形を用いた表現を学ぶ	24	6.1	時制を用いた表現を使って、 予期せぬ名声について話す
		27	6.2	「主張する」などの伝達動詞の表現を学ぶ [can]などの助動詞を用いた間接話法を学ぶ	25	6.2	間接話法を使って、 予期できない状況について話す
		28	6.3	複合動詞の発音について学ぶ 母音の長短（発音）について学ぶ 憶測を立てる、また他人の憶測に反応する際の表現を学ぶ	26	6.3	予期せぬ状況の中での会話を練習する
		29	6.4	恥ずかしい失敗についての投稿を読む 長文や短文を用いた面白いストーリーの書き方を学ぶ	27	6.4	面白いストーリーを書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 7 優先順位	価値のある経験について、また買い物について話すことができる。 賛成と反対についてのエッセイを読む、書くことができる。	1	7.1	ポジティブな経験に関する表現を学ぶ 形容詞や名詞の後の不動名詞、不定詞表現を学ぶ	1	7.1	価値のある経験について話す
		2	7.2	買い物、購入に関する表現を学ぶ 動詞のあとの不定詞表現（目的語あり、なし）を学ぶ	2	7.2	自分が買ったものについて話す
		3	7.3	母音のリンキング（発音）について学ぶ /ŋ/の発音について学ぶ 価格を交渉する際の表現を学ぶ	3	7.3	バーゲン時（価格を交渉する場面）の会話を練習する
		4	7.4	価値のある経験についてのエッセイを読む エッセイを書く上での表現、パラグラフの組立を学ぶ	4	7.4	賛成と反対についてのエッセイを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ボート旅行の交渉をする」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ささいな問題	サイドプロジェクトについて話すことができる。 他人のアイディアに対し反応することができる。 クレームの手紙を読む、また書くことができる。	6	8.1	整頓しているもの、また乱雑なものについての表現を学ぶ [be…to＋動詞]を用いた、義務等を表す文法表現を学ぶ	5	8.1	整頓しているもの、乱雑なものについて話す
		7	8.2	進捗に関する表現を学ぶ 未来形の表現を学ぶ	6	8.2	未来形の表現を使って、 サイドプロジェクトについて話す
		8	8.3	強調（発音）について学ぶ 何かを対比する際のストレス（発音）を学ぶ 他人のアイディアに対して意見を述べる際の表現を学ぶ	7	8.3	イベントを計画しながら、他人のアイディアに意見を述べる練習をする
		9	8.4	効果的なクレームを伝える方法についての文章を読む クレームを伝える際の表現、クレームに関するレターの構成を学ぶ	8	8.4	会社や店に対してクレームのレターを書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ストレスを減らす方法」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 物事が起こる	人生を違うものにすること、失敗について話すことができる。 人を安心させることができる。 アドバイスについて書かれた記事を読む、書くことができる。	11	9.1	運や選択に関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	9	9.1	仮定法を用いた表現を使って、 人生における変化について話す
		12	9.2	失敗や間違いに関連する表現を学ぶ [I wish]などを用いた願望、後悔に関する表現を学ぶ	10	9.2	過去の失敗について話す
		13	9.3	文中の区切り（発音）を学ぶ 条件節でのイントネーションを学ぶ	11	9.3	人が抱える問題について、安心させる表現を述べる練習をする
		14	9.4	初めて会う人とのスモールトークについての記事を読む アドバイスを与える記事の書き方（必要な要素、構成）を学ぶ	12	9.4	自分が良く知る事柄について、アドバイスについての記事を書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテ-ション 「クラス同窓会」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 人物、プロフィール	人々の性格について、習慣について話すことができる。 印象について述べることができる。 公的なプロフィールを読む、また書くことができる。	16	10.1	人々の性格の特徴についての表現を学ぶ 「前置詞＋動名詞」の表現を学ぶ	16	10.1	自分と友人の性格の違いについて話す
		17	10.2	顧客リサーチにに関する表現を学ぶ 使役動詞を用いた表現を学ぶ	17	10.2	顧客が求めているもの、提供できるものについて話す
		18	10.3	直接引用（“”）での発音を学ぶ /ei/,/ai/,/ɔi/の発音を学ぶ 自身の印象について述べる際の表現を学ぶ	18	10.3	会話の中で自分の印象を述べる練習をする
		19	10.4	公的なプロフィールを読む 公的なプロフィールを書く際のフォーマルな表現を学ぶ	19	10.4	フォーマルな表現を用いて、公的なプロフィールを書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「会社のウェブサイトの改善方法を検討する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 本当に？	偽の商品、また誤情報について話すことができる。 信じている事、信じていない事を表現することができる。 説得力のあるエッセイを読む、書くことができる。	21	11.1	一般消費者が買う商品に関連する表現を学ぶ 受身表現を学ぶ	20	11.1	商品を表す表現（形容詞）を使って、 偽の商品について話す
		22	11.2	真実の度合いを表す表現を学ぶ [should]など義務を表す助動詞＋受身の表現方法を学ぶ	21	11.2	誤情報について話す
		23	11.3	感嘆符、命令表現でのイントネーションを学ぶ /ou/,/au/の発音を学ぶ 信じていること、信じていないことについて表現を学ぶ	22	11.3	信じていること、信じていないことについてディスカッションをする
		24	11.4	偽の商品レビューの見分け方についての記事を読む 説得力のある文章を書く際の表現や構成を学ぶ	23	11.4	説得力のある文章を書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「解決策をシェアする」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 必要な資質	才能について、目標について話すことができる。 パフォーマンスに対するレビューを読む、また書くことができる。	26	12.1	スキルやパフォーマンスに関する表現を学ぶ 「副詞＋形容詞、副詞」の表現を学ぶ	24	12.1	才能について話す
		27	12.2	感情的に影響を与える際の表現を学ぶ 不可算名詞に関する表現を学ぶ	25	12.2	人生を豊かにする方法についてディスカッションをする
		28	12.3	/d/→/b/など、変化する発音について学ぶ 音節のストレス（発音）を学ぶ 野望を表す表現を学ぶ	26	12.3	自分の目標について話す
		29	12.4	コンサートの裏側担当（技術者）による個人的なストーリーを読む パフォーマンスのレビューを書く際のフォーマル、インフォーマルな表現を学ぶ	27	12.4	パフォーマンスのレビューを書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、全コース振り返り			

科目名（英）	フード＆ビバレッジⅠ Food＆Beverage Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	濵中　健一
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	月曜日4時限

【授業の学習内容】
フードからドリンクまで食の分野に関する基礎知識を学びます

※教務実務経歴：1994年～2011年まで現場でパティシエとして勤務、ホテルのシェフパティシエや商品開発も行う　資格：技能検定1級、職業訓練指導員他

【到達目標】
業界で働くにあたって必要な食に関する基礎知識を取得出来る

＜具体的な目標＞
食べ物の味覚の違いや季節間、コース料理の流れや簡単なマナーを身に付けることが出来る

授業計画・内容	
第1回	2023/4/10　味覚についての基礎知識
第2回	2023/4/17　色々な食べ物を知る（実験）
第3回	2023/4/23料理の種類（世界、日本）
第4回	2023/5/8　色々な料理の流れを知る
第5回	2023/5/15 ドリンク実習（上園先生）
第6回	2023/5/22ドリンク実習（上園先生）
第7回	2023/5/29調理（白川先生）料理についての基礎知識
第8回	2023/6/5調理（白川先生）料理についての基礎知識
第9回	2023/6/12　デザートについて
第10回	2023/6/19チョコレート　コンフィズリー
第11回	2023/6/26焼き菓子
第12回	2023/7/3調理（白川先生）料理についての基礎知識
第13回	2023/7/10コース料理
第14回	2023/8/21コース料理
第15回	2023/8/28テスト
準備学習　時間外学習	
評価方法	●出席点(25%) ●筆記試験(75%)　授業内で習った内容の確認
受講生へのメッセージ	お客様に喜んでもらうためにはまずは自分が食の楽しさを知ることが大事です。 色々なことに興味を持って取り組みましょう

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	宿泊業務演習Ⅰ Accomodation business training　Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

専任講師が、他の業務の基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃のチーム意識と行動を身につけることができる。

※実務経験
サービス業界にて10年以上の接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績。

【到達目標】

・ホテルの主体である宿泊に関する業務を知る
・ロールプレングをすることによって、業務を実践的に身につけることができる

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、ホテルの心得を理解できる
第2回	ホテルの心得・専門用語と使い方・言葉づかい・電話応対を理解できる
第3回	現代のホテルビジネスを支える情報システムを理解できる
第4回	宿泊部門／業務の流れ（客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り）を理解できる
第5回	宿泊部門／業務の流れ（客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り）を実践形式で対応できる
第6回	宿泊部門／フロントオフィスの業務について理解できる
第7回	中間評価
第8回	ロールプレイング／ベルマン・ドアマン・クロークの業務を理解し、実践形式で対応できる
第9回	ロールプレイング／フロント業務（リザベーション、レセプション、インフォメーションなど）を理解し、実践形式で対応できる
第10回	ロールプレイング／フロント、コンシェルジュ業務を実践形式で対応出来る
第11回	リスクマネジメント／ホテルビジネスにおける危機管理意識を理解できる
第12回	コンプレイン対応／ケーススタディからコンプレイン対応を理解できる
第13回	評価対策、「サービスのプロ」としての在り方を理解できる
第14回	評価試験
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	・授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく
評価方法	・筆記30%、実習試験50%（ロールプレレイング） ・授業態度20%（学んでいる姿勢、表情、言葉遣い、ディスカッションでの発言）
受講生への メッセージ	・学科で学んでいることを進んで行動し、ロールプレイングに活かし、即戦力になれるよう学んでほしいです。

【使用教科書・教材・参考書】

・学校テキスト

科目名（英）	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日1時限
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテル運営に関する実務知識を幅広く習得する為、「ホテルビジネス実務検定（H検）ベーシックレベル2級」の取得を目指して学習します。
ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で過去問題を解き、試験への耐性をつけていきます。

※実務経験
藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。
ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。

【到達目標】

①ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格。
②ホテルの各セクションで求められるニーズや提供すべきサービスも変わる為、ホテル運営に関する実務知識やオペレーションを理解し、基礎的なスキルを身につけた上でさらに現場で良いおもてなしができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション ： 自己紹介　講義の説明とホテルビジネス実務検定の概要、合格のメリット、受験の心構えについて解説
第2回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （観光産業の概況、ホテルの語源、偉大な2人のホテリエを学ぶ）
第3回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （米国のホテル史を飾る創業者・経営者、アジアにおけるホテルの発展を学ぶ）
第4回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （日本の観光産業とホテルの歴史を学ぶ）
第5回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （ホテル産業の概要を学ぶ）
第6回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （国際的慣習、ホスピタリティの本質、接客用語の基礎を学ぶ）
第7回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （①ホテル英会話を学ぶ）
第8回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （②ホテル英会話を学ぶ）
第9回	第2章宿泊部門を身につけることができる （宿泊部門の概要、組織と役割を学ぶ）
第10回	第2章宿泊部門を身につけることができる （宿泊約款、施設・設備の知識、宿泊商品を学ぶ）
第11回	第2章宿泊部門を身につけることができる （主なセクション業務を学ぶ）
第12回	第2章のまとめ
第13回	前期試験対策と第2章までのふりかえり
第14回	筆記試験
第15回	前期講義全体のふりかえりと第3章以降について解説
準備学習 時間外学習	①テキストと過去問題集は必ず持参すること。 ※過去問題集は、講義の最後にふりかえりを兼ねて使用する為、忘れないこと！ ②合格することだけをイメージし、予習・復習の時間（1日5分でもいいです）を取ること。 ③わからないところはスルーしない。必ず質問してクリアにすること。
評価方法	筆記試験・・・100%
受講生への メッセージ	テキストのボリュームに圧倒されると思います。また、専門用語やホテル英会話など業務に必要な用語がたくさん出てきます。講義では取りこぼしがないようにテキストに沿って重要な部分はわかりやすく丁寧に説明します。初日の講義では私が実際に受験した体験談と合格ラインについてお伝えします。学んだことは必ず現場で役に立ちます。一緒にベーシックレベル2級合格目指して頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター
【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター

科目名（英）	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で問題集や過去問題にチャレンジしてもらい、ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格を目指します。

※実務経験
藤田観光株式会社ワシントンホテル宿泊部フロント課　勤務。
ホテルビジネス実務検定1級取得。

【到達目標】

ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級の合格と、ホテル業界の基礎知識およびサービスオペレーションを体系的に理解し、即戦力として現場で生かすことができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：前期講義で学んだことが理解できているか、小テストをしながら確認することができる□
第2回	第3章　料飲部門（料飲部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第3回	第3章　料飲部門（料飲部門の実務）を理解することができる
第4回	第3章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第5回	第4章　宴会部門（宴会部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第6回	第4章　宴会部門（宴会部門の実務）を理解することができる
第7回	第4章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第8回	第5章　調理部門（調理部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第9回	第5章　調理部門（調理の種類と特徴）を理解することができる
第10回	第5章　調理部門（西洋料理の基本知識①基本ソース～⑦サラダ料理まで）を理解することができる
第11回	第5章　調理部門（西洋料理の基本知識⑧フロマージュ～⑪コーヒー・紅茶まで、西洋料理の主な担当業務）を理解することができる
第12回	第5章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第13回	後期評価試験対策
第14回	期末評価
第15回	検定試験に向けて評価基準と心得について再度確認し、モチベーションを維持する
準備学習 時間外学習	合格をイメージする、また現場で即戦力として活躍できることをイメージして、1日5分でもいいので時間を見つけてテキストを見返す、問題集・過去問題にトライして、耐性をつけてください。 わからない部分はあいまいにせず、質問してクリアにしてください。
評価方法	筆記試験・・・100%
受講生への メッセージ	テキストのボリュームに圧倒されると思います。専門用語もたくさん出てきますし現場でも専門用語が飛び交います。講義では、取りこぼしがないように重要な部分は丁寧に解説します。本番の試験は90分で200問出題されます。問題集や過去問題を解いて反復練習をすれば緊張する試験の場でも瞬時に答えが導けるようになりますので、あきらめずに学習しましょう！ 学んだことは現場で必ず役に立ちます。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター
【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター

科目名（英）	レストランサービス演習 Restaurant service training	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生　亮
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	木曜日1時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

レストランの管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎を知識を身に付ける。（概要）レストランにおける収益管理から、店舗設計・サービスに至るまでの運営をする手法を学ぶ。原価率・回転率・原材料費率・人件費率などの管理能力の基礎をより詳しく実践的にロールプレーイングなどを行いながら学ぶ。

授業計画・内容	
第1回	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
第2回	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
第3回	西洋料理に使用される主な食材（前菜・スープ・魚・甲類・貝類）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第4回	西洋料理に使用される主な食材（家畜・家禽・野菜）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第5回	西洋料理に使用される主な食材（パスタ・チーズ・デザート）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第6回	課題の抽出・中間試験対策
第7回	中間試験（筆記）
第8回	一般的な西洋料理調理方法（魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第9回	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
第10回	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
第11回	西洋料理の食事用具・備品（銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称）を学び説明出来るようになる
第12回	課題の抽出・試験対策
第13回	試験対策
第14回	評価週
第15回	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	レストランサービス演習 Restaurant service training	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

・場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る
・授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る
・行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る

授業計画・内容	
第1回	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる
第2回	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食事用具・備品を学び理解する事ができる
第3回	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる
第4回	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる
第5回	レストランサービスの種類および内容（方法・任務・準備・セッティング）を学び理解する事ができる
第6回	レストランサービスの内容（お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進）を学び理解する事ができる
第7回	レストランサービスの内容（テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ）を学び理解する事ができる
第8回	レストランサービスの内容（予約・解約・メニュー管理）を学び理解する事ができる
第9回	レストランサービスの内容（料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー）を学び理解する事ができる
第10回	レストランサービスの内容（食事の国際習慣・プロトコールの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装）を学び理解する事ができる
第11回	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る
第12回	施設管理（防火管理・消火装置・警報装置・維持）を学び重要性を学ぶ事が出来る
第13回	試験対策
第14回	期末試験
第15回	期末試験振り返り、及び苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生　亮
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	木曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

レストランの管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎を知識を身に付ける。（概要）レストランにおける収益管理から、店舗設計・サービスに至るまでの運営をする手法を学ぶ。原価率・回転率・原材料費率・人件費率などの管理能力の基礎をより詳しく実践的にロールプレーイングなどを行いながら学ぶ。

授業計画・内容	
第1回	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
第2回	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
第3回	西洋料理に使用される主な食材（前菜・スープ・魚・甲類・貝類）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第4回	西洋料理に使用される主な食材（家畜・家禽・野菜）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第5回	西洋料理に使用される主な食材（パスタ・チーズ・デザート）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第6回	課題の抽出・中間試験対策
第7回	中間試験（筆記）
第8回	一般的な西洋料理調理方法（魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第9回	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
第10回	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
第11回	西洋料理の食事用具・備品（銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称）を学び説明出来るようになる
第12回	課題の抽出・試験対策
第13回	試験対策
第14回	評価週
第15回	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

・場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る
・授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る
・行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る

授業計画・内容	
第1回	ソムリエ協会推奨 ワイン抜栓の方法を学ぶ事が出来る
第2回	オレンジカッティングの方法を学ぶ事が出来る
第3回	レモンスライス・カットが出来る様になる
第4回	スパイラルレモンの方法を学ぶ事が出来る
第5回	場面に応じたオーダーテイクのテクニックを学ぶ事が出来る
第6回	気がついても、減っていても注いではいけない水のサービス（グループワーク）を考える事が出来る
第7回	中間試験
第8回	グラスの磨き方を学ぶ事が出来る
第9回	テーブルナフキンの折り方を学ぶ事が出来る
第10回	箸置きの折り方を学ぶ事が出来る
第11回	レモンスライス・カットの応用ができるようになる
第12回	テーブルクロス（リネン全般）の使用方法を学ぶ事が出来る
第13回	試験対策
第14回	期末試験
第15回	期末試験振り返り、及び苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生へのメッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	フロントシステム Front system	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテルフロントにおいて宿泊・受付に必須なホテルシステムの概要と操作の実習。

※実務経験
ソフトウエア会社2年、フロント受付システム実務・指導経験10年、パソコン全般の活用実務経験20年以上　講師歴2年

【到達目標】

・ホテルフロントにおいて活用されているTAPシステム理解し、実務に活用できる予約受付ができる
・資格としてTAP検定を受験する

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：自己紹介・授業の目的について　フロントシステムの心得を知る事ができる
第2回	タップシステム基本概念：ホテルにとってのITとは？　必要性　を勉強し、タップシステムの基本概念について理解しできる
第3回	宿泊予約作成（確認要項）：電話で受ける通常の宿泊予約作成に確認必要な項目を理解し実践できる
第4回	宿泊予約作成（稼働状況）：予約登録画面上で販売可能な部屋種とその数を把握出来るようにシステムを使用できる
第5回	宿泊予約作成（宿泊料金）：宿泊予約に紐づける料金設定（パッケージ）に関して、その意味と設定方法を理解できる
第6回	宿泊予約作成（予約経路）：宿泊の各予約経路を学び、それぞれの特徴を理解し、役立てることができる
第7回	宿泊予約作成（アサイン）：予約に関わるルームアサインを勉強し、意味と操作方法を習得できる
第8回	予約作成（ケーススタディ1）：宿泊予約作成に関わる項目に踏まえた上で、実際の入力方法ができる
第9回	レセプション関連（チェックイン）：チェックイン関連の業務を学び、チェックインの流れを習得できる
第10回	レセプション関連（ステイ）：チェックイン後のレセプション関連の業務を理解し、必要な処理が出来るようにします
第11回	キャッシャー関連（伝票登録）：伝票登録など基本的なキャッシャー業務を理解し、必要な処理が出来るようにします
第12回	キャッシャー関連（チェックアウト）：チェックアウト関連の業務を学び、チェックアウトの流れを理解しできる
第13回	総合インフォメーション：総合インフォメーションがフロント業務を行う上での基本画面となることを理解し、できる
第14回	期末試験
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	パソコン操作と電話応対が基本になります 着席での対応スキルも一緒に学べるため、ホテルコンシェルジュの意識する
評価方法	筆記試験・・・100％
受講生への メッセージ	ホテル独自のシステムを扱います 通常のパソコン操作と独自の操作を自分のスキルアップとして学んでください

【使用教科書・教材・参考書】

フロントシステム

科目名（英）	観光概論 Tourism Introduction	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

現役添乗員が観光地を解説。生徒が知らない観光地を実感できるよう裏話も含めて解説します。国内の観光地理を学びます。
各県の観光施設、文化、歴史、特産品などを楽しみながら学び、一般教養としての知識を身に着けます。

【到達目標】

〇〇県の位置と主な観光施設、名産品が思い浮かぶようになる。

授業計画・内容	
第1回	北海道 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第2回	北海道 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第3回	東北 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第4回	東北 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第5回	関東 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第6回	関東 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第7回	中部 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第8回	中部 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第9回	近畿 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第10回	近畿 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第11回	四国 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第12回	九州 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第13回	九州 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第14回	観光地理テスト
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末試験 100%
受講生への メッセージ	写真がたくさん載った教材を利用しますので、ゲームの桃太郎電鉄のように楽しく観光地理を学びます。

【使用教科書・教材・参考書】

旅に出たくなる日本地図 帝国書院

科目名（英）	ホテル概論 Introduction to the Study of Hotel	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	佐藤　俊子
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	水曜日1時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日系、外資系問わず様々なジャンルのホテルに関する知識を習得します。

※実務経験：（株）東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。
その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティー英語指導を10年以上経験。
全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。

【到達目標】

日本を代表する有名ホテルの名称と場所、歴史、特徴を知ることができる。
日本のホテルには系列があるが、それをグループ分けして母体の企業とともにその発展の歴史を知ることができる
福岡、東京、大阪、京都、沖縄の代表的なホテルを知ることができる
外資系ホテルの特徴を知ることができる
新しく進出するホテル、改装するホテルなど最近の動きを知ることができる

授業計画・内容	
第1回	自己紹介と授業の進め方の説明を受けホテルに関する授業の受け方を知ることができる。
第2回	日本を代表する帝国ホテルについて知ることができる。
第3回	ホテルには系列があることを知ることができる。
第4回	福岡市内のホテルの歴史と詳細を知ることができる。
第5回	東京の主要なホテルを知ることができる。
第6回	東京ディズニーリゾートのホテルと横浜のホテルを知ることができる。
第7回	大阪、京都の主要なホテルを知ることができる。
第8回	沖縄のリゾートホテルを知ることができる。
第9回	外資系のホテルと日本のホテルの違いを理解することができる。
第10回	ホテルのレストランの料金が高い理由を理解することができる。
第11回	いいサービスについて理解することができる。
第12回	ホテルの環境対策（アメニティーの変更など）を理解することができる
第13回	ホテルの組織を知ることができる。前期のまとめとテスト対策
第14回	評価週
第15回	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業で知ったホテルをもっと詳しく知るためにネットで情報を得てください。 福岡市内のホテルに実際に足を運んでみましょう。 自分なりのホテルノートを作ることをお勧めします。
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。 レジメにコメントを書いて提出していただき、それを平常点とします。
受講生への メッセージ	有名なホテル、評価の高いホテル、歴史のあるホテルにはそれぞれストーリーがあります。ぜひそれを知ってホテルを大好きになって下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルレジメ
パソコンがあればぜひ毎回お持ちください。ない方はスマホで検索します。

科目名（英）	進級制作 Presentation to mark the current year's study	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1年次の集大成として、クラスメイトとともにイベント運営や企業研究を通して、チームワーク力を身につけます。

【到達目標】

・協調性を身につけ、クラスメイトとともに協力して企画～運営を行うことができる。
・相手の意見を理解し、尊重することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業の流れ
第2回	テーマ、内容決め
第3回	テーマ毎に準備、作業
第4回	テーマ毎に準備、作業
第5回	テーマ毎に準備、作業
第6回	テーマ毎に準備、作業
第7回	テーマ毎に準備、作業
第8回	テーマ毎に準備、作業
第9回	進捗状況確認、報告、共有
第10回	テーマ毎に準備、作業
第11回	テーマ毎に準備、作業
第12回	テーマ毎に準備、作業
第13回	テーマ毎に準備、作業
第14回	発表及び評価
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト　100%
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	マナープロトコール（3級） Manner Protocol (3rd level)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	加藤　亜紀
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日3時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。多くの大学、専門学校等で非常勤講師として講義を行っている講師が、長年の指導経験を活かし分かりやすく、興味を持ってもらえるように講義を行います。講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく身につけることを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容にしています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。

執務経験：NPO法人日本マナー・プロトコール協会の認定講師。専門学校や大学で非常勤講師として活躍。

【到達目標】

「マナー・プロトコール検定3級」合格を目指します。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることができます。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることができます。

授業計画・内容	
第1回	講師自己紹介、講義内容についての説明（オリエンテーション）。マナーとは何か、「マナー」「エチケット」「プロトコール」の違いを理解し、好印象を与えるコミュニケーション（第一印象の重要性、挨拶、お辞儀、所作）をとることができる。
第2回	マナーの歴史と意味、西洋のマナー、アジアのマナーの成立ち、特徴、国際人としてのプロトコールの原則、具体的な席次例について学ぶことができる。
第3回	社交の場でのコミュニケーション、パーティーの種類とマナー、挨拶と紹介、外国人への贈り物について学ぶことができる。
第4回	国旗の扱い、異文化コミュニケーションについて学ぶことができる。服装や身だしなみ、立ち振る舞いの基本を学ぶことができる。立ち振る舞いの基本の実践指導を行う。ポイントを理解し、美しい所作を身につけることができる。
第5回	敬語、聴き方、話し方を学ぶ。尊敬語、謙譲語、丁寧語の置き換え例、クッション言葉について理解し、実生活にも活かすことができる。
第6回	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って中間テストに臨むことができる。
第7回	中間テスト（ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う）
第8回	礼装の基準（スライド視聴）、洋装・和装の礼装、パーティーでの服装を学ぶことができる。問題集を解き、復習を行うことで理解を深めることができる。
第9回	喜ばれる贈答品、贈り物のルールを理解し、場面に合わせた祝儀袋、不祝儀袋が選べ、表書きが書けるようになる。
第10回	手紙のマナー、手紙の基本構成を学び手紙を書いてみることで、自信を持って手紙を書くことができるようになる。お世話になった人に手紙を書いてみる。
第11回	ビジネスシーンのマナー、名刺の渡し方、電話応対、来客応対、ご案内、出迎えと見送りのマナーのロールプレイングを行い、実践して身につけることができる。
第12回	ビジネス文書の構成を学ぶ、ビジネス文書を作成してみる。電子メール・ファックスのマナーを学ぶことができる。
第13回	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って期末テストに臨むことができる。
第14回	期末テスト
第15回	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	予習シートを使用し、予習を行い授業に臨む。進んだところまで問題集を使用し復習する、復習ワークシートを行う。
評価方法	①模擬テスト、中間テスト、期末テストの点数 ②授業態度 ③提出物を期日までにきちんと提出する。
受講生への メッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール（国際儀礼）について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで、就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。目標はマナー・プロトコール検定3級合格です。文部科学省後援の資格を取得出来るよう一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会発行

科目名（英）	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	安永　宣雅
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日２時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

身だしなみや挨拶の大切さを理解しホスピタリティ業界で活躍でいる立ち居振る舞いができるようになる
神社や寺院などの見学や歴史を知ることで日本の文化を学び接客に活かせる知識を身に付ける。

※実務経験
当校キャリアセンターとして就職指導の実績を持つ。前職はホテルマンとしてマネジメント業務を行なう。

【到達目標】

身だしなみや挨拶など社会人としてのマナーを身に付けることができる。
福岡の歴史ある神社や寺院などの知識をみにつけることができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、自己紹介
第2回	挨拶の大切さを学ぶ
第3回	第一印象の大切さや身だしなみ（スーツの着こなしや清潔感ある人になる）
第4回	立ち方や座り方、歩き方を学ぶ
第5回	報告・連絡・相談の大切さを学ぶ
第6回	時間のマナーの大切さを学ぶ
第7回	前半のまとめ
第8回	櫛田神社の歴史など学ぶ
第9回	櫛田神社見学
第10回	承天寺の歴史を学ぶ
第11回	承天寺見学
第12回	博多祇園山笠について学ぶ
第13回	東長寺の歴史を学ぶ
第14回	東長寺見学
第15回	授業のレポート（まとめ）
準備学習 時間外学習	スーツ着用
評価方法	レポート提出60点、出席率40点で評価
受講生へのメッセージ	誰からも好印象を持てる人になるように頑張りましょう。 福岡にある歴史など楽しく学びましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

パソコン

科目名（英）	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	東　淳子
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。

実務経験：茶道裏千家も師範として茶道教室を開講

【到達目標】

和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。

授業計画・内容	
第1回	簡単なお茶の歴史を知ることが出来る。茶席での身だしなみ（服装・靴の脱ぎ方等）を知ることが出来る。
第2回	襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方を知ることが出来る。
第3回	道具の名称（漢字で覚える）帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。
第4回	道具の扱い方を知ることが出来る。①
第5回	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
第6回	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆中の道具の扱い方①
第7回	中間テスト
第8回	盆中の道具の扱い方②
第9回	薄茶を飲むときのお茶碗の扱い方・飲み方・懐紙を使ってのお菓子の取り方を知ることが出来る。（干菓子）
第10回	薄茶の立て方を知る（実際に自分で点ててみる①）
第11回	薄茶の立て方の復習（実際に自分で点ててみる②）
第12回	薄茶を点てる人（亭主）頂く人（お客）に分かれて体験することが出来る。
第13回	今までの総復習を行い、自身の成長を感じることが出来る。（生菓子）
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト返却・質疑応答・清掃
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト（50%）期末テスト（50%）
受講生へのメッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承していってほしいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	アソシエイトホスピタリティコーディネータ Asspciate Hospitality Coordinator	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。
また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。

実施内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。

※実務経験：2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。
②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ（AHC）」の資格を取得することができる。
③学んだことを活かし、日常生活においてもホスピタリティマインドをもって行動することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、講義の説明、アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータについて
第2回	第1章　日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性
第3回	第2章　ホスピタリティの歴史と文化
第4回	第3章　サービスとホスピタリティの語源
第5回	第4章　ホスピタリティの定義
第6回	第5章　ホスピタリティの5領域
第7回	第6章　組織と顧客のホスピタリティ
第8回	第7章　組織と社員（従業員）のホスピタリティ
第9回	第8章　ホスピタリティの実践
第10回	第9章　各産業におけるホスピタリティの実践
第11回	課題提出について
第12回	課題作成
第13回	課題作成
第14回	レポート提出
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身に着けるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つこと」を意識することが重要です。 また、様々な感動体験や自身の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポート作成にあたって、作成方法については細かいルールがありますので、講義の中で説明をします。理解したうえで作成すること。
受講生への メッセージ	ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動活かしていきましょう。また、クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有することも大切だと思います。自分が経験した感動体験を次は実践できるように一緒に取り組んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本／日本ホスピタリティ推進協会
その他内容に応じてプリント等配布。

科目名（英）	ベーシックスタイリング Basic Styling	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	中尾 茉奈
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	月曜日2時限

【授業内容】
ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい立ち居振る舞いを学びます。自身の体型や骨格に合わせてコーディネートを考えられるようになる授業を実施します。

※実務経験
教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。
都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。

【到達目標】
自分自身の体型の特徴を理解することができる。
歩き方や所作などを見直し、ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい姿となることで自己肯定感と業界への意識を高めることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の内容・進め方・到達目標について理解することができる。他者に与える自身の「印象」について考えることができる。
第2回	骨格診断セルフチェック：骨格3タイプを知り、自身の骨格を分類することができる。
第3回	実例を元に「オフィスカジュアル」を知ることができる。骨格に合う服装を知ることができる。（普段着・オフィスカジュアル・ドレス・スーツ）
第4回	骨格が乱れることで与える影響について知り、自分でできる骨格の整え方を体験する。 ※動きやすい服装持参
第5回	自身の体の状態を知ったうえで、正しい姿勢で立つこと・座ることについて体験し知ることが出来る。 正しい姿勢の状態で歩くことを体験する。
第6回	正しい姿勢での歩き方を練習し、身に着けることができるようになる。 ※汗をかいても良い服装・各自制服に合わせたい靴・水分補給できるものを持参。
第7回	今までの復習・中間テスト対策
第8回	中間テスト：筆記試験＋実技試験
第9回	「美しい所作」とは何かを考える：個人ワーク＋グループワークを行い、自身と他者の価値観を知ることができる。
第10回	前週で上がった「美しい所作」を実践し、動きを洗練させることができるようになる。
第11回	実践：正しい姿勢で立つ・歩く・座る・所作に気を遣う 実際の接客シーンをロールプレイングする。※進み具合等により変更の可能性あり
第12回	初歩的な行動心理学に触れ、自身の行動に反映させる具体的な方法について考えることができる。
第13回	今までの復習・期末テスト対策
第14回	期末テスト：筆記試験＋実技試験
第15回	試験の答案返却及び授業の振り返り
準備学習 時間外学習	この授業時間以外でも、普段から姿勢や所作を意識した生活を送ってください。
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生への メッセージ	少しの所作や姿勢の変化、言動で「印象」は変えられます。皆さんがそれぞれに目指す業種に合わせた印象に近づくことができるよう講義を行ってまいります。

【使用教科書・教材・参考書】

授業計画に記載の通り、動きやすい服装や水分補給用の飲み物の準備をお願いする授業があります。前週にアナウンスいたしますが、各自シラバスを確認して準備をしてください。

科目名（英）	コミュニケーション Communication	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会人として必要なコミュニケーション力を身に着け、実際に学生生活、就職活動、社会生活で実践できるようにします。
またコミュニケーションスキルアップ検定全員合格を目指して学んでいきます。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・コミュニケーションスキルを身に着け、実践できるようになる。
・コミュニケーションスキルアップ検定に合格することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション（自己紹介）
第2回	第1章　コミュニケーションとは（コミュニケーションの定義、3領域、種類）
第3回	第2章　基本的対話スキル（話す）
第4回	第2章　基本的対話スキル（聴く）
第5回	第2章　基本的対話スキル（グループでの会話）
第6回	第1章・第2章のまとめ、ロールプレイング
第7回	第3章　自己表現スキル（挨拶、自己紹介）
第8回	第3章　自己表現スキル（言葉のかけ方、上手な頼み方、上手な断り方、自己主張）
第9回	第3章　自己表現スキル（報連相、会議、ミーティング）
第10回	第3章　自己表現スキル（アンガーマネジメント）
第11回	第4章　社会的スキル（基本的な社会スキル）
第12回	第4章　社会的スキル（対人行動、文書作成）
第13回	第3章・第4章のまとめ、検定対策
第14回	コミュニケーションスキルアップ検定　実施
第15回	検定振り返り・授業のまとめ
準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を実際の生活の中で実践する。
評価方法	検定試験　100%
受講生へのメッセージ	コミュニケーションスキルは学生生活の中でも、社会においても必要です。一つ一つの内容を理解して、実際に実践しながら学んでいきましょう。 そして社会に出たときに最高のおもてなしができるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定テキスト（JESC）

科目名（英）	マナープロトコール（3級） Manner Protocol(3rd level)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【学習内容】
講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく"身につける"ことを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容としています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。
※実務経験
NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。ニチイ学館委託講師20年、接遇マナー研修担当。平成21年起業　講師業Cherry代表、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリア」の講義等を担当。また企業、学校等でのマナー研修も行う。

【到達目標】
マナープロトコール検定3級合格を目指すことが出来る。
学んだことを活かし、自身のマナーのレベルを上げ、社会人意識を高めることが出来る。
資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることが出来る。
マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることが出来る。

授業計画・内容	
第1回	和食のマナー：DVD視聴で和食のいただき方を学ぶことが出来る。美しい箸使い、忌み箸について学ぶことで日常生活でも箸使いを意識できるようになる。お椀とお箸を実際に使い実践練習することで、正しい箸使いを理解することが出来る。
第2回	洋食のマナー：DVD視聴で洋食のいただき方を学ぶことが出来る。洋食をいただく場面でも自信を持って臨めるようになる。実際のカトラリー、ナプキン等を使い指導することで、正しい使い方を理解することが出来る。中国料理、各国料理のマナーについても知識を広げることが出来る。
第3回	和室での作法：和室にて座礼、襖の開け閉め、座布団の扱い、和室でお茶の入れ方、出し方、いただき方を学ぶことで和室での作法を実践できるようになる。第5章まとめテストを行う。
第4回	「冠」のしきたり：スライドを使って人生の節目となる通過儀礼の成立ち、意味、種類を学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第7章まとめテストを行う。
第5回	「婚」のしきたり：スライドを使って婚姻の形態、しきたりを学び、結婚式での服装、会場でのマナー等、近い将来必要になる社会人としての知識を身に付けることができる。第8章まとめテストを行う。
第6回	復習：ここまでの内容の問題集の問題を解き、振り返りの学習を行うことで理解不足の部分を確認するこが出来る。問題を解く力をつけて、中間テストテストに臨むことが出来る。
第7回	中間テスト、解説、振り返り
第8回	「葬」のしきたり：スライドでを使って葬儀の変遷、葬送儀礼のしきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第9章まとめテストを行う。
第9回	「祭」のしきたり：スライドを使って日本の年中行事の種類、習わし、しきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第10章まとめテストを行う。
第10回	試験対策①：3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第11回	試験対策②：3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第12回	試験対策③：3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第13回	期末テスト
第14回	期末テスト振り返り
第15回	マナー・プロトコール3級検定試験
準備学習 時間外学習	行ったところまで問題集を使用し復習する。
評価方法	期末試験　100%
受講生へのメッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール（国際儀礼）について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。後半は、模擬問題を解くことで検定試験に対応できる力をつけていきます。「マナー・プロトコール検定3級」合格を指して一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会

科目名（英）	キャリアプログラム Career program	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増　千秋
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・学生生活を送るうえで、スケジュールや健康管理を自分自身で行うことができ、気持ちよく学生生活を送ることができる。
・クラスメイトとともに、業界や問題解決について情報交換をすることでチームワークを育むことができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション（学校生活について・クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など）
第2回	生活習慣改善教育①、Hand-Book of Life（日常生活編）、学生便覧再確認
第3回	生活習慣改善教育②、Hand-Book of Life（日常生活編）、GW前インフォメーション
第4回	生活習慣改善教育③、Hand-Book of Life（日常生活編）、GWの振り返り
第5回	生活習慣改善教育④、Hand-Book of Life（学校生活編）
第6回	生活習慣改善教育⑤、Hand-Book of Life（学校生活編）
第7回	マネー教育
第8回	学園祭について（次年度自分たちが行う立場を意識して）
第9回	学園祭振り返り（個人ワーク・グループワーク）
第10回	校外学習
第11回	校外学習
第12回	業界学習
第13回	業界学習、夏季休暇前インフォメーション（夏季休暇の過ごし方・課題・補講など）
第14回	夏季休暇振り返り、今後のスケジュールについて（補講・特別講義など）
第15回	前期振り返り
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出　100%
受講生への メッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができように本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 まずは学校内外で円滑にコミュニケーションが取れるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布
Hand-Book of Life

科目名（英）	キャリアプログラム career program	必修選択	必修	年次	1	担当教員	高増　千秋
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスメイトと協力をしながらイベントや業界について学び取り組んでいきます。また業界についての知識も身に着けて自分の将来についてよりイメージできるようにします。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・体調やスケジュールの自己管理を行い、学校生活を送ることができる。
・クラス全員が話し合いに参加して、イベントやグループワークで発言をすることができる。
・自分が目指す業界について基礎知識を身に着けることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション（後期のスケジュール、クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など）
第2回	Hand-Book of Life（社会生活編）、グループワーク
第3回	Hand-Book of Life（日常生活編）、イベントに向けて
第4回	イベントに向けて
第5回	イベントに向けて
第6回	イベントに向けて
第7回	校外学習
第8回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第9回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第10回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第11回	業界学習
第12回	冬季休暇前インフォメーション（冬季休暇の過ごし方・課題・補講など）
第13回	冬季休暇振り返り、今後のスケジュールについて
第14回	後期の振り返り、グループワーク
第15回	今年度の振り返り、2年生に向けて
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出　100%
受講生へのメッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができように本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 様々なイベントを通してより楽しい学校生活をともに送りましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布
Hand-Book of Life

科目名（英）	コンピューター演習 Practice of Computer	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	宗田　浩輔
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日4時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ソフトウェア販売、医薬品メーカー営業、WEBデザイナーを経て現在、ナレーション収録のスタジオを経営。
経営に係る業務の傍ら、経理業務・デザイン制作を兼務。
講義では実務に必要な基本的なスキルとトピックについて解説していこうと思います。

【到達目標】

Wordによるレポートや送付状や案内状の作成、Excelで関数を使った表を作成出来る。また、ショートカットなどを習得して操作を効率的に行うことが出来る。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：学習をすすめる上で必要な準備や知識を理解
第2回	パソコン全般の基本的な知識、タイピング、ショートカットについて習得
第3回	Word基礎　起動と文字入力、ファイルの保存について
第4回	Word基礎　用紙の設定、文字の修飾
第5回	Word基礎　図形やイラストを利用した文章の作成
第6回	Word基礎　実践：送り状作成
第7回	Word基礎　レポートや企画書などの作成
第8回	Excel基礎　起動と文字入力、基本構造の理解
第9回	Excel基礎　文字の修飾、表のデザインについての技術習得
第10回	Excel基礎　セルの分割・結合
第11回	Excel基礎　代表的な関数の実践
第12回	Excel基礎　実践：関数を利用した表の作成
第13回	前期振り返り　+ テスト対策
第14回	評価週　筆記試験　+　Wordを使用したレポートの提出
第15回	まとめ・追試/再試試験　問題解説と後期導入部分の解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験　+　Wordを使用したレポートの提出
受講生へのメッセージ	入学おめでとうございます。 パソコンを始めとしするデバイスは目的を達成するために多種多様な解決方法を提供してくれます。そして正解はひとつではなく、常に新しくより良いものが生み出されています。 技術の習得は大事ですが、解決方法にたどり着くための考え方や感覚などを一緒に考えながら培っていきましょう。 パソコンの習熟度はみなさんそれぞれ違うと思いますが、助け合いながら頑張っていきましょう（人に教える、といったアウトプットも大事な習得方法です！）

【使用教科書・教材・参考書】

PDFにて資料配布予定。ネットワーク共有フォルダよりコピーして使用。

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。 オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容 （対面）
Unit 1 個人的な情報	個人的な情報について尋ねる、また述べることができる。 個人的な経歴等のプロフィールを読む、また書くことができる。	1	1.1	be 動詞(am, are)の肯定形、否定形を学ぶ 出身地を尋ねる表現を学ぶ	1	1.1	be 動詞(am, are)を使って自己紹介（国籍や出身）する、または出身地を尋ねる会話を練習する
		2	1.2	[What is(What's)]、[It is(It's)]の使い方を学ぶ	2	1.2	疑問代名詞[What]を使って、 自分の個人情報を相手に伝え、また相手の情報を聞く
		3	1.3	接客する側（clerk)、される側(guest)の表現を学ぶ	3	1.3	ホテルにチェックインする際の会話を練習する
		4	1.4	大文字、ピリオドの使い方を学ぶ 個人的な経歴等のプロフィールを書く際に必要な表現を学ぶ	4	1.4	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティで新しい人に出会う」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 家族	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとることができる。	5	2.1	主語が三人称 [he, she, they]の時の、be動詞[is, are]の肯定文と疑問文の使い方を学ぶ	6	2.1	be動詞を使って、家族構成について話す
		6	2.2	主語が三人称の時の、be動詞の否定文を学ぶ	7	2.2	be動詞の否定文を使って、 友達や家族について説明する
		7	2.3	日付の言い方、発音を学ぶ 年齢、誕生日に関する表現を学ぶ	8	2.3	年齢や誕生日について聞く、話す
		8	2.4	位置を表す前置詞、接続詞[and]の使い方を学ぶ 短縮形の音（発音）について学ぶ	9	2.4	写真に写っている友達のことについて話す 友達についての紹介文を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「友達や家族についての情報を比較する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 住居	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書くことができる。	9	3.1	人称代名詞の所有格について学ぶ 名詞の所有を表す['s] と[s']の使い方を学ぶ	11	3.1	名詞の所有を表す['s] と[s']を使って、 自分の家について話す
		10	3.2	家具を表す単語を学ぶ 代名詞[it]の肯定文、否定文、疑問文を学ぶ	12	3.2	[it is]を使って、家具について話す
		11	3.3	物を提供する時の言い方、その返答方法を学ぶ /c/の発音ルールを学ぶ	13	3.3	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する 分からない単語について質問する
		12	3.4	疑問詞＋be動詞の使い方を学ぶ Eメールの基本ルールを学ぶ	14	3.4	ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「新居の家具を選ぶ」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 好み	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	16	4.1	主語が[I, You, We]の時の、 一般動詞の「現在形」の否定文を学ぶ	16	4.1	一般動詞「現在形」を使って、 お気に入りの物について話す
		17	4.2	主語が[I, You, We]の時の、 一般動詞の「現在形」の疑問文を学ぶ	17	4.2	一般動詞の「現在形」の疑問文を使って、 どのようにテクノロジーを使用しているのかを話す
		18	4.3	新しい話題の振り方、相手に情報を求める際の聞き方を学ぶ 強勢、ストレス（発音）について学ぶ	18	4.3	コミニケーション手段について話す 相手の話を聞いていることを示す
		19	4.4	冠詞[a]、[an]を学ぶ 語尾の上げ方、下げ方（発音）について学ぶ	19	4.4	商品のレビューを読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「好きな音楽について」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 生活習慣	平日、週末のアクティビティについて話すことができる。 日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。	20	5.1	主語が三人称 [he, she, they]の時の、 一般動詞「現在形（肯定文、否定文）」を学ぶ	21	5.1	「現在形」肯定文、否定文を使って、 平日、週末の行動について話す
		21	5.2	時間を表す単語を学ぶ 一般動詞「現在形」疑問文を学ぶ	22	5.2	「現在形」疑問文を使って、 時間・自分のルーティン（日課）について話す
		22	5.3	相手の意見に賛成する時の言い方、共通していることを伝える時の言い方を学ぶ 音節（発音）について学ぶ	23	5.3	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する
		23	5.4	レポートの書き方を学ぶ	24	5.4	自分の行動についてのレポートを読む、書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「異なる週の活動について比較する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 道順	道順について尋ねる、また教えることができる。 場所についての特徴について読み、書くことができる。	24	6.1	町中にある場所を表す単語を学ぶ [There (is, are), (a lot, some, no)]の使い方を学ぶ	26	6.1	[There (is, are), (a lot, some, no)]を使って、町にある場所について話す
		25	6.2	「可算（数えられる）名詞・不可算（数えられない）名詞」を学ぶ	27	6.2	「可算名詞・不可算名詞」を使って、 住んでいる地域の自然について話す
		26	6.3	情報を確認する時の言い方を学ぶ フォニックス「いー」の音、[ere]の発音２通りについて学ぶ	28	6.3	道順を聞く、または教える会話を練習する
		27	6.4	英語の強弱のリズム（発音）について学ぶ ファクトシートの読み方、書き方を学ぶ	29	6.4	自然の中の場所についてのファクトシートについて読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容 （対面）
Unit 7 自宅での生活	自宅の生活について話すことができる。 ブログ記事を読み、書くことができる。	1	7.1	家事、家の中での行動に関する単語を学ぶ 「現在進行形」の肯定文を学ぶ	1	7.1	「現在進行形」肯定文を使って、 家事や自宅での行動について話す
		2	7.2	交通手段、旅行に関わる動作を表す単語を学ぶ 「現在進行形」の疑問文を学ぶ	2	7.2	「現在進行形」疑問文を使って、 旅行について質問する、または答える
		3	7.3	電話であいさつをする時の表現を学ぶ /ng/の発音を学ぶ	3	7.3	電話で情報を共有する会話を練習する
		4	7.4	ブログを読む [also]、[too]の使い方を学ぶ	4	7.4	今起こっていることについてのブログを読む、書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「最近の生活について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 スキル・能力	自身のスキルや能力について話すことができる。 自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。	5	8.1	助動詞 [Can / Can't]（能力）を学ぶ goodの副詞：[well]の使い方を学ぶ	6	8.1	[Can / Can't]（能力）を使って、 自分の能力や才能について話す
		6	8.2	仕事に関する単語、フレーズを学ぶ 助動詞 [Can / Can't]（可能性）を学ぶ	7	8.2	[Can / Can't]（可能性）を使って、 職場や学校でできること、できないことについて話す
		7	8.3	相手に意見を聞く時の聞き方、また自分の意見を伝え方を学ぶ 英文をまとまりで区切り、一呼吸置いて話す方法について学ぶ	8	8.3	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する
		8	8.4	[can]と[can't]の聞き分け方（発音）を学ぶ 誰かの言葉を引用する際に使用するクォーテーションマークの使い方を学ぶ	9	8.4	インターネット上で自分の考えをコメントする
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 休暇・旅行	旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。 旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。	9	9.1	旅行に関する単語を学ぶ 指示形容詞 [this] と [these]の使い方を学ぶ	11	9.1	[this] と [these]を使って、 休暇、旅行について話す
		10	9.2	旅行の手配に関するフレーズを学ぶ to不定詞の名詞の用法を学ぶ [like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ	12	9.2	[like to, want to, need to, have to]を使って、 旅行計画を立てる
		11	9.3	情報を聞く時に使う表現、また質問への答え方を学ぶ 値段の言い方、聞き間違いやすい数字の発音を学ぶ	13	9.3	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する
		12	9.4	場所についての説明の表現を学ぶ 動詞の命令形（命令、助言）を学ぶ	14	9.4	場所についての説明を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 週末の計画	週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。 オンラインでの招待状を読む、書くことができる。	16	10.1	出かける時に使うフレーズを学ぶ 近い未来のことを話す時に使う[be going to]の使い方を学ぶ	16	10.1	[be going to]を使って、 週末のアウトドア（野外）プランについて話す
		17	10.2	季節、洋服の種類を表す単語を学ぶ [be going to]（疑問文）の使い方を学ぶ	17	10.2	[be going to]（疑問文）を使って、 異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う
		18	10.3	相手を誘う時の表現、誘いを受ける時、断る時の表現を学ぶ /s/の発音を学ぶ	18	10.3	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する
		19	10.4	going toの短縮形[gonna]の発音を学ぶ ライティングにおける短縮形の使い方を学ぶ	19	10.4	オンラインでの招待状を読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 過去の出来事	過去についての場所や出来事、過去の人について述べることができる。 思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。	20	11.1	人、場所、物を修飾する形容詞を学ぶ be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を学ぶ	21	11.1	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す
		21	11.2	色を表す単語を学ぶ be動詞の過去形[was / were]の疑問文を学ぶ	22	11.2	be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、 記憶にある色について話す
		22	11.3	母音[o]の発音を学ぶ、/ou/と/a:/の音の違いを学ぶ 答えを出す前、少し時間が必要な時に使う表現を学ぶ	23	11.3	自分の記憶を表現し、 映画、俳優について話す
		23	11.4	機内誌を読む、代名詞の使い方を学ぶ 文章を書く時のパラグラフ、トピックセンテンスを学ぶ	24	11.4	過去の思い出として保管している物についてEメールを書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「子どもの頃から見ているTV番組について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 レストラン	食べた食事について話すことができる。 レストランのレビューを読む、また書くことができる。	24	12.1	軽食や少量の食事などを表す単語を学ぶ 一般動詞の「過去形」肯定文と否定文について学ぶ	26	12.1	一般動詞の「過去形」を使って、 間食や軽食について話す
		25	12.2	食事、飲み物、デザートを表す単語を学ぶ 一般動詞「過去形」の疑問文を学ぶ	27	12.2	一般動詞の「過去形」の疑問文を使って、 レストランの食事について話す
		26	12.3	食べ物や飲み物を提供する、またお願いする時に使う表現、それらに対する答え方を学ぶ /h/と/r/の発音を学ぶ	28	12.3	食べ物・飲み物を提供する、お願いする、また答える時の会話を練習する
		27	12.4	[do you]と[want to]の発音の仕方を学ぶ ライティングにおける接続語[and]について学ぶ	29	12.4	レストランのレビューを読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルCに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルC

教科書	EVOLVE　2
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	ッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 知人について	知人・家族について話すことができる。 職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	身近な人を表す言葉を学ぶ be動詞の使い方、代名詞の所有格を学ぶ	1	1.1	be動詞、代名詞の所有格を使って、 知人・家族について話す
		2	1.2	「～のもの」を表す使い方を学ぶ 「誰のものですか」の聞き方を学ぶ	2	1.2	「～のもの」を表す表現を使って、 所有物について話す
		3	1.3	挨拶や会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ /l/の発音を学ぶ	3	1.3	挨拶をして会話を始める練習をする 興味や驚きを表す表現を練習する
		4	1.4	Eメールの基本ルールを学ぶ 丁寧な書き方を学ぶ	4	1.4	自己紹介をする 職場でのフォーマルなEメールを読む、書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「人と共通していることについて」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 仕事と勉強	毎日していることについて話すことができる。 ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。	5	2.1	一般動詞（現在形）の基本的な使い方を学ぶ 一般動詞の疑問文、否定文、頻度を尋ねる文を学ぶ	6	2.1	[Wh-question]を練習する 一般動詞の疑問文、否定文を使って、 習慣・ルーティンについて質問する、返答する
		6	2.2	デスク上にある「物」についての単語を学ぶ 名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ	7	2.2	指示代名詞を使って、 仕事や勉強をする空間について話す・質問する
		7	2.3	トラブルが起こった時、繰り返しを求める表現を学ぶ /h/の発音を学ぶ	8	2.3	意思疎通に問題があったことを説明する 繰り返しを求める表現を練習する
		8	2.4	日常のトピックについての語彙を学ぶ 相手の意見を聞く、またそれに対し意見を述べる表現を学ぶ	9	2.4	ポッドキャストについての意見を読む、書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「仕事や勉強のためのアプリについて」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 スポーツと運動	今していることについて話すことができる。 サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。	9	3.1	「現在進行形」を学ぶ・復習する 今まさに起こっていることを表現する	11	3.1	「現在進行形」を使って、 今まさに起こっていることについて話す
		10	3.2	動きを表す表現を学ぶ 現在形や現在進行形の違いを学ぶ	12	3.2	「現在進行形」「現在形」を練習する スポーツ、運動について話す
		11	3.3	情報を得るため、必要な表現を学ぶ 聞き返す、もう一度言ってほしい時の表現を学ぶ /ou/と/ɔ/の発音を学ぶ	13	3.3	知らない情報を人に尋ねたり、情報を読み取ったりできるよう、会話を練習する
		12	3.4	意見を表す表現を学ぶ 公共サービスに関する意見聞き、内容を理解する	14	3.4	サービスや会社に対するコメントを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「フィットネスプログラムを作る」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 招待	招待する、またそれに応えることができる。 イベントへの招待を読む、また書くことができる。	16	4.1	be動詞＋～ingを使った未来の表現を学ぶ	16	4.1	「現在進行形」を使って、 これから予定している計画について話す
		17	4.2	贈り物を人に渡したり、もらったりする際の表現を学ぶ 目的格代名詞の適切な使い方を学ぶ	17	4.2	目的格代名詞を使って、 人に物をプレゼントする会話を練習する
		18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の表現を学ぶ /v/の発音を学ぶ	18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の会話を練習する 誘いを断る理由を説明する
		19	4.4	未来のイベント案内の表現を学ぶ 発音(Reduction）を学ぶ	19	4.4	未来のイベント案内を読む、書く イベントを企画してアナウンスメントする
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「プレゼントを選ぶ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 過去のイベント	人生の中での過去のイベントについて話すことができる。 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。	20	5.1	過去の思い出や出来事について話す際の表現を学ぶ	21	5.1	過去の出来事について話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝わる
		21	5.2	一般動詞の過去形の疑問文、否定文を学ぶ 様々なライフイベントの表現を学ぶ	22	5.2	過去の出来事について質問する 過去形の疑問文、否定文を練習する
		22	5.3	誰かを祝ったり慰めたりする時の表現を学ぶ 相手の言ったこと確認する時の表現を学ぶ シラブル（音節）とストレス（発音）を学ぶ	23	5.3	適切な英語表現を用いて、相手を祝ったり、慰めたりする会話を練習する 自分の認識が正しいかどうかを確認する
		23	5.4	外国での体験談を読んで理解を深める 短い投稿に対して、同意・反対の表現を学ぶ	24	5.4	投稿に対して、賛成・反対のコメントを書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の有名な出来事をまとめる」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 買い物	店内で欲しいものについて述べることができる。 新しい商品の説明を読む、またVlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書くことができる。	24	6.1	買い物に関連した単語や熟語を学ぶ [be going to＋動詞の原形]を復習する	26	6.1	[be going to]を使って、 買い物に行くことについて会話する
		25	6.2	買い物時のフレーズを学ぶ 「限定詞」の使い方を学ぶ 数えられる名詞、数えられない名詞の数量の表し方を学ぶ	27	6.2	特定・不特定の物や人の数量を表し、 買い物習慣について話す
		26	6.3	欲しいものを伝える表現を学ぶ 名称がわからない物の聞き方を学ぶ 会話内の単語レベルのストレス（発音）についてを学ぶ	28	6.3	お店で買いたい物、探している物を伝える会話を練習する 物事の言い方を英語で聞く
		27	6.4	お金にまつわるストーリーを聞く、読む 代名詞に注意しながら文を読む	29	6.4	新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルC

教科書	EVOLVE　2
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	ッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 食べる・飲む	レストランで頼みたいものについて説明することができる。 ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。	1	7.1	食べ物を表す単語を学ぶ 「数量詞」（加算名詞・不可算名詞）を学ぶ	1	7.1	数量詞を使って、 一番好きな食べ物について話す
		2	7.2	食品や味の調理方法の英単語を学ぶ 「動名詞」と「to不定詞」を学ぶ	2	7.2	食品の味や調理方法について話す 動名詞とto不定詞を使った会話を練習する
		3	7.3	料理を注文する際の表現を学ぶ 言いたいことを明確に伝える表現を学ぶ /g/の発音を学ぶ	3	7.3	[I mean]を使って、会話を練習する 飲食店で料理を注文する会話を練習する
		4	7.4	オンライン上の記事を読み、コメントを投稿する 意見を述べる表現 [I think], [I don't think] を学ぶ	4	7.4	オンライン記事の内容を読み、自分の意見をコメントをする
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティを計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 旅行（短期）	提案をする、また提案をうけることができる。 海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。	5	8.1	旅行に関わる単語を学ぶ 接続詞[if / when]の使い方を学ぶ	6	8.1	自分の町で何をするのかについて話す
		6	8.2	移動に伴う様々な動きを表す表現を学ぶ [to/for]の使い方を学ぶ	7	8.2	[to / for]を使って、理由を説明する 過去に行った旅行について話す
		7	8.3	アドバイスや提案する際の表現、その反応の表現を学ぶ 母音の発音パターンを学ぶ	8	8.3	適切なアドバイスや提案する会話を練習する アドバイスに対しての反応を練習する
		8	8.4	旅行に関する適切なアドバイスを述べる表現を学ぶ 語尾の上げ下げ（発音）について学ぶ	9	8.4	海外旅行・生活についてのアドバイスを読む、書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「短期旅行のプランを立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 見た目	意見を尋ねる、また述べることができる。 広告を読む、また写真の説明を書くことができる。	9	9.1	アクセサリーに関する英単語を学ぶ 「形容詞の比較級」を学ぶ	11	9.1	いろいろな物を比較する会話を練習する
		10	9.2	顔や髪などの特徴に関する英単語を学ぶ 「形容詞の最上級」を学ぶ	12	9.2	[形容詞の最上級」を使って、 写真に写った人について話す
		11	9.3	アドバイスをしたり、受けたりする際の表現を学ぶ /ʒ/の発音を学ぶ	13	9.3	[I guess]を使って、アドバイスを相手に求める、またはアドバイスをする会話を練習する
		12	9.4	写真についての説明に使う表現を学ぶ	14	9.4	写真についての説明を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告を作り、発表する」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 職業	将来の予想を立てることができる。 アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。	16	10.1	職業に関する単語を学ぶ [have to]の使い方を学ぶ	16	10.1	仕事でどのように危険を避けるかを話し合う
		17	10.2	怪我や病気の表現を学ぶ 未来に起こるかもしれないことを予測する表現を学ぶ	17	10.2	これから先のことについて、適切に表現できるよう、練習する
		18	10.3	相手の体調を尋ねる、症状を述べる際の表現を学ぶ 語末の子音の発音を学ぶ	18	10.3	[It feels like (it's like)]を使って、 体調不良や怪我の症状などについて話す
		19	10.4	[be afraid of]などの表現を学ぶ	19	10.4	将来の自分に向けたメッセージを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「リアリティ番組を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 ソーシャルメディア	したことがあること、ないことについて話すことができる。 インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書くことができる。	20	11.1	インターネット上で使用するフレーズを学ぶ 「現在完了形（経験）」を学ぶ	21	11.1	今までに経験したことや経験したことのないことについて話し合う
		21	11.2	ソーシャルメディアで用いる単語やフレーズを学ぶ 「現在完了形」と「過去形」の違いを学ぶ	22	11.2	ソーシャルメディアについての内容を読む、話す、質問する
		22	11.3	お願い（頼み事）をする、許可を得る際の表現を学ぶ /n/と/m/の発音を学ぶ	23	11.3	誰かに頼み事をしたり、許可を得ることができるよう、練習する または、その反応をする表現を練習する
		23	11.4	情報画像、インフォグラフィック（図、表など）を用いたブログを読む [I always thought…/I think it's interesting that…/Who cares?]などの表現を学ぶ	24	11.4	インフォグラフィックを読む、コメントを書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ビデオ、またVlogを作る」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 アウトドア	天気について話すことができる。 場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。	24	12.1	天気に関する単語を学ぶ [be like]の疑問文での使い方を学ぶ	26	12.1	[be like]を使って、天気について話す
		25	12.2	風景や都市の景観を表す英単語を学ぶ 「関係代名詞(who, which, that)」の使い方を学ぶ	27	12.2	関係代名詞を使って、 場所、人、物事を説明する
		26	12.3	道を尋ねる、また道を教える際の表現を学ぶ 単語の始めの/w/の発音を学ぶ	28	12.3	道を尋ねる、また道を聞かれた時に答える会話を練習する
		27	12.4	手順を説明する際に使用する順序を表す単語を学ぶ /t/の音が/d/寄りになる時の発音について学ぶ	29	12.4	簡単な指示文を書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルBに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 知り合いになる	相手に質問をする、また質問に答えることができる。 自己紹介をし、知り合いになることができる。 親戚へのメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	性格を表す単語を学ぶ [WH-question]を使った表現を学ぶ	1	1.1	[WH-question]を使って相手の性格について尋ねる会話を練習する
		2	1.2	個人の情報（ライフステージ）に関する表現を学ぶ 間接疑問文を学ぶ	2	1.2	「間接疑問文」を使って、人に質問をする、 また質問に答える練習をする
		3	1.3	新しい情報を伝える時の文中のストレス（発音）を学ぶ 自己紹介、他己紹介の表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介と他己紹介に関する会話を練習する
		4	1.4	段落を意識したメールの読み方、書き方を学ぶ	4	1.4	誰かと知り合いになるためのメールを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「良いリーダーになるために必要なこと」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 持ち物	自分の持ち物について述べることができる。 ネット広告を読む、また書くことができる。	5	2.1	持ち物や持ち物に関連する表現を学ぶ [ever/never/for/since]を用いた現在完了形を学ぶ	6	2.1	現在進行形を使って持ち物について話す
		6	2.2	スマホやPCの機能に関する表現を学ぶ [already/yet]を用いた現在完了形を学ぶ	7	2.2	現在完了形を使って持ち物や その機能などについて話す
		7	2.3	語頭の/t/の発音を学ぶ 話題を変える際の表現を学ぶ 簡単な聞き返し（興味を示す）の表現を学ぶ	8	2.3	聞き返しの表現や話題を変える際の表現を使って ディスカッションをする
		8	2.4	ネット広告の読み方、書き方を学ぶ 代名詞としてのoneの使い方を学ぶ	9	2.4	欲しいものについての広告を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「出かける時の持ち物について」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 街の場所/道順	助動詞を用いて、自分の町について話すことができる。 ビル内の道順を尋ねる、また教えることができる。 求職申し込みを読み、申込書を書くことができる。	9	3.1	街中の橋や建物などの特徴に関する単語を学ぶ 冠詞について学ぶ	11	3.1	冠詞に注意しながら、自分の町について 尋ねる、また質問に答える練習をする
		10	3.2	公共交通機関に関する単語を学ぶ 助動詞［would/could/should］を使った提案の表現を学ぶ	12	3.2	［would/could/should］を使って、 他の場所への生き方について話す
		11	3.3	語頭の子音連結（発音）を学ぶ 道順を尋ねる、また教える際の表現を学ぶ 理解を示すための繰り返し（言い直し）の表現を学ぶ	13	3.3	建物内の道案内の場面での会話を練習する
		12	3.4	求人広告を読み、志望動機の書き方を学ぶ 大文字やピリオドなど、基本的なルールを学ぶ	14	3.4	求人に対して志望動機を書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 計画を立てる	個人的な意見を述べ、計画を立てることができる。 安心させる、またそれに答えることができる。 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、また書くことができる。	16	4.1	意見や反応を示す単語を学習する [be going to/will]を使った未来についての表現を学ぶ	16	4.1	［be going to/will］を使って、週末の予定について話す
		17	4.2	計画を立てる際の表現を学習する [will]をを用いた突然の決定、予定に関する表現を学ぶ	17	4.2	［be going to/will］を使って、旅行の計画について話す
		18	4.3	語頭の/p/の発音を学ぶ 安心させる言葉、またその反応を学ぶ [at least]を用いた表現を学ぶ	18	4.3	心配や不安になる状況での会話を練習する
		19	4.4	イベントの内容、スケジュールについての英文メールの読み方、書き方を学ぶ 順序に関する表現を学ぶ	19	4.4	イベント内容やスケジュールについての情報を伝えるメールを書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「さまざまな人に異なるアクティビティをアサインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 ストーリーを話す	驚いたできごと（ものを失くす、見つける、助ける、助けを求める）について話すことができる。 簡単な物語を読む、また書くことができる。	20	5.1	ものを失くす、見つける際の表現を学ぶ 単純過去形の使い方を学ぶ	21	5.1	単純過去形を使って、失くしたものや、見つけたものについて話す
		21	5.2	助けを求める、助ける際の表現を学ぶ 単純過去形と過去進行形について学ぶ、復習する	22	5.2	単純過去形、過去進行形を使って、 助けが必要になる場面での会話を練習する
		22	5.3	驚きを表す際の発音（ストレス）を学ぶ 驚いたことを示す、リアクションに関する表現を学ぶ	23	5.3	驚いたできごとについて話す
		23	5.4	短い物語を読み理解し、書き方を学ぶ	24	5.4	短い物語を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「おもしろい、驚くストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 問題と解決	都会の問題と解決策について話すことができる。 様々な状況での心配、また安心を表現することができる。 価値観についてのネット投稿を読む、また書くことができる。	24	6.1	都会の問題に関する表現を学ぶ 数量詞について学ぶ	26	6.1	数量詞を使って、都会の問題について話す
		25	6.2	マナーに関する副詞を学ぶ [If/When]を用いた現在・未来の条件節を学ぶ	27	6.2	現在・未来の条件節を使って、問題と解決策について話す
		26	6.3	語末のyの発音を学ぶ 様々な状況での心配、また安心を示す際の表現を学ぶ [though]を使った反対意見の述べ方を学ぶ	28	6.3	[though]を使って反対意見を述べる練習をする 心配や安心を表す表現を使った会話を練習する
		27	6.4	価値観についてのネット投稿を読み、書き方を学ぶ ライティングにおける質問文の書き方を学ぶ	29	6.4	価値観についてのネット投稿に対し、自分のコメント（考え）を書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 エンターテイメント	音楽、TV番組、映画について話すことができる。 誘いを断る、またそれに答えることができる。 映画のレビューを読む、また書くことができる。	1	7.1	音楽の種類に関する単語を学ぶ [used to]を用いた過去の習慣に関する表現を学ぶ	1	7.1	[used to]を使って音楽についての好みの変化について話す
		2	7.2	TV番組や映画に関連する表現を学ぶ [(not) as…as]を用いた比較の表現を学ぶ	2	7.2	比較の表現を使って、TV番組や映画について話す
		3	7.3	[I'm]の/m/の発音を学ぶ 誘いを断る、またそれに答える表現を学ぶ [kind of]を用いた、言い方を和らげる表現を学ぶ	3	7.3	誘いを断る必要がある場面での会話を練習する
		4	7.4	映画のレビューを読み、書き方を学ぶ 映画に関する意見を述べる表現を学ぶ	4	7.4	映画のレビューを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「メディアやエンターテイメントにおける好みの違い」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 最近の出来事	最近していること、他人のニュースについて話すことができる。 タイムマネジメントについての投稿を読む、また書くことができる。	5	8.1	経験を表す単語を学ぶ 現在完了進行形について学ぶ	6	8.1	現在完了進行形を使って、最近していることについて話す
		6	8.2	進捗を表す表現を学ぶ 現在完了形と現在完了進行形について学ぶ	7	8.2	現在完了形や現在完了進行形を使って、 物事の進捗について話す
		7	8.3	/ɑ/,/æ/の発音を学ぶ 久しぶりにあった際の挨拶、近況を尋ねる表現を学ぶ [that would be]を用いた自分の意見（コメント）の述べ方を学ぶ	8	8.3	他人のニュースについて、自分の意見を離す
		8	8.4	タイムマネジメントについての投稿を読む 物事が起こった際の時間を表す表現を学ぶ	9	8.4	タイムマネジメントについての投稿を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「時間を有効に使う方法」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 学校と仕事	学校や職場でのルール、勉強方法について話すことができる。 自信の有無について表現できる。 履歴書を読み要点を理解し、またおおまかな履歴書を書くことができる。	9	9.1	大学での科目に関する表現を学ぶ 助詞［have to, need to, must］を学ぶ	11	9.1	助詞［have to, need to, must］を使って、大学や学校で学ぶ科目について話す
		10	9.2	雇用、仕事に関する表現を学ぶ 助詞［can't, must not］を使った許可・禁止の表現を学ぶ	12	9.2	助詞［can't, must not］を使って、在宅勤務・自宅学習のルールんいついてディスカッションをする
		11	9.3	文中の区切り（発音）を学ぶ 自信の有無を表す表現を学ぶ [the thing is]を用いた理由を述べる表現を学ぶ	13	9.3	心配していること（自身がないこと）、自身があることについて話す
		12	9.4	履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ	14	9.4	自分の履歴書について、要点を書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分に合った完璧な仕事をデザインする」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 商品と選択	商品の詳細について、商品を選ぶ理由について説明することができる。 他人が選んだものについて質問する、商品に関するレビューを読む、また書くことができる。	16	10.1	材質に関する単語を学ぶ 単純現在形の受動態について学ぶ	16	10.1	商品の素材や材料について話す
		17	10.2	商品や輸送に関する単語を学ぶ 単純過去形の受動態について学ぶ	17	10.2	商品の生産地について話す
		18	10.3	/u/,/ʊ/,/aʊ/の発音を学ぶ 他人の選択に関して質問する際の表現を学ぶ [Now that I think..]などを用いた考えを変える際の表現を学ぶ	18	10.3	買いたいものについて話す、理由を尋ねる練習をする
		19	10.4	商品に関するレビューの読み方、書き方を学ぶ [However/Although]を用いた逆説の表現を学ぶ	19	10.4	商品に関するレビューを書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「商品のCMを作成する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 成功の秘訣	想像上のチャレンジについて、また成功の秘訣について話すことができる。 意見を述べ、賛成を求めることができる。 自分を奮い立たせる方法についてのネット記事を読み、それに関するストーリーを書くことができる。	20	11.1	句動詞［work out, set up, など］の表現を学ぶ	21	11.1	句動詞［work out, set up, など］を使って、成功の秘訣について話す
		21	11.2	機会や危険に関する単語を学ぶ 現在・未来の条件節について学ぶ	22	11.2	現在・未来の条件文を使って、想像上のチャレンジについて話す
		22	11.3	/ʃ/,/ʤ/の発音を学ぶ 了承を得る、了承を求める際の表現を学ぶ 言葉を和らげる表現[I guess/I feel like]を学ぶ	23	11.3	意見を述べる、了承を求める練習をする
		23	11.4	自身の身に起きた出来事についての書き方を学ぶ ［On the one hand, … and on the other hand,］を用いた比較の表現を学ぶ	24	11.4	自身の身に起きた出来事について書く。
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「憧れの人について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 事故と感情	事故について、またその時の気持ちを表現できる。 人生の教訓についての逸話を読む、また書くことができる。	24	12.1	事故に関する表現を学ぶ 不定代名詞について学ぶ	26	12.1	事故について話す
		25	12.2	過激なことに関連する表現を学ぶ 直接話法と間接話法について学ぶ	27	12.2	体験した極端な出来事について話す
		26	12.3	語末のedの発音を学ぶ 自分の感情を述べる、相手の感情を尋ねる表現を学ぶ ［in the end" / "after all that"］の使い方を学ぶ	28	12.3	ある出来事に関する、自身の感情、気持ちを話す
		27	12.4	人生の教訓についての逸話を読み、書く方法を学ぶ 同じ意味をもつことばやフレーズの異なる表現方法を学ぶ	29	12.4	教訓となった出来事と学んだことについて書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルB+に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 成果、業績	個人の業績について話す、また人を紹介された時の受け答えができる。 ブロック投稿についてのコメントを読む、また書くことができる。	1	1.1	業績に関する表現を学ぶ 「単純時制」「進行時制」を学ぶ、復習する	1	1.1	単純時制や進行時制を使って、 個人の業績について話す
		2	1.2	資質などを表す表現について、 形容詞・名詞での表現を学ぶ 動作動詞・状態動詞の違いを学ぶ	2	1.2	雇用者が求める人材について話す、 個人や他人の業績を説明する
		3	1.3	yの発音を学ぶ 人を紹介する時の表現、また人を紹介された時の受け答えの表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介、他己紹介をする場面での会話を練習する
		4	1.4	賛成・反対・より多くの情報を求める際の表現を学ぶ	4	1.4	ブログの投稿を読む、投稿にコメントを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「面接のロールプレイ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 流行の食べ物	食べ物の流行について、また料理の準備（調理）について話すことができる。 社交の場で申し出をする、またそれを受けることができる。 調査についての結果を読む、また報告書を書くことができる。	5	2.1	流行に関する表現を学ぶ 条件節（If節）について学ぶ	6	2.1	流行に関する表現を使って、 トレンドについて話す
		6	2.2	食材や調理法についての表現を学ぶ 接続詞（after,until,whenなど）を用いた表現を学ぶ	7	2.2	接続詞を使って、料理の手順について話す
		7	2.3	/al/,/i/,/el/の発音を学ぶ 提案をする、また提案を受ける・断る際の表現を学ぶ 提案を相手が受け入れた際の受領の表現を学ぶ	8	2.3	提案をする際の表現を使って、 社交の場や料理を注文する場面での会話を練習する
		8	2.4	消失する/t/の発音について学ぶ 調査報告に用いられる表現を学ぶ	9	2.4	調査についての結果を読む、また報告書を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「レストランの改善策を計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 お金と時間	時間とお金の相対的な重要性について話すことができる。 謝罪をする、また謝罪を受けることができる。 商品のレビューを読む、また書くことができる。	9	3.1	時間とお金に関連する表現を学ぶ [too, enough] について学ぶ	11	3.1	[too/enough]を使い、物事の「程度」について話す 時間とお金の相対的な重要性について話す
		10	3.2	価格と価値に関連する表現を学ぶ 形容詞の比較級について学ぶ、復習する	12	3.2	比較級の表現を使って、物事の価値や 価値を判断する基準について話す
		11	3.3	/s/で始まる語の発音を学ぶ 謝罪をする、謝罪を受ける際の表現を学ぶ	13	3.3	謝罪が必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	商品レビューに関するポジティブ、ネガティブな表現を学ぶ	14	3.4	商品のレビューを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「批判的な商品レビューへの対応についてディスカッション」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 広告と注目されるストーリー	ネット等で注目されているストーリーについて話すことができる。 意見を交換し、ディスカッションができる。 ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、また書くことができる。	16	4.1	広告に関する表現を学ぶ [might, must, can't]（推測）の使い方を学ぶ	16	4.1	推測の表現を用いて、 絵や写真の描写をする
		17	4.2	メディア関連の人を表す表現を学ぶ 関係代名詞の主格、目的格について学ぶ	17	4.2	関係代名詞を使って、 ネット等で注目されている人、ストーリーについて話す
		18	4.3	/ɔ/,/ɑ/の発音について学ぶ 意見交換・ディスカッションする際の表現を学ぶ allを用いた強調表現を学ぶ	18	4.3	[all]を使い、強調したい内容を述べる練習をする 意見を交換し、ディスカッションをする
		19	4.4	[because,so]を用いて理由や結果を述べる表現を学ぶ	19	4.4	ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告をデザインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 本当の出来事	様々な種類のストーリーについて話すことができる。 過去の計画について、またその変更について話すことができる。 会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、謝罪の手紙を書くことができる。	20	5.1	ストーリーの種類を表す表現を学ぶ [had/would]（過去完了形）の使い方を学ぶ	21	5.1	過去完了を使って、 様々な種類のストーリーについて話す
		21	5.2	計画を立てる・破る際の表現を学ぶ [was/were going to, was/were supposed to]の使い方を学ぶ	22	5.2	[was/were going to, was/were supposed to]を使って、計画の変更について話す
		22	5.3	語末の子音の発音について学ぶ 問題への対応、解決策の提示・受領の表現を学ぶ 失望を表す表現を学ぶ	23	5.3	失望を表す表現を使って、 残念なニュースへのリアクションをする
		23	5.4	謝罪の気持ちを表す様々な表現を学ぶ	24	5.4	会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、 謝罪の手紙を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「偶然の出会いについてのストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 コミュニティ活動	チャリティやボランティア活動について話すことができる。 助けを求める、また断ることができる。 コミュニティ計画についてのレポートを読む、また書くことができる。	24	6.1	善い行いに関する表現を学ぶ 「受動態（現在形、過去形）」を学ぶ、復習する	26	6.1	チャリティやボランティア活動について話す
		25	6.2	良い行いを表す動詞・名詞・形容詞の形を学ぶ 「受動態助詞][must, might, can, will]の使い方を学ぶ	27	6.2	近所の人の親切な行為について話す
		26	6.3	/b/,/v/の発音について学ぶ 助けを求める、また断る際の表現を学ぶ	28	6.3	様々な助けが必要な場面での会話を練習する
		27	6.4	語中の/j/の発音について学ぶ レポートの中での意見を述べる表現を学ぶ	29	6.4	コミュニティ計画についてのレポートを読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 コミュニケーション	話す・書くコミュニケーションについてディスカッションをする。 会話やニュース、記事について詳しく話すことができる。 フォーマル/インフォーマルな手紙を読む、また書くことができる。	1	7.1	コミュニケーションに関する表現を学ぶ 「間接話法」について学ぶ	1	7.1	メッセージアプリの重要性について話す
		2	7.2	オンラインでのコミュニケーションに関する表現を学ぶ 疑問文の間接話法について学ぶ	2	7.2	話す・書くコミュニケーションについて ディスカッションをする
		3	7.3	語末の/s/,/z/の発音を学ぶ 話（ストーリー）を語る際の表現を学ぶ	3	7.3	会話やニュース、記事について詳しく話す
		4	7.4	Eメール中でのフォーマル／インフォーマルな表現を学ぶ	4	7.4	フォーマル／インフォーマルなEメールを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニケーションに関する調査」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ライフスタイル	異なるワークライフについて話すことができる。 最終決定までの選択肢について話すことができる。 ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書くことができる。	5	8.1	様々な仕事を表す表現を学ぶ 仮定法（現在）について学ぶ	6	8.1	仮定法の表現を使って、 異なるライフスタイルについて話す
		6	8.2	ワーク・ライフバランスに関する表現を学ぶ I wish（仮定法）について学ぶ	7	8.2	I wishを用いて願望や後悔について話す
		7	8.3	母音/3/,/u/の発音を学ぶ 選択を迫られた時の表現、その際の提案や警告に関する表現を学ぶ	8	8.3	様々な選択肢がある状況での会話を練習する
		8	8.4	文中の強調表現（発音）について学ぶ 他人の文言や意見を参照する際の表現を学ぶ	9	8.4	ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「デジタル・デトックスの計画を立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 ルールと制限	ルールと制限について話すことができる。 一般的な基準を定めることができる。 ビジネスにおける批判を読む、また書くことができる。	9	9.1	様々な場所を表す表現を学ぶ 禁止・許可・義務（現在）を表す表現を学ぶ	11	9.1	禁止・許可などの表現を使って、 日常のルールや制限について話す
		10	9.2	ルールに関する表現を学ぶ 禁止・許可・義務（過去）を表す表現を学ぶ	12	9.2	禁止・許可などの表現を使って、 過去にあったルールや制限について話す
		11	9.3	語頭の/d/の発音を学ぶ 一般的な基準を定める際に使う表現を学ぶ	13	9.3	社会ルール／文化の比較についてディスカッションをする
		12	9.4	批判を読む・書く際の表現を学ぶ 態度を示す副詞について学ぶ	14	9.4	ビジネスにおける批判を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の改善点について」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 発見と発明	過去の出来事について思索することができる。 代用品と可能性について話すことができる。 なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、また書くことができる。	16	10.1	発見や研究に関する表現を学ぶ 仮定法（過去）について学ぶ	16	10.1	過去の出来事について思索し、話す
		17	10.2	正しいこと／間違っていることに関する表現を学ぶ [should have, could have, might have]を用いた過去の可能性の表現を学ぶ	17	10.2	可能性の表現を用いて、代用品と可能性について話す
		18	10.3	母音の発音（長短）について学ぶ 相手の関心を惹く際、関心を示す際の表現を学ぶ	18	10.3	話し相手の関心を維持しながらディスカッションをする
		19	10.4	文中での強弱（発音）を学ぶ 同様のもの、対照的なものを表す表現を学ぶ	19	10.4	なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 対照的なもの	科学的な事実について話すことができる。 代わりになるものについてディスカッションし、提案をすることができる。 テクノロジーの進化についての意見を読み、反応を書くことができる。	20	11.1	大学教育に関する表現を学ぶ [forget, remember, stop]の後のto不定詞、動名詞について学ぶ	21	11.1	to不定詞、動名詞の表現を使って、 大学の生活について話す
		21	11.2	科学に関する表現を学ぶ 使役動詞[help, let, make]の使い方を学ぶ	22	11.2	科学的な事実についてディスカッションをする
		22	11.3	音節のストレス（発音）について学ぶ 代替品を勧める、他の選択肢について尋ねる、デメリットについて述べる際の表現を学ぶ	23	11.3	代わりになるものについてディスカッションをする
		23	11.4	議論を始める・追加する、結論を述べる際の表現を学ぶ	24	11.4	議論を含むコメントを読む、書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「問題解決についての提案」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 過去を振り返る	特別な写真について、またその背景のストーリーを述べることができる。 過去の経験を振返り、共有することができる。 ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、また書くことができる。	24	12.1	知覚（においや音、触感など）に関する表現を学ぶ 強調表現を学ぶ	26	12.1	特別な写真について、またその背景のストーリーについて話す
		25	12.2	記憶、想い出に関する表現を学ぶ [one]（代入）、[it/this]（参照）の使い方を学ぶ	27	12.2	子どもの頃の思い出について話す
		26	12.3	子音連結（発音）について学ぶ 返答を促す、記憶を思い起こす際の表現を学ぶ	28	12.3	過去の経験を振返り、話す
		27	12.4	文と文の連結する際の表現の発音（ストレス）を学ぶ メリット、デメリットを述べる際の表現を学ぶ	29	12.4	ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルAに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容 （対面）
Unit 1 一歩前進する	変化への対応方法についや現在・過去の習慣について話すことができる。 問題についてディスカッションをし、強く賛成することができる。 意見についてのエッセイを読む、また書くことができる。	1	1.1	困難に直面した時の表現方法を学ぶ 現在の習慣についての表現を学ぶ	1	1.1	困難なことの対処方法について話す
		2	1.2	困ったことを表す表現を学ぶ 過去にあった習慣、困難なことについての表現を学ぶ	2	1.2	過去にあった困難なことについて話す
		3	1.3	強調表現、/tʃ/の発音を学ぶ 様々なコミュニケーションの種類について学ぶ 問題についてディスカッションをする、また強く賛成する際の表現を学ぶ	3	1.3	過去と現在にあったものを比較し、ディスカッションをする
		4	1.4	エッセイの組み立て方を学ぶ	4	1.4	意見を述べるエッセイを読む、書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の懐かしい思い出」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 自然の限界	発見と研究について、異なる環境下での生活について話すことができる。 重要な情報を交換することができる。 自然の中での暮らしについてのインタビュー記事を読むことができる。 場所に関する説明文を書くことができる。	5	2.1	宇宙、海洋探査に関する表現を学ぶ 比較を用いた表現を学ぶ	6	2.1	比較を用いた表現を使って、 探究や研究について話す
		6	2.2	自然界に関する単語を学ぶ 最上級を用いた表現を学ぶ	7	2.2	最上級を用いた表現を使って、 異なる環境下での生物について話す
		7	2.3	アクセントの強弱、リズムについて学ぶ /w/,/v/の発音を学ぶ 情報を求める、また提供する際の表現を学ぶ	8	2.3	重要な情報の交換、自由時間の行動についてアドバイスする
		8	2.4	数に関する表現を学ぶ 遠く離れた場所での生活についての記事を読む	9	2.4	場所についての説明文を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「アウトドア計画を立てる」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 私のあり方	性格のタイプについて、好き・嫌いについて話すことができる。 リクエストをする、また答えることができる。 採用に関する投稿を読む、志望動機を書くことができる。	9	3.1	性格のタイプに関する表現を学ぶ 関係詞を使った表現を学ぶ	11	3.1	様々な性格のタイプについて話す
		10	3.2	強い感情を表す単語を学ぶ 現在分詞を用いた表現を学ぶ	12	3.2	現在分詞を使って、 好きなもの・嫌いなものについて話す
		11	3.3	語末の/t/の発音を学ぶ 礼儀正しいイントネーション（発音）を学ぶ リクエストをする、また答える際の表現を学ぶ	13	3.3	リクエストや助けが必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	動物園の求人広告を読む パーソナルステイトメントの書き方を学ぶ	14	3.4	パーソナルステイトメントを書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「就職面接」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 協力	サポートチームについて話すことができる。 有利な点、不利な点についてディスカッションをすることができる。 サマリーを読む、また書くことができる。	16	4.1	仕事上の関係に関する表現を学ぶ [so..that][such..that][even][only]を用いた表現を学ぶ	16	4.1	生活の中でのサポートチームについて話す
		17	4.2	アイディアの評価に関連する表現を学ぶ 再帰代名詞[self][selves]、[other][another]を用いた代名詞について学ぶ	17	4.2	再帰代名詞を使って、 何かを決定するために必要な評価について話す
		18	4.3	子音-母音のリンキング（発音）について学ぶ 2語（フレーズ）でのストレス（発音）について学ぶ 有利な点、不利な点について話す	18	4.3	有利な点／不利な点などの観点から ジョブシェアリングについて話す
		19	4.4	チームワークについての記事を読む サマリーの書き方を学ぶ	19	4.4	記事のサマリーを書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「資金調達のためのイベントを計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 ヒューマンファクター	新しい技術が人に与える影響、また未来のコミュニケーションについて話すことができる。 案を検討する、比較することができる。 オンライン記事を読む、また例と共に記事を書くことができる。	20	5.1	感情のコントロールに関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	21	5.1	仮定法の表現を使って、 新しい技術が人に与える影響について話す
		21	5.2	やりたい事、気が進まない事に関する表現を学ぶ 「if」以外の仮定法の表現を学ぶ	22	5.2	未来のコミュニケーションについてディスカッションをする
		22	5.3	/I/,/e/,/æ/の発音について学ぶ 文中でのストレス（発音）を学ぶ 確かなもの、不確かなものを述べる際の表現を学ぶ	23	5.3	ビデオゲームについてディスカッションをする 確かなもの・不確かなものについて話す
		23	5.4	翻訳アプリに関する記事を読む 自分の意見をサポートする例を述べる表現を学ぶ	24	5.4	オンライン記事に対するコメントを、例を交えて書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニティ改善計画」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 予期できないものを予期する	予期できない状況について話すことができる。 憶測を立てることができる。 興味深いストーリーを読む、また書くことが出来る。	26	6.1	名声に関する表現を学ぶ 過去形・過去進行形・過去完了形・過去完了進行形を用いた表現を学ぶ	24	6.1	時制を用いた表現を使って、 予期せぬ名声について話す
		27	6.2	「主張する」などの伝達動詞の表現を学ぶ [can]などの助動詞を用いた間接話法を学ぶ	25	6.2	間接話法を使って、 予期できない状況について話す
		28	6.3	複合動詞の発音について学ぶ 母音の長短（発音）について学ぶ 憶測を立てる、また他人の憶測に反応する際の表現を学ぶ	26	6.3	予期せぬ状況の中での会話を練習する
		29	6.4	恥ずかしい失敗についての投稿を読む 長文や短文を用いた面白いストーリーの書き方を学ぶ	27	6.4	面白いストーリーを書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容 （オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容 （対面）
Unit 7 優先順位	価値のある経験について、また買い物について話すことができる。 賛成と反対についてのエッセイを読む、書くことができる。	1	7.1	ポジティブな経験に関する表現を学ぶ 形容詞や名詞の後の不動名詞、不定詞表現を学ぶ	1	7.1	価値のある経験について話す
		2	7.2	買い物、購入に関する表現を学ぶ 動詞のあとの不定詞表現（目的語あり、なし）を学ぶ	2	7.2	自分が買ったものについて話す
		3	7.3	母音のリンキング（発音）について学ぶ /ŋ/の発音について学ぶ 価格を交渉する際の表現を学ぶ	3	7.3	バーゲン時（価格を交渉する場面）の会話を練習する
		4	7.4	価値のある経験についてのエッセイを読む エッセイを書く上での表現、パラグラフの組立を学ぶ	4	7.4	賛成と反対についてのエッセイを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ボート旅行の交渉をする」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ささいな問題	サイドプロジェクトについて話すことができる。 他人のアイディアに対し反応することができる。 クレームの手紙を読む、また書くことができる。	6	8.1	整頓しているもの、また乱雑なものについての表現を学ぶ [be…to＋動詞]を用いた、義務等を表す文法表現を学ぶ	5	8.1	整頓しているもの、乱雑なものについて話す
		7	8.2	進捗に関する表現を学ぶ 未来形の表現を学ぶ	6	8.2	未来形の表現を使って、 サイドプロジェクトについて話す
		8	8.3	強調（発音）について学ぶ 何かを対比する際のストレス（発音）を学ぶ 他人のアイディアに対して意見を述べる際の表現を学ぶ	7	8.3	イベントを計画しながら、他人のアイディアに意見を述べる練習をする
		9	8.4	効果的なクレームを伝える方法についての文章を読む クレームを伝える際の表現、クレームに関するレターの構成を学ぶ	8	8.4	会社や店に対してクレームのレターを書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ストレスを減らす方法」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 物事が起こる	人生を違うものにすること、失敗について話すことができる。 人を安心させることができる。 アドバイスについて書かれた記事を読む、書くことができる。	11	9.1	運や選択に関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	9	9.1	仮定法を用いた表現を使って、 人生における変化について話す
		12	9.2	失敗や間違いに関連する表現を学ぶ [I wish]などを用いた願望、後悔に関する表現を学ぶ	10	9.2	過去の失敗について話す
		13	9.3	文中の区切り（発音）を学ぶ 条件節でのイントネーションを学ぶ	11	9.3	人が抱える問題について、安心させる表現を述べる練習をする
		14	9.4	初めて会う人とのスモールトークについての記事を読む アドバイスを与える記事の書き方（必要な要素、構成）を学ぶ	12	9.4	自分が良く知る事柄について、アドバイスについての記事を書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテ-ション 「クラス同窓会」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 人物、プロフィール	人々の性格について、習慣について話すことができる。 印象について述べることができる。 公的なプロフィールを読む、また書くことができる。	16	10.1	人々の性格の特徴についての表現を学ぶ 「前置詞＋動名詞」の表現を学ぶ	16	10.1	自分と友人の性格の違いについて話す
		17	10.2	顧客リサーチにに関する表現を学ぶ 使役動詞を用いた表現を学ぶ	17	10.2	顧客が求めているもの、提供できるものについて話す
		18	10.3	直接引用（“”）での発音を学ぶ /ei/,/ai/,/ɔi/の発音を学ぶ 自身の印象について述べる際の表現を学ぶ	18	10.3	会話の中で自分の印象を述べる練習をする
		19	10.4	公的なプロフィールを読む 公的なプロフィールを書く際のフォーマルな表現を学ぶ	19	10.4	フォーマルな表現を用いて、公的なプロフィールを書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「会社のウェブサイトの改善方法を検討する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 本当に？	偽の商品、また誤情報について話すことができる。 信じている事、信じていない事を表現することができる。 説得力のあるエッセイを読む、書くことができる。	21	11.1	一般消費者が買う商品に関連する表現を学ぶ 受身表現を学ぶ	20	11.1	商品を表す表現（形容詞）を使って、 偽の商品について話す
		22	11.2	真実の度合いを表す表現を学ぶ [should]など義務を表す助動詞＋受身の表現方法を学ぶ	21	11.2	誤情報について話す
		23	11.3	感嘆符、命令表現でのイントネーションを学ぶ /ou/,/au/の発音を学ぶ 信じていること、信じていないことについて表現を学ぶ	22	11.3	信じていること、信じていないことについてディスカッションをする
		24	11.4	偽の商品レビューの見分け方についての記事を読む 説得力のある文章を書く際の表現や構成を学ぶ	23	11.4	説得力のある文章を書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「解決策をシェアする」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 必要な資質	才能について、目標について話すことができる。 パフォーマンスに対するレビューを読む、また書くことができる。	26	12.1	スキルやパフォーマンスに関する表現を学ぶ 「副詞＋形容詞、副詞」の表現を学ぶ	24	12.1	才能について話す
		27	12.2	感情的に影響を与える際の表現を学ぶ 不可算名詞に関する表現を学ぶ	25	12.2	人生を豊かにする方法についてディスカッションをする
		28	12.3	/d/→/b/など、変化する発音について学ぶ 音節のストレス（発音）を学ぶ 野望を表す表現を学ぶ	26	12.3	自分の目標について話す
		29	12.4	コンサートの裏側担当（技術者）による個人的なストーリーを読む パフォーマンスのレビューを書く際のフォーマル、インフォーマルな表現を学ぶ	27	12.4	パフォーマンスのレビューを書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、全コース振り返り			

科目名（英）	フード＆ビバレッジⅠ Food＆Beverage Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	濵中　健一
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	月曜日4時限

【授業の学習内容】
フードからドリンクまで食の分野に関する基礎知識を学びます

※教務実務経歴：1994年～2011年まで現場でパティシエとして勤務、ホテルのシェフパティシエや商品開発も行う　資格：技能検定1級、職業訓練指導員他

【到達目標】
業界で働くにあたって必要な食に関する基礎知識を取得出来る

＜具体的な目標＞
食べ物の味覚の違いや季節間、コース料理の流れや簡単なマナーを身に付けることが出来る

授業計画・内容	
第1回	2023/4/10　味覚についての基礎知識
第2回	2023/4/17　色々な食べ物を知る（実験）
第3回	2023/4/23料理の種類（世界、日本）
第4回	2023/5/8　色々な料理の流れを知る
第5回	2023/5/15 ドリンク実習（上園先生）
第6回	2023/5/22ドリンク実習（上園先生）
第7回	2023/5/29調理（白川先生）料理についての基礎知識
第8回	2023/6/5調理（白川先生）料理についての基礎知識
第9回	2023/6/12　デザートについて
第10回	2023/6/19チョコレート　コンフィズリー
第11回	2023/6/26焼き菓子
第12回	2023/7/3調理（白川先生）料理についての基礎知識
第13回	2023/7/10コース料理
第14回	2023/8/21コース料理
第15回	2023/8/28テスト
準備学習　時間外学習	
評価方法	●出席点(25%) ●筆記試験(75%)　授業内で習った内容の確認
受講生へのメッセージ	お客様に喜んでもらうためにはまずは自分が食の楽しさを知ることが大事です。 色々なことに興味を持って取り組みましょう

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	宿泊業務演習Ⅰ Accomodation business training　Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

サービス業界にて10年以上の接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績のある専任講師が、他の業務の基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃のチーム意識と行動を身につけることができる。

【到達目標】

・ホテルの主体である宿泊に関する業務を知る
・ロールプレングをすることによって、業務を実践的に身につけることができる

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、ホテルの心得を理解できる
第2回	ホテルの心得・専門用語と使い方・言葉づかい・電話応対を理解できる
第3回	現代のホテルビジネスを支える情報システムを理解できる
第4回	宿泊部門／業務の流れ（客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り）を理解できる
第5回	宿泊部門／業務の流れ（客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り）を実践形式で対応できる
第6回	宿泊部門／フロントオフィスの業務について理解できる
第7回	中間評価
第8回	ロールプレイング／ベルマン・ドアマン・クロークの業務を理解し、実践形式で対応できる
第9回	ロールプレイング／フロント業務（リザベーション、レセプション、インフォメーションなど）を理解し、実践形式で対応できる
第10回	ロールプレイング／フロント、コンシェルジュ業務を実践形式で対応出来る
第11回	リスクマネジメント／ホテルビジネスにおける危機管理意識を理解できる
第12回	コンプレイン対応／ケーススタディからコンプレイン対応を理解できる
第13回	評価対策、「サービスのプロ」としての在り方を理解できる
第14回	評価試験
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	・授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく
評価方法	・筆記30%、実習試験50%（ロールプレレイング） ・授業態度20%（学んでいる姿勢、表情、言葉遣い、ディスカッションでの発言）
受講生への メッセージ	・学科で学んでいることを進んで行動し、ロールプレイングに活かし、即戦力になれるよう学んでほしいです。

【使用教科書・教材・参考書】

・学校テキスト

科目名（英）	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日1時限
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテル運営に関する実務知識を幅広く習得する為、「ホテルビジネス実務検定（H検）ベーシックレベル2級」の取得を目指して学習します。
ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で過去問題を解き、試験への耐性をつけていきます。

※実務経験
藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。
ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。

【到達目標】

①ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格。
②ホテルの各セクションで求められるニーズや提供すべきサービスも変わる為、ホテル運営に関する実務知識やオペレーションを理解し、基礎的なスキルを身につけた上でさらに現場で良いおもてなしができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション ： 自己紹介　講義の説明とホテルビジネス実務検定の概要、合格のメリット、受験の心構えについて解説
第2回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （観光産業の概況、ホテルの語源、偉大な2人のホテリエを学ぶ）
第3回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （米国のホテル史を飾る創業者・経営者、アジアにおけるホテルの発展を学ぶ）
第4回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （日本の観光産業とホテルの歴史を学ぶ）
第5回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （ホテル産業の概要を学ぶ）
第6回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （国際的慣習、ホスピタリティの本質、接客用語の基礎を学ぶ）
第7回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （①ホテル英会話を学ぶ）
第8回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （②ホテル英会話を学ぶ）
第9回	第2章宿泊部門を身につけることができる （宿泊部門の概要、組織と役割を学ぶ）
第10回	第2章宿泊部門を身につけることができる （宿泊約款、施設・設備の知識、宿泊商品を学ぶ）
第11回	第2章宿泊部門を身につけることができる （主なセクション業務を学ぶ）
第12回	第2章のまとめ
第13回	前期試験対策と第2章までのふりかえり
第14回	筆記試験
第15回	前期講義全体のふりかえりと第3章以降について解説
準備学習 時間外学習	①テキストと過去問題集は必ず持参すること。 ※過去問題集は、講義の最後にふりかえりを兼ねて使用する為、忘れないこと！ ②合格することだけをイメージし、予習・復習の時間（1日5分でもいいです）を取ること。 ③わからないところはスルーしない。必ず質問してクリアにすること。
評価方法	筆記試験・・・100%
受講生への メッセージ	テキストのボリュームに圧倒されると思います。また、専門用語やホテル英会話など業務に必要な用語がたくさん出てきます。講義では取りこぼしがないようにテキストに沿って重要な部分はわかりやすく丁寧に説明します。初日の講義では私が実際に受験した体験談と合格ラインについてお伝えします。学んだことは必ず現場で役に立ちます。一緒にベーシックレベル2級合格目指して頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター
【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター

科目名（英）	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で問題集や過去問題にチャレンジしてもらい、ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格を目指します。

※実務経験
藤田観光株式会社ワシントンホテル宿泊部フロント課　勤務。
ホテルビジネス実務検定1級取得。

【到達目標】

ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級の合格と、ホテル業界の基礎知識およびサービスオペレーションを体系的に理解し、即戦力として現場で生かすことができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：前期講義で学んだことが理解できているか、小テストをしながら確認することができる□
第2回	第3章　料飲部門（料飲部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第3回	第3章　料飲部門（料飲部門の実務）を理解することができる
第4回	第3章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第5回	第4章　宴会部門（宴会部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第6回	第4章　宴会部門（宴会部門の実務）を理解することができる
第7回	第4章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第8回	第5章　調理部門（調理部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第9回	第5章　調理部門（調理の種類と特徴）を理解することができる
第10回	第5章　調理部門（西洋料理の基本知識①基本ソース～⑦サラダ料理まで）を理解することができる
第11回	第5章　調理部門（西洋料理の基本知識⑧フロマージュ～⑪コーヒー・紅茶まで、西洋料理の主な担当業務）を理解することができる
第12回	第5章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第13回	後期評価試験対策
第14回	期末評価
第15回	検定試験に向けて評価基準と心得について再度確認し、モチベーションを維持する
準備学習 時間外学習	合格をイメージする、また現場で即戦力として活躍できることをイメージして、1日5分でもいいので時間を見つけてテキストを見返す、問題集・過去問題にトライして、耐性をつけてください。 わからない部分はあいまいにせず、質問してクリアにしてください。
評価方法	筆記試験・・・100%
受講生への メッセージ	テキストのボリュームに圧倒されると思います。専門用語もたくさん出てきますし現場でも専門用語が飛び交います。講義では、取りこぼしがないように重要な部分は丁寧に解説します。本番の試験は90分で200問出題されます。問題集や過去問題を解いて反復練習をすれば緊張する試験の場でも瞬時に答えが導けるようになりますので、あきらめずに学習しましょう！ 学んだことは現場で必ず役に立ちます。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター
【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター

科目名（英）	レストランサービス演習 Restaurant service training	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生　亮
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	木曜日1時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

レストランの管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎を知識を身に付ける。（概要）レストランにおける収益管理から、店舗設計・サービスに至るまでの運営をする手法を学ぶ。原価率・回転率・原材料費率・人件費率などの管理能力の基礎をより詳しく実践的にロールプレーイングなどを行いながら学ぶ。

授業計画・内容	
第1回	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
第2回	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
第3回	西洋料理に使用される主な食材（前菜・スープ・魚・甲類・貝類）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第4回	西洋料理に使用される主な食材（家畜・家禽・野菜）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第5回	西洋料理に使用される主な食材（パスタ・チーズ・デザート）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第6回	課題の抽出・中間試験対策
第7回	中間試験（筆記）
第8回	一般的な西洋料理調理方法（魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第9回	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
第10回	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
第11回	西洋料理の食事用具・備品（銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称）を学び説明出来るようになる
第12回	課題の抽出・試験対策
第13回	試験対策
第14回	評価週
第15回	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	レストランサービス演習 Restaurant service training	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

・場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る
・授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る
・行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る

授業計画・内容	
第1回	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる
第2回	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食事用具・備品を学び理解する事ができる
第3回	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる
第4回	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる
第5回	レストランサービスの種類および内容（方法・任務・準備・セッティング）を学び理解する事ができる
第6回	レストランサービスの内容（お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進）を学び理解する事ができる
第7回	レストランサービスの内容（テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ）を学び理解する事ができる
第8回	レストランサービスの内容（予約・解約・メニュー管理）を学び理解する事ができる
第9回	レストランサービスの内容（料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー）を学び理解する事ができる
第10回	レストランサービスの内容（食事の国際習慣・プロトコールの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装）を学び理解する事ができる
第11回	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る
第12回	施設管理（防火管理・消火装置・警報装置・維持）を学び重要性を学ぶ事が出来る
第13回	試験対策
第14回	期末試験
第15回	期末試験振り返り、及び苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生　亮
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	木曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

レストランの管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎を知識を身に付ける。（概要）レストランにおける収益管理から、店舗設計・サービスに至るまでの運営をする手法を学ぶ。原価率・回転率・原材料費率・人件費率などの管理能力の基礎をより詳しく実践的にロールプレーイングなどを行いながら学ぶ。

授業計画・内容	
第1回	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
第2回	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
第3回	西洋料理に使用される主な食材（前菜・スープ・魚・甲類・貝類）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第4回	西洋料理に使用される主な食材（家畜・家禽・野菜）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第5回	西洋料理に使用される主な食材（パスタ・チーズ・デザート）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第6回	課題の抽出・中間試験対策
第7回	中間試験（筆記）
第8回	一般的な西洋料理調理方法（魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第9回	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
第10回	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
第11回	西洋料理の食事用具・備品（銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称）を学び説明出来るようになる
第12回	課題の抽出・試験対策
第13回	試験対策
第14回	評価週
第15回	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

・場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る
・授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る
・行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る

授業計画・内容	
第1回	ソムリエ協会推奨 ワイン抜栓の方法を学ぶ事が出来る
第2回	オレンジカッティングの方法を学ぶ事が出来る
第3回	レモンスライス・カットが出来る様になる
第4回	スパイラルレモンの方法を学ぶ事が出来る
第5回	場面に応じたオーダーテイクのテクニックを学ぶ事が出来る
第6回	気がついても、減っていても注いではいけない水のサービス（グループワーク）を考える事が出来る
第7回	中間試験
第8回	グラスの磨き方を学ぶ事が出来る
第9回	テーブルナフキンの折り方を学ぶ事が出来る
第10回	箸置きの折り方を学ぶ事が出来る
第11回	レモンスライス・カットの応用ができるようになる
第12回	テーブルクロス（リネン全般）の使用方法を学ぶ事が出来る
第13回	試験対策
第14回	期末試験
第15回	期末試験振り返り、及び苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生へのメッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	フロントシステム Front system	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテルフロントにおいて宿泊・受付に必須なホテルシステムの概要と操作の実習。

※実務経験
ソフトウエア会社2年、フロント受付システム実務・指導経験10年、パソコン全般の活用実務経験20年以上　講師歴2年

【到達目標】

・ホテルフロントにおいて活用されているTAPシステム理解し、実務に活用できる予約受付ができる
・資格としてTAP検定を受験する

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：自己紹介・授業の目的について　フロントシステムの心得を知る事ができる
第2回	タップシステム基本概念：ホテルにとってのITとは？　必要性　を勉強し、タップシステムの基本概念について理解しできる
第3回	宿泊予約作成（確認要項）：電話で受ける通常の宿泊予約作成に確認必要な項目を理解し実践できる
第4回	宿泊予約作成（稼働状況）：予約登録画面上で販売可能な部屋種とその数を把握出来るようにシステムを使用できる
第5回	宿泊予約作成（宿泊料金）：宿泊予約に紐づける料金設定（パッケージ）に関して、その意味と設定方法を理解できる
第6回	宿泊予約作成（予約経路）：宿泊の各予約経路を学び、それぞれの特徴を理解し、役立てることができる
第7回	宿泊予約作成（アサイン）：予約に関わるルームアサインを勉強し、意味と操作方法を習得できる
第8回	予約作成（ケーススタディ1）：宿泊予約作成に関わる項目に踏まえた上で、実際の入力方法ができる
第9回	レセプション関連（チェックイン）：チェックイン関連の業務を学び、チェックインの流れを習得できる
第10回	レセプション関連（ステイ）：チェックイン後のレセプション関連の業務を理解し、必要な処理が出来るようにします
第11回	キャッシャー関連（伝票登録）：伝票登録など基本的なキャッシャー業務を理解し、必要な処理が出来るようにします
第12回	キャッシャー関連（チェックアウト）：チェックアウト関連の業務を学び、チェックアウトの流れを理解しできる
第13回	総合インフォメーション：総合インフォメーションがフロント業務を行う上での基本画面となることを理解し、できる
第14回	期末試験
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	パソコン操作と電話応対が基本になります 着席での対応スキルも一緒に学べるため、ホテルコンシェルジュの意識する
評価方法	筆記試験・・・100％
受講生への メッセージ	ホテル独自のシステムを扱います 通常のパソコン操作と独自の操作を自分のスキルアップとして学んでください

【使用教科書・教材・参考書】

フロントシステム

科目名（英）	観光概論 Tourism Introduction	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

現役添乗員が観光地を解説。生徒が知らない観光地を実感できるよう裏話も含めて解説します。国内の観光地理を学びます。
各県の観光施設、文化、歴史、特産品などを楽しみながら学び、一般教養としての知識を身に着けます。

【到達目標】

〇〇県の位置と主な観光施設、名産品が思い浮かぶようになる。

授業計画・内容	
第1回	北海道 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第2回	北海道 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第3回	東北 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第4回	東北 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第5回	関東 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第6回	関東 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第7回	中部 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第8回	中部 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第9回	近畿 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第10回	近畿 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第11回	四国 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第12回	九州 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第13回	九州 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第14回	観光地理テスト
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末試験 100%
受講生への メッセージ	写真がたくさん載った教材を利用しますので、ゲームの桃太郎電鉄のように楽しく観光地理を学びます。

【使用教科書・教材・参考書】

旅に出たくなる日本地図 帝国書院

科目名（英）	ホテル概論 Introduction to the Study of Hotel	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	佐藤　俊子
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	水曜日1時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日系、外資系問わず様々なジャンルのホテルに関する知識を習得します。

※実務経験：（株）東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。
その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティー英語指導を10年以上経験。
全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。

【到達目標】

日本を代表する有名ホテルの名称と場所、歴史、特徴を知ることができる。
日本のホテルには系列があるが、それをグループ分けして母体の企業とともにその発展の歴史を知ることができる
福岡、東京、大阪、京都、沖縄の代表的なホテルを知ることができる
外資系ホテルの特徴を知ることができる
新しく進出するホテル、改装するホテルなど最近の動きを知ることができる

授業計画・内容	
第1回	自己紹介と授業の進め方の説明を受けホテルに関する授業の受け方を知ることができる。
第2回	日本を代表する帝国ホテルについて知ることができる。
第3回	ホテルには系列があることを知ることができる。
第4回	福岡市内のホテルの歴史と詳細を知ることができる。
第5回	東京の主要なホテルを知ることができる。
第6回	東京ディズニーリゾートのホテルと横浜のホテルを知ることができる。
第7回	大阪、京都の主要なホテルを知ることができる。
第8回	沖縄のリゾートホテルを知ることができる。
第9回	外資系のホテルと日本のホテルの違いを理解することができる。
第10回	ホテルのレストランの料金が高い理由を理解することができる。
第11回	いいサービスについて理解することができる。
第12回	ホテルの環境対策（アメニティーの変更など）を理解することができる
第13回	ホテルの組織を知ることができる。前期のまとめとテスト対策
第14回	評価週
第15回	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業で知ったホテルをもっと詳しく知るためにネットで情報を得てください。 福岡市内のホテルに実際に足を運んでみましょう。 自分なりのホテルノートを作ることをお勧めします。
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。 レジメにコメントを書いて提出していただき、それを平常点とします。
受講生への メッセージ	有名なホテル、評価の高いホテル、歴史のあるホテルにはそれぞれストーリーがあります。ぜひそれを知ってホテルを大好きになって下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルレジメ
パソコンがあればぜひ毎回お持ちください。ない方はスマホで検索します。

科目名（英）	進級制作 Presentation to mark the current year's study	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1年次の集大成として、クラスメイトとともにイベント運営や企業研究を通して、チームワーク力を身につけます。

【到達目標】

・協調性を身につけ、クラスメイトとともに協力して企画～運営を行うことができる。
・相手の意見を理解し、尊重することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業の流れ
第2回	テーマ、内容決め
第3回	テーマ毎に準備、作業
第4回	テーマ毎に準備、作業
第5回	テーマ毎に準備、作業
第6回	テーマ毎に準備、作業
第7回	テーマ毎に準備、作業
第8回	テーマ毎に準備、作業
第9回	進捗状況確認、報告、共有
第10回	テーマ毎に準備、作業
第11回	テーマ毎に準備、作業
第12回	テーマ毎に準備、作業
第13回	テーマ毎に準備、作業
第14回	発表及び評価
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト　100%
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	マナープロトコール（3級） Manner Protocol (3rd level)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	加藤　亜紀
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日3時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。多くの大学、専門学校等で非常勤講師として講義を行っている講師が、長年の指導経験を活かし分かりやすく、興味を持ってもらえるように講義を行います。講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく身につけることを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容にしています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。

執務経験：NPO法人日本マナー・プロトコール協会の認定講師。専門学校や大学で非常勤講師として活躍。

【到達目標】

「マナー・プロトコール検定3級」合格を目指します。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることができます。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることができます。

授業計画・内容	
第1回	講師自己紹介、講義内容についての説明（オリエンテーション）。マナーとは何か、「マナー」「エチケット」「プロトコール」の違いを理解し、好印象を与えるコミュニケーション（第一印象の重要性、挨拶、お辞儀、所作）をとることができる。
第2回	マナーの歴史と意味、西洋のマナー、アジアのマナーの成立ち、特徴、国際人としてのプロトコールの原則、具体的な席次例について学ぶことができる。
第3回	社交の場でのコミュニケーション、パーティーの種類とマナー、挨拶と紹介、外国人への贈り物について学ぶことができる。
第4回	国旗の扱い、異文化コミュニケーションについて学ぶことができる。服装や身だしなみ、立ち振る舞いの基本を学ぶことができる。立ち振る舞いの基本の実践指導を行う。ポイントを理解し、美しい所作を身につけることができる。
第5回	敬語、聴き方、話し方を学ぶ。尊敬語、謙譲語、丁寧語の置き換え例、クッション言葉について理解し、実生活にも活かすことができる。
第6回	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って中間テストに臨むことができる。
第7回	中間テスト（ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う）
第8回	礼装の基準（スライド視聴）、洋装・和装の礼装、パーティーでの服装を学ぶことができる。問題集を解き、復習を行うことで理解を深めることができる。
第9回	喜ばれる贈答品、贈り物のルールを理解し、場面に合わせた祝儀袋、不祝儀袋が選べ、表書きが書けるようになる。
第10回	手紙のマナー、手紙の基本構成を学び手紙を書いてみることで、自信を持って手紙を書くことができるようになる。お世話になった人に手紙を書いてみる。
第11回	ビジネスシーンのマナー、名刺の渡し方、電話応対、来客応対、ご案内、出迎えと見送りのマナーのロールプレイングを行い、実践して身につけることができる。
第12回	ビジネス文書の構成を学ぶ、ビジネス文書を作成してみる。電子メール・ファックスのマナーを学ぶことができる。
第13回	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って期末テストに臨むことができる。
第14回	期末テスト
第15回	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	予習シートを使用し、予習を行い授業に臨む。進んだところまで問題集を使用し復習する、復習ワークシートを行う。
評価方法	①模擬テスト、中間テスト、期末テストの点数 ②授業態度 ③提出物を期日までにきちんと提出する。
受講生への メッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール（国際儀礼）について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで、就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。目標はマナー・プロトコール検定3級合格です。文部科学省後援の資格を取得出来るよう一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会発行

科目名（英）	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	安永　宣雅
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日２時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

身だしなみや挨拶の大切さを理解しホスピタリティ業界で活躍でいる立ち居振る舞いができるようになる
神社や寺院などの見学や歴史を知ることで日本の文化を学び接客に活かせる知識を身に付ける。

※実務経験
当校キャリアセンターとして就職指導の実績を持つ。前職はホテルマンとしてマネジメント業務を行なう。

【到達目標】

身だしなみや挨拶など社会人としてのマナーを身に付けることができる。
福岡の歴史ある神社や寺院などの知識をみにつけることができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、自己紹介
第2回	挨拶の大切さを学ぶ
第3回	第一印象の大切さや身だしなみ（スーツの着こなしや清潔感ある人になる）
第4回	立ち方や座り方、歩き方を学ぶ
第5回	報告・連絡・相談の大切さを学ぶ
第6回	時間のマナーの大切さを学ぶ
第7回	前半のまとめ
第8回	櫛田神社の歴史など学ぶ
第9回	櫛田神社見学
第10回	承天寺の歴史を学ぶ
第11回	承天寺見学
第12回	博多祇園山笠について学ぶ
第13回	東長寺の歴史を学ぶ
第14回	東長寺見学
第15回	授業のレポート（まとめ）
準備学習 時間外学習	スーツ着用
評価方法	レポート提出60点、出席率40点で評価
受講生へのメッセージ	誰からも好印象を持てる人になるように頑張りましょう。 福岡にある歴史など楽しく学びましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

パソコン

科目名（英）	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	東　淳子
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。

実務経験：茶道裏千家も師範として茶道教室を開講

【到達目標】

和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。

授業計画・内容	
第1回	簡単なお茶の歴史を知ることが出来る。茶席での身だしなみ（服装・靴の脱ぎ方等）を知ることが出来る。
第2回	襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方を知ることが出来る。
第3回	道具の名称（漢字で覚える）帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。
第4回	道具の扱い方を知ることが出来る。①
第5回	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
第6回	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆中の道具の扱い方①
第7回	中間テスト
第8回	盆中の道具の扱い方②
第9回	薄茶を飲むときのお茶碗の扱い方・飲み方・懐紙を使ってのお菓子の取り方を知ることが出来る。（干菓子）
第10回	薄茶の立て方を知る（実際に自分で点ててみる①）
第11回	薄茶の立て方の復習（実際に自分で点ててみる②）
第12回	薄茶を点てる人（亭主）頂く人（お客）に分かれて体験することが出来る。
第13回	今までの総復習を行い、自身の成長を感じることが出来る。（生菓子）
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト返却・質疑応答・清掃
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト（50%）期末テスト（50%）
受講生へのメッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承していってほしいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	アソシエイトホスピタリティコーディネータ Asspciate Hospitality Coordinator	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。
また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。

実施内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。

※実務経験：2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。
②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ（AHC）」の資格を取得することができる。
③学んだことを活かし、日常生活においてもホスピタリティマインドをもって行動することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、講義の説明、アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータについて
第2回	第1章　日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性
第3回	第2章　ホスピタリティの歴史と文化
第4回	第3章　サービスとホスピタリティの語源
第5回	第4章　ホスピタリティの定義
第6回	第5章　ホスピタリティの5領域
第7回	第6章　組織と顧客のホスピタリティ
第8回	第7章　組織と社員（従業員）のホスピタリティ
第9回	第8章　ホスピタリティの実践
第10回	第9章　各産業におけるホスピタリティの実践
第11回	課題提出について
第12回	課題作成
第13回	課題作成
第14回	レポート提出
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身に着けるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つこと」を意識することが重要です。 また、様々な感動体験や自身の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポート作成にあたって、作成方法については細かいルールがありますので、講義の中で説明をします。理解したうえで作成すること。
受講生への メッセージ	ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動活かしていきましょう。また、クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有することも大切だと思います。自分が経験した感動体験を次は実践できるように一緒に取り組んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本／日本ホスピタリティ推進協会
その他内容に応じてプリント等配布。

科目名（英）	ベーシックスタイリング Basic Styling	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	中尾 茉奈
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	月曜日2時限

【授業内容】
ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい立ち居振る舞いを学びます。自身の体型や骨格に合わせてコーディネートを考えられるようになる授業を実施します。

※実務経験
教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。
都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。

【到達目標】
自分自身の体型の特徴を理解することができる。
歩き方や所作などを見直し、ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい姿となることで自己肯定感と業界への意識を高めることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の内容・進め方・到達目標について理解することができる。他者に与える自身の「印象」について考えることができる。
第2回	骨格診断セルフチェック：骨格3タイプを知り、自身の骨格を分類することができる。
第3回	実例を元に「オフィスカジュアル」を知ることができる。骨格に合う服装を知ることができる。（普段着・オフィスカジュアル・ドレス・スーツ）
第4回	骨格が乱れることで与える影響について知り、自分でできる骨格の整え方を体験する。 ※動きやすい服装持参
第5回	自身の体の状態を知ったうえで、正しい姿勢で立つこと・座ることについて体験し知ることが出来る。 正しい姿勢の状態で歩くことを体験する。
第6回	正しい姿勢での歩き方を練習し、身に着けることができるようになる。 ※汗をかいても良い服装・各自制服に合わせたい靴・水分補給できるものを持参。
第7回	今までの復習・中間テスト対策
第8回	中間テスト：筆記試験＋実技試験
第9回	「美しい所作」とは何かを考える：個人ワーク＋グループワークを行い、自身と他者の価値観を知ることができる。
第10回	前週で上がった「美しい所作」を実践し、動きを洗練させることができるようになる。
第11回	実践：正しい姿勢で立つ・歩く・座る・所作に気を遣う 実際の接客シーンをロールプレイングする。※進み具合等により変更の可能性あり
第12回	初歩的な行動心理学に触れ、自身の行動に反映させる具体的な方法について考えることができる。
第13回	今までの復習・期末テスト対策
第14回	期末テスト：筆記試験＋実技試験
第15回	試験の答案返却及び授業の振り返り
準備学習 時間外学習	この授業時間以外でも、普段から姿勢や所作を意識した生活を送ってください。
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生への メッセージ	少しの所作や姿勢の変化、言動で「印象」は変えられます。皆さんがそれぞれに目指す業種に合わせた印象に近づくことができるよう講義を行ってまいります。

【使用教科書・教材・参考書】

授業計画に記載の通り、動きやすい服装や水分補給用の飲み物の準備をお願いする授業があります。前週にアナウンスいたしますが、各自シラバスを確認して準備をしてください。

科目名（英）	コミュニケーション Communication	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会人として必要なコミュニケーション力を身に着け、実際に学生生活、就職活動、社会生活で実践できるようにします。
またコミュニケーションスキルアップ検定全員合格を目指して学んでいきます。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・コミュニケーションスキルを身に着け、実践できるようになる。
・コミュニケーションスキルアップ検定に合格することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション（自己紹介）
第2回	第1章　コミュニケーションとは（コミュニケーションの定義、3領域、種類）
第3回	第2章　基本的対話スキル（話す）
第4回	第2章　基本的対話スキル（聴く）
第5回	第2章　基本的対話スキル（グループでの会話）
第6回	第1章・第2章のまとめ、ロールプレイング
第7回	第3章　自己表現スキル（挨拶、自己紹介）
第8回	第3章　自己表現スキル（言葉のかけ方、上手な頼み方、上手な断り方、自己主張）
第9回	第3章　自己表現スキル（報連相、会議、ミーティング）
第10回	第3章　自己表現スキル（アンガーマネジメント）
第11回	第4章　社会的スキル（基本的な社会スキル）
第12回	第4章　社会的スキル（対人行動、文書作成）
第13回	第3章・第4章のまとめ、検定対策
第14回	コミュニケーションスキルアップ検定　実施
第15回	検定振り返り・授業のまとめ
準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を実際の生活の中で実践する。
評価方法	検定試験　100%
受講生へのメッセージ	コミュニケーションスキルは学生生活の中でも、社会においても必要です。一つ一つの内容を理解して、実際に実践しながら学んでいきましょう。 そして社会に出たときに最高のおもてなしができるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定テキスト（JESC）

科目名（英）	マナープロトコール（3級） Manner Protocol(3rd level)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【学習内容】
講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく"身につける"ことを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容としています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。
※実務経験
NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。ニチイ学館委託講師20年、接遇マナー研修担当。平成21年起業　講師業Cherry代表、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリア」の講義等を担当。また企業、学校等でのマナー研修も行う。

【到達目標】
マナープロトコール検定3級合格を目指すことが出来る。
学んだことを活かし、自身のマナーのレベルを上げ、社会人意識を高めることが出来る。
資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることが出来る。
マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることが出来る。

授業計画・内容	
第1回	和食のマナー：DVD視聴で和食のいただき方を学ぶことが出来る。美しい箸使い、忌み箸について学ぶことで日常生活でも箸使いを意識できるようになる。お椀とお箸を実際に使い実践練習することで、正しい箸使いを理解することが出来る。
第2回	洋食のマナー：DVD視聴で洋食のいただき方を学ぶことが出来る。洋食をいただく場面でも自信を持って臨めるようになる。実際のカトラリー、ナプキン等を使い指導することで、正しい使い方を理解することが出来る。中国料理、各国料理のマナーについても知識を広げることが出来る。
第3回	和室での作法：和室にて座礼、襖の開け閉め、座布団の扱い、和室でお茶の入れ方、出し方、いただき方を学ぶことで和室での作法を実践できるようになる。第5章まとめテストを行う。
第4回	「冠」のしきたり：スライドを使って人生の節目となる通過儀礼の成立ち、意味、種類を学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第7章まとめテストを行う。
第5回	「婚」のしきたり：スライドを使って婚姻の形態、しきたりを学び、結婚式での服装、会場でのマナー等、近い将来必要になる社会人としての知識を身に付けることができる。第8章まとめテストを行う。
第6回	復習：ここまでの内容の問題集の問題を解き、振り返りの学習を行うことで理解不足の部分を確認するこが出来る。問題を解く力をつけて、中間テストテストに臨むことが出来る。
第7回	中間テスト、解説、振り返り
第8回	「葬」のしきたり：スライドでを使って葬儀の変遷、葬送儀礼のしきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第9章まとめテストを行う。
第9回	「祭」のしきたり：スライドを使って日本の年中行事の種類、習わし、しきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第10章まとめテストを行う。
第10回	試験対策①：3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第11回	試験対策②：3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第12回	試験対策③：3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第13回	期末テスト
第14回	期末テスト振り返り
第15回	マナー・プロトコール3級検定試験
準備学習 時間外学習	行ったところまで問題集を使用し復習する。
評価方法	期末試験　100%
受講生へのメッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール（国際儀礼）について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。後半は、模擬問題を解くことで検定試験に対応できる力をつけていきます。「マナー・プロトコール検定3級」合格を指して一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会

科目名（英）	キャリアプログラム Career program	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増　千秋
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・学生生活を送るうえで、スケジュールや健康管理を自分自身で行うことができ、気持ちよく学生生活を送ることができる。
・クラスメイトとともに、業界や問題解決について情報交換をすることでチームワークを育むことができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション（学校生活について・クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など）
第2回	生活習慣改善教育①、Hand-Book of Life（日常生活編）、学生便覧再確認
第3回	生活習慣改善教育②、Hand-Book of Life（日常生活編）、GW前インフォメーション
第4回	生活習慣改善教育③、Hand-Book of Life（日常生活編）、GWの振り返り
第5回	生活習慣改善教育④、Hand-Book of Life（学校生活編）
第6回	生活習慣改善教育⑤、Hand-Book of Life（学校生活編）
第7回	マネー教育
第8回	学園祭について（次年度自分たちが行う立場を意識して）
第9回	学園祭振り返り（個人ワーク・グループワーク）
第10回	校外学習
第11回	校外学習
第12回	業界学習
第13回	業界学習、夏季休暇前インフォメーション（夏季休暇の過ごし方・課題・補講など）
第14回	夏季休暇振り返り、今後のスケジュールについて（補講・特別講義など）
第15回	前期振り返り
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出　100%
受講生への メッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができように本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 まずは学校内外で円滑にコミュニケーションが取れるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布
Hand-Book of Life

科目名（英）	キャリアプログラム career program	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増　千秋
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスメイトと協力をしながらイベントや業界について学び取り組んでいきます。また業界についての知識も身に着けて自分の将来についてよりイメージできるようにします。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・体調やスケジュールの自己管理を行い、学校生活を送ることができる。
・クラス全員が話し合いに参加して、イベントやグループワークで発言をすることができる。
・自分が目指す業界について基礎知識を身に着けることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション（後期のスケジュール、クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など）
第2回	Hand-Book of Life（社会生活編）、グループワーク
第3回	Hand-Book of Life（日常生活編）、イベントに向けて
第4回	イベントに向けて
第5回	イベントに向けて
第6回	イベントに向けて
第7回	校外学習
第8回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第9回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第10回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第11回	業界学習
第12回	冬季休暇前インフォメーション（冬季休暇の過ごし方・課題・補講など）
第13回	冬季休暇振り返り、今後のスケジュールについて
第14回	後期の振り返り、グループワーク
第15回	今年度の振り返り、2年生に向けて
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出　100%
受講生へのメッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができように本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 様々なイベントを通してより楽しい学校生活をともに送りましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布
Hand-Book of Life

科目名（英）	コンピューター演習 Practice of Computer	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	宗田　浩輔
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日4時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ソフトウェア販売、医薬品メーカー営業、WEBデザイナーを経て現在、ナレーション収録のスタジオを経営。
経営に係る業務の傍ら、経理業務・デザイン制作を兼務。
講義では実務に必要な基本的なスキルとトピックについて解説していこうと思います。

【到達目標】

Wordによるレポートや送付状や案内状の作成、Excelで関数を使った表を作成出来る。また、ショートカットなどを習得して操作を効率的に行うことが出来る。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：学習をすすめる上で必要な準備や知識を理解
第2回	パソコン全般の基本的な知識、タイピング、ショートカットについて習得
第3回	Word基礎　起動と文字入力、ファイルの保存について
第4回	Word基礎　用紙の設定、文字の修飾
第5回	Word基礎　図形やイラストを利用した文章の作成
第6回	Word基礎　実践：送り状作成
第7回	Word基礎　レポートや企画書などの作成
第8回	Excel基礎　起動と文字入力、基本構造の理解
第9回	Excel基礎　文字の修飾、表のデザインについての技術習得
第10回	Excel基礎　セルの分割・結合
第11回	Excel基礎　代表的な関数の実践
第12回	Excel基礎　実践：関数を利用した表の作成
第13回	前期振り返り　+ テスト対策
第14回	評価週　筆記試験　+　Wordを使用したレポートの提出
第15回	まとめ・追試/再試試験　問題解説と後期導入部分の解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験　+　Wordを使用したレポートの提出
受講生へのメッセージ	入学おめでとうございます。 パソコンを始めとしするデバイスは目的を達成するために多種多様な解決方法を提供してくれます。そして正解はひとつではなく、常に新しくより良いものが生み出されています。 技術の習得は大事ですが、解決方法にたどり着くための考え方や感覚などを一緒に考えながら培っていきましょう。 パソコンの習熟度はみなさんそれぞれ違うと思いますが、助け合いながら頑張っていきましょう（人に教える、といったアウトプットも大事な習得方法です！）

【使用教科書・教材・参考書】

PDFにて資料配布予定。ネットワーク共有フォルダよりコピーして使用。

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。 オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 1 個人的な情報	個人的な情報について尋ねる、また述べることができる。 個人的な経歴等のプロフィールを読む、また書くことができる。	1	1.1	be 動詞(am, are)の肯定形、否定形を学ぶ 出身地を尋ねる表現を学ぶ	1	1.1	be 動詞(am, are)を使って自己紹介（国籍や出身）する、または出身地を尋ねる会話を練習する
		2	1.2	[What is(What's)]、[It is(It's)]の使い方を学ぶ	2	1.2	疑問代名詞[What]を使って、 自分の個人情報を相手に伝え、また相手の情報を聞く
		3	1.3	接客する側（clerk)、される側(guest)の表現を学ぶ	3	1.3	ホテルにチェックインする際の会話を練習する
		4	1.4	大文字、ピリオドの使い方を学ぶ 個人的な経歴等のプロフィールを書く際に必要な表現を学ぶ	4	1.4	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティで新しい人に出会う」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 家族	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとることができる。	5	2.1	主語が三人称 [he, she, they]の時の、be動詞[is, are]の肯定文と疑問文の使い方を学ぶ	6	2.1	be動詞を使って、家族構成について話す
		6	2.2	主語が三人称の時の、be動詞の否定文を学ぶ	7	2.2	be動詞の否定文を使って、 友達や家族について説明する
		7	2.3	日付の言い方、発音を学ぶ 年齢、誕生日に関する表現を学ぶ	8	2.3	年齢や誕生日について聞く、話す
		8	2.4	位置を表す前置詞、接続詞[and]の使い方を学ぶ 短縮形の音（発音）について学ぶ	9	2.4	写真に写っている友達のことについて話す 友達についての紹介文を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「友達や家族についての情報を比較する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 住居	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書くことができる。	9	3.1	人称代名詞の所有格について学ぶ 名詞の所有を表す['s] と[s']の使い方を学ぶ	11	3.1	名詞の所有を表す['s] と[s']を使って、 自分の家について話す
		10	3.2	家具を表す単語を学ぶ 代名詞[it]の肯定文、否定文、疑問文を学ぶ	12	3.2	[it is]を使って、家具について話す
		11	3.3	物を提供する時の言い方、その返答方法を学ぶ /c/の発音ルールを学ぶ	13	3.3	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する 分からない単語について質問する
		12	3.4	疑問詞＋be動詞の使い方を学ぶ Eメールの基本ルールを学ぶ	14	3.4	ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「新居の家具を選ぶ」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 好み	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	16	4.1	主語が[I, You, We]の時の、 一般動詞の「現在形」の否定文を学ぶ	16	4.1	一般動詞「現在形」を使って、 お気に入りの物について話す
		17	4.2	主語が[I, You, We]の時の、 一般動詞の「現在形」の疑問文を学ぶ	17	4.2	一般動詞の「現在形」の疑問文を使って、 どのようにテクノロジーを使用しているのかを話す
		18	4.3	新しい話題の振り方、相手に情報を求める際の聞き方を学ぶ 強勢、ストレス（発音）について学ぶ	18	4.3	コミニケーション手段について話す 相手の話を聞いていることを示す
		19	4.4	冠詞[a]、[an]を学ぶ 語尾の上げ方、下げ方（発音）について学ぶ	19	4.4	商品のレビューを読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「好きな音楽について」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 生活習慣	平日、週末のアクティビティについて話すことができる。 日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。	20	5.1	主語が三人称 [he, she, they]の時の、 一般動詞「現在形（肯定文、否定文）」を学ぶ	21	5.1	「現在形」肯定文、否定文を使って、 平日、週末の行動について話す
		21	5.2	時間を表す単語を学ぶ 一般動詞「現在形」疑問文を学ぶ	22	5.2	「現在形」疑問文を使って、 時間・自分のルーティン（日課）について話す
		22	5.3	相手の意見に賛成する時の言い方、共通していることを伝える時の言い方を学ぶ 音節（発音）について学ぶ	23	5.3	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する
		23	5.4	レポートの書き方を学ぶ	24	5.4	自分の行動についてのレポートを読む、書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「異なる週の活動について比較する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 道順	道順について尋ねる、また教えることができる。 場所についての特徴について読み、書くことができる。	24	6.1	町中にある場所を表す単語を学ぶ [There (is, are), (a lot, some, no)]の使い方を学ぶ	26	6.1	[There (is, are), (a lot, some, no)]を使って、町にある場所について話す
		25	6.2	「可算（数えられる）名詞・不可算（数えられない）名詞」を学ぶ	27	6.2	「可算名詞・不可算名詞」を使って、 住んでいる地域の自然について話す
		26	6.3	情報を確認する時の言い方を学ぶ フォニックス「いー」の音、[ere]の発音２通りについて学ぶ	28	6.3	道順を聞く、または教える会話を練習する
		27	6.4	英語の強弱のリズム（発音）について学ぶ ファクトシートの読み方、書き方を学ぶ	29	6.4	自然の中の場所についてのファクトシートについて読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 7 自宅での生活	自宅の生活について話すことができる。 ブログ記事を読み、書くことができる。	1	7.1	家事、家の中での行動に関する単語を学ぶ 「現在進行形」の肯定文を学ぶ	1	7.1	「現在進行形」肯定文を使って、 家事や自宅での行動について話す
		2	7.2	交通手段、旅行に関わる動作を表す単語を学ぶ 「現在進行形」の疑問文を学ぶ	2	7.2	「現在進行形」疑問文を使って、 旅行について質問する、または答える
		3	7.3	電話であいさつをする時の表現を学ぶ /ng/の発音を学ぶ	3	7.3	電話で情報を共有する会話を練習する
		4	7.4	ブログを読む [also]、[too]の使い方を学ぶ	4	7.4	今起こっていることについてのブログを読む、書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「最近の生活について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 スキル・能力	自身のスキルや能力について話すことができる。 自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。	5	8.1	助動詞 [Can / Can't]（能力）を学ぶ goodの副詞：[well]の使い方を学ぶ	6	8.1	[Can / Can't]（能力）を使って、 自分の能力や才能について話す
		6	8.2	仕事に関する単語、フレーズを学ぶ 助動詞 [Can / Can't]（可能性）を学ぶ	7	8.2	[Can / Can't]（可能性）を使って、 職場や学校でできること、できないことについて話す
		7	8.3	相手に意見を聞く時の聞き方、また自分の意見を伝え方を学ぶ 英文をまとまりで区切り、一呼吸置いて話す方法について学ぶ	8	8.3	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する
		8	8.4	[can]と[can't]の聞き分け方（発音）を学ぶ 誰かの言葉を引用する際に使用するクォーテーションマークの使い方を学ぶ	9	8.4	インターネット上で自分の考えをコメントする
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 休暇・旅行	旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。 旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。	9	9.1	旅行に関する単語を学ぶ 指示形容詞 [this] と [these]の使い方を学ぶ	11	9.1	[this] と [these]を使って、 休暇、旅行について話す
		10	9.2	旅行の手配に関するフレーズを学ぶ to不定詞の名詞の用法を学ぶ [like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ	12	9.2	[like to, want to, need to, have to]を使って、 旅行計画を立てる
		11	9.3	情報を聞く時に使う表現、また質問への答え方を学ぶ 値段の言い方、聞き間違いやすい数字の発音を学ぶ	13	9.3	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する
		12	9.4	場所についての説明の表現を学ぶ 動詞の命令形（命令、助言）を学ぶ	14	9.4	場所についての説明を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 週末の計画	週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。 オンラインでの招待状を読む、書くことができる。	16	10.1	出かける時に使うフレーズを学ぶ 近い未来のことを話す時に使う[be going to]の使い方を学ぶ	16	10.1	[be going to]を使って、 週末のアウトドア（野外）プランについて話す
		17	10.2	季節、洋服の種類を表す単語を学ぶ [be going to]（疑問文）の使い方を学ぶ	17	10.2	[be going to]（疑問文）を使って、 異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う
		18	10.3	相手を誘う時の表現、誘いを受ける時、断る時の表現を学ぶ /s/の発音を学ぶ	18	10.3	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する
		19	10.4	going toの短縮形[gonna]の発音を学ぶ ライティングにおける短縮形の使い方を学ぶ	19	10.4	オンラインでの招待状を読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 過去の出来事	過去についての場所や出来事、過去の人について述べることができる。 思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。	20	11.1	人、場所、物を修飾する形容詞を学ぶ be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を学ぶ	21	11.1	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す
		21	11.2	色を表す単語を学ぶ be動詞の過去形[was / were]の疑問文を学ぶ	22	11.2	be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、 記憶にある色について話す
		22	11.3	母音[o]の発音を学ぶ、/ou/と/a:/の音の違いを学ぶ 答えを出す前、少し時間が必要な時に使う表現を学ぶ	23	11.3	自分の記憶を表現し、 映画、俳優について話す
		23	11.4	機内誌を読む、代名詞の使い方を学ぶ 文章を書く時のパラグラフ、トピックセンテンスを学ぶ	24	11.4	過去の思い出として保管している物についてEメールを書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「子どもの頃から見ているTV番組について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 レストラン	食べた食事について話すことができる。 レストランのレビューを読む、また書くことができる。	24	12.1	軽食や少量の食事などを表す単語を学ぶ 一般動詞の「過去形」肯定文と否定文について学ぶ	26	12.1	一般動詞の「過去形」を使って、 間食や軽食について話す
		25	12.2	食事、飲み物、デザートを表す単語を学ぶ 一般動詞「過去形」の疑問文を学ぶ	27	12.2	一般動詞の「過去形」の疑問文を使って、 レストランの食事について話す
		26	12.3	食べ物や飲み物を提供する、またお願いする時に使う表現、それらに対する答え方を学ぶ /h/と/r/の発音を学ぶ	28	12.3	食べ物・飲み物を提供する、お願いする、また答える時の会話を練習する
		27	12.4	[do you]と[want to]の発音の仕方を学ぶ ライティングにおける接続語[and]について学ぶ	29	12.4	レストランのレビューを読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルCに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルC

教科書	EVOLVE　2
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	ッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 知人について	知人・家族について話すことができる。 職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	身近な人を表す言葉を学ぶ be動詞の使い方、代名詞の所有格を学ぶ	1	1.1	be動詞、代名詞の所有格を使って、 知人・家族について話す
		2	1.2	「～のもの」を表す使い方を学ぶ 「誰のものですか」の聞き方を学ぶ	2	1.2	「～のもの」を表す表現を使って、 所有物について話す
		3	1.3	挨拶や会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ /l/の発音を学ぶ	3	1.3	挨拶をして会話を始める練習をする 興味や驚きを表す表現を練習する
		4	1.4	Eメールの基本ルールを学ぶ 丁寧な書き方を学ぶ	4	1.4	自己紹介をする 職場でのフォーマルなEメールを読む、書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「人と共通していることについて」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 仕事と勉強	毎日していることについて話すことができる。 ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。	5	2.1	一般動詞（現在形）の基本的な使い方を学ぶ 一般動詞の疑問文、否定文、頻度を尋ねる文を学ぶ	6	2.1	[Wh-question]を練習する 一般動詞の疑問文、否定文を使って、 習慣・ルーティンについて質問する、返答する
		6	2.2	デスク上にある「物」についての単語を学ぶ 名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ	7	2.2	指示代名詞を使って、 仕事や勉強をする空間について話す・質問する
		7	2.3	トラブルが起こった時、繰り返しを求める表現を学ぶ /h/の発音を学ぶ	8	2.3	意思疎通に問題があったことを説明する 繰り返しを求める表現を練習する
		8	2.4	日常のトピックについての語彙を学ぶ 相手の意見を聞く、またそれに対し意見を述べる表現を学ぶ	9	2.4	ポッドキャストについての意見を読む、書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「仕事や勉強のためのアプリについて」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 スポーツと運動	今していることについて話すことができる。 サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。	9	3.1	「現在進行形」を学ぶ・復習する 今まさに起こっていることを表現する	11	3.1	「現在進行形」を使って、 今まさに起こっていることについて話す
		10	3.2	動きを表す表現を学ぶ 現在形や現在進行形の違いを学ぶ	12	3.2	「現在進行形」「現在形」を練習する スポーツ、運動について話す
		11	3.3	情報を得るため、必要な表現を学ぶ 聞き返す、もう一度言ってほしい時の表現を学ぶ /ou/と/ɔ/の発音を学ぶ	13	3.3	知らない情報を人に尋ねたり、情報を読み取ったりできるよう、会話を練習する
		12	3.4	意見を表す表現を学ぶ 公共サービスに関する意見聞き、内容を理解する	14	3.4	サービスや会社に対するコメントを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「フィットネスプログラムを作る」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 招待	招待する、またそれに応えることができる。 イベントへの招待を読む、また書くことができる。	16	4.1	be動詞＋～ingを使った未来の表現を学ぶ	16	4.1	「現在進行形」を使って、 これから予定している計画について話す
		17	4.2	贈り物を人に渡したり、もらったりする際の表現を学ぶ 目的格代名詞の適切な使い方を学ぶ	17	4.2	目的格代名詞を使って、 人に物をプレゼントする会話を練習する
		18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の表現を学ぶ /v/の発音を学ぶ	18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の会話を練習する 誘いを断る理由を説明する
		19	4.4	未来のイベント案内の表現を学ぶ 発音(Reduction）を学ぶ	19	4.4	未来のイベント案内を読む、書く イベントを企画してアナウンスメントする
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「プレゼントを選ぶ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 過去のイベント	人生の中での過去のイベントについて話すことができる。 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。	20	5.1	過去の思い出や出来事について話す際の表現を学ぶ	21	5.1	過去の出来事について話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝わる
		21	5.2	一般動詞の過去形の疑問文、否定文を学ぶ 様々なライフイベントの表現を学ぶ	22	5.2	過去の出来事について質問する 過去形の疑問文、否定文を練習する
		22	5.3	誰かを祝ったり慰めたりする時の表現を学ぶ 相手の言ったこと確認する時の表現を学ぶ シラブル（音節）とストレス（発音）を学ぶ	23	5.3	適切な英語表現を用いて、相手を祝ったり、慰めたりする会話を練習する 自分の認識が正しいかどうかを確認する
		23	5.4	外国での体験談を読んで理解を深める 短い投稿に対して、同意・反対の表現を学ぶ	24	5.4	投稿に対して、賛成・反対のコメントを書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の有名な出来事をまとめる」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 買い物	店内で欲しいものについて述べることができる。 新しい商品の説明を読む、またVlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書くことができる。	24	6.1	買い物に関連した単語や熟語を学ぶ [be going to＋動詞の原形]を復習する	26	6.1	[be going to]を使って、 買い物に行くことについて会話する
		25	6.2	買い物時のフレーズを学ぶ 「限定詞」の使い方を学ぶ 数えられる名詞、数えられない名詞の数量の表し方を学ぶ	27	6.2	特定・不特定の物や人の数量を表し、 買い物習慣について話す
		26	6.3	欲しいものを伝える表現を学ぶ 名称がわからない物の聞き方を学ぶ 会話内の単語レベルのストレス（発音）についてを学ぶ	28	6.3	お店で買いたい物、探している物を伝える会話を練習する 物事の言い方を英語で聞く
		27	6.4	お金にまつわるストーリーを聞く、読む 代名詞に注意しながら文を読む	29	6.4	新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルC

教科書	EVOLVE　2
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	ッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 食べる・飲む	レストランで頼みたいものについて説明することができる。 ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。	1	7.1	食べ物を表す単語を学ぶ 「数量詞」（加算名詞・不可算名詞）を学ぶ	1	7.1	数量詞を使って、 一番好きな食べ物について話す
		2	7.2	食品や味の調理方法の英単語を学ぶ 「動名詞」と「to不定詞」を学ぶ	2	7.2	食品の味や調理方法について話す 動名詞とto不定詞を使った会話を練習する
		3	7.3	料理を注文する際の表現を学ぶ 言いたいことを明確に伝える表現を学ぶ /g/の発音を学ぶ	3	7.3	[I mean]を使って、会話を練習する 飲食店で料理を注文する会話を練習する
		4	7.4	オンライン上の記事を読み、コメントを投稿する 意見を述べる表現 [I think], [I don't think] を学ぶ	4	7.4	オンライン記事の内容を読み、自分の意見をコメントをする
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティを計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 旅行（短期）	提案をする、また提案をうけることができる。 海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。	5	8.1	旅行に関わる単語を学ぶ 接続詞[if / when]の使い方を学ぶ	6	8.1	自分の町で何をするのかについて話す
		6	8.2	移動に伴う様々な動きを表す表現を学ぶ [to/for]の使い方を学ぶ	7	8.2	[to / for]を使って、理由を説明する 過去に行った旅行について話す
		7	8.3	アドバイスや提案する際の表現、その反応の表現を学ぶ 母音の発音パターンを学ぶ	8	8.3	適切なアドバイスや提案する会話を練習する アドバイスに対しての反応を練習する
		8	8.4	旅行に関する適切なアドバイスを述べる表現を学ぶ 語尾の上げ下げ（発音）について学ぶ	9	8.4	海外旅行・生活についてのアドバイスを読む、書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「短期旅行のプランを立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 見た目	意見を尋ねる、また述べることができる。 広告を読む、また写真の説明を書くことができる。	9	9.1	アクセサリーに関する英単語を学ぶ 「形容詞の比較級」を学ぶ	11	9.1	いろいろな物を比較する会話を練習する
		10	9.2	顔や髪などの特徴に関する英単語を学ぶ 「形容詞の最上級」を学ぶ	12	9.2	[形容詞の最上級」を使って、 写真に写った人について話す
		11	9.3	アドバイスをしたり、受けたりする際の表現を学ぶ /ʒ/の発音を学ぶ	13	9.3	[I guess]を使って、アドバイスを相手に求める、またはアドバイスをする会話を練習する
		12	9.4	写真についての説明に使う表現を学ぶ	14	9.4	写真についての説明を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告を作り、発表する」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 職業	将来の予想を立てることができる。 アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。	16	10.1	職業に関する単語を学ぶ [have to]の使い方を学ぶ	16	10.1	仕事でどのように危険を避けるかを話し合う
		17	10.2	怪我や病気の表現を学ぶ 未来に起こるかもしれないことを予測する表現を学ぶ	17	10.2	これから先のことについて、適切に表現できるよう、練習する
		18	10.3	相手の体調を尋ねる、症状を述べる際の表現を学ぶ 語末の子音の発音を学ぶ	18	10.3	[It feels like (it's like)]を使って、 体調不良や怪我の症状などについて話す
		19	10.4	[be afraid of]などの表現を学ぶ	19	10.4	将来の自分に向けたメッセージを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「リアリティ番組を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 ソーシャル メディア	したことがあること、ないことについて話すことができる。 インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書くことができる。	20	11.1	インターネット上で使用するフレーズを学ぶ 「現在完了形（経験）」を学ぶ	21	11.1	今までに経験したことや経験したことのないことについて話し合う
		21	11.2	ソーシャルメディアで用いる単語やフレーズを学ぶ 「現在完了形」と「過去形」の違いを学ぶ	22	11.2	ソーシャルメディアについての内容を読む、話す、質問する
		22	11.3	お願い（頼み事）をする、許可を得る際の表現を学ぶ /n/と/m/の発音を学ぶ	23	11.3	誰かに頼み事をしたり、許可を得ることができるよう、練習する または、その反応をする表現を練習する
		23	11.4	情報画像、インフォグラフィック（図、表など）を用いたブログを読む [I always thought…/I think it's interesting that…/Who cares?]などの表現を学ぶ	24	11.4	インフォグラフィックを読む、コメントを書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ビデオ、またVlogを作る」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 アウトドア	天気について話すことができる。 場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。	24	12.1	天気に関する単語を学ぶ [be like]の疑問文での使い方を学ぶ	26	12.1	[be like]を使って、天気について話す
		25	12.2	風景や都市の景観を表す英単語を学ぶ 「関係代名詞(who, which, that)」の使い方を学ぶ	27	12.2	関係代名詞を使って、 場所、人、物事を説明する
		26	12.3	道を尋ねる、また道を教える際の表現を学ぶ 単語の始めの/w/の発音を学ぶ	28	12.3	道を尋ねる、また道を聞かれた時に答える会話を練習する
		27	12.4	手順を説明する際に使用する順序を表す単語を学ぶ /t/の音が/d/寄りになる時の発音について学ぶ	29	12.4	簡単な指示文を書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルBに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	ッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 知り合いになる	相手に質問をする、また質問に答えることができる。 自己紹介をし、知り合いになることができる。 親戚へのメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	性格を表す単語を学ぶ [WH-question]を使った表現を学ぶ	1	1.1	[WH-question]を使って相手の性格について尋ねる会話を練習する
		2	1.2	個人の情報（ライフステージ）に関する表現を学ぶ 間接疑問文を学ぶ	2	1.2	「間接疑問文」を使って、人に質問をする、 また質問に答える練習をする
		3	1.3	新しい情報を伝える時の文中のストレス（発音）を学ぶ 自己紹介、他己紹介の表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介と他己紹介に関する会話を練習する
		4	1.4	段落を意識したメールの読み方、書き方を学ぶ	4	1.4	誰かと知り合いになるためのメールを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「良いリーダーになるために必要なこと」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 持ち物	自分の持ち物について述べることができる。 ネット広告を読む、また書くことができる。	5	2.1	持ち物や持ち物に関連する表現を学ぶ [ever/never/for/since]を用いた現在完了形を学ぶ	6	2.1	現在進行形を使って持ち物について話す
		6	2.2	スマホやPCの機能に関する表現を学ぶ [already/yet]を用いた現在完了形を学ぶ	7	2.2	現在完了形を使って持ち物や その機能などについて話す
		7	2.3	語頭の/t/の発音を学ぶ 話題を変える際の表現を学ぶ 簡単な聞き返し（興味を示す）の表現を学ぶ	8	2.3	聞き返しの表現や話題を変える際の表現を使って ディスカッションをする
		8	2.4	ネット広告の読み方、書き方を学ぶ 代名詞としてのoneの使い方を学ぶ	9	2.4	欲しいものについての広告を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「出かける時の持ち物について」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 街の場所/道順	助動詞を用いて、自分の町について話すことができる。 ビル内の道順を尋ねる、また教えることができる。 求職申し込みを読み、申込書を書くことができる。	9	3.1	街中の橋や建物などの特徴に関する単語を学ぶ 冠詞について学ぶ	11	3.1	冠詞に注意しながら、自分の町について 尋ねる、また質問に答える練習をする
		10	3.2	公共交通機関に関する単語を学ぶ 助動詞［would/could/should］を使った提案の表現を学ぶ	12	3.2	［would/could/should］を使って、 他の場所への生き方について話す
		11	3.3	語頭の子音連結（発音）を学ぶ 道順を尋ねる、また教える際の表現を学ぶ 理解を示すための繰り返し（言い直し）の表現を学ぶ	13	3.3	建物内の道案内の場面での会話を練習する
		12	3.4	求人広告を読み、志望動機の書き方を学ぶ 大文字やピリオドなど、基本的なルールを学ぶ	14	3.4	求人に対して志望動機を書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 計画を立てる	個人的な意見を述べ、計画を立てることができる。 安心させる、またそれに答えることができる。 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、また書くことができる。	16	4.1	意見や反応を示す単語を学習する [be going to/will]を使った未来についての表現を学ぶ	16	4.1	［be going to/will］を使って、週末の予定について話す
		17	4.2	計画を立てる際の表現を学習する [will]をを用いた突然の決定、予定に関する表現を学ぶ	17	4.2	［be going to/will］を使って、旅行の計画について話す
		18	4.3	語頭の/p/の発音を学ぶ 安心させる言葉、またその反応を学ぶ [at least]を用いた表現を学ぶ	18	4.3	心配や不安になる状況での会話を練習する
		19	4.4	イベントの内容、スケジュールについての英文メールの読み方、書き方を学ぶ 順序に関する表現を学ぶ	19	4.4	イベント内容やスケジュールについての情報を伝えるメールを書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「さまざまな人に異なるアクティビティをアサインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 ストーリーを話す	驚いたできごと（ものを失くす、見つける、助ける、助けを求める）について話すことができる。 簡単な物語を読む、また書くことができる。	20	5.1	ものを失くす、見つける際の表現を学ぶ 単純過去形の使い方を学ぶ	21	5.1	単純過去形を使って、失くしたものや、見つけたものについて話す
		21	5.2	助けを求める、助ける際の表現を学ぶ 単純過去形と過去進行形について学ぶ、復習する	22	5.2	単純過去形、過去進行形を使って、 助けが必要になる場面での会話を練習する
		22	5.3	驚きを表す際の発音（ストレス）を学ぶ 驚いたことを示す、リアクションに関する表現を学ぶ	23	5.3	驚いたできごとについて話す
		23	5.4	短い物語を読み理解し、書き方を学ぶ	24	5.4	短い物語を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「おもしろい、驚くストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 問題と解決	都会の問題と解決策について話すことができる。 様々な状況での心配、また安心を表現することができる。 価値観についてのネット投稿を読む、また書くことができる。	24	6.1	都会の問題に関する表現を学ぶ 数量詞について学ぶ	26	6.1	数量詞を使って、都会の問題について話す
		25	6.2	マナーに関する副詞を学ぶ [If/When]を用いた現在・未来の条件節を学ぶ	27	6.2	現在・未来の条件節を使って、問題と解決策について話す
		26	6.3	語末のyの発音を学ぶ 様々な状況での心配、また安心を示す際の表現を学ぶ [though]を使った反対意見の述べ方を学ぶ	28	6.3	[though]を使って反対意見を述べる練習をする 心配や安心を表す表現を使った会話を練習する
		27	6.4	価値観についてのネット投稿を読み、書き方を学ぶ ライティングにおける質問文の書き方を学ぶ	29	6.4	価値観についてのネット投稿に対し、自分のコメント（考え）を書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	ッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 エンターテイメント	音楽、TV番組、映画について話すことができる。 誘いを断る、またそれに答えることができる。 映画のレビューを読む、また書くことができる。	1	7.1	音楽の種類に関する単語を学ぶ [used to]を用いた過去の習慣に関する表現を学ぶ	1	7.1	[used to]を使って音楽についての好みの変化について話す
		2	7.2	TV番組や映画に関連する表現を学ぶ [(not) as…as]を用いた比較の表現を学ぶ	2	7.2	比較の表現を使って、TV番組や映画について話す
		3	7.3	[I'm]の/m/の発音を学ぶ 誘いを断る、またそれに答える表現を学ぶ [kind of]を用いた、言い方を和らげる表現を学ぶ	3	7.3	誘いを断る必要がある場面での会話を練習する
		4	7.4	映画のレビューを読み、書き方を学ぶ 映画に関する意見を述べる表現を学ぶ	4	7.4	映画のレビューを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「メディアやエンターテイメントにおける好みの違い」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 最近の出来事	最近していること、他人のニュースについて話すことができる。 タイムマネジメントについての投稿を読む、また書くことができる。	5	8.1	経験を表す単語を学ぶ 現在完了進行形について学ぶ	6	8.1	現在完了進行形を使って、最近していることについて話す
		6	8.2	進捗を表す表現を学ぶ 現在完了形と現在完了進行形について学ぶ	7	8.2	現在完了形や現在完了進行形を使って、 物事の進捗について話す
		7	8.3	/ɑ/,/æ/の発音を学ぶ 久しぶりにあった際の挨拶、近況を尋ねる表現を学ぶ [that would be]を用いた自分の意見（コメント）の述べ方を学ぶ	8	8.3	他人のニュースについて、自分の意見を離す
		8	8.4	タイムマネジメントについての投稿を読む 物事が起こった際の時間を表す表現を学ぶ	9	8.4	タイムマネジメントについての投稿を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「時間を有効に使う方法」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 学校と仕事	学校や職場でのルール、勉強方法について話すことができる。 自信の有無について表現できる。 履歴書を読み要点を理解し、またおおまかな履歴書を書くことができる。	9	9.1	大学での科目に関する表現を学ぶ 助詞［have to, need to, must］を学ぶ	11	9.1	助詞［have to, need to, must］を使って、大学や学校で学ぶ科目について話す
		10	9.2	雇用、仕事に関する表現を学ぶ 助詞［can't, must not］を使った許可・禁止の表現を学ぶ	12	9.2	助詞［can't, must not］を使って、在宅勤務・自宅学習のルールんいついてディスカッションをする
		11	9.3	文中の区切り（発音）を学ぶ 自信の有無を表す表現を学ぶ [the thing is]を用いた理由を述べる表現を学ぶ	13	9.3	心配していること（自身がないこと）、自身があることについて話す
		12	9.4	履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ	14	9.4	自分の履歴書について、要点を書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分に合った完璧な仕事をデザインする」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 商品と選択	商品の詳細について、商品を選ぶ理由について説明することができる。 他人が選んだものについて質問する、商品に関するレビューを読む、また書くことができる。	16	10.1	材質に関する単語を学ぶ 単純現在形の受動態について学ぶ	16	10.1	商品の素材や材料について話す
		17	10.2	商品や輸送に関する単語を学ぶ 単純過去形の受動態について学ぶ	17	10.2	商品の生産地について話す
		18	10.3	/u/,/ʊ/,/aʊ/の発音を学ぶ 他人の選択に関して質問する際の表現を学ぶ [Now that I think..]などを用いた考えを変える際の表現を学ぶ	18	10.3	買いたいものについて話す、理由を尋ねる練習をする
		19	10.4	商品に関するレビューの読み方、書き方を学ぶ [However/Although]を用いた逆説の表現を学ぶ	19	10.4	商品に関するレビューを書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「商品のCMを作成する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 成功の秘訣	想像上のチャレンジについて、また成功の秘訣について話すことができる。 意見を述べ、賛成を求めることができる。 自分を奮い立たせる方法についてのネット記事を読み、それに関するストーリーを書くことができる。	20	11.1	句動詞［work out, set up, など］の表現を学ぶ	21	11.1	句動詞［work out, set up, など］を使って、成功の秘訣について話す
		21	11.2	機会や危険に関する単語を学ぶ 現在・未来の条件節について学ぶ	22	11.2	現在・未来の条件文を使って、想像上のチャレンジについて話す
		22	11.3	/ʃ/,/ʤ/の発音を学ぶ 了承を得る、了承を求める際の表現を学ぶ 言葉を和らげる表現[I guess/I feel like]を学ぶ	23	11.3	意見を述べる、了承を求める練習をする
		23	11.4	自身の身に起きた出来事についての書き方を学ぶ ［On the one hand, … and on the other hand,］を用いた比較の表現を学ぶ	24	11.4	自身の身に起きた出来事について書く。
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「憧れの人について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 事故と感情	事故について、またその時の気持ちを表現できる。 人生の教訓についての逸話を読む、また書くことができる。	24	12.1	事故に関する表現を学ぶ 不定代名詞について学ぶ	26	12.1	事故について話す
		25	12.2	過激なことに関連する表現を学ぶ 直接話法と間接話法について学ぶ	27	12.2	体験した極端な出来事について話す
		26	12.3	語末のedの発音を学ぶ 自分の感情を述べる、相手の感情を尋ねる表現を学ぶ ［in the end" / "after all that"］の使い方を学ぶ	28	12.3	ある出来事に関する、自身の感情、気持ちを話す
		27	12.4	人生の教訓についての逸話を読み、書く方法を学ぶ 同じ意味をもつことばやフレーズの異なる表現方法を学ぶ	29	12.4	教訓となった出来事と学んだことについて書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルB+に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 成果、業績	個人の業績について話す、また人を紹介された時の受け答えができる。 ブロック投稿についてのコメントを読む、また書くことができる。	1	1.1	業績に関する表現を学ぶ 「単純時制」「進行時制」を学ぶ、復習する	1	1.1	単純時制や進行時制を使って、 個人の業績について話す
		2	1.2	資質などを表す表現について、 形容詞・名詞での表現を学ぶ 動作動詞・状態動詞の違いを学ぶ	2	1.2	雇用者が求める人材について話す、 個人や他人の業績を説明する
		3	1.3	yの発音を学ぶ 人を紹介する時の表現、また人を紹介された時の受け答えの表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介、他己紹介をする場面での会話を練習する
		4	1.4	賛成・反対・より多くの情報を求める際の表現を学ぶ	4	1.4	ブログの投稿を読む、投稿にコメントを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「面接のロールプレイ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 流行の食べ物	食べ物の流行について、また料理の準備（調理）について話すことができる。 社交の場で申し出をする、またそれを受けることができる。 調査についての結果を読む、また報告書を書くことができる。	5	2.1	流行に関する表現を学ぶ 条件節（If節）について学ぶ	6	2.1	流行に関する表現を使って、 トレンドについて話す
		6	2.2	食材や調理法についての表現を学ぶ 接続詞（after,until,whenなど）を用いた表現を学ぶ	7	2.2	接続詞を使って、料理の手順について話す
		7	2.3	/al/,/i/,/el/の発音を学ぶ 提案をする、また提案を受ける・断る際の表現を学ぶ 提案を相手が受け入れた際の受領の表現を学ぶ	8	2.3	提案をする際の表現を使って、 社交の場や料理を注文する場面での会話を練習する
		8	2.4	消失する/t/の発音について学ぶ 調査報告に用いられる表現を学ぶ	9	2.4	調査についての結果を読む、また報告書を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「レストランの改善策を計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 お金と時間	時間とお金の相対的な重要性について話すことができる。 謝罪をする、また謝罪を受けることができる。 商品のレビューを読む、また書くことができる。	9	3.1	時間とお金に関連する表現を学ぶ [too, enough] について学ぶ	11	3.1	[too/enough]を使い、物事の「程度」について話す 時間とお金の相対的な重要性について話す
		10	3.2	価格と価値に関連する表現を学ぶ 形容詞の比較級について学ぶ、復習する	12	3.2	比較級の表現を使って、物事の価値や 価値を判断する基準について話す
		11	3.3	/s/で始まる語の発音を学ぶ 謝罪をする、謝罪を受ける際の表現を学ぶ	13	3.3	謝罪が必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	商品レビューに関するポジティブ、ネガティブな表現を学ぶ	14	3.4	商品のレビューを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「批判的な商品レビューへの対応についてディスカッション」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 広告と注目されるストーリー	ネット等で注目されているストーリーについて話すことができる。 意見を交換し、ディスカッションができる。 ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、また書くことができる。	16	4.1	広告に関する表現を学ぶ [might, must, can't]（推測）の使い方を学ぶ	16	4.1	推測の表現を用いて、 絵や写真の描写をする
		17	4.2	メディア関連の人を表す表現を学ぶ 関係代名詞の主格、目的格について学ぶ	17	4.2	関係代名詞を使って、 ネット等で注目されている人、ストーリーについて話す
		18	4.3	/ɔ/,/ɑ/の発音について学ぶ 意見交換・ディスカッションする際の表現を学ぶ allを用いた強調表現を学ぶ	18	4.3	[all]を使い、強調したい内容を述べる練習をする 意見を交換し、ディスカッションをする
		19	4.4	[because,so]を用いて理由や結果を述べる表現を学ぶ	19	4.4	ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告をデザインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 本当の出来事	様々な種類のストーリーについて話すことができる。 過去の計画について、またその変更について話すことができる。 会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、謝罪の手紙を書くことができる。	20	5.1	ストーリーの種類を表す表現を学ぶ [had/would]（過去完了形）の使い方を学ぶ	21	5.1	過去完了を使って、 様々な種類のストーリーについて話す
		21	5.2	計画を立てる・破る際の表現を学ぶ [was/were going to, was/were supposed to]の使い方を学ぶ	22	5.2	[was/were going to, was/were supposed to]を使って、計画の変更について話す
		22	5.3	語末の子音の発音について学ぶ 問題への対応、解決策の提示・受領の表現を学ぶ 失望を表す表現を学ぶ	23	5.3	失望を表す表現を使って、 残念なニュースへのリアクションをする
		23	5.4	謝罪の気持ちを表す様々な表現を学ぶ	24	5.4	会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、 謝罪の手紙を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「偶然の出会いについてのストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 コミュニティ活動	チャリティやボランティア活動について話すことができる。 助けを求める、また断ることができる。 コミュニティ計画についてのレポートを読む、また書くことができる。	24	6.1	善い行いに関する表現を学ぶ 「受動態（現在形、過去形）」を学ぶ、復習する	26	6.1	チャリティやボランティア活動について話す
		25	6.2	良い行いを表す動詞・名詞・形容詞の形を学ぶ 「受動態助詞][must, might, can, will]の使い方を学ぶ	27	6.2	近所の人の親切な行為について話す
		26	6.3	/b/,/v/の発音について学ぶ 助けを求める、また断る際の表現を学ぶ	28	6.3	様々な助けが必要な場面での会話を練習する
		27	6.4	語中の/j/の発音について学ぶ レポートの中での意見を述べる表現を学ぶ	29	6.4	コミュニティ計画についてのレポートを読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 コミュニケーション	話す・書くコミュニケーションについてディスカッションをする。 会話やニュース、記事について詳しく話すことができる。 フォーマル/インフォーマルな手紙を読む、また書くことができる。	1	7.1	コミュニケーションに関する表現を学ぶ 「間接話法」について学ぶ	1	7.1	メッセージアプリの重要性について話す
		2	7.2	オンラインでのコミュニケーションに関する表現を学ぶ 疑問文の間接話法について学ぶ	2	7.2	話す・書くコミュニケーションについて ディスカッションをする
		3	7.3	語末の/s/,/z/の発音を学ぶ 話（ストーリー）を語る際の表現を学ぶ	3	7.3	会話やニュース、記事について詳しく話す
		4	7.4	Eメール中でのフォーマル／インフォーマルな表現を学ぶ	4	7.4	フォーマル／インフォーマルなEメールを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニケーションに関する調査」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ライフスタイル	異なるワークライフについて話すことができる。 最終決定までの選択肢について話すことができる。 ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書くことができる。	5	8.1	様々な仕事を表す表現を学ぶ 仮定法（現在）について学ぶ	6	8.1	仮定法の表現を使って、 異なるライフスタイルについて話す
		6	8.2	ワーク・ライフバランスに関する表現を学ぶ I wish（仮定法）について学ぶ	7	8.2	I wishを用いて願望や後悔について話す
		7	8.3	母音/3/,/u/の発音を学ぶ 選択を迫られた時の表現、その際の提案や警告に関する表現を学ぶ	8	8.3	様々な選択肢がある状況での会話を練習する
		8	8.4	文中の強調表現（発音）について学ぶ 他人の文言や意見を参照する際の表現を学ぶ	9	8.4	ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「デジタル・デトックスの計画を立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 ルールと制限	ルールと制限について話すことができる。 一般的な基準を定めることができる。 ビジネスにおける批判を読む、また書くことができる。	9	9.1	様々な場所を表す表現を学ぶ 禁止・許可・義務（現在）を表す表現を学ぶ	11	9.1	禁止・許可などの表現を使って、 日常のルールや制限について話す
		10	9.2	ルールに関する表現を学ぶ 禁止・許可・義務（過去）を表す表現を学ぶ	12	9.2	禁止・許可などの表現を使って、 過去にあったルールや制限について話す
		11	9.3	語頭の/d/の発音を学ぶ 一般的な基準を定める際に使う表現を学ぶ	13	9.3	社会ルール／文化の比較についてディスカッションをする
		12	9.4	批判を読む・書く際の表現を学ぶ 態度を示す副詞について学ぶ	14	9.4	ビジネスにおける批判を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の改善点について」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 発見と発明	過去の出来事について思索することができる。 代用品と可能性について話すことができる。 なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、また書くことができる。	16	10.1	発見や研究に関する表現を学ぶ 仮定法（過去）について学ぶ	16	10.1	過去の出来事について思索し、話す
		17	10.2	正しいこと／間違っていることに関する表現を学ぶ [should have, could have, might have]を用いた過去の可能性の表現を学ぶ	17	10.2	可能性の表現を用いて、代用品と可能性について話す
		18	10.3	母音の発音（長短）について学ぶ 相手の関心を惹く際、関心を示す際の表現を学ぶ	18	10.3	話し相手の関心を維持しながらディスカッションをする
		19	10.4	文中での強弱（発音）を学ぶ 同様のもの、対照的なものを表す表現を学ぶ	19	10.4	なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 対照的なもの	科学的な事実について話すことができる。 代わりになるものについてディスカッションし、提案をすることができる。 テクノロジーの進化についての意見を読み、反応を書くことができる。	20	11.1	大学教育に関する表現を学ぶ [forget, remember, stop]の後のto不定詞、動名詞について学ぶ	21	11.1	to不定詞、動名詞の表現を使って、 大学の生活について話す
		21	11.2	科学に関する表現を学ぶ 使役動詞[help, let, make]の使い方を学ぶ	22	11.2	科学的な事実についてディスカッションをする
		22	11.3	音節のストレス（発音）について学ぶ 代替品を勧める、他の選択肢について尋ねる、デメリットについて述べる際の表現を学ぶ	23	11.3	代わりになるものについてディスカッションをする
		23	11.4	議論を始める・追加する、結論を述べる際の表現を学ぶ	24	11.4	議論を含むコメントを読む、書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「問題解決についての提案」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 過去を振り返る	特別な写真について、またその背景のストーリーを述べることができる。 過去の経験を振返り、共有することができる。 ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、また書くことができる。	24	12.1	知覚（においや音、触感など）に関する表現を学ぶ 強調表現を学ぶ	26	12.1	特別な写真について、またその背景のストーリーについて話す
		25	12.2	記憶、想い出に関する表現を学ぶ [one]（代入）、[it/this]（参照）の使い方を学ぶ	27	12.2	子どもの頃の思い出について話す
		26	12.3	子音連結（発音）について学ぶ 返答を促す、記憶を思い起こす際の表現を学ぶ	28	12.3	過去の経験を振返り、話す
		27	12.4	文と文の連結する際の表現の発音（ストレス）を学ぶ メリット、デメリットを述べる際の表現を学ぶ	29	12.4	ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルAに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 1 一歩前進する	変化への対応方法についや現在・過去の習慣について話すことができる。 問題についてディスカッションをし、強く賛成することができる。 意見についてのエッセイを読む、また書くことができる。	1	1.1	困難に直面した時の表現方法を学ぶ 現在の習慣についての表現を学ぶ	1	1.1	困難なことの対処方法について話す
		2	1.2	困ったことを表す表現を学ぶ 過去にあった習慣、困難なことについての表現を学ぶ	2	1.2	過去にあった困難なことについて話す
		3	1.3	強調表現、/tʃ/の発音を学ぶ 様々なコミュニケーションの種類について学ぶ 問題についてディスカッションをする、また強く賛成する際の表現を学ぶ	3	1.3	過去と現在にあったものを比較し、ディスカッションをする
		4	1.4	エッセイの組み立て方を学ぶ	4	1.4	意見を述べるエッセイを読む、書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の懐かしい思い出」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 自然の限界	発見と研究について、異なる環境下での生活について話すことができる。 重要な情報を交換することができる。 自然の中での暮らしについてのインタビュー記事を読むことができる。 場所に関する説明文を書くことができる。	5	2.1	宇宙、海洋探査に関する表現を学ぶ 比較を用いた表現を学ぶ	6	2.1	比較を用いた表現を使って、 探究や研究について話す
		6	2.2	自然界に関する単語を学ぶ 最上級を用いた表現を学ぶ	7	2.2	最上級を用いた表現を使って、 異なる環境下での生物について話す
		7	2.3	アクセントの強弱、リズムについて学ぶ /w/,/v/の発音を学ぶ 情報を求める、また提供する際の表現を学ぶ	8	2.3	重要な情報の交換、自由時間の行動についてアドバイスする
		8	2.4	数に関する表現を学ぶ 遠く離れた場所での生活についての記事を読む	9	2.4	場所についての説明文を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「アウトドア計画を立てる」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 私のあり方	性格のタイプについて、好き・嫌いについて話すことができる。 リクエストをする、また答えることができる。 採用に関する投稿を読む、志望動機を書くことができる。	9	3.1	性格のタイプに関する表現を学ぶ 関係詞を使った表現を学ぶ	11	3.1	様々な性格のタイプについて話す
		10	3.2	強い感情を表す単語を学ぶ 現在分詞を用いた表現を学ぶ	12	3.2	現在分詞を使って、 好きなもの・嫌いなものについて話す
		11	3.3	語末の/t/の発音を学ぶ 礼儀正しいイントネーション（発音）を学ぶ リクエストをする、また答える際の表現を学ぶ	13	3.3	リクエストや助けが必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	動物園の求人広告を読む パーソナルステイトメントの書き方を学ぶ	14	3.4	パーソナルステイトメントを書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「就職面接」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 協力	サポートチームについて話すことができる。 有利な点、不利な点についてディスカッションをすることができる。 サマリーを読む、また書くことができる。	16	4.1	仕事上の関係に関する表現を学ぶ [so..that][such..that][even][only]を用いた表現を学ぶ	16	4.1	生活の中でのサポートチームについて話す
		17	4.2	アイディアの評価に関連する表現を学ぶ 再帰代名詞[self][selves]、[other][another]を用いた代名詞について学ぶ	17	4.2	再帰代名詞を使って、 何かを決定するために必要な評価について話す
		18	4.3	子音-母音のリンキング（発音）について学ぶ 2語（フレーズ）でのストレス（発音）について学ぶ 有利な点、不利な点について話す	18	4.3	有利な点／不利な点などの観点から ジョブシェアリングについて話す
		19	4.4	チームワークについての記事を読む サマリーの書き方を学ぶ	19	4.4	記事のサマリーを書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「資金調達のためのイベントを計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 ヒューマンファクター	新しい技術が人に与える影響、また未来のコミュニケーションについて話すことができる。 案を検討する、比較することができる。 オンライン記事を読む、また例と共に記事を書くことができる。	20	5.1	感情のコントロールに関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	21	5.1	仮定法の表現を使って、 新しい技術が人に与える影響について話す
		21	5.2	やりたい事、気が進まない事に関する表現を学ぶ 「if」以外の仮定法の表現を学ぶ	22	5.2	未来のコミュニケーションについてディスカッションをする
		22	5.3	/I/,/e/,/æ/の発音について学ぶ 文中でのストレス（発音）を学ぶ 確かなもの、不確かなものを述べる際の表現を学ぶ	23	5.3	ビデオゲームについてディスカッションをする 確かなもの・不確かなものについて話す
		23	5.4	翻訳アプリに関する記事を読む 自分の意見をサポートする例を述べる表現を学ぶ	24	5.4	オンライン記事に対するコメントを、例を交えて書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニティ改善計画」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 予期できないものを予期する	予期できない状況について話すことができる。 憶測を立てることができる。 興味深いストーリーを読む、また書くことが出来る。	26	6.1	名声に関する表現を学ぶ 過去形・過去進行形・過去完了形・過去完了進行形を用いた表現を学ぶ	24	6.1	時制を用いた表現を使って、 予期せぬ名声について話す
		27	6.2	「主張する」などの伝達動詞の表現を学ぶ [can]などの助動詞を用いた間接話法を学ぶ	25	6.2	間接話法を使って、 予期できない状況について話す
		28	6.3	複合動詞の発音について学ぶ 母音の長短（発音）について学ぶ 憶測を立てる、また他人の憶測に反応する際の表現を学ぶ	26	6.3	予期せぬ状況の中での会話を練習する
		29	6.4	恥ずかしい失敗についての投稿を読む 長文や短文を用いた面白いストーリーの書き方を学ぶ	27	6.4	面白いストーリーを書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 7 優先順位	価値のある経験について、また買い物について話すことができる。 賛成と反対についてのエッセイを読む、書くことができる。	1	7.1	ポジティブな経験に関する表現を学ぶ 形容詞や名詞の後の不動名詞、不定詞表現を学ぶ	1	7.1	価値のある経験について話す
		2	7.2	買い物、購入に関する表現を学ぶ 動詞のあとの不定詞表現（目的語あり、なし）を学ぶ	2	7.2	自分が買ったものについて話す
		3	7.3	母音のリンキング（発音）について学ぶ /ŋ/の発音について学ぶ 価格を交渉する際の表現を学ぶ	3	7.3	バーゲン時（価格を交渉する場面）の会話を練習する
		4	7.4	価値のある経験についてのエッセイを読む エッセイを書く上での表現、パラグラフの組立を学ぶ	4	7.4	賛成と反対についてのエッセイを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ボート旅行の交渉をする」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ささいな問題	サイドプロジェクトについて話すことができる。 他人のアイディアに対し反応することができる。 クレームの手紙を読む、また書くことができる。	6	8.1	整頓しているもの、また乱雑なものについての表現を学ぶ [be…to＋動詞]を用いた、義務等を表す文法表現を学ぶ	5	8.1	整頓しているもの、乱雑なものについて話す
		7	8.2	進捗に関する表現を学ぶ 未来形の表現を学ぶ	6	8.2	未来形の表現を使って、 サイドプロジェクトについて話す
		8	8.3	強調（発音）について学ぶ 何かを対比する際のストレス（発音）を学ぶ 他人のアイディアに対して意見を述べる際の表現を学ぶ	7	8.3	イベントを計画しながら、他人のアイディアに意見を述べる練習をする
		9	8.4	効果的なクレームを伝える方法についての文章を読む クレームを伝える際の表現、クレームに関するレターの構成を学ぶ	8	8.4	会社や店に対してクレームのレターを書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ストレスを減らす方法」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 物事が起こる	人生を違うものにすること、失敗について話すことができる。 人を安心させることができる。 アドバイスについて書かれた記事を読む、書くことができる。	11	9.1	運や選択に関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	9	9.1	仮定法を用いた表現を使って、 人生における変化について話す
		12	9.2	失敗や間違いに関連する表現を学ぶ [I wish]などを用いた願望、後悔に関する表現を学ぶ	10	9.2	過去の失敗について話す
		13	9.3	文中の区切り（発音）を学ぶ 条件節でのイントネーションを学ぶ	11	9.3	人が抱える問題について、安心させる表現を述べる練習をする
		14	9.4	初めて会う人とのスモールトークについての記事を読む アドバイスを与える記事の書き方（必要な要素、構成）を学ぶ	12	9.4	自分が良く知る事柄について、アドバイスについての記事を書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテ-ション 「クラス同窓会」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 人物、プロフィール	人々の性格について、習慣について話すことができる。 印象について述べることができる。 公的なプロフィールを読む、また書くことができる。	16	10.1	人々の性格の特徴についての表現を学ぶ 「前置詞＋動名詞」の表現を学ぶ	16	10.1	自分と友人の性格の違いについて話す
		17	10.2	顧客リサーチにに関する表現を学ぶ 使役動詞を用いた表現を学ぶ	17	10.2	顧客が求めているもの、提供できるものについて話す
		18	10.3	直接引用（“”）での発音を学ぶ /ei/,/ai/,/ɔi/の発音を学ぶ 自身の印象について述べる際の表現を学ぶ	18	10.3	会話の中で自分の印象を述べる練習をする
		19	10.4	公的なプロフィールを読む 公的なプロフィールを書く際のフォーマルな表現を学ぶ	19	10.4	フォーマルな表現を用いて、公的なプロフィールを書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「会社のウェブサイトの改善方法を検討する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 本当に？	偽の商品、また誤情報について話すことができる。 信じている事、信じていない事を表現することができる。 説得力のあるエッセイを読む、書くことができる。	21	11.1	一般消費者が買う商品に関連する表現を学ぶ 受身表現を学ぶ	20	11.1	商品を表す表現（形容詞）を使って、 偽の商品について話す
		22	11.2	真実の度合いを表す表現を学ぶ [should]など義務を表す助動詞＋受身の表現方法を学ぶ	21	11.2	誤情報について話す
		23	11.3	感嘆符、命令表現でのイントネーションを学ぶ /ou/,/au/の発音を学ぶ 信じていること、信じていないことについて表現を学ぶ	22	11.3	信じていること、信じていないことについてディスカッションをする
		24	11.4	偽の商品レビューの見分け方についての記事を読む 説得力のある文章を書く際の表現や構成を学ぶ	23	11.4	説得力のある文章を書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「解決策をシェアする」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 必要な資質	才能について、目標について話すことができる。 パフォーマンスに対するレビューを読む、また書くことができる。	26	12.1	スキルやパフォーマンスに関する表現を学ぶ 「副詞＋形容詞、副詞」の表現を学ぶ	24	12.1	才能について話す
		27	12.2	感情的に影響を与える際の表現を学ぶ 不可算名詞に関する表現を学ぶ	25	12.2	人生を豊かにする方法についてディスカッションをする
		28	12.3	/d/→/b/など、変化する発音について学ぶ 音節のストレス（発音）を学ぶ 野望を表す表現を学ぶ	26	12.3	自分の目標について話す
		29	12.4	コンサートの裏側担当（技術者）による個人的なストーリーを読む パフォーマンスのレビューを書く際のフォーマル、インフォーマルな表現を学ぶ	27	12.4	パフォーマンスのレビューを書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、全コース振り返り			

科目名（英）	フード＆ビバレッジⅠ Food＆Beverage Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	濵中　健一
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	月曜日4時限

【授業の学習内容】
フードからドリンクまで食の分野に関する基礎知識を学びます

※教務実務経歴：1994年～2011年まで現場でパティシエとして勤務、ホテルのシェフパティシエや商品開発も行う　資格：技能検定1級、職業訓練指導員他

【到達目標】
業界で働くにあたって必要な食に関する基礎知識を取得出来る

＜具体的な目標＞
食べ物の味覚の違いや季節間、コース料理の流れや簡単なマナーを身に付けることが出来る

授業計画・内容	
第1回	2023/4/10　味覚についての基礎知識
第2回	2023/4/17　色々な食べ物を知る（実験）
第3回	2023/4/23料理の種類（世界、日本）
第4回	2023/5/8　色々な料理の流れを知る
第5回	2023/5/15 ドリンク実習（上園先生）
第6回	2023/5/22ドリンク実習（上園先生）
第7回	2023/5/29調理（白川先生）料理についての基礎知識
第8回	2023/6/5調理（白川先生）料理についての基礎知識
第9回	2023/6/12　デザートについて
第10回	2023/6/19チョコレート　コンフィズリー
第11回	2023/6/26焼き菓子
第12回	2023/7/3調理（白川先生）料理についての基礎知識
第13回	2023/7/10コース料理
第14回	2023/8/21コース料理
第15回	2023/8/28テスト
準備学習　時間外学習	
評価方法	●出席点(25%) ●筆記試験(75%)　授業内で習った内容の確認
受講生へのメッセージ	お客様に喜んでもらうためにはまずは自分が食の楽しさを知ることが大事です。 色々なことに興味を持って取り組みましょう

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	宿泊業務演習Ⅰ Accomodation business training　Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

専任講師が、他の業務の基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃のチーム意識と行動を身につけることができる。

※実務経験
サービス業界にて10年以上の接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績がある。

【到達目標】

・ホテルの主体である宿泊に関する業務を知る
・ロールプレングをすることによって、業務を実践的に身につけることができる

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、ホテルの心得を理解できる
第2回	ホテルの心得・専門用語と使い方・言葉づかい・電話応対を理解できる
第3回	現代のホテルビジネスを支える情報システムを理解できる
第4回	宿泊部門／業務の流れ（客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り）を理解できる
第5回	宿泊部門／業務の流れ（客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り）を実践形式で対応できる
第6回	宿泊部門／フロントオフィスの業務について理解できる
第7回	中間評価
第8回	ロールプレイング／ベルマン・ドアマン・クロークの業務を理解し、実践形式で対応できる
第9回	ロールプレイング／フロント業務（リザベーション、レセプション、インフォメーションなど）を理解し、実践形式で対応できる
第10回	ロールプレイング／フロント、コンシェルジュ業務を実践形式で対応出来る
第11回	リスクマネジメント／ホテルビジネスにおける危機管理意識を理解できる
第12回	コンプレイン対応／ケーススタディからコンプレイン対応を理解できる
第13回	評価対策、「サービスのプロ」としての在り方を理解できる
第14回	評価試験
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	・授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく
評価方法	・筆記30%、実習試験50%（ロールプレレイング） ・授業態度20%（学んでいる姿勢、表情、言葉遣い、ディスカッションでの発言）
受講生への メッセージ	・学科で学んでいることを進んで行動し、ロールプレイングに活かし、即戦力になれるよう学んでほしいです。

【使用教科書・教材・参考書】

・学校テキスト

科目名（英）	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日1時限
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテル運営に関する実務知識を幅広く習得する為、「ホテルビジネス実務検定（H検）ベーシックレベル2級」の取得を目指して学習します。
ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で過去問題を解き、試験への耐性をつけていきます。

※実務経験
藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。
ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。

【到達目標】

①ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格。
②ホテルの各セクションで求められるニーズや提供すべきサービスも変わる為、ホテル運営に関する実務知識やオペレーションを理解し、基礎的なスキルを身につけた上でさらに現場で良いおもてなしができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション ： 自己紹介　講義の説明とホテルビジネス実務検定の概要、合格のメリット、受験の心構えについて解説
第2回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （観光産業の概況、ホテルの語源、偉大な2人のホテリエを学ぶ）
第3回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （米国のホテル史を飾る創業者・経営者、アジアにおけるホテルの発展を学ぶ）
第4回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （日本の観光産業とホテルの歴史を学ぶ）
第5回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （ホテル産業の概要を学ぶ）
第6回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （国際的慣習、ホスピタリティの本質、接客用語の基礎を学ぶ）
第7回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （①ホテル英会話を学ぶ）
第8回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （②ホテル英会話を学ぶ）
第9回	第2章宿泊部門を身につけることができる （宿泊部門の概要、組織と役割を学ぶ）
第10回	第2章宿泊部門を身につけることができる （宿泊約款、施設・設備の知識、宿泊商品を学ぶ）
第11回	第2章宿泊部門を身につけることができる （主なセクション業務を学ぶ）
第12回	第2章のまとめ
第13回	前期試験対策と第2章までのふりかえり
第14回	筆記試験
第15回	前期講義全体のふりかえりと第3章以降について解説
準備学習 時間外学習	①テキストと過去問題集は必ず持参すること。 ※過去問題集は、講義の最後にふりかえりを兼ねて使用する為、忘れないこと！ ②合格することだけをイメージし、予習・復習の時間（1日5分でもいいです）を取ること。 ③わからないところはスルーしない。必ず質問してクリアにすること。
評価方法	筆記試験・・・100%
受講生への メッセージ	テキストのボリュームに圧倒されると思います。また、専門用語やホテル英会話など業務に必要な用語がたくさん出てきます。講義では取りこぼしがないようにテキストに沿って重要な部分はわかりやすく丁寧に説明します。初日の講義では私が実際に受験した体験談と合格ラインについてお伝えします。学んだことは必ず現場で役に立ちます。一緒にベーシックレベル2級合格目指して頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター
【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター

科目名（英）	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で問題集や過去問題にチャレンジしてもらい、ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格を目指します。

※実務経験
藤田観光株式会社ワシントンホテル宿泊部フロント課　勤務。
ホテルビジネス実務検定1級取得。

【到達目標】

ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級の合格と、ホテル業界の基礎知識およびサービスオペレーションを体系的に理解し、即戦力として現場で生かすことができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：前期講義で学んだことが理解できているか、小テストをしながら確認することができる□
第2回	第3章　料飲部門（料飲部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第3回	第3章　料飲部門（料飲部門の実務）を理解することができる
第4回	第3章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第5回	第4章　宴会部門（宴会部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第6回	第4章　宴会部門（宴会部門の実務）を理解することができる
第7回	第4章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第8回	第5章　調理部門（調理部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第9回	第5章　調理部門（調理の種類と特徴）を理解することができる
第10回	第5章　調理部門（西洋料理の基本知識①基本ソース～⑦サラダ料理まで）を理解することができる
第11回	第5章　調理部門（西洋料理の基本知識⑧フロマージュ～⑪コーヒー・紅茶まで、西洋料理の主な担当業務）を理解することができる
第12回	第5章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第13回	後期評価試験対策
第14回	期末評価
第15回	検定試験に向けて評価基準と心得について再度確認し、モチベーションを維持する
準備学習 時間外学習	合格をイメージする、また現場で即戦力として活躍できることをイメージして、1日5分でもいいので時間を見つけてテキストを見返す、問題集・過去問題にトライして、耐性をつけてください。 わからない部分はあいまいにせず、質問してクリアにしてください。
評価方法	筆記試験・・・100%
受講生への メッセージ	テキストのボリュームに圧倒されると思います。専門用語もたくさん出てきますし現場でも専門用語が飛び交います。講義では、取りこぼしがないように重要な部分は丁寧に解説します。本番の試験は90分で200問出題されます。問題集や過去問題を解いて反復練習をすれば緊張する試験の場でも瞬時に答えが導けるようになりますので、あきらめずに学習しましょう！ 学んだことは現場で必ず役に立ちます。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター
【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター

科目名（英）	レストランサービス演習 Restaurant service training	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生　亮
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	木曜日1時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

レストランの管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎を知識を身に付ける。（概要）レストランにおける収益管理から、店舗設計・サービスに至るまでの運営をする手法を学ぶ。原価率・回転率・原材料費率・人件費率などの管理能力の基礎をより詳しく実践的にロールプレーイングなどを行いながら学ぶ。

授業計画・内容	
第1回	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
第2回	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
第3回	西洋料理に使用される主な食材（前菜・スープ・魚・甲類・貝類）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第4回	西洋料理に使用される主な食材（家畜・家禽・野菜）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第5回	西洋料理に使用される主な食材（パスタ・チーズ・デザート）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第6回	課題の抽出・中間試験対策
第7回	中間試験（筆記）
第8回	一般的な西洋料理調理方法（魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第9回	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
第10回	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
第11回	西洋料理の食事用具・備品（銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称）を学び説明出来るようになる
第12回	課題の抽出・試験対策
第13回	試験対策
第14回	評価週
第15回	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	レストランサービス演習 Restaurant service training	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

・場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る
・授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る
・行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る

授業計画・内容	
第1回	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる
第2回	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食事用具・備品を学び理解する事ができる
第3回	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる
第4回	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる
第5回	レストランサービスの種類および内容（方法・任務・準備・セッティング）を学び理解する事ができる
第6回	レストランサービスの内容（お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進）を学び理解する事ができる
第7回	レストランサービスの内容（テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ）を学び理解する事ができる
第8回	レストランサービスの内容（予約・解約・メニュー管理）を学び理解する事ができる
第9回	レストランサービスの内容（料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー）を学び理解する事ができる
第10回	レストランサービスの内容（食事の国際習慣・プロトコールの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装）を学び理解する事ができる
第11回	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る
第12回	施設管理（防火管理・消火装置・警報装置・維持）を学び重要性を学ぶ事が出来る
第13回	試験対策
第14回	期末試験
第15回	期末試験振り返り、及び苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生　亮
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	木曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

レストランの管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎を知識を身に付ける。（概要）レストランにおける収益管理から、店舗設計・サービスに至るまでの運営をする手法を学ぶ。原価率・回転率・原材料費率・人件費率などの管理能力の基礎をより詳しく実践的にロールプレーイングなどを行いながら学ぶ。

授業計画・内容	
第1回	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
第2回	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
第3回	西洋料理に使用される主な食材（前菜・スープ・魚・甲類・貝類）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第4回	西洋料理に使用される主な食材（家畜・家禽・野菜）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第5回	西洋料理に使用される主な食材（パスタ・チーズ・デザート）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第6回	課題の抽出・中間試験対策
第7回	中間試験（筆記）
第8回	一般的な西洋料理調理方法（魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法）のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第9回	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
第10回	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
第11回	西洋料理の食事用具・備品（銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称）を学び説明出来るようになる
第12回	課題の抽出・試験対策
第13回	試験対策
第14回	評価週
第15回	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験
レストランひらまつ：レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡：レストランサービス20年勤務

【到達目標】

・場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る
・授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る
・行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る

授業計画・内容	
第1回	ソムリエ協会推奨 ワイン抜栓の方法を学ぶ事が出来る
第2回	オレンジカッティングの方法を学ぶ事が出来る
第3回	レモンスライス・カットが出来る様になる
第4回	スパイラルレモンの方法を学ぶ事が出来る
第5回	場面に応じたオーダーテイクのテクニックを学ぶ事が出来る
第6回	気がついても、減っていても注いではいけない水のサービス（グループワーク）を考える事が出来る
第7回	中間試験
第8回	グラスの磨き方を学ぶ事が出来る
第9回	テーブルナフキンの折り方を学ぶ事が出来る
第10回	箸置きの折り方を学ぶ事が出来る
第11回	レモンスライス・カットの応用ができるようになる
第12回	テーブルクロス（リネン全般）の使用方法を学ぶ事が出来る
第13回	試験対策
第14回	期末試験
第15回	期末試験振り返り、及び苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生へのメッセージ	まだ見ぬ世界へ

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理　料飲接遇サービス技法

科目名（英）	フロントシステム Front system	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテルフロントにおいて宿泊・受付に必須なホテルシステムの概要と操作の実習。

※実務経験
ソフトウエア会社2年、フロント受付システム実務・指導経験10年、パソコン全般の活用実務経験20年以上　講師歴2年

【到達目標】

・ホテルフロントにおいて活用されているTAPシステム理解し、実務に活用できる予約受付ができる
・資格としてTAP検定を受験する

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：自己紹介・授業の目的について　フロントシステムの心得を知る事ができる
第2回	タップシステム基本概念：ホテルにとってのITとは？　必要性　を勉強し、タップシステムの基本概念について理解しできる
第3回	宿泊予約作成（確認要項）：電話で受ける通常の宿泊予約作成に確認必要な項目を理解し実践できる
第4回	宿泊予約作成（稼働状況）：予約登録画面上で販売可能な部屋種とその数を把握出来るようにシステムを使用できる
第5回	宿泊予約作成（宿泊料金）：宿泊予約に紐づける料金設定（パッケージ）に関して、その意味と設定方法を理解できる
第6回	宿泊予約作成（予約経路）：宿泊の各予約経路を学び、それぞれの特徴を理解し、役立てることができる
第7回	宿泊予約作成（アサイン）：予約に関わるルームアサインを勉強し、意味と操作方法を習得できる
第8回	予約作成（ケーススタディ1）：宿泊予約作成に関わる項目に踏まえた上で、実際の入力方法ができる
第9回	レセプション関連（チェックイン）：チェックイン関連の業務を学び、チェックインの流れを習得できる
第10回	レセプション関連（ステイ）：チェックイン後のレセプション関連の業務を理解し、必要な処理が出来るようにします
第11回	キャッシャー関連（伝票登録）：伝票登録など基本的なキャッシャー業務を理解し、必要な処理が出来るようにします
第12回	キャッシャー関連（チェックアウト）：チェックアウト関連の業務を学び、チェックアウトの流れを理解しできる
第13回	総合インフォメーション：総合インフォメーションがフロント業務を行う上での基本画面となることを理解し、できる
第14回	期末試験
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	パソコン操作と電話応対が基本になります 着席での対応スキルも一緒に学べるため、ホテルコンシェルジュの意識する
評価方法	筆記試験・・・100％
受講生への メッセージ	ホテル独自のシステムを扱います 通常のパソコン操作と独自の操作を自分のスキルアップとして学んでください

【使用教科書・教材・参考書】

フロントシステム

科目名（英）	観光概論 Tourism Introduction	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

現役添乗員が観光地を解説。生徒が知らない観光地を実感できるよう裏話も含めて解説します。国内の観光地理を学びます。
各県の観光施設、文化、歴史、特産品などを楽しみながら学び、一般教養としての知識を身に着けます。

【到達目標】

〇〇県の位置と主な観光施設、名産品が思い浮かぶようになる。

授業計画・内容	
第1回	北海道 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第2回	北海道 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第3回	東北 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第4回	東北 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第5回	関東 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第6回	関東 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第7回	中部 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第8回	中部 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第9回	近畿 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第10回	近畿 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第11回	四国 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第12回	九州 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第13回	九州 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第14回	観光地理テスト
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末試験 100%
受講生への メッセージ	写真がたくさん載った教材を利用しますので、ゲームの桃太郎電鉄のように楽しく観光地理を学びます。

【使用教科書・教材・参考書】

旅に出たくなる日本地図 帝国書院

科目名（英）	ホテル概論 Introduction to the Study of Hotel	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	佐藤　俊子
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	水曜日1時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日系、外資系問わず様々なジャンルのホテルに関する知識を習得します。

※実務経験：（株）東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。
その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティー英語指導を10年以上経験。
全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。

【到達目標】

日本を代表する有名ホテルの名称と場所、歴史、特徴を知ることができる。
日本のホテルには系列があるが、それをグループ分けして母体の企業とともにその発展の歴史を知ることができる
福岡、東京、大阪、京都、沖縄の代表的なホテルを知ることができる
外資系ホテルの特徴を知ることができる
新しく進出するホテル、改装するホテルなど最近の動きを知ることができる

授業計画・内容	
第1回	自己紹介と授業の進め方の説明を受けホテルに関する授業の受け方を知ることができる。
第2回	日本を代表する帝国ホテルについて知ることができる。
第3回	ホテルには系列があることを知ることができる。
第4回	福岡市内のホテルの歴史と詳細を知ることができる。
第5回	東京の主要なホテルを知ることができる。
第6回	東京ディズニーリゾートのホテルと横浜のホテルを知ることができる。
第7回	大阪、京都の主要なホテルを知ることができる。
第8回	沖縄のリゾートホテルを知ることができる。
第9回	外資系のホテルと日本のホテルの違いを理解することができる。
第10回	ホテルのレストランの料金が高い理由を理解することができる。
第11回	いいサービスについて理解することができる。
第12回	ホテルの環境対策（アメニティーの変更など）を理解することができる
第13回	ホテルの組織を知ることができる。前期のまとめとテスト対策
第14回	評価週
第15回	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業で知ったホテルをもっと詳しく知るためにネットで情報を得てください。 福岡市内のホテルに実際に足を運んでみましょう。 自分なりのホテルノートを作ることをお勧めします。
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。 レジメにコメントを書いて提出していただき、それを平常点とします。
受講生への メッセージ	有名なホテル、評価の高いホテル、歴史のあるホテルにはそれぞれストーリーがあります。ぜひそれを知ってホテルを大好きになって下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルレジメ
パソコンがあればぜひ毎回お持ちください。ない方はスマホで検索します。

科目名（英）	進級制作 Presentation to mark the current year's study	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1年次の集大成として、クラスメイトとともにイベント運営や企業研究を通して、チームワーク力を身につけます。

【到達目標】

・協調性を身につけ、クラスメイトとともに協力して企画～運営を行うことができる。
・相手の意見を理解し、尊重することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業の流れ
第2回	テーマ、内容決め
第3回	テーマ毎に準備、作業
第4回	テーマ毎に準備、作業
第5回	テーマ毎に準備、作業
第6回	テーマ毎に準備、作業
第7回	テーマ毎に準備、作業
第8回	テーマ毎に準備、作業
第9回	進捗状況確認、報告、共有
第10回	テーマ毎に準備、作業
第11回	テーマ毎に準備、作業
第12回	テーマ毎に準備、作業
第13回	テーマ毎に準備、作業
第14回	発表及び評価
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト　100%
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	マナープロトコール（3級） Manner Protocol (3rd level)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	加藤　亜紀
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日3時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。多くの大学、専門学校等で非常勤講師として講義を行っている講師が、長年の指導経験を活かし分かりやすく、興味を持ってもらえるように講義を行います。講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく身につけることを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容にしています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。

執務経験：NPO法人日本マナー・プロトコール協会の認定講師。専門学校や大学で非常勤講師として活躍。

【到達目標】

「マナー・プロトコール検定3級」合格を目指します。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることができます。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることができます。

授業計画・内容	
第1回	講師自己紹介、講義内容についての説明（オリエンテーション）。マナーとは何か、「マナー」「エチケット」「プロトコール」の違いを理解し、好印象を与えるコミュニケーション（第一印象の重要性、挨拶、お辞儀、所作）をとることができる。
第2回	マナーの歴史と意味、西洋のマナー、アジアのマナーの成立ち、特徴、国際人としてのプロトコールの原則、具体的な席次例について学ぶことができる。
第3回	社交の場でのコミュニケーション、パーティーの種類とマナー、挨拶と紹介、外国人への贈り物について学ぶことができる。
第4回	国旗の扱い、異文化コミュニケーションについて学ぶことができる。服装や身だしなみ、立ち振る舞いの基本を学ぶことができる。立ち振る舞いの基本の実践指導を行う。ポイントを理解し、美しい所作を身につけることができる。
第5回	敬語、聴き方、話し方を学ぶ。尊敬語、謙譲語、丁寧語の置き換え例、クッション言葉について理解し、実生活にも活かすことができる。
第6回	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って中間テストに臨むことができる。
第7回	中間テスト（ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う）
第8回	礼装の基準（スライド視聴）、洋装・和装の礼装、パーティーでの服装を学ぶことができる。問題集を解き、復習を行うことで理解を深めることができる。
第9回	喜ばれる贈答品、贈り物のルールを理解し、場面に合わせた祝儀袋、不祝儀袋が選べ、表書きが書けるようになる。
第10回	手紙のマナー、手紙の基本構成を学び手紙を書いてみることで、自信を持って手紙を書くことができるようになる。お世話になった人に手紙を書いてみる。
第11回	ビジネスシーンのマナー、名刺の渡し方、電話応対、来客応対、ご案内、出迎えと見送りのマナーのロールプレイングを行い、実践して身につけることができる。
第12回	ビジネス文書の構成を学ぶ、ビジネス文書を作成してみる。電子メール・ファックスのマナーを学ぶことができる。
第13回	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って期末テストに臨むことができる。
第14回	期末テスト
第15回	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	予習シートを使用し、予習を行い授業に臨む。進んだところまで問題集を使用し復習する、復習ワークシートを行う。
評価方法	①模擬テスト、中間テスト、期末テストの点数 ②授業態度 ③提出物を期日までにきちんと提出する。
受講生への メッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール（国際儀礼）について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで、就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。目標はマナー・プロトコール検定3級合格です。文部科学省後援の資格を取得出来るよう一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会発行

科目名（英）	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	安永　宣雅
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日２時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

身だしなみや挨拶の大切さを理解しホスピタリティ業界で活躍でいる立ち居振る舞いができるようになる
神社や寺院などの見学や歴史を知ることで日本の文化を学び接客に活かせる知識を身に付ける。

※実務経験
当校キャリアセンターとして就職指導の実績を持つ。前職はホテルマンとしてマネジメント業務を行なう。

【到達目標】

身だしなみや挨拶など社会人としてのマナーを身に付けることができる。
福岡の歴史ある神社や寺院などの知識をみにつけることができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、自己紹介
第2回	挨拶の大切さを学ぶ
第3回	第一印象の大切さや身だしなみ（スーツの着こなしや清潔感ある人になる）
第4回	立ち方や座り方、歩き方を学ぶ
第5回	報告・連絡・相談の大切さを学ぶ
第6回	時間のマナーの大切さを学ぶ
第7回	前半のまとめ
第8回	櫛田神社の歴史など学ぶ
第9回	櫛田神社見学
第10回	承天寺の歴史を学ぶ
第11回	承天寺見学
第12回	博多祇園山笠について学ぶ
第13回	東長寺の歴史を学ぶ
第14回	東長寺見学
第15回	授業のレポート（まとめ）
準備学習 時間外学習	スーツ着用
評価方法	レポート提出60点、出席率40点で評価
受講生へのメッセージ	誰からも好印象を持てる人になるように頑張りましょう。 福岡にある歴史など楽しく学びましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

パソコン

科目名（英）	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	東　淳子
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。

実務経験：茶道裏千家も師範として茶道教室を開講

【到達目標】

和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。

授業計画・内容	
第1回	簡単なお茶の歴史を知ることが出来る。茶席での身だしなみ（服装・靴の脱ぎ方等）を知ることが出来る。
第2回	襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方を知ることが出来る。
第3回	道具の名称（漢字で覚える）帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。
第4回	道具の扱い方を知ることが出来る。①
第5回	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
第6回	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆中の道具の扱い方①
第7回	中間テスト
第8回	盆中の道具の扱い方②
第9回	薄茶を飲むときのお茶碗の扱い方・飲み方・懐紙を使ってのお菓子の取り方を知ることが出来る。（干菓子）
第10回	薄茶の立て方を知る（実際に自分で点ててみる①）
第11回	薄茶の立て方の復習（実際に自分で点ててみる②）
第12回	薄茶を点てる人（亭主）頂く人（お客）に分かれて体験することが出来る。
第13回	今までの総復習を行い、自身の成長を感じることが出来る。（生菓子）
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト返却・質疑応答・清掃
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト（50%）期末テスト（50%）
受講生へのメッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承していってほしいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	アソシエイトホスピタリティコーディネータ Asspciate Hospitality Coordinator	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。
また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。

実施内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。

※実務経験：2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。
②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ（AHC）」の資格を取得することができる。
③学んだことを活かし、日常生活においてもホスピタリティマインドをもって行動することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、講義の説明、アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータについて
第2回	第1章　日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性
第3回	第2章　ホスピタリティの歴史と文化
第4回	第3章　サービスとホスピタリティの語源
第5回	第4章　ホスピタリティの定義
第6回	第5章　ホスピタリティの5領域
第7回	第6章　組織と顧客のホスピタリティ
第8回	第7章　組織と社員（従業員）のホスピタリティ
第9回	第8章　ホスピタリティの実践
第10回	第9章　各産業におけるホスピタリティの実践
第11回	課題提出について
第12回	課題作成
第13回	課題作成
第14回	レポート提出
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身に着けるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つこと」を意識することが重要です。 また、様々な感動体験や自身の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポート作成にあたって、作成方法については細かいルールがありますので、講義の中で説明をします。理解したうえで作成すること。
受講生への メッセージ	ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動活かしていきましょう。また、クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有することも大切だと思います。自分が経験した感動体験を次は実践できるように一緒に取り組んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本／日本ホスピタリティ推進協会
その他内容に応じてプリント等配布。

科目名（英）	ベーシックスタイリング Basic Styling	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	中尾 茉奈
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	月曜日2時限

【授業内容】
ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい立ち居振る舞いを学びます。自身の体型や骨格に合わせてコーディネートを考えられるようになる授業を実施します。

※実務経験
教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。
都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。

【到達目標】
自分自身の体型の特徴を理解することができる。
歩き方や所作などを見直し、ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい姿となることで自己肯定感と業界への意識を高めることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の内容・進め方・到達目標について理解することができる。他者に与える自身の「印象」について考えることができる。
第2回	骨格診断セルフチェック：骨格3タイプを知り、自身の骨格を分類することができる。
第3回	実例を元に「オフィスカジュアル」を知ることができる。骨格に合う服装を知ることができる。（普段着・オフィスカジュアル・ドレス・スーツ）
第4回	骨格が乱れることで与える影響について知り、自分でできる骨格の整え方を体験する。 ※動きやすい服装持参
第5回	自身の体の状態を知ったうえで、正しい姿勢で立つこと・座ることについて体験し知ることが出来る。 正しい姿勢の状態で歩くことを体験する。
第6回	正しい姿勢での歩き方を練習し、身に着けることができるようになる。 ※汗をかいても良い服装・各自制服に合わせたい靴・水分補給できるものを持参。
第7回	今までの復習・中間テスト対策
第8回	中間テスト：筆記試験＋実技試験
第9回	「美しい所作」とは何かを考える：個人ワーク＋グループワークを行い、自身と他者の価値観を知ることができる。
第10回	前週で上がった「美しい所作」を実践し、動きを洗練させることができるようになる。
第11回	実践：正しい姿勢で立つ・歩く・座る・所作に気を遣う 実際の接客シーンをロールプレイングする。※進み具合等により変更の可能性あり
第12回	初歩的な行動心理学に触れ、自身の行動に反映させる具体的な方法について考えることができる。
第13回	今までの復習・期末テスト対策
第14回	期末テスト：筆記試験＋実技試験
第15回	試験の答案返却及び授業の振り返り
準備学習 時間外学習	この授業時間以外でも、普段から姿勢や所作を意識した生活を送ってください。
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生への メッセージ	少しの所作や姿勢の変化、言動で「印象」は変えられます。皆さんがそれぞれに目指す業種に合わせた印象に近づくことができるよう講義を行ってまいります。

【使用教科書・教材・参考書】

授業計画に記載の通り、動きやすい服装や水分補給用の飲み物の準備をお願いする授業があります。前週にアナウンスいたしますが、各自シラバスを確認して準備をしてください。

科目名（英）	コミュニケーション Communication	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会人として必要なコミュニケーション力を身に着け、実際に学生生活、就職活動、社会生活で実践できるようにします。
またコミュニケーションスキルアップ検定全員合格を目指して学んでいきます。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・コミュニケーションスキルを身に着け、実践できるようになる。
・コミュニケーションスキルアップ検定に合格することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション（自己紹介）
第2回	第1章　コミュニケーションとは（コミュニケーションの定義、3領域、種類）
第3回	第2章　基本的対話スキル（話す）
第4回	第2章　基本的対話スキル（聴く）
第5回	第2章　基本的対話スキル（グループでの会話）
第6回	第1章・第2章のまとめ、ロールプレイング
第7回	第3章　自己表現スキル（挨拶、自己紹介）
第8回	第3章　自己表現スキル（言葉のかけ方、上手な頼み方、上手な断り方、自己主張）
第9回	第3章　自己表現スキル（報連相、会議、ミーティング）
第10回	第3章　自己表現スキル（アンガーマネジメント）
第11回	第4章　社会的スキル（基本的な社会スキル）
第12回	第4章　社会的スキル（対人行動、文書作成）
第13回	第3章・第4章のまとめ、検定対策
第14回	コミュニケーションスキルアップ検定　実施
第15回	検定振り返り・授業のまとめ
準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を実際の生活の中で実践する。
評価方法	検定試験　100%
受講生へのメッセージ	コミュニケーションスキルは学生生活の中でも、社会においても必要です。一つ一つの内容を理解して、実際に実践しながら学んでいきましょう。 そして社会に出たときに最高のおもてなしができるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定テキスト（JESC）

科目名（英）	マナープロトコール（3級） Manner Protocol(3rd level)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【学習内容】
講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく"身につける"ことを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすいよう工夫を凝らした講義内容としています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。
※実務経験
NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。ニチイ学館委託講師20年、接遇マナー研修担当。平成21年起業　講師業Cherry代表、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリア」の講義等を担当。また企業、学校等でのマナー研修も行う。

【到達目標】
マナープロトコール検定3級合格を目指すことが出来る。
学んだことを活かし、自身のマナーのレベルを上げ、社会人意識を高めることが出来る。
資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることが出来る。
マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることが出来る。

授業計画・内容	
第1回	和食のマナー：DVD視聴で和食のいただき方を学ぶことが出来る。美しい箸使い、忌み箸について学ぶことで日常生活でも箸使いを意識できるようになる。お椀とお箸を実際に使い実践練習することで、正しい箸使いを理解することが出来る。
第2回	洋食のマナー：DVD視聴で洋食のいただき方を学ぶことが出来る。洋食をいただく場面でも自信を持って臨めるようになる。実際のカトラリー、ナプキン等を使い指導することで、正しい使い方を理解することが出来る。中国料理、各国料理のマナーについても知識を広げることが出来る。
第3回	和室での作法：和室にて座礼、襖の開け閉め、座布団の扱い、和室でお茶の入れ方、出し方、いただき方を学ぶことで和室での作法を実践できるようになる。第5章まとめテストを行う。
第4回	「冠」のしきたり：スライドを使って人生の節目となる通過儀礼の成立ち、意味、種類を学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第7章まとめテストを行う。
第5回	「婚」のしきたり：スライドを使って婚姻の形態、しきたりを学び、結婚式での服装、会場でのマナー等、近い将来必要になる社会人としての知識を身に付けることができる。第8章まとめテストを行う。
第6回	復習：ここまでの内容の問題集の問題を解き、振り返りの学習を行うことで理解不足の部分を確認するこが出来る。問題を解く力をつけて、中間テストテストに臨むことが出来る。
第7回	中間テスト、解説、振り返り
第8回	「葬」のしきたり：スライドでを使って葬儀の変遷、葬送儀礼のしきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第9章まとめテストを行う。
第9回	「祭」のしきたり：スライドを使って日本の年中行事の種類、習わし、しきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第10章まとめテストを行う。
第10回	試験対策①：3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第11回	試験対策②：3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第12回	試験対策③：3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。
第13回	期末テスト
第14回	期末テスト振り返り
第15回	マナー・プロトコール3級検定試験
準備学習 時間外学習	行ったところまで問題集を使用し復習する。
評価方法	期末試験　100%
受講生へのメッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール（国際儀礼）について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができるでしょう。後半は、模擬問題を解くことで検定試験に対応できる力をつけていきます。「マナー・プロトコール検定3級」合格を指して一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会

科目名（英）	キャリアプログラム Career program	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増　千秋
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・学生生活を送るうえで、スケジュールや健康管理を自分自身で行うことができ、気持ちよく学生生活を送ることができる。
・クラスメイトとともに、業界や問題解決について情報交換をすることでチームワークを育むことができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション（学校生活について・クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など）
第2回	生活習慣改善教育①、Hand-Book of Life（日常生活編）、学生便覧再確認
第3回	生活習慣改善教育②、Hand-Book of Life（日常生活編）、GW前インフォメーション
第4回	生活習慣改善教育③、Hand-Book of Life（日常生活編）、GWの振り返り
第5回	生活習慣改善教育④、Hand-Book of Life（学校生活編）
第6回	生活習慣改善教育⑤、Hand-Book of Life（学校生活編）
第7回	マネー教育
第8回	学園祭について（次年度自分たちが行う立場を意識して）
第9回	学園祭振り返り（個人ワーク・グループワーク）
第10回	校外学習
第11回	校外学習
第12回	業界学習
第13回	業界学習、夏季休暇前インフォメーション（夏季休暇の過ごし方・課題・補講など）
第14回	夏季休暇振り返り、今後のスケジュールについて（補講・特別講義など）
第15回	前期振り返り
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出　100%
受講生への メッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができように本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 まずは学校内外で円滑にコミュニケーションが取れるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布
Hand-Book of Life

科目名（英）	キャリアプログラム career program	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増　千秋
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスメイトと協力をしながらイベントや業界について学び取り組んでいきます。また業界についての知識も身に着けて自分の将来についてよりイメージできるようにします。

※実務経験
2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。

【到達目標】

・体調やスケジュールの自己管理を行い、学校生活を送ることができる。
・クラス全員が話し合いに参加して、イベントやグループワークで発言をすることができる。
・自分が目指す業界について基礎知識を身に着けることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション（後期のスケジュール、クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など）
第2回	Hand-Book of Life（社会生活編）、グループワーク
第3回	Hand-Book of Life（日常生活編）、イベントに向けて
第4回	イベントに向けて
第5回	イベントに向けて
第6回	イベントに向けて
第7回	校外学習
第8回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第9回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第10回	業界学習、Hand-Book of Life（プロの職業人を目指すにあたって）
第11回	業界学習
第12回	冬季休暇前インフォメーション（冬季休暇の過ごし方・課題・補講など）
第13回	冬季休暇振り返り、今後のスケジュールについて
第14回	後期の振り返り、グループワーク
第15回	今年度の振り返り、2年生に向けて
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出　100%
受講生へのメッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができように本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 様々なイベントを通してより楽しい学校生活をともに送りましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布
Hand-Book of Life

科目名（英）	コンピューター演習 Practice of Computer	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	宗田　浩輔
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	金曜日4時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ソフトウェア販売、医薬品メーカー営業、WEBデザイナーを経て現在、ナレーション収録のスタジオを経営。
経営に係る業務の傍ら、経理業務・デザイン制作を兼務。
講義では実務に必要な基本的なスキルとトピックについて解説していこうと思います。

【到達目標】

Wordによるレポートや送付状や案内状の作成、Excelで関数を使った表を作成出来る。また、ショートカットなどを習得して操作を効率的に行うことが出来る。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：学習をすすめる上で必要な準備や知識を理解
第2回	パソコン全般の基本的な知識、タイピング、ショートカットについて習得
第3回	Word基礎　起動と文字入力、ファイルの保存について
第4回	Word基礎　用紙の設定、文字の修飾
第5回	Word基礎　図形やイラストを利用した文章の作成
第6回	Word基礎　実践：送り状作成
第7回	Word基礎　レポートや企画書などの作成
第8回	Excel基礎　起動と文字入力、基本構造の理解
第9回	Excel基礎　文字の修飾、表のデザインについての技術習得
第10回	Excel基礎　セルの分割・結合
第11回	Excel基礎　代表的な関数の実践
第12回	Excel基礎　実践：関数を利用した表の作成
第13回	前期振り返り　+ テスト対策
第14回	評価週　筆記試験　+　Wordを使用したレポートの提出
第15回	まとめ・追試/再試試験　問題解説と後期導入部分の解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験　+　Wordを使用したレポートの提出
受講生へのメッセージ	入学おめでとうございます。 パソコンを始めとしするデバイスは目的を達成するために多種多様な解決方法を提供してくれます。そして正解はひとつではなく、常に新しくより良いものが生み出されています。 技術の習得は大事ですが、解決方法にたどり着くための考え方や感覚などを一緒に考えながら培っていきましょう。 パソコンの習熟度はみなさんそれぞれ違うと思いますが、助け合いながら頑張っていきましょう（人に教える、といったアウトプットも大事な習得方法です！）

【使用教科書・教材・参考書】

PDFにて資料配布予定。ネットワーク共有フォルダよりコピーして使用。

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。 オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標（対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容（オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容（対面）
Unit 1 個人的な情報	個人的な情報について尋ねる、また述べることができる。 個人的な経歴等のプロフィールを読む、また書くことができる。	1	1.1	be 動詞(am, are)の肯定形、否定形を学ぶ 出身地を尋ねる表現を学ぶ	1	1.1	be 動詞(am, are)を使って自己紹介（国籍や出身）する、または出身地を尋ねる会話を練習する
		2	1.2	[What is(What's)]、[It is(It's)]の使い方を学ぶ	2	1.2	疑問代名詞[What]を使って、 自分の個人情報を相手に伝え、また相手の情報を聞く
		3	1.3	接客する側（clerk)、される側(guest)の表現を学ぶ	3	1.3	ホテルにチェックインする際の会話を練習する
		4	1.4	大文字、ピリオドの使い方を学ぶ 個人的な経歴等のプロフィールを書く際に必要な表現を学ぶ	4	1.4	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティで新しい人に出会う」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 家族	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとることができる。	5	2.1	主語が三人称 [he, she, they]の時の、be動詞[is, are]の肯定文と疑問文の使い方を学ぶ	6	2.1	be動詞を使って、家族構成について話す
		6	2.2	主語が三人称の時の、be動詞の否定文を学ぶ	7	2.2	be動詞の否定文を使って、 友達や家族について説明する
		7	2.3	日付の言い方、発音を学ぶ 年齢、誕生日に関する表現を学ぶ	8	2.3	年齢や誕生日について聞く、話す
		8	2.4	位置を表す前置詞、接続詞[and]の使い方を学ぶ 短縮形の音（発音）について学ぶ	9	2.4	写真に写っている友達のことについて話す 友達についての紹介文を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「友達や家族についての情報を比較する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 住居	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書くことができる。	9	3.1	人称代名詞の所有格について学ぶ 名詞の所有を表す['s] と[s']の使い方を学ぶ	11	3.1	名詞の所有を表す['s] と[s']を使って、 自分の家について話す
		10	3.2	家具を表す単語を学ぶ 代名詞[it]の肯定文、否定文、疑問文を学ぶ	12	3.2	[it is]を使って、家具について話す
		11	3.3	物を提供する時の言い方、その返答方法を学ぶ /c/の発音ルールを学ぶ	13	3.3	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する 分からない単語について質問する
		12	3.4	疑問詞＋be動詞の使い方を学ぶ Eメールの基本ルールを学ぶ	14	3.4	ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「新居の家具を選ぶ」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 好み	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	16	4.1	主語が[I, You, We]の時の、 一般動詞の「現在形」の否定文を学ぶ	16	4.1	一般動詞「現在形」を使って、 お気に入りの物について話す
		17	4.2	主語が[I, You, We]の時の、 一般動詞の「現在形」の疑問文を学ぶ	17	4.2	一般動詞の「現在形」の疑問文を使って、 どのようにテクノロジーを使用しているのかを話す
		18	4.3	新しい話題の振り方、相手に情報を求める際の聞き方を学ぶ 強勢、ストレス（発音）について学ぶ	18	4.3	コミニケーション手段について話す 相手の話を聞いていることを示す
		19	4.4	冠詞[a]、[an]を学ぶ 語尾の上げ方、下げ方（発音）について学ぶ	19	4.4	商品のレビューを読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「好きな音楽について」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 生活習慣	平日、週末のアクティビティについて話すことができる。 日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。	20	5.1	主語が三人称 [he, she, they]の時の、 一般動詞「現在形（肯定文、否定文）」を学ぶ	21	5.1	「現在形」肯定文、否定文を使って、 平日、週末の行動について話す
		21	5.2	時間を表す単語を学ぶ 一般動詞「現在形」疑問文を学ぶ	22	5.2	「現在形」疑問文を使って、 時間・自分のルーティン（日課）について話す
		22	5.3	相手の意見に賛成する時の言い方、共通していることを伝える時の言い方を学ぶ 音節（発音）について学ぶ	23	5.3	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する
		23	5.4	レポートの書き方を学ぶ	24	5.4	自分の行動についてのレポートを読む、書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「異なる週の活動について比較する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 道順	道順について尋ねる、また教えることができる。 場所についての特徴について読み、書くことができる。	24	6.1	町中にある場所を表す単語を学ぶ [There (is, are), (a lot, some, no)]の使い方を学ぶ	26	6.1	[There (is, are), (a lot, some, no)]を使って、町にある場所について話す
		25	6.2	「可算（数えられる）名詞・不可算（数えられない）名詞」を学ぶ	27	6.2	「可算名詞・不可算名詞」を使って、 住んでいる地域の自然について話す
		26	6.3	情報を確認する時の言い方を学ぶ フォニックス「いー」の音、[ere]の発音２通りについて学ぶ	28	6.3	道順を聞く、または教える会話を練習する
		27	6.4	英語の強弱のリズム（発音）について学ぶ ファクトシートの読み方、書き方を学ぶ	29	6.4	自然の中の場所についてのファクトシートについて読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルD

教科書	EVOLVE　1
学習到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標（対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容（オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容（対面）
Unit 7 自宅での生活	自宅の生活について話すことができる。 ブログ記事を読み、書くことができる。	1	7.1	家事、家の中での行動に関する単語を学ぶ 「現在進行形」の肯定文を学ぶ	1	7.1	「現在進行形」肯定文を使って、 家事や自宅での行動について話す
		2	7.2	交通手段、旅行に関わる動作を表す単語を学ぶ 「現在進行形」の疑問文を学ぶ	2	7.2	「現在進行形」疑問文を使って、 旅行について質問する、または答える
		3	7.3	電話であいさつをする時の表現を学ぶ /ng/の発音を学ぶ	3	7.3	電話で情報を共有する会話を練習する
		4	7.4	ブログを読む [also]、[too]の使い方を学ぶ	4	7.4	今起こっていることについてのブログを読む、書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「最近の生活について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 スキル・能力	自身のスキルや能力について話すことができる。 自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。	5	8.1	助動詞 [Can / Can't]（能力）を学ぶ goodの副詞：[well]の使い方を学ぶ	6	8.1	[Can / Can't]（能力）を使って、 自分の能力や才能について話す
		6	8.2	仕事に関する単語、フレーズを学ぶ 助動詞 [Can / Can't]（可能性）を学ぶ	7	8.2	[Can / Can't]（可能性）を使って、 職場や学校でできること、できないことについて話す
		7	8.3	相手に意見を聞く時の聞き方、また自分の意見を伝え方を学ぶ 英文をまとまりで区切り、一呼吸置いて話す方法について学ぶ	8	8.3	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する
		8	8.4	[can]と[can't]の聞き分け方（発音）を学ぶ 誰かの言葉を引用する際に使用するクォーテーションマークの使い方を学ぶ	9	8.4	インターネット上で自分の考えをコメントする
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 休暇・旅行	旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。 旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。	9	9.1	旅行に関する単語を学ぶ 指示形容詞 [this] と [these]の使い方を学ぶ	11	9.1	[this] と [these]を使って、 休暇、旅行について話す
		10	9.2	旅行の手配に関するフレーズを学ぶ to不定詞の名詞の用法を学ぶ [like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ	12	9.2	[like to, want to, need to, have to]を使って、 旅行計画を立てる
		11	9.3	情報を聞く時に使う表現、また質問への答え方を学ぶ 値段の言い方、聞き間違いやすい数字の発音を学ぶ	13	9.3	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する
		12	9.4	場所についての説明の表現を学ぶ 動詞の命令形（命令、助言）を学ぶ	14	9.4	場所についての説明を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 週末の計画	週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。 オンラインでの招待状を読む、書くことができる。	16	10.1	出かける時に使うフレーズを学ぶ 近い未来のことを話す時に使う[be going to]の使い方を学ぶ	16	10.1	[be going to]を使って、 週末のアウトドア（野外）プランについて話す
		17	10.2	季節、洋服の種類を表す単語を学ぶ [be going to]（疑問文）の使い方を学ぶ	17	10.2	[be going to]（疑問文）を使って、 異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う
		18	10.3	相手を誘う時の表現、誘いを受ける時、断る時の表現を学ぶ /s/の発音を学ぶ	18	10.3	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する
		19	10.4	going toの短縮形[gonna]の発音を学ぶ ライティングにおける短縮形の使い方を学ぶ	19	10.4	オンラインでの招待状を読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 過去の出来事	過去についての場所や出来事、過去の人について述べることができる。 思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。	20	11.1	人、場所、物を修飾する形容詞を学ぶ be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を学ぶ	21	11.1	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す
		21	11.2	色を表す単語を学ぶ be動詞の過去形[was / were]の疑問文を学ぶ	22	11.2	be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、 記憶にある色について話す
		22	11.3	母音[o]の発音を学ぶ、/ou/と/a:/の音の違いを学ぶ 答えを出す前、少し時間が必要な時に使う表現を学ぶ	23	11.3	自分の記憶を表現し、 映画、俳優について話す
		23	11.4	機内誌を読む、代名詞の使い方を学ぶ 文章を書く時のパラグラフ、トピックセンテンスを学ぶ	24	11.4	過去の思い出として保管している物についてEメールを書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「子どもの頃から見ているTV番組について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 レストラン	食べた食事について話すことができる。 レストランのレビューを読む、また書くことができる。	24	12.1	軽食や少量の食事などを表す単語を学ぶ 一般動詞の「過去形」肯定文と否定文について学ぶ	26	12.1	一般動詞の「過去形」を使って、 間食や軽食について話す
		25	12.2	食事、飲み物、デザートを表す単語を学ぶ 一般動詞「過去形」の疑問文を学ぶ	27	12.2	一般動詞の「過去形」の疑問文を使って、 レストランの食事について話す
		26	12.3	食べ物や飲み物を提供する、またお願いする時に使う表現、それらに対する答え方を学ぶ /h/と/r/の発音を学ぶ	28	12.3	食べ物・飲み物を提供する、お願いする、また答える時の会話を練習する
		27	12.4	[do you]と[want to]の発音の仕方を学ぶ ライティングにおける接続語[and]について学ぶ	29	12.4	レストランのレビューを読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルCに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルC

教科書	EVOLVE　2
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標（対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	学習内容（オンデマンド）	回数	ッス	学習内容（対面）
Unit 1 知人について	知人・家族について話すことができる。 職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	身近な人を表す言葉を学ぶ be動詞の使い方、代名詞の所有格を学ぶ	1	1.1	be動詞、代名詞の所有格を使って、 知人・家族について話す
		2	1.2	「～のもの」を表す使い方を学ぶ 「誰のものですか」の聞き方を学ぶ	2	1.2	「～のもの」を表す表現を使って、 所有物について話す
		3	1.3	挨拶や会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ /l/の発音を学ぶ	3	1.3	挨拶をして会話を始める練習をする 興味や驚きを表す表現を練習する
		4	1.4	Eメールの基本ルールを学ぶ 丁寧な書き方を学ぶ	4	1.4	自己紹介をする 職場でのフォーマルなEメールを読む、書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「人と共通していることについて」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 仕事と勉強	毎日していることについて話すことができる。 ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。	5	2.1	一般動詞（現在形）の基本的な使い方を学ぶ 一般動詞の疑問文、否定文、頻度を尋ねる文を学ぶ	6	2.1	[Wh-question]を練習する 一般動詞の疑問文、否定文を使って、 習慣・ルーティンについて質問する、返答する
		6	2.2	デスク上にある「物」についての単語を学ぶ 名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ	7	2.2	指示代名詞を使って、 仕事や勉強をする空間について話す・質問する
		7	2.3	トラブルが起こった時、繰り返しを求める表現を学ぶ /h/の発音を学ぶ	8	2.3	意思疎通に問題があったことを説明する 繰り返しを求める表現を練習する
		8	2.4	日常のトピックについての語彙を学ぶ 相手の意見を聞く、またそれに対し意見を述べる表現を学ぶ	9	2.4	ポッドキャストについての意見を読む、書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「仕事や勉強のためのアプリについて」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 スポーツと運動	今していることについて話すことができる。 サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。	9	3.1	「現在進行形」を学ぶ・復習する 今まさに起こっていることを表現する	11	3.1	「現在進行形」を使って、 今まさに起こっていることについて話す
		10	3.2	動きを表す表現を学ぶ 現在形や現在進行形の違いを学ぶ	12	3.2	「現在進行形」「現在形」を練習する スポーツ、運動について話す
		11	3.3	情報を得るため、必要な表現を学ぶ 聞き返す、もう一度言ってほしい時の表現を学ぶ /ou/と/ɔ/の発音を学ぶ	13	3.3	知らない情報を人に尋ねたり、情報を読み取ったりできるよう、会話を練習する
		12	3.4	意見を表す表現を学ぶ 公共サービスに関する意見聞き、内容を理解する	14	3.4	サービスや会社に対するコメントを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「フィットネスプログラムを作る」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 招待	招待する、またそれに応えることができる。 イベントへの招待を読む、また書くことができる。	16	4.1	be動詞＋～ingを使った未来の表現を学ぶ	16	4.1	「現在進行形」を使って、 これから予定している計画について話す
		17	4.2	贈り物を人に渡したり、もらったりする際の表現を学ぶ 目的格代名詞の適切な使い方を学ぶ	17	4.2	目的格代名詞を使って、 人に物をプレゼントする会話を練習する
		18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の表現を学ぶ /v/の発音を学ぶ	18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の会話を練習する 誘いを断る理由を説明する
		19	4.4	未来のイベント案内の表現を学ぶ 発音(Reduction）を学ぶ	19	4.4	未来のイベント案内を読む、書く イベントを企画してアナウンスメントする
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「プレゼントを選ぶ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 過去のイベント	人生の中での過去のイベントについて話すことができる。 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。	20	5.1	過去の思い出や出来事について話す際の表現を学ぶ	21	5.1	過去の出来事について話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝わる
		21	5.2	一般動詞の過去形の疑問文、否定文を学ぶ 様々なライフイベントの表現を学ぶ	22	5.2	過去の出来事について質問する 過去形の疑問文、否定文を練習する
		22	5.3	誰かを祝ったり慰めたりする時の表現を学ぶ 相手の言ったこと確認する時の表現を学ぶ シラブル（音節）とストレス（発音）を学ぶ	23	5.3	適切な英語表現を用いて、相手を祝ったり、慰めたりする会話を練習する 自分の認識が正しいかどうかを確認する
		23	5.4	外国での体験談を読んで理解を深める 短い投稿に対して、同意・反対の表現を学ぶ	24	5.4	投稿に対して、賛成・反対のコメントを書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の有名な出来事をまとめる」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 買い物	店内で欲しいものについて述べることができる。 新しい商品の説明を読む、またVlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書くことができる。	24	6.1	買い物に関連した単語や熟語を学ぶ [be going to＋動詞の原形]を復習する	26	6.1	[be going to]を使って、 買い物に行くことについて会話する
		25	6.2	買い物時のフレーズを学ぶ 「限定詞」の使い方を学ぶ 数えられる名詞、数えられない名詞の数量の表し方を学ぶ	27	6.2	特定・不特定の物や人の数量を表し、 買い物習慣について話す
		26	6.3	欲しいものを伝える表現を学ぶ 名称がわからない物の聞き方を学ぶ 会話内の単語レベルのストレス（発音）についてを学ぶ	28	6.3	お店で買いたい物、探している物を伝える会話を練習する 物事の言い方を英語で聞く
		27	6.4	お金にまつわるストーリーを聞く、読む 代名詞に注意しながら文を読む	29	6.4	新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルC

教科書	EVOLVE　2
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標（対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	ッス	学習内容（オンデマンド）	回数	ッス	学習内容（対面）
Unit 7 食べる・飲む	レストランで頼みたいものについて説明することができる。 ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。	1	7.1	食べ物を表す単語を学ぶ 「数量詞」（加算名詞・不可算名詞）を学ぶ	1	7.1	数量詞を使って、 一番好きな食べ物について話す
		2	7.2	食品や味の調理方法の英単語を学ぶ 「動名詞」と「to不定詞」を学ぶ	2	7.2	食品の味や調理方法について話す 動名詞とto不定詞を使った会話を練習する
		3	7.3	料理を注文する際の表現を学ぶ 言いたいことを明確に伝える表現を学ぶ /g/の発音を学ぶ	3	7.3	[I mean]を使って、会話を練習する 飲食店で料理を注文する会話を練習する
		4	7.4	オンライン上の記事を読み、コメントを投稿する 意見を述べる表現 [I think], [I don't think] を学ぶ	4	7.4	オンライン記事の内容を読み、自分の意見をコメントをする
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティを計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 旅行（短期）	提案をする、また提案をうけることができる。 海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。	5	8.1	旅行に関わる単語を学ぶ 接続詞[if / when]の使い方を学ぶ	6	8.1	自分の町で何をするのかについて話す
		6	8.2	移動に伴う様々な動きを表す表現を学ぶ [to/for]の使い方を学ぶ	7	8.2	[to / for]を使って、理由を説明する 過去に行った旅行について話す
		7	8.3	アドバイスや提案する際の表現、その反応の表現を学ぶ 母音の発音パターンを学ぶ	8	8.3	適切なアドバイスや提案する会話を練習する アドバイスに対しての反応を練習する
		8	8.4	旅行に関する適切なアドバイスを述べる表現を学ぶ 語尾の上げ下げ（発音）について学ぶ	9	8.4	海外旅行・生活についてのアドバイスを読む、書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「短期旅行のプランを立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 見た目	意見を尋ねる、また述べることができる。 広告を読む、また写真の説明を書くことができる。	9	9.1	アクセサリーに関する英単語を学ぶ 「形容詞の比較級」を学ぶ	11	9.1	いろいろな物を比較する会話を練習する
		10	9.2	顔や髪などの特徴に関する英単語を学ぶ 「形容詞の最上級」を学ぶ	12	9.2	[形容詞の最上級」を使って、 写真に写った人について話す
		11	9.3	アドバイスをしたり、受けたりする際の表現を学ぶ /ʒ/の発音を学ぶ	13	9.3	[I guess]を使って、アドバイスを相手に求める、またはアドバイスをする会話を練習する
		12	9.4	写真についての説明に使う表現を学ぶ	14	9.4	写真についての説明を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告を作り、発表する」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 職業	将来の予想を立てることができる。 アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。	16	10.1	職業に関する単語を学ぶ [have to]の使い方を学ぶ	16	10.1	仕事でどのように危険を避けるかを話し合う
		17	10.2	怪我や病気の表現を学ぶ 未来に起こるかもしれないことを予測する表現を学ぶ	17	10.2	これから先のことについて、適切に表現できるよう、練習する
		18	10.3	相手の体調を尋ねる、症状を述べる際の表現を学ぶ 語末の子音の発音を学ぶ	18	10.3	[It feels like (it's like)]を使って、 体調不良や怪我の症状などについて話す
		19	10.4	[be afraid of]などの表現を学ぶ	19	10.4	将来の自分に向けたメッセージを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「リアリティ番組を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 ソーシャルメディア	したことがあること、ないことについて話すことができる。 インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書くことができる。	20	11.1	インターネット上で使用するフレーズを学ぶ 「現在完了形（経験）」を学ぶ	21	11.1	今までに経験したことや経験したことのないことについて話し合う
		21	11.2	ソーシャルメディアで用いる単語やフレーズを学ぶ 「現在完了形」と「過去形」の違いを学ぶ	22	11.2	ソーシャルメディアについての内容を読む、話す、質問する
		22	11.3	お願い（頼み事）をする、許可を得る際の表現を学ぶ /n/と/m/の発音を学ぶ	23	11.3	誰かに頼み事をしたり、許可を得ることができるよう、練習する または、その反応をする表現を練習する
		23	11.4	情報画像、インフォグラフィック（図、表など）を用いたブログを読む [I always thought…/I think it's interesting that…/Who cares?]などの表現を学ぶ	24	11.4	インフォグラフィックを読む、コメントを書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ビデオ、またVlogを作る」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 アウトドア	天気について話すことができる。 場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。	24	12.1	天気に関する単語を学ぶ [be like]の疑問文での使い方を学ぶ	26	12.1	[be like]を使って、天気について話す
		25	12.2	風景や都市の景観を表す英単語を学ぶ 「関係代名詞(who, which, that)」の使い方を学ぶ	27	12.2	関係代名詞を使って、 場所、人、物事を説明する
		26	12.3	道を尋ねる、また道を教える際の表現を学ぶ 単語の始めの/w/の発音を学ぶ	28	12.3	道を尋ねる、また道を聞かれた時に答える会話を練習する
		27	12.4	手順を説明する際に使用する順序を表す単語を学ぶ /t/の音が/d/寄りになる時の発音について学ぶ	29	12.4	簡単な指示文を書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルBに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標（対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容（オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容（対面）
Unit 1 知り合いになる	相手に質問をする、また質問に答えることができる。 自己紹介をし、知り合いになることができる。 親戚へのメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	性格を表す単語を学ぶ [WH-question]を使った表現を学ぶ	1	1.1	[WH-question]を使って相手の性格について尋ねる会話を練習する
		2	1.2	個人の情報（ライフステージ）に関する表現を学ぶ 間接疑問文を学ぶ	2	1.2	「間接疑問文」を使って、人に質問をする、 また質問に答える練習をする
		3	1.3	新しい情報を伝える時の文中のストレス（発音）を学ぶ 自己紹介、他己紹介の表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介と他己紹介に関する会話を練習する
		4	1.4	段落を意識したメールの読み方、書き方を学ぶ	4	1.4	誰かと知り合いになるためのメールを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「良いリーダーになるために必要なこと」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 持ち物	自分の持ち物について述べることができる。 ネット広告を読む、また書くことができる。	5	2.1	持ち物や持ち物に関連する表現を学ぶ [ever/never/for/since]を用いた現在完了形を学ぶ	6	2.1	現在進行形を使って持ち物について話す
		6	2.2	スマホやPCの機能に関する表現を学ぶ [already/yet]を用いた現在完了形を学ぶ	7	2.2	現在完了形を使って持ち物や その機能などについて話す
		7	2.3	語頭の/t/の発音を学ぶ 話題を変える際の表現を学ぶ 簡単な聞き返し（興味を示す）の表現を学ぶ	8	2.3	聞き返しの表現や話題を変える際の表現を使って ディスカッションをする
		8	2.4	ネット広告の読み方、書き方を学ぶ 代名詞としてのoneの使い方を学ぶ	9	2.4	欲しいものについての広告を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「出かける時の持ち物について」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 街の場所/道順	助動詞を用いて、自分の町について話すことができる。 ビル内の道順を尋ねる、また教えることができる。 求職申し込みを読み、申込書を書くことができる。	9	3.1	街中の橋や建物などの特徴に関する単語を学ぶ 冠詞について学ぶ	11	3.1	冠詞に注意しながら、自分の町について 尋ねる、また質問に答える練習をする
		10	3.2	公共交通機関に関する単語を学ぶ 助動詞［would/could/should］を使った提案の表現を学ぶ	12	3.2	［would/could/should］を使って、 他の場所への生き方について話す
		11	3.3	語頭の子音連結（発音）を学ぶ 道順を尋ねる、また教える際の表現を学ぶ 理解を示すための繰り返し（言い直し）の表現を学ぶ	13	3.3	建物内の道案内の場面での会話を練習する
		12	3.4	求人広告を読み、志望動機の書き方を学ぶ 大文字やピリオドなど、基本的なルールを学ぶ	14	3.4	求人に対して志望動機を書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 計画を立てる	個人的な意見を述べ、計画を立てることができる。 安心させる、またそれに答えることができる。 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、また書くことができる。	16	4.1	意見や反応を示す単語を学習する [be going to/will]を使った未来についての表現を学ぶ	16	4.1	［be going to/will］を使って、週末の予定について話す
		17	4.2	計画を立てる際の表現を学習する [will]をを用いた突然の決定、予定に関する表現を学ぶ	17	4.2	［be going to/will］を使って、旅行の計画について話す
		18	4.3	語頭の/p/の発音を学ぶ 安心させる言葉、またその反応を学ぶ [at least]を用いた表現を学ぶ	18	4.3	心配や不安になる状況での会話を練習する
		19	4.4	イベントの内容、スケジュールについての英文メールの読み方、書き方を学ぶ 順序に関する表現を学ぶ	19	4.4	イベント内容やスケジュールについての情報を伝えるメールを書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「さまざまな人に異なるアクティビティをアサインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 ストーリーを話す	驚いたできごと（ものを失くす、見つける、助ける、助けを求める）について話すことができる。 簡単な物語を読む、また書くことができる。	20	5.1	ものを失くす、見つける際の表現を学ぶ 単純過去形の使い方を学ぶ	21	5.1	単純過去形を使って、失くしたものや、見つけたものについて話す
		21	5.2	助けを求める、助ける際の表現を学ぶ 単純過去形と過去進行形について学ぶ、復習する	22	5.2	単純過去形、過去進行形を使って、 助けが必要になる場面での会話を練習する
		22	5.3	驚きを表す際の発音（ストレス）を学ぶ 驚いたことを示す、リアクションに関する表現を学ぶ	23	5.3	驚いたできごとについて話す
		23	5.4	短い物語を読み理解し、書き方を学ぶ	24	5.4	短い物語を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「おもしろい、驚くストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 問題と解決	都会の問題と解決策について話すことができる。 様々な状況での心配、また安心を表現することができる。 価値観についてのネット投稿を読む、また書くことができる。	24	6.1	都会の問題に関する表現を学ぶ 数量詞について学ぶ	26	6.1	数量詞を使って、都会の問題について話す
		25	6.2	マナーに関する副詞を学ぶ [If/When]を用いた現在・未来の条件節を学ぶ	27	6.2	現在・未来の条件節を使って、問題と解決策について話す
		26	6.3	語末のyの発音を学ぶ 様々な状況での心配、また安心を示す際の表現を学ぶ [though]を使った反対意見の述べ方を学ぶ	28	6.3	[though]を使って反対意見を述べる練習をする 心配や安心を表す表現を使った会話を練習する
		27	6.4	価値観についてのネット投稿を読み、書き方を学ぶ ライティングにおける質問文の書き方を学ぶ	29	6.4	価値観についてのネット投稿に対し、自分のコメント（考え）を書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB

教科書	EVOLVE　3
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標（対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	学習内容（オンデマンド）	回数	レッスン	学習内容（対面）
Unit 7 エンターテイメント	音楽、TV番組、映画について話すことができる。 誘いを断る、またそれに答えることができる。 映画のレビューを読む、また書くことができる。	1	7.1	音楽の種類に関する単語を学ぶ [used to]を用いた過去の習慣に関する表現を学ぶ	1	7.1	[used to]を使って音楽についての好みの変化について話す
		2	7.2	TV番組や映画に関連する表現を学ぶ [(not) as…as]を用いた比較の表現を学ぶ	2	7.2	比較の表現を使って、TV番組や映画について話す
		3	7.3	[I'm]の/m/の発音を学ぶ 誘いを断る、またそれに答える表現を学ぶ [kind of]を用いた、言い方を和らげる表現を学ぶ	3	7.3	誘いを断る必要がある場面での会話を練習する
		4	7.4	映画のレビューを読み、書き方を学ぶ 映画に関する意見を述べる表現を学ぶ	4	7.4	映画のレビューを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「メディアやエンターテイメントにおける好みの違い」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 最近の出来事	最近していること、他人のニュースについて話すことができる。 タイムマネジメントについての投稿を読む、また書くことができる。	5	8.1	経験を表す単語を学ぶ 現在完了進行形について学ぶ	6	8.1	現在完了進行形を使って、最近していることについて話す
		6	8.2	進捗を表す表現を学ぶ 現在完了形と現在完了進行形について学ぶ	7	8.2	現在完了形や現在完了進行形を使って、 物事の進捗について話す
		7	8.3	/ɑ/,/æ/の発音を学ぶ 久しぶりにあった際の挨拶、近況を尋ねる表現を学ぶ [that would be]を用いた自分の意見（コメント）の述べ方を学ぶ	8	8.3	他人のニュースについて、自分の意見を離す
		8	8.4	タイムマネジメントについての投稿を読む 物事が起こった際の時間を表す表現を学ぶ	9	8.4	タイムマネジメントについての投稿を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「時間を有効に使う方法」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 学校と仕事	学校や職場でのルール、勉強方法について話すことができる。 自信の有無について表現できる。 履歴書を読み要点を理解し、またおおまかな履歴書を書くことができる。	9	9.1	大学での科目に関する表現を学ぶ 助詞［have to, need to, must］を学ぶ	11	9.1	助詞［have to, need to, must］を使って、大学や学校で学ぶ科目について話す
		10	9.2	雇用、仕事に関する表現を学ぶ 助詞［can't, must not］を使った許可・禁止の表現を学ぶ	12	9.2	助詞［can't, must not］を使って、在宅勤務・自宅学習のルールんいついてディスカッションをする
		11	9.3	文中の区切り（発音）を学ぶ 自信の有無を表す表現を学ぶ [the thing is]を用いた理由を述べる表現を学ぶ	13	9.3	心配していること（自身がないこと）、自身があることについて話す
		12	9.4	履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ	14	9.4	自分の履歴書について、要点を書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分に合った完璧な仕事をデザインする」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 商品と選択	商品の詳細について、商品を選ぶ理由について説明することができる。 他人が選んだものについて質問する、 商品に関するレビューを読む、また書くことができる。	16	10.1	材質に関する単語を学ぶ 単純現在形の受動態について学ぶ	16	10.1	商品の素材や材料について話す
		17	10.2	商品や輸送に関する単語を学ぶ 単純過去形の受動態について学ぶ	17	10.2	商品の生産地について話す
		18	10.3	/u/,/ʊ/,/aʊ/の発音を学ぶ 他人の選択に関して質問する際の表現を学ぶ [Now that I think..]などを用いた考えを変える際の表現を学ぶ	18	10.3	買いたいものについて話す、理由を尋ねる練習をする
		19	10.4	商品に関するレビューの読み方、書き方を学ぶ [However/Although]を用いた逆説の表現を学ぶ	19	10.4	商品に関するレビューを書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「商品のCMを作成する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 成功の秘訣	想像上のチャレンジについて、また成功の秘訣について話すことができる。 意見を述べ、賛成を求めることができる。 自分を奮い立たせる方法についてのネット記事を読み、それに関するストーリーを書くことができる。	20	11.1	句動詞［work out, set up, など］の表現を学ぶ	21	11.1	句動詞［work out, set up, など］を使って、成功の秘訣について話す
		21	11.2	機会や危険に関する単語を学ぶ 現在・未来の条件節について学ぶ	22	11.2	現在・未来の条件文を使って、想像上のチャレンジについて話す
		22	11.3	/ʃ/,/ʤ/の発音を学ぶ 了承を得る、了承を求める際の表現を学ぶ 言葉を和らげる表現[I guess/I feel like]を学ぶ	23	11.3	意見を述べる、了承を求める練習をする
		23	11.4	自身の身に起きた出来事についての書き方を学ぶ ［On the one hand, … and on the other hand,］を用いた比較の表現を学ぶ	24	11.4	自身の身に起きた出来事について書く。
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「憧れの人について」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 事故と感情	事故について、またその時の気持ちを表現できる。 人生の教訓についての逸話を読む、また書くことができる。	24	12.1	事故に関する表現を学ぶ 不定代名詞について学ぶ	26	12.1	事故について話す
		25	12.2	過激なことに関連する表現を学ぶ 直接話法と間接話法について学ぶ	27	12.2	体験した極端な出来事について話す
		26	12.3	語末のedの発音を学ぶ 自分の感情を述べる、相手の感情を尋ねる表現を学ぶ ［in the end" / "after all that"］の使い方を学ぶ	28	12.3	ある出来事に関する、自身の感情、気持ちを話す
		27	12.4	人生の教訓についての逸話を読み、書く方法を学ぶ 同じ意味をもつことばやフレーズの異なる表現方法を学ぶ	29	12.4	教訓となった出来事と学んだことについて書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルB+に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 1 成果、業績	個人の業績について話す、また人を紹介された時の受け答えができる。 ブロック投稿についてのコメントを読む、また書くことができる。	1	1.1	業績に関する表現を学ぶ 「単純時制」「進行時制」を学ぶ、復習する	1	1.1	単純時制や進行時制を使って、 個人の業績について話す
		2	1.2	資質などを表す表現について、 形容詞・名詞での表現を学ぶ 動作動詞・状態動詞の違いを学ぶ	2	1.2	雇用者が求める人材について話す、 個人や他人の業績を説明する
		3	1.3	yの発音を学ぶ 人を紹介する時の表現、また人を紹介された時の受け答えの表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介、他己紹介をする場面での会話を練習する
		4	1.4	賛成・反対・より多くの情報を求める際の表現を学ぶ	4	1.4	ブログの投稿を読む、投稿にコメントを書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「面接のロールプレイ」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 流行の食べ物	食べ物の流行について、また料理の準備（調理）について話すことができる。 社交の場で申し出をする、またそれを受けることができる。 調査についての結果を読む、また報告書を書くことができる。	5	2.1	流行に関する表現を学ぶ 条件節（If節）について学ぶ	6	2.1	流行に関する表現を使って、 トレンドについて話す
		6	2.2	食材や調理法についての表現を学ぶ 接続詞（after,until,whenなど）を用いた表現を学ぶ	7	2.2	接続詞を使って、料理の手順について話す
		7	2.3	/aI/,/i/,/eI/の発音を学ぶ 提案をする、また提案を受ける・断る際の表現を学ぶ 提案を相手が受け入れた際の受領の表現を学ぶ	8	2.3	提案をする際の表現を使って、 社交の場や料理を注文する場面での会話を練習する
		8	2.4	消失する/t/の発音について学ぶ 調査報告に用いられる表現を学ぶ	9	2.4	調査についての結果を読む、また報告書を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「レストランの改善策を計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 お金と時間	時間とお金の相対的な重要性について話すことができる。 謝罪をする、また謝罪を受けることができる。 商品のレビューを読む、また書くことができる。	9	3.1	時間とお金に関連する表現を学ぶ [too, enough] について学ぶ	11	3.1	[too/enough]を使い、物事の「程度」について話す 時間とお金の相対的な重要性について話す
		10	3.2	価格と価値に関連する表現を学ぶ 形容詞の比較級について学ぶ、復習する	12	3.2	比較級の表現を使って、物事の価値や 価値を判断する基準について話す
		11	3.3	/s/で始まる語の発音を学ぶ 謝罪をする、謝罪を受ける際の表現を学ぶ	13	3.3	謝罪が必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	商品レビューに関するポジティブ、ネガティブな表現を学ぶ	14	3.4	商品のレビューを読む、書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「批判的な商品レビューへの対応についてディスカッション」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 広告と注目されるストーリー	ネット等で注目されているストーリーについて話すことができる。 意見を交換し、ディスカッションができる。 ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、また書くことができる。	16	4.1	広告に関する表現を学ぶ [might, must, can't]（推測）の使い方を学ぶ	16	4.1	推測の表現を用いて、 絵や写真の描写をする
		17	4.2	メディア関連の人を表す表現を学ぶ 関係代名詞の主格、目的格について学ぶ	17	4.2	関係代名詞を使って、 ネット等で注目されている人、ストーリーについて話す
		18	4.3	/ɔ/,/ɑ/の発音について学ぶ 意見交換・ディスカッションする際の表現を学ぶ allを用いた強調表現を学ぶ	18	4.3	[all]を使い、強調したい内容を述べる練習をする 意見を交換し、ディスカッションをする
		19	4.4	[because,so]を用いて理由や結果を述べる表現を学ぶ	19	4.4	ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告をデザインする」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 本当の出来事	様々な種類のストーリーについて話すことができる。 過去の計画について、またその変更について話すことができる。 会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、謝罪の手紙を書くことができる。	20	5.1	ストーリーの種類を表す表現を学ぶ [had/would]（過去完了形）の使い方を学ぶ	21	5.1	過去完了を使って、 様々な種類のストーリーについて話す
		21	5.2	計画を立てる・破る際の表現を学ぶ [was/were going to, was/were supposed to]の使い方を学ぶ	22	5.2	[was/were going to, was/were supposed to]を使って、計画の変更について話す
		22	5.3	語末の子音の発音について学ぶ 問題への対応、解決策の提示・受領の表現を学ぶ 失望を表す表現を学ぶ	23	5.3	失望を表す表現を使って、 残念なニュースへのリアクションをする
		23	5.4	謝罪の気持ちを表す様々な表現を学ぶ	24	5.4	会社の（公式の）謝罪についての記事を読む、 謝罪の手紙を書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「偶然の出会いについてのストーリー」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 コミュニティ活動	チャリティやボランティア活動について話すことができる。 助けを求める、また断ることができる。 コミュニティ計画についてのレポートを読む、また書くことができる。	24	6.1	善い行いに関する表現を学ぶ 「受動態（現在形、過去形）」を学ぶ、復習する	26	6.1	チャリティやボランティア活動について話す
		25	6.2	良い行いを表す動詞・名詞・形容詞の形を学ぶ 「受動態助詞][must, might, can, will]の使い方を学ぶ	27	6.2	近所の人の親切な行為について話す
		26	6.3	/b/,/v/の発音について学ぶ 助けを求める、また断る際の表現を学ぶ	28	6.3	様々な助けが必要な場面での会話を練習する
		27	6.4	語中の/j/の発音について学ぶ レポートの中での意見を述べる表現を学ぶ	29	6.4	コミュニティ計画についてのレポートを読む、書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルB+

教科書	EVOLVE 4
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べることが出来るようになる。母語話者とは一般的なディスカッションや会話の交渉できる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッス	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッス	**学習内容 （対面）**
Unit 7 コミュニケーション	話す・書くコミュニケーションについてディスカッションをする。 会話やニュース、記事について詳しく話すことができる。 フォーマル/インフォーマルな手紙を読む、また書くことができる。	1	7.1	コミュニケーションに関する表現を学ぶ 「間接話法」について学ぶ	1	7.1	メッセージアプリの重要性について話す
		2	7.2	オンラインでのコミュニケーションに関する表現を学ぶ 疑問文の間接話法について学ぶ	2	7.2	話す・書くコミュニケーションについて ディスカッションをする
		3	7.3	語末の/s/,/z/の発音を学ぶ 話（ストーリー）を語る際の表現を学ぶ	3	7.3	会話やニュース、記事について詳しく話す
		4	7.4	Eメール中でのフォーマル／インフォーマルな表現を学ぶ	4	7.4	フォーマル／インフォーマルなEメールを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニケーションに関する調査」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ライフスタイル	異なるワークライフについて話すことができる。 最終決定までの選択肢について話すことができる。 ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書くことができる。	5	8.1	様々な仕事を表す表現を学ぶ 仮定法（現在）について学ぶ	6	8.1	仮定法の表現を使って、 異なるライフスタイルについて話す
		6	8.2	ワーク・ライフバランスに関する表現を学ぶ I wish（仮定法）について学ぶ	7	8.2	I wishを用いて願望や後悔について話す
		7	8.3	母音/ʒ/,/u/の発音を学ぶ 選択を迫られた時の表現、その際の提案や警告に関する表現を学ぶ	8	8.3	様々な選択肢がある状況での会話を練習する
		8	8.4	文中の強調表現（発音）について学ぶ 他人の文言や意見を参照する際の表現を学ぶ	9	8.4	ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「デジタル・デトックスの計画を立てる」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 ルールと制限	ルールと制限について話すことができる。 一般的な基準を定めることができる。 ビジネスにおける批判を読む、また書くことができる。	9	9.1	様々な場所を表す表現を学ぶ 禁止・許可・義務（現在）を表す表現を学ぶ	11	9.1	禁止・許可などの表現を使って、 日常のルールや制限について話す
		10	9.2	ルールに関する表現を学ぶ 禁止・許可・義務（過去）を表す表現を学ぶ	12	9.2	禁止・許可などの表現を使って、 過去にあったルールや制限について話す
		11	9.3	語頭の/d/の発音を学ぶ 一般的な基準を定める際に使う表現を学ぶ	13	9.3	社会ルール／文化の比較についてディスカッションをする
		12	9.4	批判を読む・書く際の表現を学ぶ 態度を示す副詞について学ぶ	14	9.4	ビジネスにおける批判を読む、書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の改善点について」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 発見と発明	過去の出来事について思索することができる。 代用品と可能性について話すことができる。 なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、また書くことができる。	16	10.1	発見や研究に関する表現を学ぶ 仮定法（過去）について学ぶ	16	10.1	過去の出来事について思索し、話す
		17	10.2	正しいこと／間違っていることに関する表現を学ぶ [should have, could have, might have]を用いた過去の可能性の表現を学ぶ	17	10.2	可能性の表現を用いて、代用品と可能性について話す
		18	10.3	母音の発音（長短）について学ぶ 相手の関心を惹く際、関心を示す際の表現を学ぶ	18	10.3	話し相手の関心を維持しながらディスカッションをする
		19	10.4	文中での強弱（発音）を学ぶ 同様のもの、対照的なものを表す表現を学ぶ	19	10.4	なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 対照的なもの	科学的な事実について話すことができる。 代わりになるものについてディスカッションし、提案をすることができる。 テクノロジーの進化についての意見を読み、反応を書くことができる。	20	11.1	大学教育に関する表現を学ぶ [forget, remember, stop]の後のto不定詞、動名詞について学ぶ	21	11.1	to不定詞、動名詞の表現を使って、 大学の生活について話す
		21	11.2	科学に関する表現を学ぶ 使役動詞[help, let, make]の使い方を学ぶ	22	11.2	科学的な事実についてディスカッションをする
		22	11.3	音節のストレス（発音）について学ぶ 代替品を勧める、他の選択肢について尋ねる、デメリットについて述べる際の表現を学ぶ	23	11.3	代わりになるものについてディスカッションをする
		23	11.4	議論を始める・追加する、結論を述べる際の表現を学ぶ	24	11.4	議論を含むコメントを読む、書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「問題解決についての提案」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 過去を振り返る	特別な写真について、またその背景のストーリーを述べることができる。 過去の経験を振返り、共有することができる。 ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、また書くことができる。	24	12.1	知覚（においや音、触感など）に関する表現を学ぶ 強調表現を学ぶ	26	12.1	特別な写真について、またその背景のストーリーについて話す
		25	12.2	記憶、想い出に関する表現を学ぶ [one]（代入）、[it/this]（参照）の使い方を学ぶ	27	12.2	子どもの頃の思い出について話す
		26	12.3	子音連結（発音）について学ぶ 返答を促す、記憶を思い起こす際の表現を学ぶ	28	12.3	過去の経験を振返り、話す
		27	12.4	文と文の連結する際の表現の発音（ストレス）を学ぶ メリット、デメリットを述べる際の表現を学ぶ	29	12.4	ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、レベルAに向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　前期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 1 一歩前進する	変化への対応方法についや現在・過去の習慣について話すことができる。 問題についてディスカッションをし、強く賛成することができる。 意見についてのエッセイを読む、また書くことができる。	1	1.1	困難に直面した時の表現方法を学ぶ 現在の習慣についての表現を学ぶ	1	1.1	困難なことの対処方法について話す
		2	1.2	困ったことを表す表現を学ぶ 過去にあった習慣、困難なことについての表現を学ぶ	2	1.2	過去にあった困難なことについて話す
		3	1.3	強調表現、/tʃ/の発音を学ぶ 様々なコミュニケーションの種類について学ぶ 問題についてディスカッションをする、また強く賛成する際の表現を学ぶ	3	1.3	過去と現在にあったものを比較し、ディスカッションをする
		4	1.4	エッセイの組み立て方を学ぶ	4	1.4	意見を述べるエッセイを読む、書く
					5	1.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の懐かしい思い出」 ・前期発表と連動する内容
Unit 2 自然の限界	発見と研究について、異なる環境下での生活について話すことができる。 重要な情報を交換することができる。 自然の中での暮らしについてのインタビュー記事を読むことができる。 場所に関する説明文を書くことができる。	5	2.1	宇宙、海洋探査に関する表現を学ぶ 比較を用いた表現を学ぶ	6	2.1	比較を用いた表現を使って、 探究や研究について話す
		6	2.2	自然界に関する単語を学ぶ 最上級を用いた表現を学ぶ	7	2.2	最上級を用いた表現を使って、 異なる環境下での生物について話す
		7	2.3	アクセントの強弱、リズムについて学ぶ /w/,/v/の発音を学ぶ 情報を求める、また提供する際の表現を学ぶ	8	2.3	重要な情報の交換、自由時間の行動についてアドバイスする
		8	2.4	数に関する表現を学ぶ 遠く離れた場所での生活についての記事を読む	9	2.4	場所についての説明文を書く
					10	2.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「アウトドア計画を立てる」 ・前期発表と連動する内容
Unit 3 私のあり方	性格のタイプについて、好き・嫌いについて話すことができる。 リクエストをする、また答えることができる。 採用に関する投稿を読む、志望動機を書くことができる。	9	3.1	性格のタイプに関する表現を学ぶ 関係詞を使った表現を学ぶ	11	3.1	様々な性格のタイプについて話す
		10	3.2	強い感情を表す単語を学ぶ 現在分詞を用いた表現を学ぶ	12	3.2	現在分詞を使って、 好きなもの・嫌いなものについて話す
		11	3.3	語末の/t/の発音を学ぶ 礼儀正しいイントネーション（発音）を学ぶ リクエストをする、また答える際の表現を学ぶ	13	3.3	リクエストや助けが必要な場面での会話を練習する
		12	3.4	動物園の求人広告を読む パーソナルステイトメントの書き方を学ぶ	14	3.4	パーソナルステイトメントを書く
		13		U1-3の振返り	15	3.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「就職面接」 ・前期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、前期後半に向けて			
Unit 4 協力	サポートチームについて話すことができる。 有利な点、不利な点についてディスカッションをすることができる。 サマリーを読む、また書くことができる。	16	4.1	仕事上の関係に関する表現を学ぶ [so..that][such..that][even][only]を用いた表現を学ぶ	16	4.1	生活の中でのサポートチームについて話す
		17	4.2	アイディアの評価に関連する表現を学ぶ 再帰代名詞[self][selves]、[other][another]を用いた代名詞について学ぶ	17	4.2	再帰代名詞を使って、 何かを決定するために必要な評価について話す
		18	4.3	子音-母音のリンキング（発音）について学ぶ 2語（フレーズ）でのストレス（発音）について学ぶ 有利な点、不利な点について話す	18	4.3	有利な点／不利な点などの観点から ジョブシェアリングについて話す
		19	4.4	チームワークについての記事を読む サマリーの書き方を学ぶ	19	4.4	記事のサマリーを書く
					20	4.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「資金調達のためのイベントを計画する」 ・前期発表と連動する内容
Unit 5 ヒューマンファクター	新しい技術が人に与える影響、また未来のコミュニケーションについて話すことができる。 案を検討する、比較することができる。 オンライン記事を読む、また例と共に記事を書くことができる。	20	5.1	感情のコントロールに関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	21	5.1	仮定法の表現を使って、 新しい技術が人に与える影響について話す
		21	5.2	やりたい事、気が進まない事に関する表現を学ぶ 「if」以外の仮定法の表現を学ぶ	22	5.2	未来のコミュニケーションについてディスカッションをする
		22	5.3	/I/,/e/,/æ/の発音について学ぶ 文中でのストレス（発音）を学ぶ 確かなもの、不確かなものを述べる際の表現を学ぶ	23	5.3	ビデオゲームについてディスカッションをする 確かなもの・不確かなものについて話す
		23	5.4	翻訳アプリに関する記事を読む 自分の意見をサポートする例を述べる表現を学ぶ	24	5.4	オンライン記事に対するコメントを、例を交えて書く
					25	5.5	Time to Speak： ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニティ改善計画」 ・前期発表と連動する内容
Unit 6 予期できないものを予期する	予期できない状況について話すことができる。 憶測を立てることができる。 興味深いストーリーを読む、また書くことが出来る。	26	6.1	名声に関する表現を学ぶ 過去形・過去進行形・過去完了形・過去完了進行形を用いた表現を学ぶ	24	6.1	時制を用いた表現を使って、 予期せぬ名声について話す
		27	6.2	「主張する」などの伝達動詞の表現を学ぶ [can]などの助動詞を用いた間接話法を学ぶ	25	6.2	間接話法を使って、 予期できない状況について話す
		28	6.3	複合動詞の発音について学ぶ 母音の長短（発音）について学ぶ 憶測を立てる、また他人の憶測に反応する際の表現を学ぶ	26	6.3	予期せぬ状況の中での会話を練習する
		29	6.4	恥ずかしい失敗についての投稿を読む 長文や短文を用いた面白いストーリーの書き方を学ぶ	27	6.4	面白いストーリーを書く
		28		U4-6の振返り	30	6.5	Time to Speak：前期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、後期に向けて			

2023年度グローバルコミュニケーション　授業シラバス　後期　レベルA

教科書	EVOLVE　5
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

Unit	到達目標 （対面授業・オンデマンド授業共通）	回数	レッスン	**学習内容 （オンデマンド）**	回数	レッスン	**学習内容 （対面）**
Unit 7 優先順位	価値のある経験について、また買い物について話すことができる。 賛成と反対についてのエッセイを読む、書くことができる。	1	7.1	ポジティブな経験に関する表現を学ぶ 形容詞や名詞の後の不動名詞、不定詞表現を学ぶ	1	7.1	価値のある経験について話す
		2	7.2	買い物、購入に関する表現を学ぶ 動詞のあとの不定詞表現（目的語あり、なし）を学ぶ	2	7.2	自分が買ったものについて話す
		3	7.3	母音のリンキング（発音）について学ぶ /ŋ/の発音について学ぶ 価格を交渉する際の表現を学ぶ	3	7.3	バーゲン時（価格を交渉する場面）の会話を練習する
		4	7.4	価値のある経験についてのエッセイを読む エッセイを書く上での表現、パラグラフの組立を学ぶ	4	7.4	賛成と反対についてのエッセイを書く
					5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ボート旅行の交渉をする」 ・後期発表と連動する内容
Unit 8 ささいな問題	サイドプロジェクトについて話すことができる。 他人のアイディアに対し反応することができる。 クレームの手紙を読む、また書くことができる。	6	8.1	整頓しているもの、また乱雑なものについての表現を学ぶ [be…to＋動詞]を用いた、義務等を表す文法表現を学ぶ	5	8.1	整頓しているもの、乱雑なものについて話す
		7	8.2	進捗に関する表現を学ぶ 未来形の表現を学ぶ	6	8.2	未来形の表現を使って、 サイドプロジェクトについて話す
		8	8.3	強調（発音）について学ぶ 何かを対比する際のストレス（発音）を学ぶ 他人のアイディアに対して意見を述べる際の表現を学ぶ	7	8.3	イベントを計画しながら、他人のアイディアに意見を述べる練習をする
		9	8.4	効果的なクレームを伝える方法についての文章を読む クレームを伝える際の表現、クレームに関するレターの構成を学ぶ	8	8.4	会社や店に対してクレームのレターを書く
					10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「ストレスを減らす方法」 ・後期発表と連動する内容
Unit 9 物事が起こる	人生を違うものにすること、失敗について話すことができる。 人を安心させることができる。 アドバイスについて書かれた記事を読む、書くことができる。	11	9.1	運や選択に関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	9	9.1	仮定法を用いた表現を使って、 人生における変化について話す
		12	9.2	失敗や間違いに関連する表現を学ぶ [I wish]などを用いた願望、後悔に関する表現を学ぶ	10	9.2	過去の失敗について話す
		13	9.3	文中の区切り（発音）を学ぶ 条件節でのイントネーションを学ぶ	11	9.3	人が抱える問題について、安心させる表現を述べる練習をする
		14	9.4	初めて会う人とのスモールトークについての記事を読む アドバイスを与える記事の書き方（必要な要素、構成）を学ぶ	12	9.4	自分が良く知る事柄について、アドバイスについての記事を書く
		13		U7-9の振返り	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテ-ション 「クラス同窓会」 ・後期発表と連動する内容
		14		中間試験			
		15		中間試験解説、後期後半に向けて			
Unit 10 人物、プロフィール	人々の性格について、習慣について話すことができる。 印象について述べることができる。 公的なプロフィールを読む、また書くことができる。	16	10.1	人々の性格の特徴についての表現を学ぶ 「前置詞＋動名詞」の表現を学ぶ	16	10.1	自分と友人の性格の違いについて話す
		17	10.2	顧客リサーチにに関する表現を学ぶ 使役動詞を用いた表現を学ぶ	17	10.2	顧客が求めているもの、提供できるものについて話す
		18	10.3	直接引用（“”）での発音を学ぶ /ei/,/ai/,/ɔi/の発音を学ぶ 自身の印象について述べる際の表現を学ぶ	18	10.3	会話の中で自分の印象を述べる練習をする
		19	10.4	公的なプロフィールを読む 公的なプロフィールを書く際のフォーマルな表現を学ぶ	19	10.4	フォーマルな表現を用いて、公的なプロフィールを書く
					20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「会社のウェブサイトの改善方法を検討する」 ・後期発表と連動する内容
Unit 11 本当に？	偽の商品、また誤情報について話すことができる。 信じている事、信じていない事を表現することができる。 説得力のあるエッセイを読む、書くことができる。	21	11.1	一般消費者が買う商品に関連する表現を学ぶ 受身表現を学ぶ	20	11.1	商品を表す表現（形容詞）を使って、 偽の商品について話す
		22	11.2	真実の度合いを表す表現を学ぶ [should]など義務を表す助動詞＋受身の表現方法を学ぶ	21	11.2	誤情報について話す
		23	11.3	感嘆符、命令表現でのイントネーションを学ぶ /ou/,/au/の発音を学ぶ 信じていること、信じていないことについて表現を学ぶ	22	11.3	信じていること、信じていないことについてディスカッションをする
		24	11.4	偽の商品レビューの見分け方についての記事を読む 説得力のある文章を書く際の表現や構成を学ぶ	23	11.4	説得力のある文章を書く
					25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「解決策をシェアする」 ・後期発表と連動する内容
Unit 12 必要な資質	才能について、目標について話すことができる。 パフォーマンスに対するレビューを読む、また書くことができる。	26	12.1	スキルやパフォーマンスに関する表現を学ぶ 「副詞＋形容詞、副詞」の表現を学ぶ	24	12.1	才能について話す
		27	12.2	感情的に影響を与える際の表現を学ぶ 不可算名詞に関する表現を学ぶ	25	12.2	人生を豊かにする方法についてディスカッションをする
		28	12.3	/d/→/b/など、変化する発音について学ぶ 音節のストレス（発音）を学ぶ 野望を表す表現を学ぶ	26	12.3	自分の目標について話す
		29	12.4	コンサートの裏側担当（技術者）による個人的なストーリーを読む パフォーマンスのレビューを書く際のフォーマル、インフォーマルな表現を学ぶ	27	12.4	パフォーマンスのレビューを書く
		28		U10-12の振返り	30	12.5	Time to Speak：後期発表
		29		期末試験			
		30		期末試験解説、全コース振り返り			

科目名（英）	観光概論 Tourism Introduction	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

現役添乗員が観光地を解説。生徒が知らない観光地を実感できるよう裏話も含めて解説します。国内の観光地理を学びます。
各県の観光施設、文化、歴史、特産品などを楽しみながら学び、一般教養としての知識を身に着けます。

【到達目標】

〇〇県の位置と主な観光施設、名産品が思い浮かぶようになる。

授業計画・内容	
第1回	北海道 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第2回	北海道 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第3回	東北 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第4回	東北 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第5回	関東 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第6回	関東 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第7回	中部 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第8回	中部 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第9回	近畿 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第10回	近畿 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第11回	四国 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第12回	九州 ① の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第13回	九州 ② の観光施設や名産品などを学ぶことが出来る。
第14回	観光地理テスト
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末試験 100%
受講生への メッセージ	写真がたくさん載った教材を利用しますので、ゲームの桃太郎電鉄のように楽しく観光地理を学びます。

【使用教科書・教材・参考書】

旅に出たくなる日本地図 帝国書院

科目名（英）	ホテル概論 Introduction to the Study of Hotel	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	佐藤　俊子
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	水曜日1時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日系、外資系問わず様々なジャンルのホテルに関する知識を習得します。

※実務経験：（株）東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。
その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティー英語指導を10年以上経験。
全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。

【到達目標】

日本を代表する有名ホテルの名称と場所、歴史、特徴を知ることができる。
日本のホテルには系列があるが、それをグループ分けして母体の企業とともにその発展の歴史を知ることができる
福岡、東京、大阪、京都、沖縄の代表的なホテルを知ることができる
外資系ホテルの特徴を知ることができる
新しく進出するホテル、改装するホテルなど最近の動きを知ることができる

授業計画・内容	
第1回	自己紹介と授業の進め方の説明を受けホテルに関する授業の受け方を知ることができる。
第2回	日本を代表する帝国ホテルについて知ることができる。
第3回	ホテルには系列があることを知ることができる。
第4回	福岡市内のホテルの歴史と詳細を知ることができる。
第5回	東京の主要なホテルを知ることができる。
第6回	東京ディズニーリゾートのホテルと横浜のホテルを知ることができる。
第7回	大阪、京都の主要なホテルを知ることができる。
第8回	沖縄のリゾートホテルを知ることができる。
第9回	外資系のホテルと日本のホテルの違いを理解することができる。
第10回	ホテルのレストランの料金が高い理由を理解することができる。
第11回	いいサービスについて理解することができる。
第12回	ホテルの環境対策（アメニティーの変更など）を理解することができる
第13回	ホテルの組織を知ることができる。前期のまとめとテスト対策
第14回	評価週
第15回	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業で知ったホテルをもっと詳しく知るためにネットで情報を得てください。 福岡市内のホテルに実際に足を運んでみましょう。 自分なりのホテルノートを作ることをお勧めします。
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。 レジメにコメントを書いて提出していただき、それを平常点とします。
受講生への メッセージ	有名なホテル、評価の高いホテル、歴史のあるホテルにはそれぞれストーリーがあります。ぜひそれを知ってホテルを大好きになって下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルレジメ
パソコンがあればぜひ毎回お持ちください。ない方はスマホで検索します。

科目名（英）	旅行業法/約款Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	佐藤　大幸
	Travel agency law / clause Ⅰ	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科				2	曜日・時限	火曜日1時限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ツアープランニングの基礎を学びます。また旅行会社で実践的に使えるテクニックも学びます。

※実務経験
第一観光 株式会社にて企画担当として16年勤務。

【到達目標】

自分で旅行企画ができる。また販売できるまでのクオリティーをもつ。

授業計画・内容	
第1回	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方を通して、自身のこれからの4年間の環境を知る
第2回	旅行企画とは何かを学ぶ。またそれに伴う旅行業法・約款を知る。 ①募集型企画旅行とは何か？　などを知る。
第3回	旅行企画とは何かを学ぶ。またそれに伴う旅行業法・約款を知る。 ②チラシ製作上、必要な法律は？　などを知る。
第4回	自分で旅行のテーマ（季節や集客を考えて）を決める。 ※8月販売に適切なツアーを作る。
第5回	題材を自分で探す。
第6回	コース（行程）をGoogle Mapなどを用いて引いて行程のあらすじを決める。
第7回	あらすじのコースから決定行程を作る。
第8回	行程上、必要なバス会社・食事場所・観光地・お土産屋などの手配を行うシュミレーションをする。
第9回	行程のトラブルシューティング①　（季節は正しいのか？・大型バスは進入できるのか？・駐車場はあるのか？）など検討して完成に近づける。
第10回	行程のトラブルシューティング②　旅行業法・約款上問題がないかを検討して完成させる。
第11回	自分が企画したツアーの募集パンフレットを作る①　※旅行業法上、問題がないか検討して完成させる。
第12回	自分が企画したツアーの募集パンフレットを作る②　※旅行代金を決定する。
第13回	自分が企画した旅行の魅力・売り・特徴などをプレゼンテーションする。
第14回	完成した旅行企画で評価します。　テーマ性・現実性・集客性・適正な旅行代金
第15回	ツアープランニングの総復習　～売れる企画とは？～
準備学習 時間外学習	
評価方法	課題提出　※自分で企画した最終募集チラシと行程表を提出して頂きます。
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。本講義は、旅行会社で必要な企画スキルとチラシ作りのテクニックを身につけて頂きます。旅行企画は旅行会社の花形でもありますが当たる企画を作るには、どの旅行会社も担当者は頭を悩ませ、他社との競争でしのぎを削り合っています。ぜひ、本講義で企画する楽しさ、難しさを経験して下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	旅行業法・約款Ⅰ Travel agency law / clause Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

旅行業界ならびに旅行関連業界において、旅行者との間で契約を結ぶ上で、旅行業約款および各種関連約款（航空・フェリー・貸切バス・宿泊）の知識は必須である。
この授業では、旅行業従事者として必要な約款に関する知識を習得し、国内および総合旅行業務取扱管理者試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。

※実務経験
運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事

【到達目標】

関連約款（航空・JR・フェリー・貸切バス・宿泊）の概要を説明することができる。
旅行業および関連約款の重要語句・数字等を暗記し、4肢択一や正誤判断問題を正確に解くことができる。
旅行業および運送・宿泊等旅行関連業界における約款の位置付けと重要性を説明できる。
旅行業および関連約款の重要語句・数字等を暗記し正確に解くことができる。

授業計画・内容	
第1回	旅行業約款　総則　用語の定義ついて学び理解できる
第2回	契約の成立①（契約の申し込み）契約の成立②（契約締結拒否事由）ついて学び理解できる
第3回	契約の成立③（契約の成立、書面の交付）　契約の変更①（契約内容の変更）ついて学び理解できる
第4回	契約の変更②（旅行代金の変更）旅行者の解除権ついて学び理解できる
第5回	旅行業者の解除権　（旅行開始前の解除）ついて学び理解できる
第6回	旅程管理、責任ついて学び理解できる
第7回	旅程保証①（変更補償金の支払い）　旅程保証②（変更補償金が支払われない場合）ついて学び理解できる
第8回	旅程保証③（変更補償金の支払いの要否）　特別補償①（特別補償とは）ついて学び理解できる
第9回	特別補償②（補償金等）特別補償③（損害補償金）特別補償④（特別補償と損害賠償）ついて学び理解できる
第10回	企画旅行契約・手配旅行契約　まとめついて学び理解できる
第11回	旅行相談契約について学び理解できる
第12回	関連約款について理解できる①
第13回	関連約款について理解できる②
第14回	期末試験
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。 授業で習った知識は，その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は，実践的に復習しましょう。
評価方法	期末テスト 100%　（筆記および実技試験）
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	旅行実務Ⅰ Travel Practice Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

店頭販売では、旅行パンフレットの内容を熟知したうえでホテルや交通手段の料金の案内をしながら、予約や手配を行う。接客販売時でのトーク（案内事項、予約事項）力やマナーを身に付けることが実際の接客では不可欠。この授業では実際のパンフレットを使用し、ロールプレイングを通して、接客販売業務を学ぶ

※実務者経験：運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事

【到達目標】

JR時刻表、航空時刻表を使い、時刻や手続きの案内ができる。
ビジネスパックやUSJパンフレットの説明ができる。
接客時の姿勢や振る舞い、パンフレットの指し方など、お客様へ配慮の行き届いた対応ができる。

授業計画・内容	
第1回	旅行パンフレットについて （パンフレットの見方、概要、時刻表の使い方）学び理解できるようになる
第2回	ビジネスパック商品について （JR利用と航空利用の違いと商品概要）学びを深めることができる
第3回	ビジネスパック商品の販売① （挨拶→商品の説明→手配までの流れ）学びを深めることができる
第4回	ビジネスパック商品の販売② （キャンセル料やその他の案内、ロールプレイング）学びを深めることができる
第5回	USJ商品について① （商品概要）学びを深めることができる
第6回	USJ商品について② （ホテル選択と料金について）学びを深めることができる
第7回	USJ商品の販売① （挨拶→商品の説明→手配までの流れ）学びを深めることができる
第8回	USJ商品の販売② （料金案内までの販売練習） 学びを深めることができる
第9回	USJ商品の販売③ （トーク力とマナーを意識した販売練習）学びを深めることができる
第10回	USJ商品の販売④ （ロールプレイング）学びを深めることができる
第11回	ロールプレイングで学びを深めることができる
第12回	ロールプレイングで学びを深めることができる
第13回	ロールプレイングで学びを深めることができる
第14回	期末試験
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。 授業で習った知識は，その都度復習して確実に身につけましょう。演習した内容は，実践的に復習しましょう。
評価方法	期末試験　100%
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	ツアープランニング基礎 Tour planning basics	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本国内の地理や観光地について授業を行う。国内の観光地をテキストを使用して、今後の実務に応用できるよう学ぶ。
九州・沖縄、中国、四国、関西、北陸、東海、関東、東北、北海道　の9つに分けて　観光地の勉強と、グループで旅行の計画をしてもらいます。

※実務経験
旅行会社にてコンシェルジュとして現役で活躍する。

【到達目標】

日本全国の地理・観光名所をテキストや経験談から学び、日本の良さを人に伝えることが出来るようになる。

授業計画・内容	
第1回	挨拶、自己紹介、授業のすすめ方の説明、アンケート調査
第2回	沖縄・九州の観光地授業の内容を理解する。
第3回	沖縄・九州・中国の観光地授業の内容を理解する。
第4回	中国・四国の観光地授業の内容を理解する。
第5回	関西　観光地授業の内容を理解する。　日帰り旅行企画説明を聞き、実施内容を理解する。
第6回	九州観光地　現地空港発着　日帰り旅行企画をグループで作成する。
第7回	九州観光地　現地空港発着　日帰り旅行企画をグループで発表する。
第8回	関西　観光地授業の内容を理解する。
第9回	北陸・東海　観光地授業の内容を理解する。
第10回	関東・東北　観光授業の内容を理解する。
第11回	関東・東北　観光授業の内容を理解する。
第12回	北海道　観光地授業の内容を理解する。
第13回	北海道　観光地授業の内容を理解する。　テスト説明を聞き、内容を理解する。
第14回	期末試験
第15回	振り返り、まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	日帰り旅行企画での評価　50% 筆記テストでの評価　50%
受講生への メッセージ	総合的なコンシェルジュを目指しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	宿泊業務演習Ⅰ Accomodation business training　Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

サービス業界にて10年以上の接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績のある専任講師が、他の業務の基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃のチーム意識と行動を身につけることができる。

【到達目標】

・ホテルの主体である宿泊に関する業務を知る
・ロールプレングをすることによって、業務を実践的に身につけることができる

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、ホテルの心得を理解できる
第2回	ホテルの心得・専門用語と使い方・言葉づかい・電話応対を理解できる
第3回	現代のホテルビジネスを支える情報システムを理解できる
第4回	宿泊部門／業務の流れ（客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り）を理解できる
第5回	宿泊部門／業務の流れ（客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り）を実践形式で対応できる
第6回	宿泊部門／フロントオフィスの業務について理解できる
第7回	中間評価
第8回	ロールプレイング／ベルマン・ドアマン・クロークの業務を理解し、実践形式で対応できる
第9回	ロールプレイング／フロント業務（リザベーション、レセプション、インフォメーションなど）を理解し、実践形式で対応できる
第10回	ロールプレイング／フロント、コンシェルジュ業務を実践形式で対応出来る
第11回	リスクマネジメント／ホテルビジネスにおける危機管理意識を理解できる
第12回	コンプレイン対応／ケーススタディからコンプレイン対応を理解できる
第13回	評価対策、「サービスのプロ」としての在り方を理解できる
第14回	評価試験
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	・授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく
評価方法	・筆記30%、実習試験50%（ロールプレレイング） ・授業態度20%（学んでいる姿勢、表情、言葉遣い、ディスカッションでの発言）
受講生への メッセージ	・学科で学んでいることを進んで行動し、ロールプレイングに活かし、即戦力になれるよう学んでほしいです。

【使用教科書・教材・参考書】

・学校テキスト

科目名（英）	旅行地理概論 travel geography knowledge	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【学習内容】旅行業界で必要な国内旅行・観光の知識をつけ、国内旅行の企画立案方法を学び、実践します。

※実務経験
大学卒業後、株式会社JTBへ就職。東京都内の支店に総合職として配属。法人営業に携わり、国内外の旅行の企画立案に携わる。また、国内での添乗業務経験も豊富である。

【到達目標】
①日本各地の主要観光箇所について説明できるようになる。②地域ごとの観光名所を巡るツアーをプランニングすることができる。

授業計画・内容	
第1回	【オリエンテーション】授業の目的を知る。旅行業界について理解し、説明できるようになる。
第2回	旅行会社での仕事内容と旅行の企画について学ぶ。旅行立案とプレゼンの基礎を理解し、説明できるようになる。
第3回	九州地方の観光箇所を学び、旅行立案できるようになる①
第4回	九州地方の観光箇所を学び、旅行立案できるようになる②
第5回	関西地方の観光箇所を学び、旅行立案できるようになる①
第6回	関西地方の観光箇所を学び、旅行立案できるようになる②
第7回	関東地方の観光箇所を学び、旅行立案できるようになる
第8回	【中間テスト】関東地方の観光箇所について、旅行プランのプレゼンができるようになる。
第9回	中部地方の観光箇所について、旅行プランニングのプレゼンができるようになる。
第10回	東北地方の観光箇所について、旅行プランニングのプレゼンができるようになる。
第11回	中国・四国地方の観光箇所について、旅行立案ができるようになる。
第12回	日本各地の観光地をおさらいし、お客様への具体的な旅行提案ができるようになる①
第13回	日本各地の観光地をおさらいし、お客様への具体的な旅行提案ができるようになる②
第14回	国内旅行のプラン発表を行う。
第15回	試験の振り返りとまとめ
準備学習 時間外学習	自分の好きな国内観光箇所や行ってみたいところについて考えてきてください。
評価方法	中間テスト20%、期末テスト80%
受講生への メッセージ	本講義を通じて、日本全国様々な地域に行った気持ちになって楽しみながら学習していきましょう。また、想像力を養って、お客様目線でプランニングができるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。また、調べ学習のためタブレットを持参してください。発表の際にはパソコンを使用します。

科目名（英）	フード＆ビバレッジⅠ Food＆Beverage Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	濵中　健一
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科					曜日・時限	月曜日4時限

【授業の学習内容】
フードからドリンクまで食の分野に関する基礎知識を学びます

※教務実務経歴：1994年～2011年まで現場でパティシエとして勤務、ホテルのシェフパティシエや商品開発も行う　資格：技能検定1級、職業訓練指導員他

【到達目標】
業界で働くにあたって必要な食に関する基礎知識を取得出来る

＜具体的な目標＞
食べ物の味覚の違いや季節間、コース料理の流れや簡単なマナーを身に付けることが出来る

授業計画・内容	
第1回	2023/4/10　味覚についての基礎知識
第2回	2023/4/17　色々な食べ物を知る（実験）
第3回	2023/4/23料理の種類（世界、日本）
第4回	2023/5/8　色々な料理の流れを知る
第5回	2023/5/15 ドリンク実習（上園先生）
第6回	2023/5/22ドリンク実習（上園先生）
第7回	2023/5/29調理（白川先生）料理についての基礎知識
第8回	2023/6/5調理（白川先生）料理についての基礎知識
第9回	2023/6/12　デザートについて
第10回	2023/6/19チョコレート　コンフィズリー
第11回	2023/6/26焼き菓子
第12回	2023/7/3調理（白川先生）料理についての基礎知識
第13回	2023/7/10コース料理
第14回	2023/8/21コース料理
第15回	2023/8/28テスト
準備学習　時間外学習	
評価方法	●出席点(25%) ●筆記試験(75%)　授業内で習った内容の確認
受講生へのメッセージ	お客様に喜んでもらうためにはまずは自分が食の楽しさを知ることが大事です。 色々なことに興味を持って取り組みましょう

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日1時限
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテル運営に関する実務知識を幅広く習得する為、「ホテルビジネス実務検定（H検）ベーシックレベル2級」の取得を目指して学習します。
ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で過去問題を解き、試験への耐性をつけていきます。

※実務経験
藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。
ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。

【到達目標】

①ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格。
②ホテルの各セクションで求められるニーズや提供すべきサービスも変わる為、ホテル運営に関する実務知識やオペレーションを理解し、基礎的なスキルを身につけた上でさらに現場で良いおもてなしができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション ： 自己紹介　講義の説明とホテルビジネス実務検定の概要、合格のメリット、受験の心構えについて解説
第2回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （観光産業の概況、ホテルの語源、偉大な2人のホテリエを学ぶ）
第3回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （米国のホテル史を飾る創業者・経営者、アジアにおけるホテルの発展を学ぶ）
第4回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （日本の観光産業とホテルの歴史を学ぶ）
第5回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （ホテル産業の概要を学ぶ）
第6回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （国際的慣習、ホスピタリティの本質、接客用語の基礎を学ぶ）
第7回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （①ホテル英会話を学ぶ）
第8回	第1章ホテルの基礎を身につけることができる （②ホテル英会話を学ぶ）
第9回	第2章宿泊部門を身につけることができる （宿泊部門の概要、組織と役割を学ぶ）
第10回	第2章宿泊部門を身につけることができる （宿泊約款、施設・設備の知識、宿泊商品を学ぶ）
第11回	第2章宿泊部門を身につけることができる （主なセクション業務を学ぶ）
第12回	第2章のまとめ
第13回	前期試験対策と第2章までのふりかえり
第14回	筆記試験
第15回	前期講義全体のふりかえりと第3章以降について解説
準備学習 時間外学習	①テキストと過去問題集は必ず持参すること。 ※過去問題集は、講義の最後にふりかえりを兼ねて使用する為、忘れないこと！ ②合格することだけをイメージし、予習・復習の時間（1日5分でもいいです）を取ること。 ③わからないところはスルーしない。必ず質問してクリアにすること。
評価方法	筆記試験・・・100%
受講生への メッセージ	テキストのボリュームに圧倒されると思います。また、専門用語やホテル英会話など業務に必要な用語がたくさん出てきます。講義では取りこぼしがないようにテキストに沿って重要な部分はわかりやすく丁寧に説明します。初日の講義では私が実際に受験した体験談と合格ラインについてお伝えします。学んだことは必ず現場で役に立ちます。一緒にベーシックレベル2級合格目指して頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター
【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター

科目名（英）	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で問題集や過去問題にチャレンジしてもらい、ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格を目指します。

※実務経験
藤田観光株式会社ワシントンホテル宿泊部フロント課　勤務。
ホテルビジネス実務検定1級取得。

【到達目標】

ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級の合格と、ホテル業界の基礎知識およびサービスオペレーションを体系的に理解し、即戦力として現場で生かすことができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション：前期講義で学んだことが理解できているか、小テストをしながら確認することができる□
第2回	第3章　料飲部門（料飲部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第3回	第3章　料飲部門（料飲部門の実務）を理解することができる
第4回	第3章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第5回	第4章　宴会部門（宴会部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第6回	第4章　宴会部門（宴会部門の実務）を理解することができる
第7回	第4章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第8回	第5章　調理部門（調理部門の概要、組織と業務役割）を理解することができる
第9回	第5章　調理部門（調理の種類と特徴）を理解することができる
第10回	第5章　調理部門（西洋料理の基本知識①基本ソース～⑦サラダ料理まで）を理解することができる
第11回	第5章　調理部門（西洋料理の基本知識⑧フロマージュ～⑪コーヒー・紅茶まで、西洋料理の主な担当業務）を理解することができる
第12回	第5章　まとめ　／　問題集・過去問題にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
第13回	後期評価試験対策
第14回	期末評価
第15回	検定試験に向けて評価基準と心得について再度確認し、モチベーションを維持する
準備学習 時間外学習	合格をイメージする、また現場で即戦力として活躍できることをイメージして、1日5分でもいいので時間を見つけてテキストを見返す、問題集・過去問題にトライして、耐性をつけてください。 わからない部分はあいまいにせず、質問してクリアにしてください。
評価方法	筆記試験・・・100%
受講生への メッセージ	テキストのボリュームに圧倒されると思います。専門用語もたくさん出てきますし現場でも専門用語が飛び交います。講義では、取りこぼしがないように重要な部分は丁寧に解説します。本番の試験は90分で200問出題されます。問題集や過去問題を解いて反復練習をすれば緊張する試験の場でも瞬時に答えが導けるようになりますので、あきらめずに学習しましょう！ 学んだことは現場で必ず役に立ちます。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター
【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター

科目名（英）	進級制作 Presentation to mark the current year's study	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1年次の集大成として、クラスメイトとともにイベント運営や企業研究を通して、チームワーク力を身につけます。

【到達目標】

・協調性を身につけ、クラスメイトとともに協力して企画～運営を行うことができる。
・相手の意見を理解し、尊重することができる。

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業の流れ
第2回	テーマ、内容決め
第3回	テーマ毎に準備、作業
第4回	テーマ毎に準備、作業
第5回	テーマ毎に準備、作業
第6回	テーマ毎に準備、作業
第7回	テーマ毎に準備、作業
第8回	テーマ毎に準備、作業
第9回	進捗状況確認、報告、共有
第10回	テーマ毎に準備、作業
第11回	テーマ毎に準備、作業
第12回	テーマ毎に準備、作業
第13回	テーマ毎に準備、作業
第14回	発表及び評価
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト　100%
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	ホテルマネジメントⅠ Hotel Manegement	必修選択	必修	年次	2	担当教員	林田 裕也
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけでは無く、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の全体像を理解する事ができる。

実務経験：ハウステンボス、パークハイアット東京などでホテル実務経験あり。その後ホテル旅館のコンサルティング会社の役員として現在も活躍。

【到達目標】

基礎的なホテルマネジメントの知識を身に付けながらも、現代の宿泊業界でキャリアを目指す人材に必要なコンテンツを学びながら、自身のスキルでホテルを動かす、変える、売上を上げる事のできるマネージャーへの基礎を習得する事ができる

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・学生自己紹介・宿泊業界への思いについてフリーディスカッションを行い共有できる。	
2回目	ホテルと旅館の違いについて議論できる。	
3回目	ホテル・旅館における構造及び宿泊客への提供物の違いを学び理解できる	
4回目	ホテル・旅館における料飲部門の役割、お客様へ与える価値を学び理解できる	
5回目	ホテル・旅館における収支構造の理解できる（売上構造）	
6回目	ホテル・旅館における収支構造の理解ができる（経費構造）	
7回目	ホテル・旅館における収支構造の理解ができる（利益構造）	
8回目	ホテル旅館におけるサービスが価格に影響するロジックを知り理解できる	
9回目	自身の考える理想のホテルを計画することが出来る	
10回目	自身の考える理想のホテル計画において、宿泊部門のブラッシュアップを目指すことが出来る	
11回目	自身の考える理想のホテル計画において、飲食部門のブラッシュアップを目指すことが出来る	
12回目	自身の考える理想のホテル計画において、マネジメント部門のブラッシュアップを目指すことが出来る	
13回目	自身の考える理想のホテル計画において、マーケティング部門のブラッシュアップを目指すことが出来る	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	授業態度・出席50%、テスト評価50%	
受講生へのメッセージ	目まぐるしく進化する宿泊業界で稼ぐ力を付けた人材を目指して欲しいと思っています。サービスは人を幸せにする自身のツールでありビジネススキルであるという考えを持つ事で、必要なスキルや知識をしっかりを学び、宿泊業界のキャリアを目指して欲しいと思います。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	IELTS IELTS	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	
		授業態	講義	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

英語教育業界にて国際人を育てるプランナーとして、専門学校生を担当した実績のある専任教員が、グローバル人材の基礎力の向上を目的に、本講義を通して基礎英語を学びながら国際感覚を身につけた人材を育成します。中学英語から復習することで英語の理解を深め、ウェディング関係の英語の語彙の習得および異文化理解力も身に着け、学生の意欲的な姿勢を支援します。また、日本や世界の文化の理解を深め、適切な対応ができるようにします。

【到達目標】

基礎レベルの英語の文法を理解し、英語に対する理解を深めることができる。
日本および世界の文化の違いを理解し、適切な対応できる。

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・他己紹介を英語で行い、授業の目的、英語の必要性、異文化理解の重要性を知る	
2回目	英文法（be動詞、一般動詞）の理解と英語でのコミュニケーションの重要性を認識できる	
3回目	英文法（3人称単数現在、依頼文）の理解と世界の結婚式の様子や状況を理解することができる	
4回目	英文法（過去形）の理解とウェディング用語（1）を習得することができる	
5回目	英文法（現在進行形、未来形）の理解とウェディング用語（2）を習得することができる	
6回目	英文法（不定詞）の理解と多文化社会を理解することで、グローバルな国際感覚を養うことができる	
7回目	英文法（助動詞）の理解と西洋人・日本人の特殊性等の異文化理解をすることができる	
8回目	英文法（接続詞）の理解と英語で自分の意見を伝える力を学ぶことができる	
9回目	英文法（比較級）の理解と世界の常識・非常識などの異文化理解をすることができる	
10回目	英文法（受け身）の理解と海外旅行での英語表現、マナーを身に着けることができる	
11回目	英文法（現在完了形）の理解と海外旅行での英語表現、海外旅行での常識・非常識を学ぶことができる	
12回目	英文法（不定詞）の理解と英語での接客ロールプレイをし、会話ができる	
13回目	英文法の総復習をし、理解および活用ができる	
14回目	★評価週	英語文法、語彙、異文化テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	英語文法、語彙、異文化テストの総復習
準備学習 時間外学習		
評価方法	小テスト30% 期末テスト70%	
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。本講義は、これからグローバル化していく社会において必要となる英語を基礎から復習していきます。また、世界の異文化事情や社会なども理解していくことで、世界に羽ばたく人材になってほしいと思っています。楽しい英語学習と世界に羽ばたきたくなるような授業をしていきたいと思っていますので、積極的に本講義を受講していただければ幸いです。	

【使用教科書・教材・参考書】

実践トライアルα＋10　育伸社
英語検定試験3級過去問題　旺文社

科目名（英）	IT・テクノロジー IT・technology	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

授業では、就職先などで、実務的に使用されるMicrosoftOfficeの操作習得が出来るように実習していきます。特にExcelの操作習得を中心に行います。
個人にあわせたレベルにあわせ、基本操作から応用的な操作まで課題を元に学習していきます。

【実務経験】

【到達目標】

MicrosoftOffice（特にExcel）をビジネスの現場でも実際に操作できるレベルになる。

授業計画・内容		
1回目	Windowsの基本操作、Excelの基本操作ができる	
2回目	Excelの数式の作成、表の作成ができる	
3回目	①Excelの表の編集ができる	
4回目	②Excelの表の編集ができる	
5回目	①Exceのグラフ作成ができる（グラフ作成、グラフの編集、データの更新）	
6回目	②Exceのグラフ作成ができる（円グラフ、グラフレイアウト、グラフスタイル、複合グラフ）	
7回目	①Excelのワークシートの操作ができる（ワークシートの操作、３－D集計、検索と置換）	
8回目	②Excelのワークシートの操作ができる（ウィンドウ枠の固定、分割、整列）	
9回目	①Excelのいろいろな関数ができる（SUM、TODAY、COUNTA、RUNK等）	
10回目	②Excelのいろいろな関数ができる②（VLOOKUP、IF等）	
11回目	①Excelのデータベース機能の操作ができる	
12回目	②Excelのデータベース機能の操作ができる	
13回目	③Excelのデータベース機能の操作ができる	
14回目	★評価週	Excel総合問題
15回目	★まとめ・追試/再試	Excel総合問題の総復習
準備学習 時間外学習	アプリケーションソフトは実際に操作をしないと上達しないので、パソコンの操作をできる限り行って下さい。	
評価方法	期末テスト100％（実技試験）	
受講生への メッセージ	ビジネスの現場ではMicrosoftOffice（特にExcel）は必須であり、Officeの操作が出来れば、仕事もスムーズに進みます。学生の間にOfficeの操作を習得しましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校　2022年度前期　授業シラバス

科目名（英）	企業プロジェクト CorporateCollaborationProject	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけでは無く、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の実践的なマーケティング手法を理解する事ができる.

【到達目標】

①1年後の卒業展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・本プロジェクトの目的を理解する事ができる	
2回目	福岡市内のホテル分析をする①　～楽天トラベル上でのホテル市場の見方を知ることができる	
3回目	福岡市内のホテル分析をする③　～じゃらんnet上でのホテル市場の見方を知ることができる	
4回目	現在のシティホテルにおけるラグジュアリーサービスを知ることができる	
5回目	現地視察の実施をして現場を知ることができる	
6回目	各チームの企画概要制作①	
7回目	顧客行動心理におけるサービスが与える感動の役割とその効果を知る①	
8回目	ホテルにおけるマーケティング手法の活用を理解できる①　～SWOT分析の活用～	
9回目	各チームの企画概要制作できる	
10回目	ホテルにおけるブランディングの重要性を理解できる①　～ブランドコンセプトとは何か～	
11回目	各チームの企画概要制作できる	
12回目	各チームの企画概要制作できる	
13回目	相手に伝わるプレゼンテーションの手法と構成を理解できる①	
14回目	★評価週	現地での課題プレゼン
15回目	★まとめ・追試/再試	プレゼン時の自己分析と各メンバー内でのフィードバックの実施
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト協賛ホテルへの視察及び課題収集を目的とした訪問	
評価方法	各講義での出席率を含む取り組み姿勢及び積極性の評価とプロジェクト成果物の完成度	
受講生へのメッセージ	実際のホテル企業との企業プロジェクトを通して、実践的なホテル専門コンサルティングの手法や思考法及び実際の事例を交え将来ホテル業界でキャリアアップを目指せる人材へと成長して欲しいと思っています。その為の経験値を一緒に1年間で身に着けて頂きたいと思います。本気でホテル業界を目指す方にとって、就職時に自信をもって強みとして語れる学び時間を全力でお伝えします。頑張っていきましょう！	

【使用教科書・教材・参考書】

教材テキストは無し・毎回ネット検索を実施する為、スマホ又はPCの持ち込み
また本企業プロジェクト専用のノートを1冊準備し、自身でノートを作る事で本授業受講終了時に自分だけのプロフェッショナルテキストが完成できます。

福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校　2021年度前期　授業シラバス

科目名（英）	ワイン学Ⅰ Studay of Wine1	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【学習内容】
ワインに関する基礎知識、楽しみ方を学び、ワインに親しめるようにします。
【実務経験】
博多和田門にてソムリエとして6年半勤務後、ホテルでの仕事に興味を持ちソラリア西鉄ホテル福岡にて3年勤務。
現在は西鉄グランドホテルのソムリエとして勤務。

【到達目標】
代表的なワイン生産国の基礎知識を習得し、ワインの奥深さ（歴史や産地、ワイナリーの特徴）を体得し説明できるようになる。□

授業計画・内容		
1回目	ワインの歴史やブドウの栽培方法、醸造方法を学び、ワインについて知る	
2回目	ワインの主要なブドウ品種、ラベルの読み方、ワインのサービス方法を知る	
3回目	①フランスワインについて説明できる（ボルドー、ブルゴーニュの2大産地）	
4回目	②フランスワインについて説明できる（他のフランスの主要産地）	
5回目	①フランス以外の旧世界のワインについて説明できる（イタリア、ドイツ、スペイン）	
6回目	①新世界のワインについて説明できる（アメリカ、チリ、日本）	
7回目	②新世界のワインについて説明できる（オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ）	
8回目	地球環境とワイン：サステイナブルな取り組みについて知り説明できる	
9回目	ワインと料理のペアリング（ペアリングのポイント、料理に合うワインの提案が出来るようになる）	
10回目	ワイン以外のアルコール飲料について学び造詣を深めることができる	
11回目	★評価週	試験
12回目		試験の復習
準備学習 時間外学習		
評価方法	筆記試験	
受講生へのメッセージ	ワインは知識があるともっとおいしくなります。難しく考えずに楽しく学んで頂き、ワインに親しんでください。	

【使用教科書・教材・参考書】

西洋料理料飲接遇サービス技法、J.S.Aワイン検定ブロンズクラステキスト、ワイン一年生

科目名（英）	フロントシステム演習Ⅰ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	中尾　美恵
	Front System practice	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

パソコン活用の実務経験約20年以上あり、フロント受付システム活用経験約10年ある講師が、専門知識のもと、ホテルフロントでの受付に必須なシステムの概要と操作と指導育成します

実務経験：ホテルのフロントクラークとして約１０年の実務経験あり。

【到達目標】

TAPシステムとは何かを知ることが出来る。TAP検定３級に向け基本的な知識を身に付け、操作することが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、システムの基本概念を理解することが出来る
2回目	宿泊予約作成の習得ができる
3回目	稼働状況管理（宿泊予約作成）ができる
4回目	宿泊料金（宿泊予約作成）の作成ができる
5回目	予約経路（宿泊予約作成）作成ができる
6回目	客室アサイン（宿泊予約作成）ができる
7回目	ケーススタディ（宿泊予約作成）ができる
8回目	チェックイン（レセプション）の方法を習得できる
9回目	滞在管理（レセプション）を理解できる
10回目	会計（キャッシャー）の知識・動作ができる
11回目	会計（キャッシャー）チェックアウト（キャッシャー）の基礎が習得できる
12回目	総合インフォメーションができる
13回目	フロントシステム総復習
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	テキスト章末に操作練習問題がある章は、確認テストとして実習テストになります
評価方法	確認テスト（20）と中間テスト（30）・期末テスト（50）
受講生へのメッセージ	ホテル業務に欠かせないシステム実習です。検定が実施されるようになり、キャリアアップになる資格取得となれば幸いです

【使用教材・教科書・参考書】

フロントシステム（ホテルIT実務検定対策テキスト）

福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校　2021年度後期　授業シラバス

科目名（英）	ホテルマネジメント検定 Hotelier Proficiency Test	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ホテル業務に必要とされる知識を得る為、「ホテルビジネス実務検定試験 （H検）マネジメントレベル」の取得を目指して学習します。　テキスト（ホテルビジネス基礎編）と検定過去問を参考に、要点を絞り検定に向け学習します。

【到達目標】

ホテルビジネス実務検定試験　マネジメントレベルに合格する事ができる。

授業計画・内容		
1回目	テキスト　第6章　マーケティング部門の復習をして理解できる	
2回目	テキスト　第6章　マーケティング部門の復習復習をして理解できる	
3回目	テキスト　第7章　マーケティング部門の復習をして理解できる	
4回目	テキスト　第7章　マーケティング部門の復習をして理解できる	
5回目	テキスト　第8章　マーケティング部門の復習をして理解できる	
6回目	テキスト　第8章　マーケティング部門の復習をして理解できる	
7回目	テキスト　第9章　マーケティング部門の復習をして理解できる	
8回目	テキスト　第9章　マーケティング部門の復習をして理解できる	
9回目	テキスト　第10章　マーケティング部門の復習をして理解できる	
10回目	テキスト　第10章　マーケティング部門の復をして理解できる	
11回目	過去問を解く	
12回目	過去問を解く	
13回目	過去問を解く	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	毎授業に「ホテルビジネス　基礎編」のテキストを持ってくる。　授業の前までに次回授業でするテキストの内容をを読んで予習をし、分からない用語など調べておく。 宿題が出た場合は、期日までに必ずしてきましょう。　宿題や小テストをまとめるファイルを準備しておいて下さい。	
評価方法	後期試験の点数	
受講生への メッセージ	テキストの用語など難しく感じると思います。 分からない事は気軽に聞いてください。 90分の座学ですので、睡眠を十分にとり、授業中寝ないように体調管理に気をつけて下さい。　ホテルビジネス実務検定試験　マネジメントレベル取得を目指して頑張りましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

ホテルビジネス　基礎編。　過去問プリン

福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校　2021年度前期　授業シラバス

科目名（英）	英語（リスニング＆スピーキング） English（Listening & Speaking）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。　An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.

【到達目標】

英語で簡単なコミニュケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.

授業計画・内容		
1回目	現在、過去、および未来の行動を説明できる。 You'll be able to describe present,past, and future actions.	
2回目	誕生日や贈り物について話すことができる。友情について話せる。 You'll be able to talk about birthdays and gifts; talk about friendships.	
3回目	食べ物と食べ物の購入について話すことができる。 You'll be able to talk about food and buying food.	
4回目	食事時にゲストについて話すことができる。食べ物の好みを説明できる。 You'll be able to talk about being a guest at mealtime; descibe food preferences.	
5回目	食べ物の購入について話すことができる。食べ物を説明できる。 You'll be able to talk about buying food; describing food.	
6回目	レストランで食事をすることについて話すことができる。レシピ。 You'll be able to talk eating in a restaurant; recipes.	
7回目	未来について話すことができる。確率について。 You'll be able to talk about the future; talk about probability.	
8回目	可能性について話すことができる。警告。 You'll be able to talk about possibility; warnings.	
9回目	比較できる。 アドバイスする。 You'll be able to make comparisons; give advice.	
10回目	自分の意見を表すことができる。 賛成と反対。 You'll be able to express your opinion; agree and disagree.	
11回目	人、場所、物事を説明できるようになる。 You'll be able to describe people, places, and things.	
12回目	デパートで買い物ができるようになる。 You'll be able to shop in a department store.	
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 – 12.	
14回目	★評価週	理解度テスト comprehension test
15回目		理解度テストの総復習　Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください　Please prepare yourself for each mini-test	
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5%　Final test 80% , Class attendance 15%, Class attitude 5%	
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to cummunicate in the international society.	

【使用教科書・教材・参考書】

福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校　2021年度前期　授業シラバス

科目名（英）	英語（ リーディング） English conversation	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

高校用教科書ガイドの執筆および非常勤講師として従事。

自身の問題作成等の経験から出題者の思考を授業にフィードバックする。今回の授業では「英検」に関する問題、選択肢の特徴から、英検に特化した学習方法を共有する。

【到達目標】

①英語検定1級・準1級に向けて、自身の弱点を明確化することができる。②英語検定、準1級・1級を取得することができる。

授業計画・内容		
1回目	英検準1級取得に向けての学習方法、求められる能力を説明することでマインドセットにつなげることができる。	
2回目	文章の要となる動詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで語彙力の増強につなげることができる。	
3回目	名詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで学習の方針、および語彙力の増強を図ることができる。	
4回目	形容詞、副詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで学習の方針、および語彙力の増強を図ることができる。	
5回目	熟語に関する語彙問題の演習、解説。「熟語はあくまで構成している単語の意味の集合」であることを伝えることにより効率よく語彙力の増強を図ることができる。	
6回目	リーディング問題への対応方法及びリーディング問題（Part2）演習、解説。これにより、リーディング学習の方向性を獲得することができる。	
7回目	リーディング問題（Part2）演習、解説をすることで英文読解のメソッド及び選択肢のパターンなどを学ぶことができる。	
8回目	長文読解の中でも難易度が上昇するリーディング問題（Part3）のポイント説明。これとリーディング問題（Part3）演習解説をすることで学習の足場を築くことができる。	
9回目	リーディング問題（Part3）演習解説をすることで長文読解内容および選択肢等のパターン習得ができる。	
10回目	リーディング問題（Part3）演習解説をすることで長文読解内容および選択肢等のパターン習得ができる。	
11回目	リーディング問題（Part3）演習解説。今回は難問を扱うことでさらに問題への対応力の構築の一助とする。	
12回目	英検ミニテスト1（語彙、長文読解）を実施することで、時間配分、試験における注意点などを把握することができる。	
13回目	英検ミニテスト2（応用問題、語彙、長文読解）を実施することで、時間配分、試験における注意点、現時点での実力などを把握することができる。	
14回目	★評価週	英検ミニテスト3（応用問題、語彙、長文読解）を実施することで、授業での到達度を把握することができる。
15回目		テストの評価・解説を行うことにより来期への目標を立てることができる。
準備学習 時間外学習	ミスをした問題の復習。具体的には単語を覚えること、いかにして問題文からその単語が答えをしてつながるのかを考察することを実施する。 長文読解に関しては何度も読むことでスピードアップを図り、同時に理解を深める。	
評価方法	試験100%	
受講生へのメッセージ	英検準1級は語彙レベルでは高校レベルを超えたものになります。問題として出題される単語は普段見かけないものも多くあります。そのため積極的に自分から単語の習得をすることが一番の近道になります。 学習ペースができれくればいずれ合格レベルになります。一緒に英語を楽しみながらレベルアップしていきましょう！	

【使用教科書・教材・参考書】

・英検準1級をたった7日で総復習
・英検準1級　単語、熟語問題

福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校　2021年度前期　授業シラバス

科目名（英）	英会話（ライティング） English conversation	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

※実務経験：海外生活の体験が皆無なところから英検1級・TOEIC970点を修得した教員自身の学習経験と豊富なノウハウをもとに、英検準2級以上の実力をつけるための文法力を身に着けてもらう。
このレベルはかなりの実力は持ちながらも、まだ理解が曖昧で怪しい箇所もたくさんある層です。したがって各自の理解度を個別に慎重に評価しながら、しゃべる、聴く、読む、書く の4技能もフルに使いつつ楽しい授業を目指します。

【到達目標】

①英語検定準2級・2級取得に必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーションと自己紹介・本講座のねらいを共有することにより、やる気を高めこれからの目標を設定することができる。	
2回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
3回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
4回目	文の種類・助動詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
5回目	分詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
6回目	不定詞・動名詞ついての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。	
8回目	形容詞・副詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
9回目	比較表現についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
10回目	受動態についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
11回目	名詞・冠詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
12回目	関係詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
13回目	仮定法についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより到達度を知ることができる。
15回目		テストの評価・解説を行うことにより来期への目標を立てることができる。
準備学習 時間外学習	語彙力アップのため単語のミニテストを行います。前回の授業で学んだ語彙は毎回復習をしっかりしましょう。	
評価方法	中間テスト4割　期末テスト6割	
受講生へのメッセージ	英検準2級、2級を超えられたら、英語の理解度や運用力がぐんと上がって、現実に実践に使える手ごたえが感じられます。そうなったら英語学習はますます楽しくなってきますので、ぜひその境界を一緒に超えていきましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

『高校英文法をひとつひとつわかりやすく』（学研）『トレーニングノート英文法α』（受験研究社）　ほか、長文プリントなど

福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校　2021年度後期　授業シラバス

科目名（英）	キャリアプログラム career program	必修選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる

【実務経験】
リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている

【到達目標】
サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にブランシュアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100％	
受講生へのメッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

無し

科目名（英）	就職講座	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	work seminer	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科				4	曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

就職活動における心構え
面接のロールプレイング
社会人としてのマナーを心得、基礎を身につける
※実務者経験：

【到達目標】

1年次の就職活動準備を踏まえ、個々の就職活動を個々らしさも表現し、社会人としての成長の基礎と応用を身につける
・面接力の向上
・社会人マナー
授業で習得したことは、日頃より活用できること

授業計画・内容		
1回目	授業計画説明・制服および就職活動時および面接時の身だしなみ確認	
2回目	面接ロールプレイング：面接とは？　演習を行い身に付けることができる	
3回目	面接ロールプレイング：面接態度　演習を行い身に付けることができる	
4回目	面接ロールプレイング：言葉遣いなど中心に行う　演習を行い身に付けることができる	
5回目	面接ロールプレイング：自己PR・志望動機　① 演習を行い身に付けることができる	
6回目	面接ロールプレイング：自己PR・志望動機　② 印象のよい伝え方など演習を行い身に付けることができる	
7回目	面接ロールプレイング：個別 様々な質問対応　演習を行い身に付けることができる	
8回目	面接ロールプレイング：グループ・集団面接　演習を行い身に付けることができる	
9回目	面接ロールプレイング：総復習　演習を行い身に付けることができる	
10回目	社会人マナー：5大ポイント　演習を行い身に付けることができる	
11回目	社会人マナー：好印象のために　演習を行い身に付けることができる	
12回目	社会人マナー：名刺交換など　演習を行い身に付けることができる	
13回目	評価項目等の復習・質疑応答　演習を行い身に付けることができる	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習　時間外学習	制服および就職活動時および面接時の身だしなみ確認 面接ロールプレイング 社会人マナー	
評価方法	●小テスト（30%） ●実技または筆記（20%） ●定期テスト（50%） 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ	就職することがゴールになりすぎないよう、今後の社会人として長きにわたり活きていくスタートとして学んでください 面接は作ったものは通用しません。就職先に担う人として採用後の伸び代・意識が問われます 自己表現とともに、期待を行動・評価につなげれる意欲を伝えられるかを考えて学んでほしいです	

福岡ブライダル＆ホテル・観光専門学校　2019年度後期　授業シラバス

科目名（英）	宿泊業務実習Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	
	Practice of Front Desk Accomodation Business Ⅱ	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

サービス業界にて10年以上の接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績ある専任講師が、サービス業のホテルフロントとしての基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃の意識と行動を身につけることができる

【到達目標】

・サービス業界のビジネスマナーを知り、回数を重ねることで意識と行動を身につけることができる
・ホテルマンとしての心得と防災対応の基礎知識を知るこができる

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的を知る	
2回目	ロールプレイング：ホテルマンとしてのビジネルマナー（挨拶・表情・態度・身だしなみ）の基礎を知ることが出来る。	
3回目	ロールプレイング：ホテルマンとしての言葉使いと基本的対話スキル（話す・聴く・質問の仕方）を身につけることが出来る。	
4回目	ロールプレイング：ホテルの業務種類（宿泊・飲料・宴会・営業・管理部門）のマナーを知ることが出来る。	
5回目	ロールプレイング：宿泊部門をより客室について知ることが出来る。	
6回目	ロールプレイング：宿泊部門をよりフロントオフィス業務について知る　部門をより客室について知ることが出来る。	
7回目	ディスカッション：ホテルマンとしてフロント対応の質を知る ことが出来る。 中間テスト	
8回目	ロールプレイング：ホテル業界の防災・安全管理を知ることが出来る。	
9回目	ロールプレイング：ホテルスタッフの役割と仕事への考えを身につけることが出来る。	
10回目	ディスカッション：コンプレイン対応を考えることが出来る。	
11回目	ロールプレイング：フロント業務ホテルマネジメントの基礎を知ることが出来る。	
12回目	評価課題の説明、ロールプレイング復習	
13回目	評価課題の説明	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	・前回授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく ・次回の内容を予習する	
評価方法	・筆記70%、実習試験30%（ロールプレレイング） （ホテルマンとして学んでいる姿勢、表情、言葉遣い、ディスカッションでの発言）	
受講生への メッセージ	前期に学ばれた科目や内容もホテル業界全般に必要になります。前期の内容を活かし、ホテル宿泊の良さを自身で学び、提供する意識をもち、活用していただけ ば幸いです	

【使用教科書・教材・参考書】

ホテル業界著書、マナー接遇参考書

福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校　2021年度後期　授業シラバス

科目名（英）	進級制作 Upgrade program	必修選択	必修	年次	2	担当教員	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる

【実務経験】
リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている

【到達目標】
①1年後の進級制作展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にブランシュアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出＆プレゼン発表
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100％	
受講生へのメッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

無し